平成 28 年度　厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業

訪問看護のケア実態及び必要性に関する
調査研究事業
報告書

平成 29(2017)年3月

一般社団法人　全国訪問看護事業協会

はじめに

日本では、2025 年完成に向けた“地域包括ケアシステムの構築”が各地で急速に進められている。このなかで、訪問看護においては、医療専門職として、特に、疾病や障害を抱える状況および終末期の状況にあるすべての人々に対して、個々人が住み慣れた場所で最期まで豊かに住み続けることを支える役割期待がますます高まっている。

訪問看護制度が創設された 1992 年以降の 20 余年間、厚生労働省の訪問看護の発展に向けた支援策として、介護報酬および診療報酬におけるプラス改定等が行われ、その結果、近年の訪問看護事業所数（量）は順調に増加し、平成 28 年には 9000 ヵ所を超えた。

この動向の中、本委員会では、訪問看護の第二の発展を見据え、平成 26 年度より 2 年間にわたる直近の取り組みとして、訪問看護ステーションという「事業所単位」で、より多くの看取りや医療ニーズの高い療養者を支えていくための仕組みづくりとその普及を目指し、「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン～看取りや医療ニーズの高い療養者を支える標準的な指針（ガイドライン）」を完成させ、事業所運営におけるケアの質確保につながる指針を提示するとともに、その配信・収集をウェブ上にて行うシステム開発を行った。

そして、今年度は、「利用者単位」での訪問看護の質確保のあり方を検討し、疾患や介護力およびニーズに応じた訪問看護のケア実態を捉えた。すなわち、例として、本報告書に掲載したように、がんとがん以外の療養者に対する訪問看護が行っている支援の違いを把握した。がんはスピードを要する症状コントロール等の医療的対応を中心に訪問看護が支援している実態である一方、がん以外の療養者に対しては、低栄養を原因とした褥瘡予防や褥瘡への対応や家族を含めた全人的な支援を行っている実態が明らかにできた。また、精神疾患や小児の療養者へのケア実態も予防的なかかわりや家族介護者へのかかわりを重視したケア提供を行っている実態を捉えることができた。今年度のこれらの成果は、訪問看護の評価を、今後より適正に改定していくためのエビデンスとして寄与できると考える。さらに、これらの疾患や家族介護力の違いによる訪問看護のケア提供状況を正確に捉える入力システムも開発した。今後は、本システムをさらに洗練させつつ、より多くの訪問看護事業所に向けた本システムの普及を図り、訪問看護が行う正確なケアの提供実態をより精緻に捉えていくことを目指し、利用者のための訪問看護の全国的なケアの質向上につなげていきたいと考える。

以上の調査にあたっては、これまでの複数年にわたり、多くの関係者の皆様に多大な協力・貢献を頂き、ここに改めて感謝申し上げる。また、本研究事業班における今年度の取組の成果をもとに、訪問看護ステーションの質確保のための更なる発展・利用の推進につながっていくことを願う。

平成 29 年 3 月
「訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」
委員長　福井小紀子　（日本赤十字看護大学　教授）

目次

要旨

要　旨

１．事業の目的

本事業では、地域包括ケアシステムの中で、医療と介護の両方の役割を担うことのできる訪問看護サービスの多様かつ複雑化している利用者像を明らかにし、膨大なケアの特徴を抽出・類型化するために、データ入力システムを開発し、機能強化型訪問看護事業所の 500 名程度の利用者に対し、そのシステムを利用して、訪問看護事業所が行っている利用者の特性に応じたサービス内容や提供量、コスト等の実態を集積し分析した。その結果より、訪問看護事業所の利用者の特性に応じた訪問看護サービスの標準モデルを提案する。

２．訪問看護のケア実態を分析するためのシステム開発と調査

１）訪問看護のケア実態の枠組みと項目の選定

第 2 章では、利用者の特性に応じたサービス内容や提供量、コスト等の実態について把握するため、以下の方法により整理と検討を行い、多様かつ複雑化している利用者像を明らかにし、膨大なケアの特徴を抽出・類型化するための枠組みと項目を選定した。

(1) 過去研究等（他団体）についての整理・検討
(2) 過去研究等（全国訪問看護事業協会）についての整理・検討
(3) 医療機関における項目についての情報収集
(4) 検討委員会・ワーキング委員会での検討

２）訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステムの開発

第 3 章では、1）で選定した枠組みと項目を用いて、訪問看護事業所が行っている利用者の特性に応じたケアの実態を集積し分析するため、各訪問看護事業所がインターネット上で事業所情報や職員情報、利用者情報、利用者のニーズ、介入の内容、評価についての情報を入力するためのシステムを開発した。また、各訪問看護事業所が入力したデータを収集・集積するシステムを開発した。

３）訪問看護事業所のケア実態収集・集積のための調査の実施

第 4 章では、2）で開発したシステムを運用し、実際にデータを収集した。また、収集したデータを集計し活用するにあたって、システムにおける課題を把握した。

（１）調査の実施（事業所情報・職員情報・利用者情報）

機能強化型訪問看護管理療養費 1 または 2 を算定している 10 カ所の訪問看護事業所に対して平成 28 年 9 月 22 日に調査実施説明会を実施した。事業協力の同意を得て、平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日の 1 か月間、調査を実施した。

調査では、事業所情報の入力、職員情報の入力を行った。対象とする職員は事業所の職員全員で、209 名分の結果を得ることができた。

利用者情報、介入の内容、ニーズ、評価についての情報を入力する対象の利用者は、各事業所において、①がん末期の利用者、②がん以外の終末期の利用者、③神経難病、④脳血管疾患、⑤呼吸器疾患または循環器疾患、⑥小児、⑦精神疾患、⑧認知症の疾患・状態の利用者をそれぞれ５名程度、サービス開始が近い利用者から選んでもらった。(ただし、11 月中の利用予定者で、医療保険・介護保険対象の在宅の利用者とした。) １事業所あたり、約 50 名を抽出してもらい、合計で 515 名分の結果を得ることができた。

４）事業所自己評価の実施と結果

今年度調査対象の 10 事業所が、昨年度事業で開発を行った事業所自己評価システムを用い自己評価を行ったところ、１項目を除いた全ての項目で昨年度試行した訪問看護事業所の全国平均値より高値であった。また、10 事業所の全 39 項目の合計平均値は「103.2」で、全国平均値の「88.37」より「14.83」高かった。

５）調査からわかったシステムの課題

データの保存／出力機能・アラート機能・グラフ化機能について、今後の運用にあたって検討していく必要がある課題があることが明らかになった。

３．訪問看護事業所が目指す訪問看護サービス標準モデル提案に向けての利用者の特性別（疾患等別、介護者等別）分析と結果

第 5 章では、２．で収集したデータを用いて、利用者の特性別（疾患等別、介護者等別）に分析を行った。第 6 章では、機能強化型訪問看護事業所 10 カ所の利用者 515 人を対象とした分析結果を考察した。その結果得られた「訪問看護事業所の利用者の特性に応じた訪問看護サービス標準モデル」提案に向けた特徴的な内容を以下に示す。

１）疾患等別分析結果

○６歳以下の小児の利用者に対しては、医療と生活どちらの面も支えられる支援と共に、成長・発達段階の知識に基づいた成長への支援を行っている実態が示された。

・医療機器を使用している割合が 84.1%と約８割を占めていた。
・１か月あたりの訪問回数は平均 10.9 回、訪問時間は平均 613.8 分であった。
・93.0%の利用者に家族支援を行っていた。
・「成長と発達」のニーズがある利用者が 81.8%を占めていたが、そのうち 86.1%の利用者がニーズ解決していなくても状態を維持できていた。

○７歳～19 歳の小児の利用者に対しては、医療と生活どちらの面も支えられる支援と共に、成長・発達段階の知識に基づいて、利用者自身でできることを増やし、社会生活への行動拡大ができるようなセルフケア能力を高められる支援を行っている実態が示された。

・医療機器を使用している割合が 84.0%と約８割を占めていた。

・１か月あたりの訪問回数は平均 6.3 回、訪問時間は平均 368.3 分であった。
・全 37 個のニーズ項目のうち、平均 12.6 個のニーズをもっていた。
・「成長と発達」のニーズがある利用者が 76.0%を占めていたが、そのうち 94.7%の利用者がニーズ解決していなくても状態を維持できていた。
・「身体活動の推進」のニーズがある利用者が 80.0%を占めていたが、そのうち 95.0%の利用者が解決していなくても状態が維持していた。

〇がん末期の利用者に対しては、「痛み」に着目し、改善できるように様々な介入を行うことが必要であり、身体的痛みへの緩和だけでなく、全人的痛みへの緩和につながる看護ケアを行っている実態が示された。
・１か月あたりの訪問回数は平均 11.8 回、訪問時間が平均 629.6 分であった。
・連絡対応を 84.2%の利用者に行っていた。
・訪問看護の診療報酬・介護報酬が平均 129,838.6 万円であり、他の特性と比べて一番高かった。
・「痛み」のニーズがある利用者が 65.8%を占めていたが、看護師によるニーズ評価において、そのうち 32.0%の利用者がニーズ解決されていた。
・利用者・家族による QOL の評価では、23.7%の利用者の痛み（不快感）が改善していた。
・薬剤の管理・指導を 84.2%の利用者に対して行っていた。
・疾病や治療に関する説明・指導を 94.7%の利用者に対して行っていた。
・「ターミナル期」のニーズがある利用者が 86.8%を占めていたが、そのうち 27.3%の利用者が解決していた。
・QOL 評価において、「痛み」以外に、「訪問看護を利用する前に比べ身体が安定」が改善した利用者の割合が 31.6%であった。

〇がん以外の終末期の利用者に対しては、基本的な欲求を満たすための看護ケアを行いつつ、低栄養を原因とした褥瘡予防のためのケア提供に着目し、予防的介入を行っている実態が示された。同時に、徐々に悪化する身体状況に対応しつつ、少しでも安定した状態で過ごすための身体的、心理的・精神的、社会的な不安を含む全人的な看護ケアが提供されている実態が確認された。
・90 歳代の利用者が 47.1%であり、要介護５の利用者が 76.5%、寝たきり度がランクＣの利用者が 70.6%、認知症高齢者の日常生活自立度がⅣの利用者が 64.7%であった。
・EQ-5D は 11 月時点で 0.286 だったものが、12 月時点で 0.304 に上昇しており、生活の質（QOL）が高まっていた。
・利用者の基本的な欲求を満たすための看護ケア（清潔・衣生活・食事／栄養・排泄・睡眠・環境整備／調整）が積極的に行われており、１回の訪問で様々なケアを行う傾向があった。

・「褥瘡」のニーズがある利用者が 52.9%を占めていたが、そのうち 44.4%の利用者がニーズ解決されていた。
・64.7%の利用者に「低栄養」のニーズがあった。
・食事や栄養のケアを平均 6.5 回、環境整備・調整を平均 4.9 回行っていた。
・「ターミナル期」のニーズがある利用者が 70.6%を占めていたが、そのうち介入により解決したのは 8.3%であったが、66.7%の利用者がニーズ解決していなくても状態を維持できていた。
・QOL 評価において、「不安（ふさぎ込み）」が改善した利用者の割合が 29.4%であった。
・がん末期の利用者と比較すると、両者ともに訪問回数は約 11 回であり、連絡対応を実施した割合は、88.2%とがん末期の利用者とほぼ同程度であった。
・訪問看護の診療報酬・介護報酬は平均 88,412.3 円で、がん末期の利用者の平均 125,977.4 円に比べて低かった。

○神経難病の利用者に対しては、頻回な訪問と多くの時間の介入により、病状の進行をできるだけ遅らせ、状態を維持できるような看護ケア提供の実態が確認された。
・寝たきり度がランクＣの利用者が 40.7%であった。
・「ADL」のニーズがある利用者が 84.7%を占めていたが、そのうち 92.0%の利用者が解決していなくても状態が維持していた。
・１か月あたりの訪問回数は平均 12.3 回、訪問時間が平均 732.2 分であった。

○脳血管疾患の利用者に対しては、セルフケア能力を高め、身体機能の低下を予防する看護ケアが、状態の維持のために提供されていた。
・要介護５の利用者が 32.8%であった。
・「ADL」のニーズがある利用者は 90.2%、「身体活動の推進」は 70.5%、「健康管理・セルフケア」は 54.1%であり、介入により解決していなくても「状態が維持」した利用者は、それぞれ 89.1%、90.7%、90.9%であった。

○呼吸器疾患または循環器疾患の利用者に対しては、肺炎予防等の予防的関わりや心肺機能を維持向上するための呼吸訓練等のリハビリテーションなどの看護ケアが、実態として提供されていた。
・「心肺機能」のニーズがある利用者が 78.2%であり、介入により解決していなくても「状態が維持」した利用者が 85.2%であった。

○精神疾患の利用者に対しては、健康管理や睡眠という身体的なニーズへの看護ケアとともに、社会生活への不安を聞き取り、それを解消することで自信を持たせ、生活が送れるようにするための看護ケアが提供されていた。
・「気分」のニーズがある利用者は 82.8%、「社会関係」は 65.5%、「健康管理・セル

フケア」は 86.2%、「睡眠」は 44.8%であり、介入により解決していないが「状態が維持」した利用者は、それぞれ 75.0%、94.7%、72.0%、69.2%であった。

・QOL 評価では、「普段の活動（仕事、勉強、家族、余暇活動）」24.1%、「痛み（不快感）」27.6%、「不安（ふさぎ込み）」34.5%、「訪問看護を利用する前に比べ自信がついた」37.9%の利用者が改善しており、様々な QOL が改善していた。

・１か月あたりの訪問回数は平均 4.5 回、訪問時間が平均 254.5 分であった。

○認知症の利用者に対しては、認知症症状や対応方法を正しく理解したうえで、その利用者に合わせた対応、健康維持やセルフケア能力を維持・向上させることにより、認知低下や周辺症状を予防する看護ケアが提供されていた。

・要介護５の利用者が 30.2%、寝たきり度がランク C の利用者が 35.8%であった。

・「認知低下」のニーズがある利用者は 71.7%、「健康管理・セルフケア」は 58.5%であり、介入により解決していないが「状態が維持」した利用者は、それぞれ 84.2%、87.1%であった。

・訪問介護の併用が 47.2%と疾患等別分析の利用者の中で最も多かった。

２）介護者別分析結果

○主介護者がいない利用者に対しては、ADL の維持への支援とともに、生活面に着目した関わりや、訪問介護との連携（情報共有・介護職員への指導等）による支援が提供されている実態が示された。

・56.4%が訪問介護を併用しており、主介護者がいる利用者の 32.6%よりも高かった。

・「ADL」のニーズがある利用者が 56.4%であったが、100%の利用者が解決していなくても状態を維持できていた。

○独居の利用者に対しては、生活面に着目した関わりや、訪問介護との連携（情報共有・介護職員への指導等）による支援とともに、薬剤の管理や指導を看護師が主導して支援している実態が確認された。

・66.7%が訪問介護を併用しており、独居ではない利用者の 23.7%よりも高かった。

・薬剤の管理・指導の介入回数について、独居である利用者は平均 5.6 回であり、独居ではない利用者の平均 3.1 回より多かった。

４．訪問看護事業所が目指す訪問看護サービス標準モデル提案に向けての利用者の特性別（ニーズ別）分析と結果

第 5 章では、２．で収集したデータを用いて、利用者の特性別（ニーズ別）に分析を行った。第 6 章では、機能強化型訪問看護事業所 10 カ所の利用者 515 人を対象とした分析結果を考察した。その結果得られた「訪問看護事業所の利用者の特性に応じた訪問看護サービス標準モデル」提案に向けた特徴的な内容は以下の通りである。

ニーズ別分析結果については、第 5 章第 2 節の６．ニーズ別介入率の表（P227）に

おいて、介入率の 70%以上を◎、60%～70%未満を○、50%～60%未満を△、50%未満を空白で示しているが、どのニーズに対しても多くの看護ケアを 50%以上提供していることがわかる。また、このデータは、事業所自己評価の実施結果（第 4 章第 3 節）で示すように、全 39 項目中 1 項目を除いた全ての項目で全国平均値より高値であり、合計平均値は全国の「88.37」に対して「103.2」と 15 点程度高い評価ができる 10 か所の機能強化型訪問看護事業所の調査結果である。つまり、標準よりも高いレベルの事業所の調査から導き出した結果と考えることができるため、一般的な訪問看護事業所が目指すべき訪問看護サービスの標準モデルの一案として提示する。

５．今後の課題

今回は、調査対象の訪問看護事業所の種類（機能強化型）と量（10 事業所）及び利用者数（515 名）が限られた中での分析になったが、一定の成果が得られたところである。今後は調査対象の種類や量をより大きくすることで、『訪問看護の見える化』を検討するための分析と、より一般的な標準モデルが検討できると考えられる。

本調査におけるアウトカムは、訪問看護の介入だけのアウトカムというわけではなく、他の介護保険・医療保険・障害者等のサービスの介入すべてのアウトカムと考えられる。現実的には、訪問看護だけで在宅療養を支えている利用者は少なく、利用者や家族を中心に多くのサービスや職種がチームとなって活動している。そのような中、チーム内での訪問看護師の役割を把握し、他職種との連携を行いながら、看護の専門性を発揮できる介入を模索する必要がある。また、今回の調査では、調査期間を 1 か月間とし、その前後で状態の変化等を把握したが、調査期間前からの看護介入がアウトカムに影響していることを考慮する必要がある。さらに、今回の調査では、調査期間を 1 か月間としているが、それが最適とはいえず、状態の変化を把握するためには、どの程度の期間で評価すべきか、引き続き検討することが求められる。

上記の点を踏まえて、今後、システムおよび運用方法や調査方法を改善したうえで、多くの訪問看護事業所に協力いただき、一定期間、データを蓄積していくことで、調査対象の種類と量の限界という課題を解決でき、より正確な標準モデルの検討を行うためのデータ収集が可能となると考えられる。本調査は入力項目が多く、回答事業所の負担が大きかったという意見もあったことから、入力項目を厳選していくための検討も必要であると考えられる。そのことにより、今回示した「訪問看護事業所が目指す訪問看護サービスの標準モデル」の精度が高まり、多くの訪問看護事業所の指針として活用されることにつながる。

また、各事業所が、自事業所のデータを蓄積・分析することで、事業所ごとの標準モデルを検討し、自事業所の評価を行うためにデータを活用することも有用なものとなり、訪問看護の質を高めるための一助となる。

第１章　事業の実施概要

第1章　事業の実施概要

1. 事業の目的

世界に類を見ない速さで高齢化が進行している我が国において、社会保障政策の最重要課題の一つが、持続可能な医療・介護のシームレスな制度設定である。とりわけ重要なのは、在宅ケアの基盤整備であると言える。

そのような中、医療と介護の両方の役割を担うことのできる訪問看護サービスの効果的・効率的な提供を推進することは、地域包括ケアシステムを構築する上でも重要な課題である。さらに、訪問看護サービスがスムーズに提供されることは、在宅療養の継続、希望に沿った在宅での看取りの実現に一層、近づくことになる。

そのため、利用者の特性に応じたサービス内容や提供量、コスト等の実態について明らかにし、利用者の特性に応じた訪問看護のあり方等について検討することが必要であると考える。

具体的にはまず、多様かつ複雑化している利用者像を明らかにし、膨大なケアの特徴を抽出・類型化するための入力項目の選定およびこれらの項目のデータ入力システムを開発する。

その上で、機能強化型訪問看護事業所の500名程度の利用者に対し、そのシステムを利用して訪問看護事業所が行っている利用者の特性に応じたケアの実態を集積し分析することにより、訪問看護サービスの効果的かつ効率的な提供を推進することを目的とした、利用者の特性に応じた訪問看護サービスの標準モデルを提案する。

2. 事業実施体制

(1) 検討委員会

本事業を実施するにあたり、検討委員会を設置し、事業の検討・実施・報告書のとりまとめ等のため、検討委員会を３回開催した。

【委員長】
福井小紀子　　日本赤十字看護大学　教授

【委員】
安藤眞知子　　日本訪問看護財団　事務局次長
伊藤　雅治　　全国訪問看護事業協会　会長
上野　桂子　　全国訪問看護事業協会　副会長
齋藤　訓子　　日本看護協会　常任理事
鈴木　邦彦　　日本医師会　常任理事
高砂　裕子　　南区医師会訪問看護ステーション　管理者
林田　賢史　　産業医科大学病院医療情報部　部長
藤田　淳子　　日本赤十字看護大学　准教授

【事務局】
清崎由美子　　全国訪問看護事業協会　事務局長
吉原由美子　　全国訪問看護事業協会　業務主任
倉地　沙織　　全国訪問看護事業協会
木村美佐子　　全国訪問看護事業協会

【委託会社】
星芝由美子　　三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社　主任研究員
鈴木　陽子　　三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社　主任研究員
丸山　知美　　三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社　研究員

【検討委員会の開催時期・議題】

回数	開催日	議題
第１回	平成28年7月13日	１．事業内容の説明 ２．先駆的な取り組みの紹介 ３．「訪問看護の在り方」についてのフリーディスカッション
第２回	平成28年9月6日	１．調査概要および調査対象訪問看護事業所について ２．ケア実態の枠組みと項目について ３．システム構築の概要 ４．意見交換
第３回	平成29年3月7日	１．項目整理と結果とシステムの内容 ２．調査結果の報告 ３．「結果・取りまとめ」のための検討

(2) ワーキング委員会

　本事業を実施するにあたり、ワーキング委員会を設置し、運用システムの検討等のため、ワーキング委員会を４回開催した。

【委員長】

　福井小紀子　　日本赤十字看護大学　教授

【委員】

　石川　孝子　　上智大学　助教
　柏木　公一　　国立看護大学校　准教授
　佐野けさ美　　東京大学大学院　学術支援専門員
　清水　準一　　首都大学東京大学院　准教授
　高砂　裕子　　南区医師会訪問看護ステーション　管理者
　中島　朋子　　東久留米白十字訪問看護ステーション　所長
　林田　賢史　　産業医科大学病院医療情報部　部長
　藤田　淳子　　日本赤十字看護大学　准教授
　宮本　祥代　　石心会在宅事業部　統括所長

【事務局】

　清崎由美子　　全国訪問看護事業協会　事務局長
　吉原由美子　　全国訪問看護事業協会　業務主任
　倉地　沙織　　全国訪問看護事業協会
　木村美佐子　　全国訪問看護事業協会

【委託会社】

　星芝由美子　　三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社　主任研究員
　鈴木　陽子　　三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社　主任研究員
　丸山　知美　　三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社　研究員

【オブザーバー】

　添野　元秀　　いきいきメディケアサポート株式会社　部長

【ワーキング委員会の開催時期・議題】

回数	開催日	議題
第１回	平成 28 年 7 月 22 日	１．事業内容の説明、進捗 ２．先駆的な取り組みの紹介 ３．フリーディスカッション
第２回	平成 28 年 8 月 10 日	１．システム会社公募結果の報告 ２．システム構築（案）の説明 ３．ケア実態の枠組みと項目の検討 ４．調査対象訪問看護事業所について
第３回	平成 28 年 8 月 31 日	１．調査対象訪問看護事業所について ２．ケア実態の項目の検討 ３．調査対象者の選定方法について
第４回	平成 29 年 3 月 2 日	１．項目整理と結果とシステムの内容 ２．調査結果の報告

第２章　訪問看護のケア実態の
枠組みと項目の選定

第2章　訪問看護のケア実態の枠組みと項目の選定

第1節 実施概要

1. 目的

利用者の特性に応じたサービス内容や提供量、コスト等の実態について把握するため、まず、多様かつ複雑化している利用者像を明らかにし、膨大なケアの特徴を抽出・類型化するための枠組みと項目の選定を行った。

2. 方法

(1) 過去研究等（他団体）についての整理・検討

これまでの訪問看護サービス内容等のデータ蓄積を行っている団体（都道府県訪問看護連絡協議会等）や訪問看護事業所等のデータ項目や蓄積方法について整理した。

(2) 過去研究等（全国訪問看護事業協会）についての整理・検討

当協会の蓄積データ（過去の研究：タイムスタディ調査[※1]や看護的負荷の高い利用者に関する調査[※2]等）について整理した。

(3) 医療機関における項目についての情報収集

医療機関における「重症度、医療・看護必要度」や日本看護協会の「労働と看護の質向上のためのデータベース（DiNQL）」について情報収集を行った。

(4) 検討委員会・ワーキング委員会での検討

以上の様々なデータ等の整理から、訪問看護によるサービス提供が必要な利用者像(状態・病名・介護力等)、サービス内容、提供量、コスト、QOL 等について把握するための枠組みと項目について、検討委員会およびワーキング委員会で検討を行い、枠組みと項目を決定した。

決定した枠組みと項目については次項に掲載する。

※1　平成 22 年度老人保健健康増進等事業「24 時間訪問看護サービス提供の在り方に関する調査研究事業」

※2　平成 23 年度老人保健健康増進等事業「訪問看護の基礎強化に関する調査研究事業」

図表 2-1 訪問看護のケア実態の枠組みと項目

	枠組み	内容	調査時期	大項目	
ストラクチャー	(1)事業所情報	事業所の基本的な情報	調査開始時と調査終了時	1.事業開始年月日 2.法人等種別 3.併設施設・事業の有無 4.緊急時訪問看護加算（介護保険） 5.特別管理加算（介護保険） 6.看護体制強化加算（介護保険） 7.サービス提供体制強化加算（介護保険） 8.ターミナルケア加算（介護保険） 9.精神科訪問看護基本療養費（医療保険）	10.24時間体制加算（医療保険） 11.特別管理加算（医療保険） 12.機能強化型訪問看護管理療養費（医療保険） 13.訪問看護基本療養費注２及び注４に規定する専門の研修を受けた看護師（医療保険） 14.医療保険 15.介護保険（要支援） 16.介護保険（要介護）
	(2)職員情報	個々の職員の基本的な情報	調査開始時	1.職員番号 2.性別 3.当該ステーションでの勤務経験 4.勤務形態区分 5.届出常勤換算数 6.主たる資格種類 7.保有資格種類 8.認定看護師の専門分野	9.専門看護師の専門分野 10.認定看護管理者の認定 11.看護職経験年数（入職時） 12.医療機関における看護職経験年数（入職時） 13.訪問看護職経験年数（入職時） 14.小児科病棟での勤務経験（入職時） 15.精神科病棟での勤務経験（入職時） 16.精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師
	(3)利用者情報	疾患や状態（ステージ）、処置（加算）介護度、家族介護力、利用している他のサービス等	調査開始時と調査終了後また、変更があった都度修正する	1.主担当看護師番号 2.利用者番号 3.調査時点での年代 4.性別 5.保険種別 6.生活保護法による公費負担医療の有無 7.居住形態 8.家族形態（同居） 9.主介護者 10.（主介護者で01～10を回答した場合）主な介護者との同居状況 11.副介護者 12.家族構成 13.家族介護力 14.希望する療養場所（利用者） 15.希望する療養場所（家族） 16.ターミナル期かどうか 17.（ターミナル期の場合）希望する看取りの場所（利用者） 18.（ターミナル期の場合）希望する看取りの場所（家族） 19.加算算定状況（10月の状況） 20.別表８ 21.（04留置カテーテル使用の場合）留置カテーテルの種類	22.サービス利用開始年月日 23.利用前の状況 24.依頼者 25.サービス終了年月日 26.（サービス終了の場合）終了理由・入所（院） の状況 27.要介護度 28.障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 29.認知症高齢者の日常生活自立度 30.認知症に伴う危険行動の可能性 31.主疾患 32.副疾患 33.別表７に該当する疾病・状態の有無 34.医療機器等の使用有無 35.（医療機器等の使用の場合）医療機器等の使用状況 36.他の訪問看護事業所との併用 37.他に併用している介護保険サービス 38.他に併用している医療保険サービス 39.特別訪問看護指示書が出されているか 40.他に併用している自立支援法によるサービス 41.インフォーマルなサポート体制の有無（該当者のみ回答） 42.別表７の末期悪性腫瘍の利用者のケアプランが変更された回数 43.（退院直後の利用者）退院調整に係る回数・時間

	枠組み	内容	調査時期	大項目	
プロセス	(4)利用者のニーズ	利用者のニーズの選択とニーズに対してどのような視点があるか。 01　QOLの向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他	調査開始時点及び計画変更時	1.身体活動の推進 2.IADL 3.ADL 4.住環境の改善 5.施設入所のリスク 6.身体抑制 7.認知低下 8.せん妄 9.コミュニケーション 10.気分 11.行動 12.虐待 13.アクティビティ 14.インフォーマルな支援 15.社会関係 16.転倒 17.痛み 18.褥瘡 19.心肺機能	20.低栄養 21.脱水 22.胃ろう 23.検診・予防接種 24.適切な薬剤使用 25.喫煙と飲酒 26.尿失禁 27.便通 28.健康管理・セルフケア 29.感染・発熱の徴候 30.医療的処置や器材 31.家族介護力・家族機能 32.ターミナル期 33.成長と発達 34.睡眠 35.清潔 36.経済・制度利用の選択や変更・拡大 37.人間のセクシュアリティ
	(5)介入（訪問時）	訪問時実施している行為	訪問の都度	1.訪問者番号（職員番号） 2.内容 3.訪問時間 4.複数名訪問の有無 5.病状の観察 6.清潔のケア・指導 7.衣生活のケア・指導 8.食事や栄養のケア・指導 9.排泄のケア・指導 10.睡眠のケア・指導 11.環境整備・調整	12.リハビリテーション 13.疾病や治療に関する説明・指導（実施含む） 14.薬剤の管理・指導（介助含む） 15.医療処置の管理・実施・指導 16.精神的援助 17.意思決定支援 18.ターミナルケア 19.介護相談 20.家族支援 21.その他（安否確認等） 22.グリーフケア
	(6)介入（訪問以外）	電話・サービス担当者会議等	対応の都度	1.訪問者番号（職員番号） 2.内容 3.時間 4.対応方法 5.対象者 6.連絡対応の内容	7.その後の対応 8.会議等の内容 9.ステーションからの出席者 10.サマリー作成理由 11.その他の内容
アウトカム	(7)診療報酬・介護報酬	1か月間その利用者にかかる訪問看護のコスト（費用）	12月11日まで	介入（訪問時間・回数や加算等）の情報から計算する。 加えて、レセプトをPDFで取り込む。	
	(8)評価１	利用者ニーズの解決	計画の修正時と調査終了時	利用者ニーズで選択したニーズについて、以下を選択・入力する。 01 介入により解決した （ニーズの終了） 02介入したが解決していない 01　状態が改善 02　状態が維持 03　状態が悪化	利用者ニーズで選択した視点について、 01　QOLの向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他 訪問看護の関わりにより考えられた効果の有無を選択・入力する。
	(9)評価２	QOL調査（EQ-5D）	調査開始時と調査終了時	1.移動の程度 2.身の回りの管理 3.普段の活動（仕事、勉強、家族・余暇活動） 4.痛み／不快感	5.不安／ふさぎ込み 6.身体の状態が安定／苦痛・症状が和らいだ 7.不安や困ったことが軽減した 8.自宅での生活に自信をもつことができた

第３章　訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステムの開発

第3章　訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステムの開発

第1節 訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステムの開発

1. 目的

訪問看護事業所が行っている利用者の特性に応じたケアの実態を集積し分析するため、各訪問看護事業所がインターネット上で事業所情報や職員情報、利用者情報、介入の内容、利用者のニーズ、評価についての情報を入力するためのシステムを開発した。また、各訪問看護事業所が入力したデータを収集・集積するシステムを開発した。

2. システムの開発

(1) ウェブサイトの構築

1) ウェブサイトの概要

ウェブサイトの構造は、以下のようにした（詳細の項目については参考資料を参照)。

図表 3-1　ウェブサイトの構造

ログイン画面	それぞれの訪問看護事業所に振り分けたIDと設定したパスワード（初回のみ仮パスワード）によってログインする。
TOP画面	以下の項目で構成した。 ・ 利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価 ・ 介入（訪問時）・介入（訪問以外） ・ 事業所情報登録・更新 ・ 職員情報登録・更新
利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価画面	利用者の基本情報や利用者・家族に対して実施したQOL調査の結果を登録する。 また、立案した看護計画に沿って利用者ニーズの登録とその評価を登録する。
介入（訪問時）・介入（訪問以外）画面	訪問の内容や訪問以外（連絡対応・会議・サマリーの作成等）の内容について実施の都度登録する。
事業所情報登録・更新画面	事業所の基本情報について登録する。
職員情報登録・更新画面	個々の職員の基本情報について登録する。

2) ウェブサイトの画面

ウェブサイトの画面イメージは以下の通りである。

① ログイン画面

図表 3-2　ログイン画面

② TOP 画面

図表 3-3　TOP 画面

③ パスワード・メールアドレス変更画面

図表 3-4　パスワード・メールアドレス変更画面

④ 利用者情報登録・更新

図表 3-5　利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価画面

図表 3-6　利用者情報登録・更新画面

HOME　ログアウト　戻る

利用者情報登録･更新

主担当看護師　職員番号

基本情報

利用者番号

調査時点での年齢

- 0～3歳
- 4～6歳
- 7～9歳
- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳代
- 90歳代
- 100歳以上

性別　男性　女性

保険種別

- 医療保険
- 介護保険
- その他(公害･原爆･労災･障害他)

- 訪問看護基本療養費
- 精神科訪問看護基本療養費

生活保護法による公費負担医療の有無　あり　なし

居住形態

- 自宅(サービス付高齢者専用住宅除く)
- サービス付高齢者専用住宅
- グループホーム(障害･認知症)
- 有料老人ホーム
- その他

その他ならここに入力してください。

家族形態(同居)
(複数回答可)

- 配偶者
- 子
- 子の配偶者
- 孫
- 孫の配偶者
- 本人の父母
- 配偶者の父母
- 祖父母

図表 3-7　利用者 QOL 登録画面

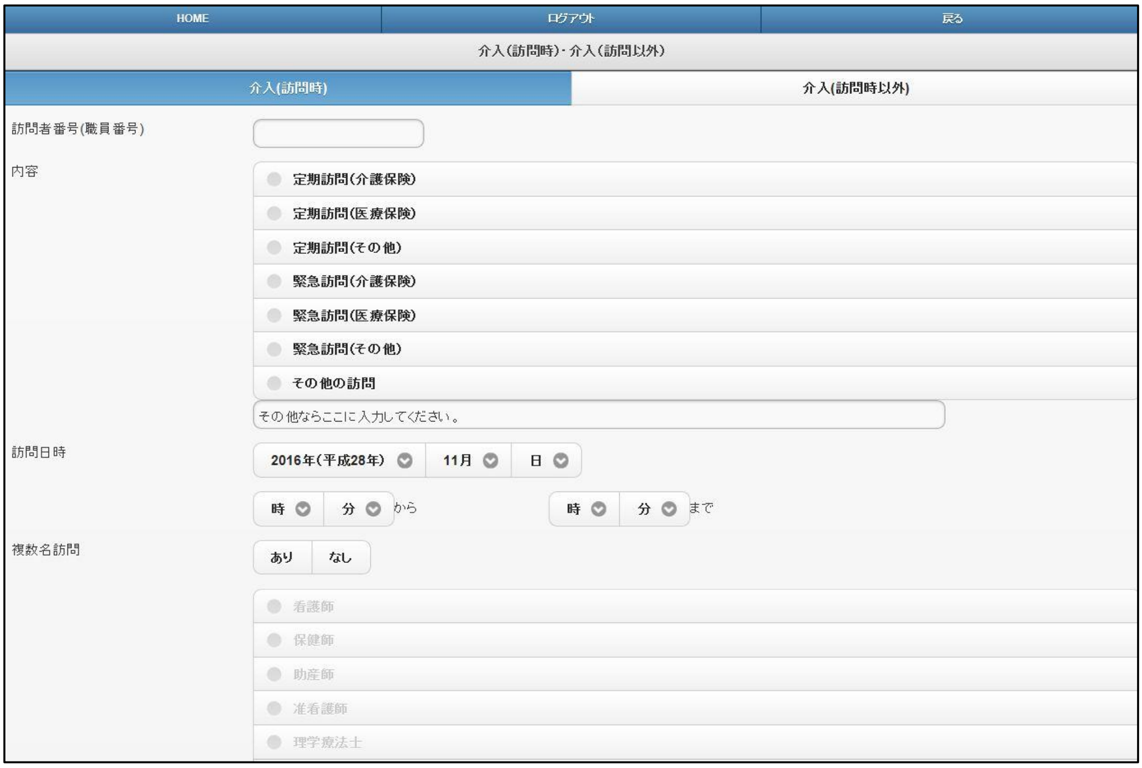
⑤ 利用者ニーズ登録・評価画面

図表 3-8　利用者ニーズ登録画面

図表 3-9　利用者ニーズ評価画面

⑥介入（訪問時）登録画面

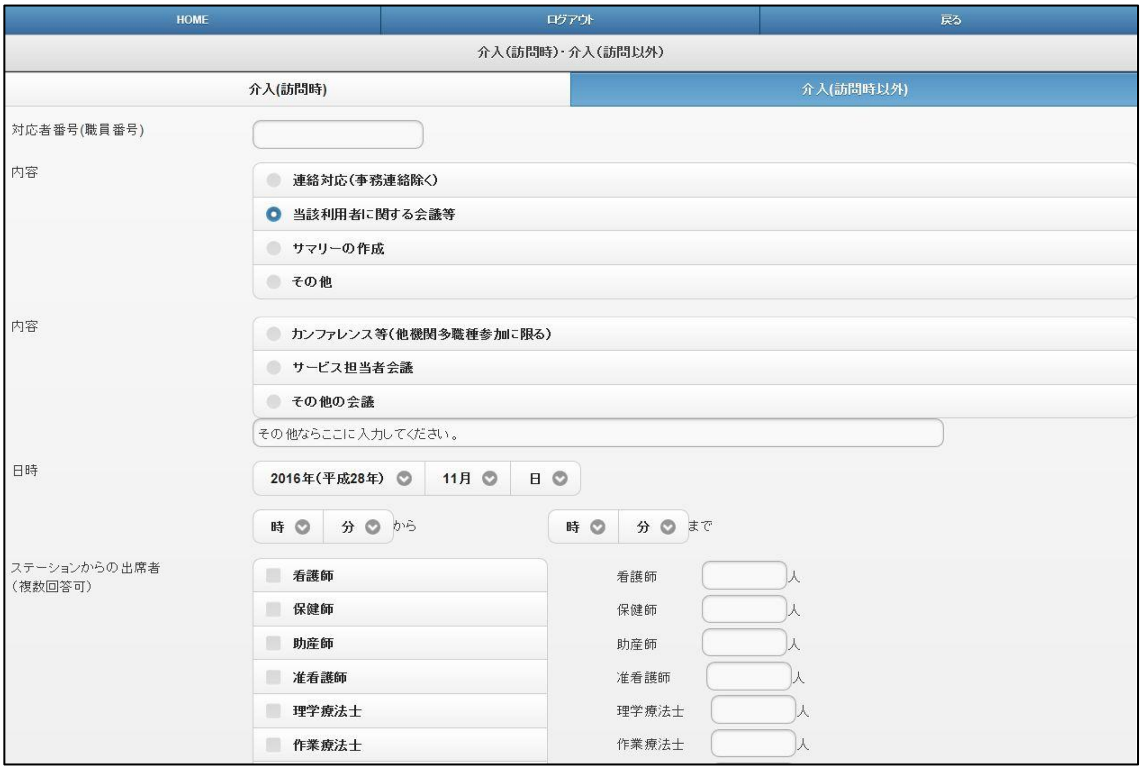
図表 3-10　介入（訪問時）登録画面



⑦ 介入（訪問以外_連絡対応）登録画面

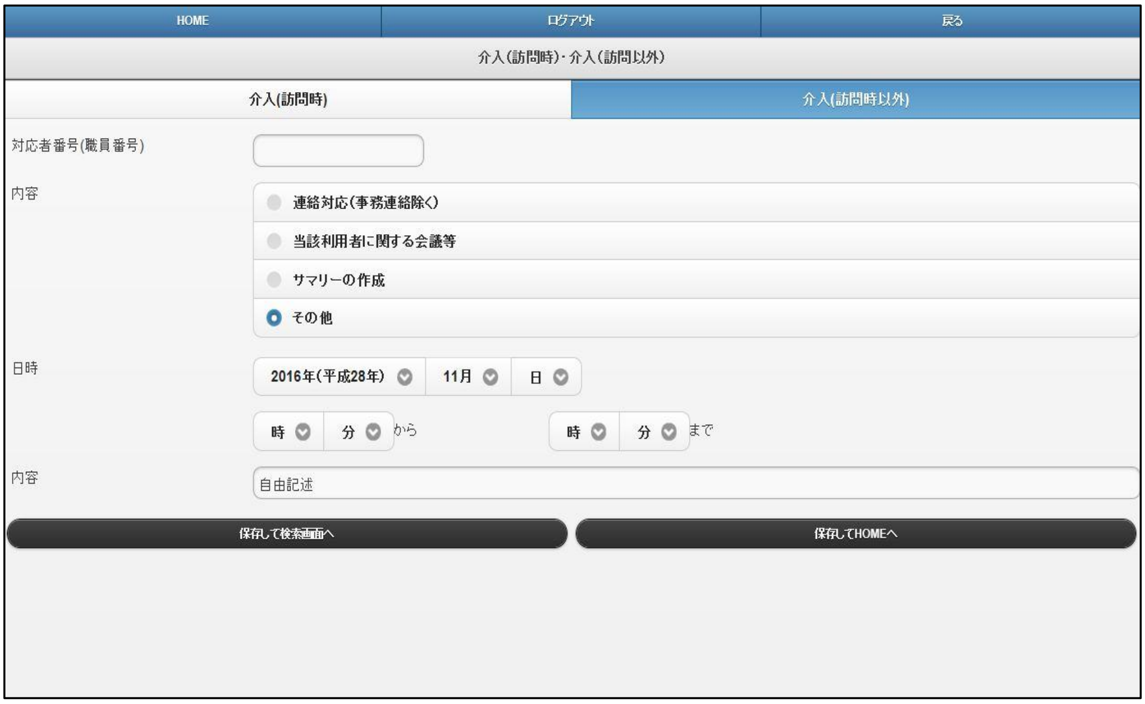
図表 3-11　介入（訪問以外_連絡対応）登録画面

図表 3-12　介入（訪問以外_会議等）登録画面



図表 3-13　介入（訪問以外_サマリー作成）登録画面

図表 3-14　介入（訪問以外_その他）登録画面



⑧ 事業所情報登録画面

図表 3-15　事業所情報登録画面

⑨ 職員情報登録画面

図表 3-16　職員情報登録画面

第４章　訪問看護のケア実態
収集・集積のための
調査の実施と基本的な結果

第4章　訪問看護のケア実態収集・集積のための調査の実施と基本的な結果

第1節 訪問看護事業所のケア実態収集・集積のための調査の実施方法

1. 目的

訪問看護のケア実態の枠組みと項目について、第２章で整理・検討を行った。第２章における項目を調査するために、第３章ではシステムを開発した。

本調査ではシステムを運用し、実際にデータを収集・集積するとともに、システムの評価を行い、課題を抽出することを目的とした。また収集したデータについて、利用者の特性等別に分析を行い、第５章に掲載した。

2. 対象

本調査の対象事業所は、機能強化型訪問看護管理療養費１または２を算定している訪問看護事業所 10 事業所について委員会で選定を行った。対象者については、医療保険もしくは介護保険対象の在宅の利用者（施設入居者除く）で、11 月中の利用予定者のうち、以下の条件でそれぞれ抽出を行った結果、合計 515 名の利用者を対象とした。

＜選定条件＞
以下の①～⑧の疾患・状態の利用者をそれぞれ５名程度、サービス開始が近い利用者から選ぶ。

①がん末期の利用者	②がん以外の終末期の利用者
③神経難病	④脳血管疾患
⑤呼吸器疾患または循環器疾患	⑥小児
⑦精神疾患	⑧認知症

3. 調査方法

10 事業所においてシステムにデータを入力してもらった後、データを出力し、分析を行った。その結果、下記が集計対象数である。

職員数：209 名
利用者数：515 名

4. 調査実施期間

平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日

第2節 訪問看護事業所のケア実態収集・集積のための調査で収集したデータの集計結果

1. 事業所情報

回答事業所は、機能強化型訪問看護管理療養費１または２を算定している訪問看護事業所 10 事業所である。

(1) 基本情報

1) 事業開始年

事業開始年は、「平成７年～平成 16 年」が５件、「平成 17 年～平成 21 年」は３件、「平成６年以前」は２件であった。

図表 4-1 事業開設年 (n=10)

	事業所数(件)
平成 6 年以前	2
平成 7 年～平成 16 年	5
平成17年～平成21年	3
合計	10

2) 法人等種別

法人等種別は、「医療法人」、「営利法人」がそれぞれ３件、「看護協会」、「医師会」、「社団・財団法人（医師会・看護協会除く）」「社会福祉法人（社協以外）」がそれぞれ１件であった。

図表 4-2 法人等種別 (n=10)

	事業所数(件)
医療法人	3
看護協会	1
医師会	1
社団・財団法人(医師会・看護協会除く)	1
社会福祉法人(社協以外)	1
営利法人	3
合計	10

3) 併設施設・事業所

すべての事業所に併設施設・事業所があった。併設施設・事業所の種類は、「居宅介護支援事業所」が９件、「病院」「介護老人保健施設」「訪問介護事業所」「通所介護事業所」がそれぞれ３件であった。

図表 4-3　併設施設・事業所の有無　(n=10)

	事業所数(件)
あり	10
なし	0
合計	10

図表 4-4　併設施設・事業所の種類（複数回答）(n=10)

	事業所数(件)
病院	3
診療所	1
介護老人保健施設	3
特別養護老人ホーム	1
訪問介護事業所	3
通所介護事業所	3
小規模多機能型居宅介護事業所	1
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	1
居宅介護支援事業所	9
その他	7
合計	10

その他回答

・ NPO 法人　高齢者･障害者支援(訪問散髪　福祉有償運送　保険外ヘルプサービスなど)
・介護保険福祉用具貸与・販売・住宅改修、地域包括支援センター
・検診センター
・児童発達支援事業所・放課後デイサービス
・地域包括支援センター、福祉用具貸与事業所
・有料老人ホーム
・指定障がい児通所支援事業所

(2) 加算届出状況（11 月 1 日時点）

1) 介護保険

① 緊急時訪問看護加算

すべての事業所が緊急時訪問看護加算を届け出ていた。

図表 4-5　緊急時訪問看護加算　(n=10)

	事業所数(件)
あり	10
なし	0
合計	10

② 特別管理加算

すべての事業所が特別管理加算を届け出ていた。

図表 4-6　特別管理加算　(n=10)

	事業所数(件)
あり	10
なし	0
合計	10

③ 看護体制強化加算

看護体制強化加算を届け出ている事業所は１件であった。

図表 4-7　看護体制強化加算　(n=10)

	事業所数(件)
あり	1
なし	9
合計	10

④ サービス提供体制強化加算

サービス提供体制強化加算を届け出ている事業所は９件であった。

図表 4-8　サービス体制強化加算　(n=10)

	事業所数(件)
あり	9
なし	1
合計	10

⑤ ターミナルケア体制

ターミナルケア体制を届け出ている事業所は８件であった。

図表 4-9　ターミナルケア体制　(n=10)

	事業所数(件)
あり	8
なし	2
合計	10

2) 医療保険

① 精神科訪問看護基本療養費

精神科訪問看護基本療養費を届け出ている事業所は７件であった。

図表 4-10　精神科訪問看護基本療養費(n=10)

	事業所数(件)
あり	7
なし	3
合計	10

② 24 時間対応体制加算

すべての事業所が 24 時間対応体制加算を届け出ていた。

図表 4-11　24 時間対応体制加算 (n=10)

	事業所数(件)
あり	10
なし	0
合計	10

③ 特別管理加算

すべての事業所が特別管理加算を届け出ていた。

図表 4-12　特別管理加算　(n=10)

	事業所数(件)
あり	10
なし	0
合計	10

④ 機能強化型訪問看護管理療養費

本調査は機能強化型訪問看護管理療養費を届け出ている訪問看護事業所が対象である。機能強化型訪問看護管理療養費１を届け出ている事業所が７件、機能強化型訪問看護管理療養費２を届け出ている事業所が３件であった。

機能強化型訪問看護管理療養費の届出要件別に直近１年間の数でみると、ターミナルケア療養費の算定件数が平均 20.9 件、ターミナルケア加算の算定件数が平均 7.6 件、在宅で死亡した利用者のうち保険医療機関で在宅がん医療総合診療料の算定件数が平均 0.2 件、各月の超重症児の合計利用者数は平均 44.5 人、各月の準超重症児の合計利用者数は平均 26.0 人、各月の別表７の該当合計利用者数は平均 313.3 人であった。

図表 4-13　機能強化型訪問看護管理療養費（n=10)

	事業所数（件）
あり	10
なし	0
合計	10

図表 4-14　機能強化型訪問看護管理療養費の種別（n=10)

	事業所数（件）
機能強化型訪問看護管理療養費1	7
機能強化型訪問看護管理療養費2	3
合計	10

図表 4-15　機能強化型訪問看護管理療養費の算定要件別　直近1年間における該当数

	事業所数（件）	平均値（件）	標準偏差	中央値（件）
ターミナルケア療養費の算定件数	10	20.9	10.5	20.5
ターミナルケア加算の算定件数	10	7.6	6.6	6.5
在宅で死亡した利用者のうち 保険医療機関で在宅がん医療総合診療料の算定件数	10	0.2	0.6	0
各月の超重症児の合計利用者数	10	44.5	48.8	32
各月の準超重症児の合計利用者数	10	26.0	23.5	20
各月の別表7の該当合計利用者数	10	313.3	183.0	261

⑤ 訪問看護基本療養費注２及び注４に規定する専門の研修を受けた看護師（医療保険）

訪問看護基本療養費注２及び注４に規定する専門の研修を受けた看護師がいる事業所は１件であり、緩和ケアに係る専門の研修を受講していた。

図表 4-16　訪問看護基本療養費注2及び注4に規定する専門の研修を受けた看護師（医療保険）

(n=10)

	事業所数(件)
あり	1
なし	9
合計	10

(3) 事業所の利用者数・延べ訪問回数

1) 利用者数（実人数）

回答事業所の利用者数（実人数）について、医療保険は１事業所あたり平均 58.5 人、介護保険（要支援）は１事業所あたり平均 25.1 人、介護保険（要介護）は１事業所あたり平均 142.8 人であった。

図表 4-17　利用者数(実人数)

	事業所数 （件）	平均値 （人）	標準偏差	中央値 （人）
医療保険	10	58.5	30.6	48.5
介護保険(要支援)	10	25.1	17.0	29.5
介護保険(要介護)	10	142.8	86.1	129.5

2) 延べ訪問回数

利用者の延べ訪問回数について、医療保険は１事業所あたり平均 545.6 回、介護保険（要支援）は１事業所あたり平均 99.3 回、介護保険（要介護）は１事業所あたり平均 834.7 回であった。

図表 4-18　延べ訪問回数

	事業所数 （件）	平均値 （回）	標準偏差	中央値 （回）
医療保険	10	545.6	346.0	420
介護保険(要支援)	10	99.3	65.3	112
介護保険(要介護)	10	834.7	442.1	821.5

2. 職員情報

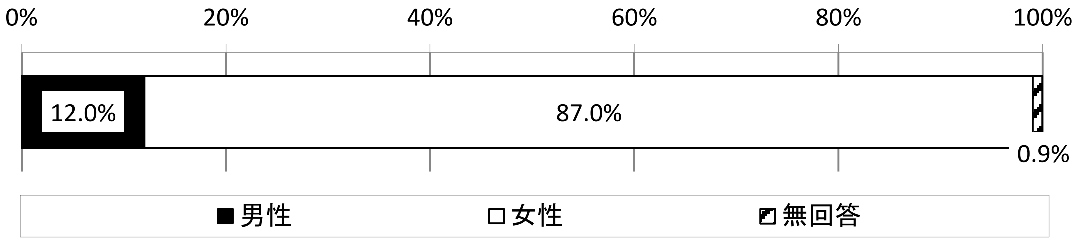
回答があった職員数全体は 209 名であった。

(1) 基本情報

1) 性別

性別は、「男性」が 12.0%、「女性」が 87.0%であった。

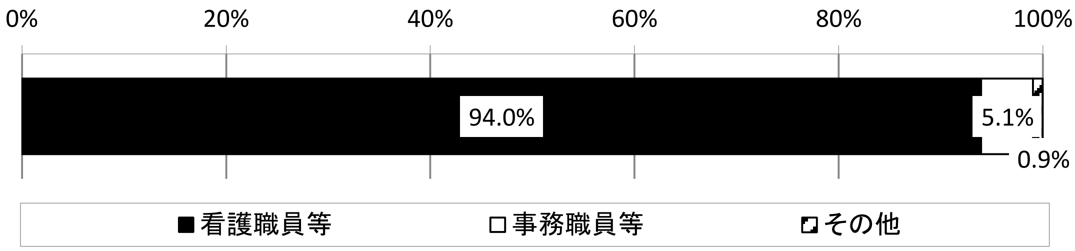
図表 4-19　性別（n=209）



2) 職員区分

職員区分は「看護職員等」が 94.0%、「事務職員等」が 5.1%であった。

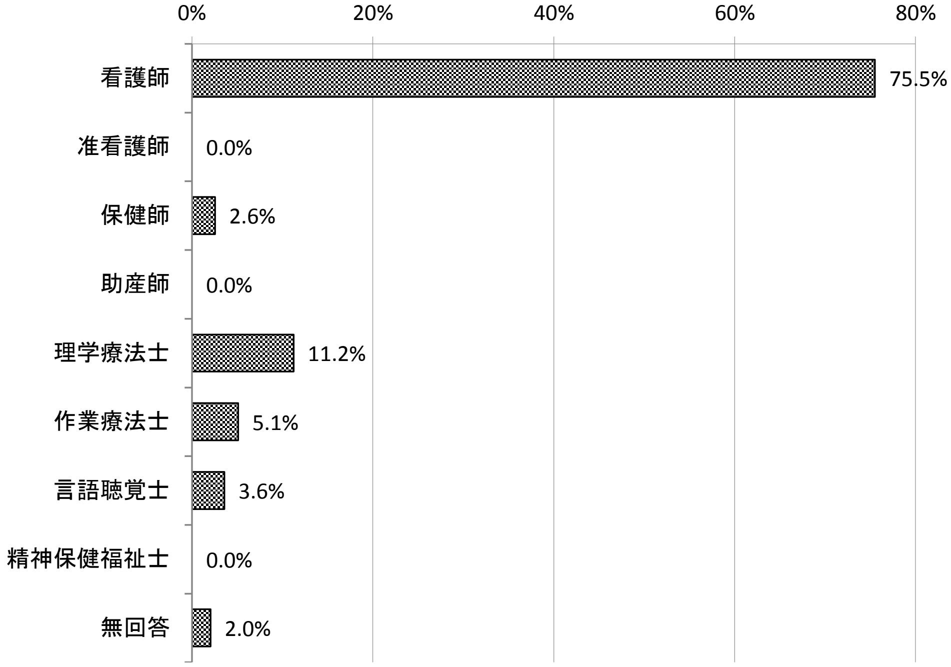
図表 4-20　職員区分(n=209)



3) 主たる資格種類

看護職員等のうち、主たる資格種類は、「看護師」が 75.5%、「理学療法士」が 11.2%で、「作業療法士」が 5.1%であった。

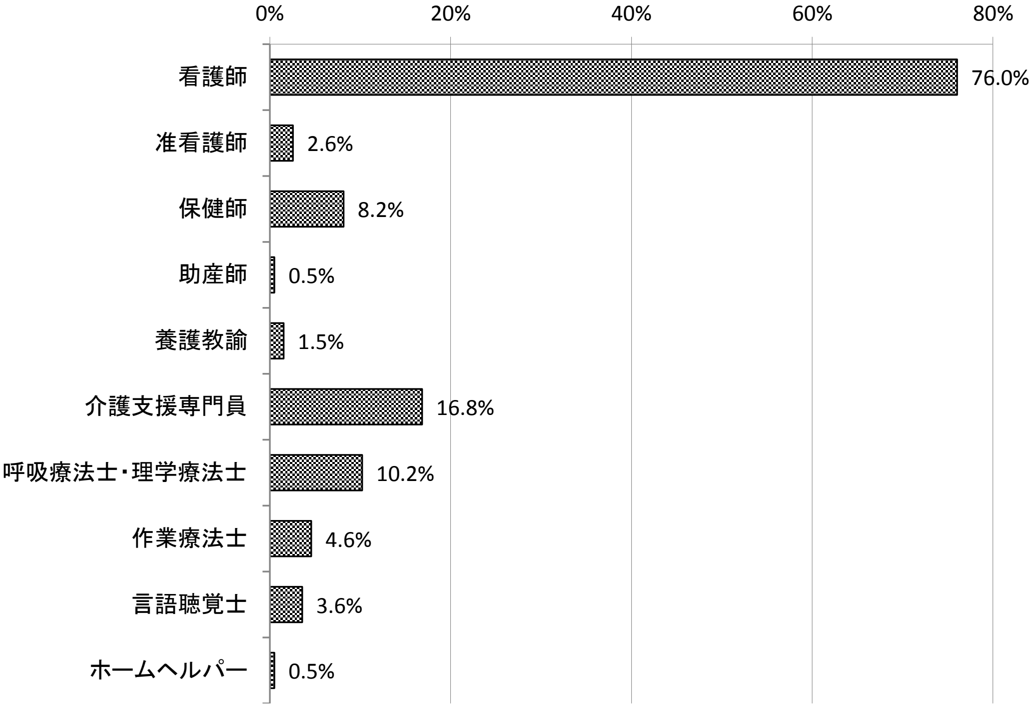
図表 4-21　看護職員等の主たる資格種類（複数回答）（n=196）



4) 保有資格種類

看護職員等のうち、保有資格種類は、「看護師」が 76.0%、「介護支援専門員」が 16.8% で、「呼吸療法士・理学療法士」が 10.2%であった。

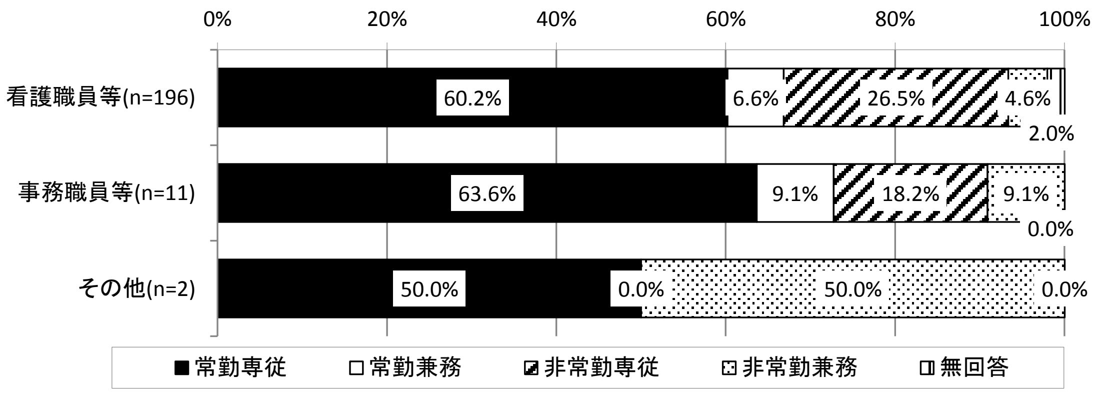
図表 4-22　看護職員等の保有資格種類（複数回答）（n=196）



5) 勤務形態区分

看護職員等の勤務形態区分は、「常勤専従」が 60.2%、「常勤兼務」は 6.6%、「非常勤専従」は 26.5%であった。

図表 4-23　職種別　勤務形態区分



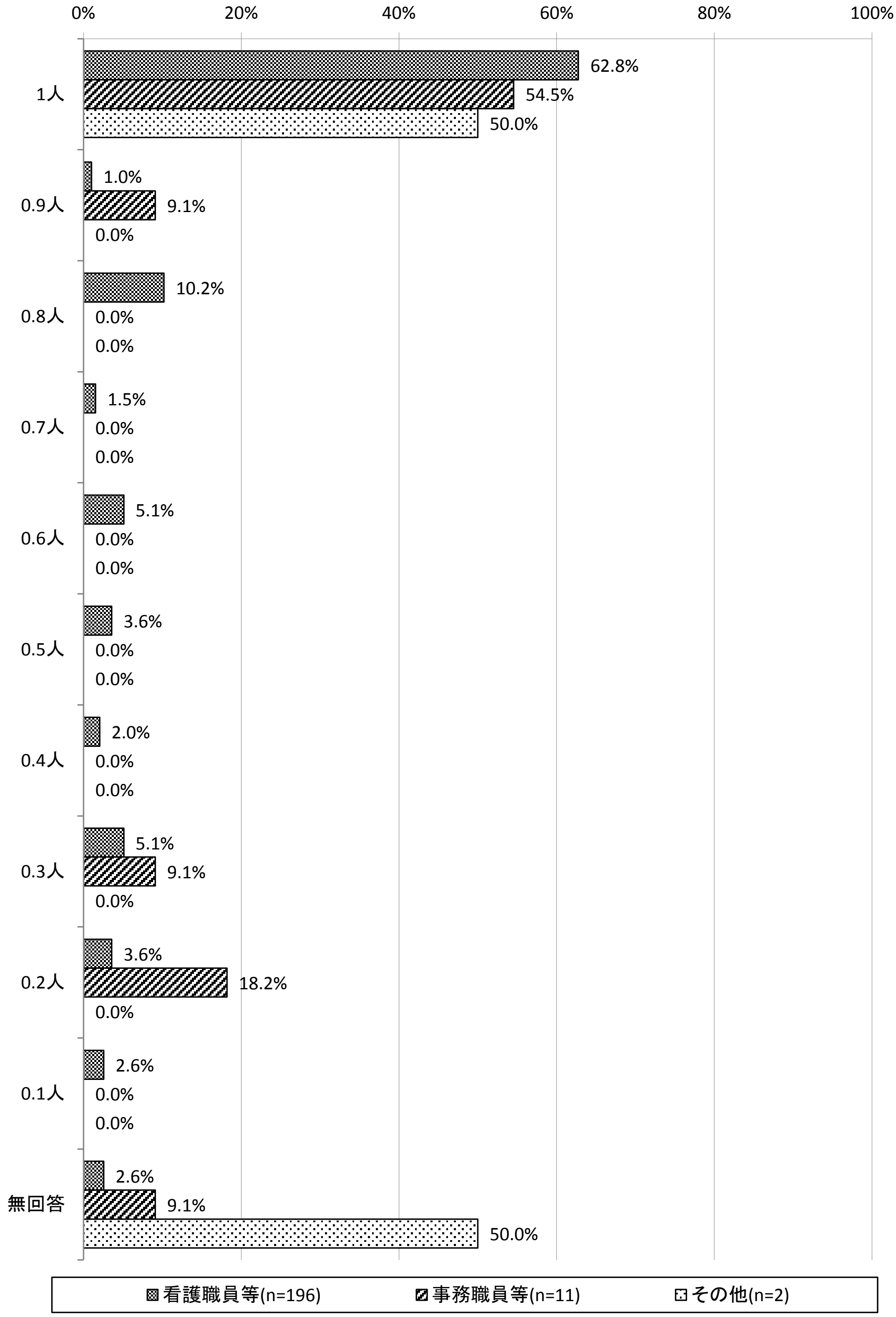
図表 4-24　看護職員等の職種（資格）別　勤務形態区分

	合計	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	非常勤兼務	無回答
看護師	148 100.0%	90 60.8%	9 6.1%	44 29.7%	5 3.4%	0 0.0%
准看護師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保健師	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
助産師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
理学療法士	22 100.0%	14 63.6%	3 13.6%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%
作業療法士	10 100.0%	8 80.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
言語聴覚士	7 100.0%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

6) 届出常勤換算数

看護職員等の届出常勤換算数は「1 人」が 62.8%であった。

図表 4-25　職種別　届出常勤換算数



図表 4-26　職種（資格）別　届出常勤換算数

	合計	1人	0.9人	0.8人	0.7人	0.6人	0.5人
全体	209	130	3	20	3	10	7
	100.0%	62.2%	1.4%	9.6%	1.4%	4.8%	3.3%
看護師	148	93	2	17	3	9	5
	100.0%	62.8%	1.4%	11.5%	2.0%	6.1%	3.4%
准看護師	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保健師	5	2	0	1	0	1	0
	100.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
助産師	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理学療法士	22	16	0	1	0	0	1
	100.0%	72.7%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%
作業療法士	10	8	0	1	0	0	0
	100.0%	80.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
言語聴覚士	7	4	0	0	0	0	1
	100.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
精神保健福祉士	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	合計	0.4人	0.3人	0.2人	0.1人	無回答
全体	209	4	11	9	5	7
	100.0%	1.9%	5.3%	4.3%	2.4%	3.3%
看護師	148	1	10	4	3	1
	100.0%	0.7%	6.8%	2.7%	2.0%	0.7%
准看護師	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保健師	5	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
助産師	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理学療法士	22	2	0	1	1	0
	100.0%	9.1%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%
作業療法士	10	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
言語聴覚士	7	1	0	1	0	0
	100.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
精神保健福祉士	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

7) 勤務経験年数

勤務経験年数は、平均 5.4 年であった。職種別にみると、看護職員等が平均 5.3 年、事務職員等が平均 6.2 年であった。看護職員等の勤務経験年数について、職種（資格）別にみると、看護師が平均 5.5 年、保健師が平均 9.4 年であった。

図表 4-27　職種別　勤務経験年数

	回答件数（件）	平均値（年）	標準偏差	中央値（年）
全体	196	5.4	5.2	3.6
看護職員等	183	5.3	5.2	3.6
事務職員等	11	6.2	5.3	4.6
その他	2	4.0	2.9	4.0

図表 4-28　職種（資格）別　看護職員等勤務経験年数

	回答件数（件）	平均値（年）	標準偏差	中央値（年）
看護師	141	5.5	5.3	3.7
准看護師	0	－	－	－
保健師	5	9.4	9.2	3.9
助産師	0	－	－	－
理学療法士	21	4.4	4.2	3.5
作業療法士	9	4.7	4.3	2.8
言語聴覚士	7	2.5	1.8	2.2
精神保健福祉士	0	－	－	－

8) 医療職経験年数（入職時）

入職時の医療職経験年数は、平均 12.6 年であった。職種（資格）別にみると、看護師が平均 14.4 年、保健師が平均 8.6 年、作業療法士が 9.1 年であった。

図表 4-29　職種（資格）別　入職時の医療職経験年数（年換算）

	回答件数（件）	平均値（年）	標準偏差	中央値（年）
全体	181	12.6	8.7	11.0
看護師	139	14.4	8.5	12.0
准看護師	0	−	−	−
保健師	5	8.6	5.6	7.0
助産師	0	−	−	−
理学療法士	21	6.1	6.4	4.5
作業療法士	9	9.1	6.4	10.0
言語聴覚士	7	2.5	2.9	2.2
精神保健福祉士	0	−	−	−

9) 医療機関における医療職経験年数（入職時）

入職時の医療機関における医療職経験年数は、平均 9.9 年であった。職種（資格）別にみると、看護師が平均 11.7 年、保健師が平均 5.6 年であった。

図表 4-30　職種（資格）別　入職時の医療機関における医療職経験年数（年換算）

	回答件数（件）	平均値（年）	標準偏差	中央値（年）
全体	181	9.9	7.5	9.0
看護師	139	11.7	7.3	10.0
准看護師	0	−	−	−
保健師	5	5.6	2.9	6.3
助産師	0	−	−	−
理学療法士	21	4.0	5.5	2.8
作業療法士	9	4.9	2.7	5.3
言語聴覚士	7	1.0	1.5	0.0
精神保健福祉士	0	−	−	−

10) 訪問看護職経験年数（入職時）

入職時の訪問看護職経験年数は、平均 2.2 年であった。職種（資格）別にみると、看護師が平均 2.6 年、保健師が平均 0.8 年であった。

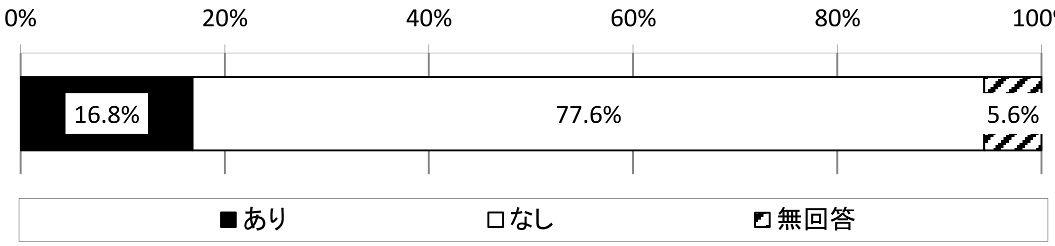
図表 4-31　職種（資格）別　入職時の訪問看護職経験年数（年換算）

	回答件数（件）	平均値（年）	標準偏差	中央値（年）
全体	183	2.2	4.3	0.0
看護師	141	2.6	4.6	0.0
准看護師	0	−	−	−
保健師	5	0.8	1.3	0.5
助産師	0	−	−	−
理学療法士	21	1.1	3.2	0.0
作業療法士	9	1.1	2.3	0.0
言語聴覚士	7	0.0		0.0
精神保健福祉士	0	−	−	−

11) 小児科病棟での勤務経験（入職時）

入職時の小児科病棟での勤務経験について、「有」が 16.8%であった。職種（資格）別にみると、看護師が 21.6%、理学療法士が 4.5%、他の職種は勤務経験がなかった。

図表 4-32　小児科病棟での勤務経験の有無（n=196）



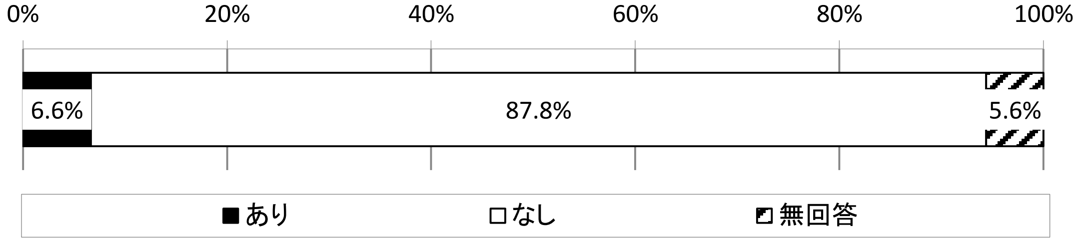
図表 4-33　職種（資格）別　入職時の小児科病棟での勤務経験の有無

	合計	あり	なし	無回答
全体	196 100.0%	33 16.8%	152 77.6%	11 5.6%
看護師	148 100.0%	32 21.6%	111 75.0%	5 3.4%
准看護師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保健師	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
助産師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
理学療法士	22 100.0%	1 4.5%	20 90.9%	1 4.5%
作業療法士	10 100.0%	0 0.0%	9 90.0%	1 10.0%
言語聴覚士	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

12) 精神科病棟での勤務経験（入職時）

入職時の精神科病棟での勤務経験について、「有」が 6.6%であった。職種（資格）別にみると、看護師が 8.1%、作業療法士が 10.0%、他の職種は勤務経験がなかった。

図表 4-34　入職時の精神科病棟での勤務経験の有無（n=196）



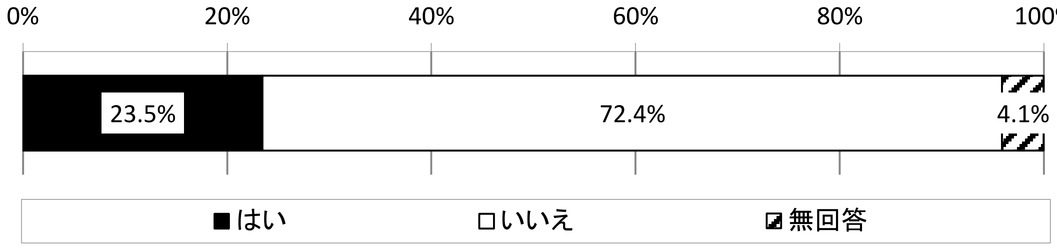
図表 4-35　職種（資格）別　入職時の精神科病棟での勤務経験の有無

	合計	あり	なし	無回答
全体	196 100.0%	13 6.6%	172 87.8%	11 5.6%
看護師	148 100.0%	12 8.1%	131 88.5%	5 3.4%
准看護師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保健師	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
助産師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
理学療法士	22 100.0%	0 0.0%	21 95.5%	1 4.5%
作業療法士	10 100.0%	1 10.0%	8 80.0%	1 10.0%
言語聴覚士	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

13) 精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師

精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師である職員は 23.5%であった。職種（資格）別にみると、看護師が 24.3%、保健師が 80.0%、作業療法士が 60.0%であった。

図表 4-36　精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師（n=196）



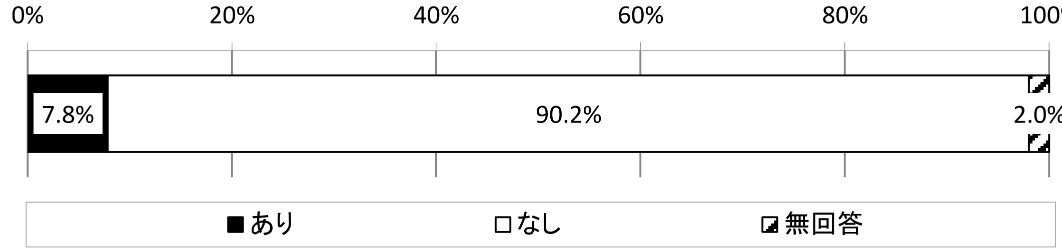
図表 4-37　職種（資格）別　精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師の有無

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	196 100.0%	46 23.5%	142 72.4%	8 4.1%
看護師	148 100.0%	36 24.3%	110 74.3%	2 1.4%
准看護師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保健師	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
助産師	0 0.0%			
理学療法士	22 100.0%			
作業療法士	10 100.0%	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%
言語聴覚士	7 100.0%			
精神保健福祉士	0 0.0%			

14) 認定看護師

認定看護師は 7.8%であった。認定看護師（12 名）のうち、訪問看護を専門分野にしている看護師が 10 名、保健師が 1 名、緩和ケアを専門にしている看護師が 1 名であった。

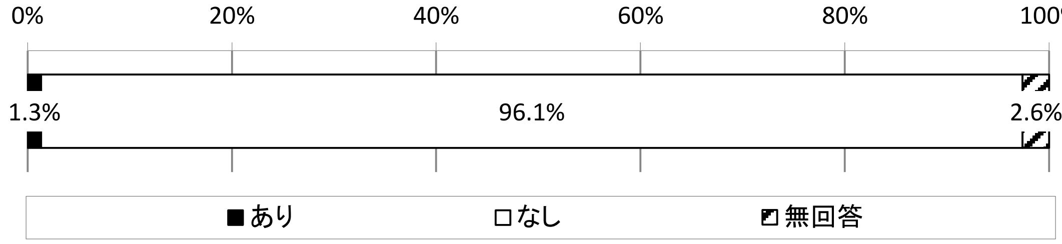
図表 4-38　認定看護師（n=153）



15) 専門看護師

専門看護師は 1.3%（２名）であった。専門看護師は、２名とも精神看護を専門分野にしていた。

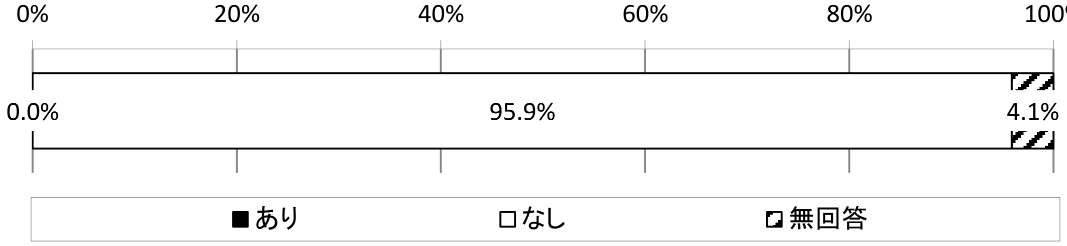
図表 4-39　専門看護師（n=153）



16) 認定看護管理者

認定看護管理者はいなかった。

図表 4-40　認定看護管理者（n=196）



3. 利用者情報

(1) 利用者の抽出条件

本調査の対象は、機能強化型訪問看護管理療養費１または２を算定している訪問看護事業所 10 事業所から、以下の条件でそれぞれ抽出された合計 515 名の利用者である。

＜選定条件＞
以下の①～⑧の疾患・状態の利用者をそれぞれ５名程度、サービス開始が近い利用者から選ぶ。

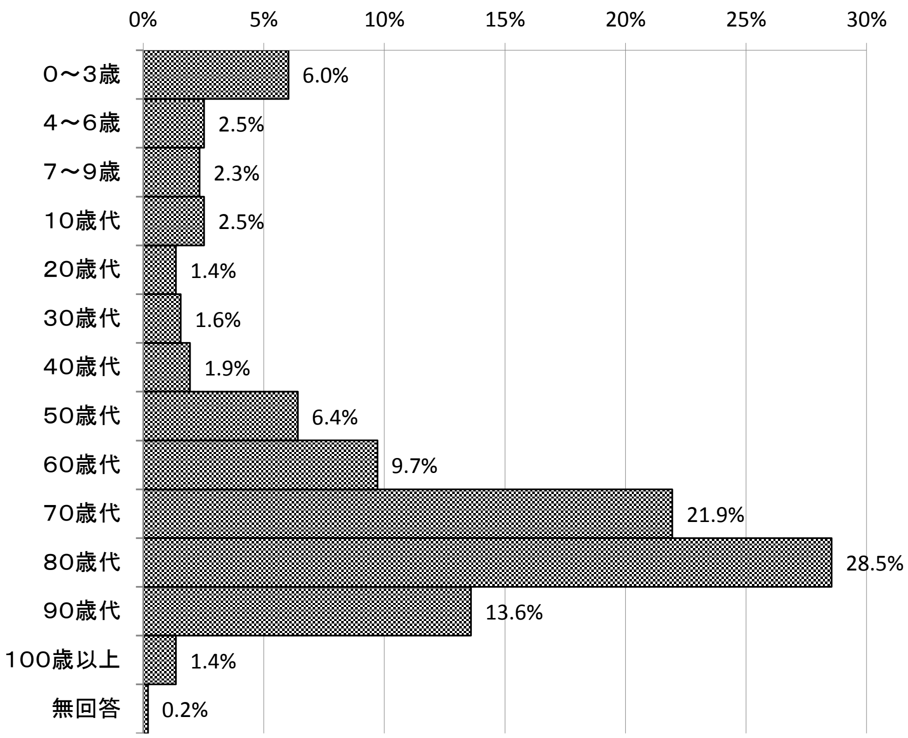
①がん末期の利用者	②がん以外の終末期の利用者
③神経難病	④脳血管疾患
⑤呼吸器疾患または循環器疾患	⑥小児
⑦精神疾患	⑧認知症

(2) 基本情報

1) 年齢

年齢は、「80 歳代」が 28.5%、「70 歳代」は 21.9%で、「90 歳代」は 13.6%であった。

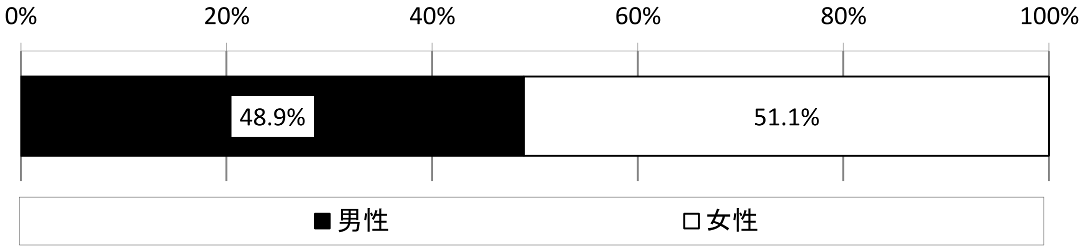
図表 4-41　調査時点での年齢（n=515）



2) 性別

性別は、「男性」が 48.9%、「女性」は 51.1%であった。

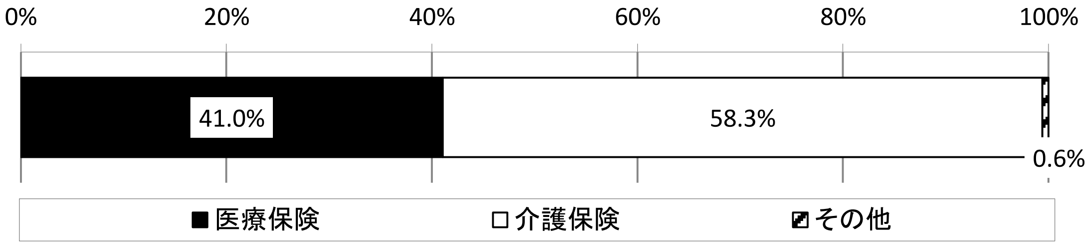
図表 4-42　性別（n=515）



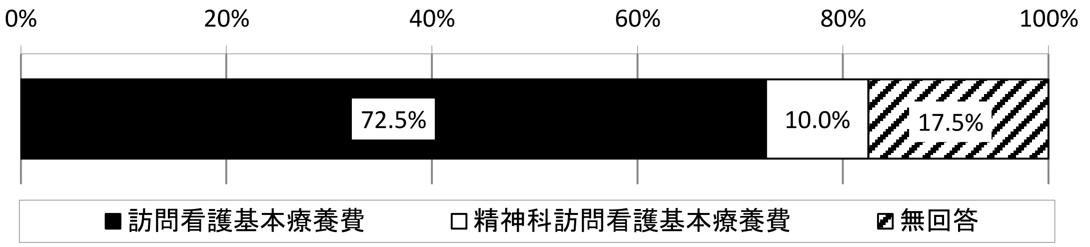
3) 保険種別

保険種別は、「医療保険」が 41.0%、「介護保険」は 58.3%であった。医療保険のうち、「訪問看護基本療養費」を算定している利用者は 72.5%、「精神科訪問看護基本療養費」を算定している利用者は 10.0%であった。

図表 4-43　保険種別（n=515）



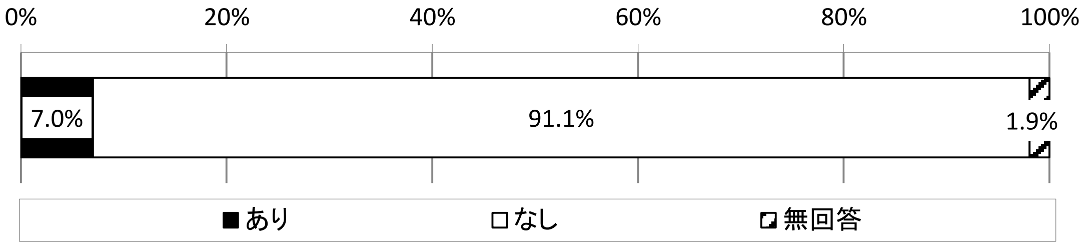
図表 4-44　医療保険種別（n=211）



4) 生活保護法による公費負担医療

生活保護法による公費負担医療を受けている利用者は、7.0%であった。

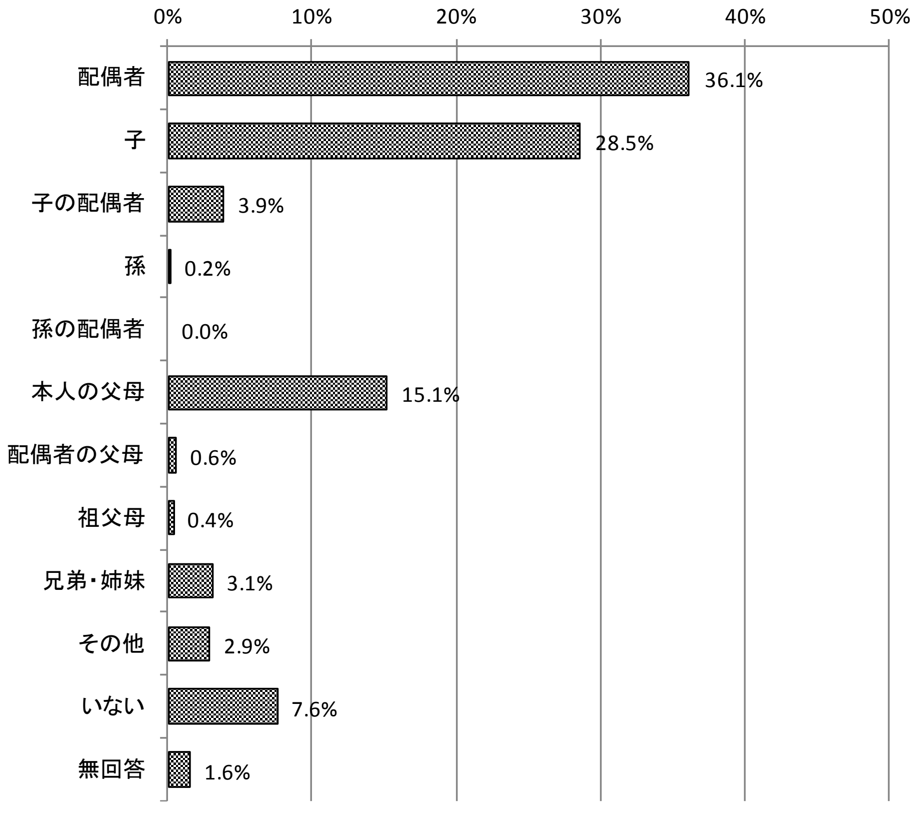
図表 4-45　生活保護法による公費負担医療の有無（n=515）



5) 主介護者

主介護者は、「配偶者」が 36.1%、「子」が 28.5%、「本人の父母」が 15.1%であった。

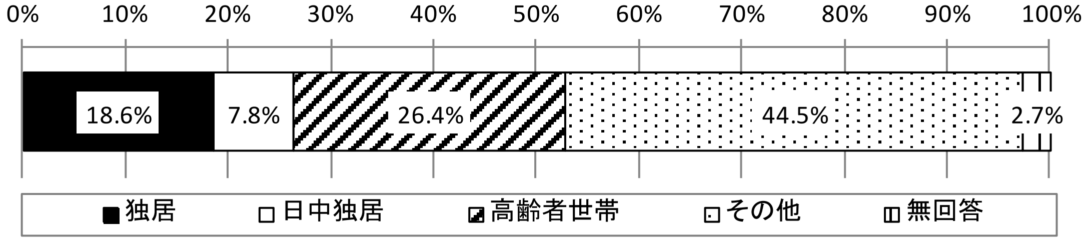
図表 4-46　主介護者（n=515）



6) 家族構成

家族構成は、「高齢者世帯」が 26.4%、「独居」が 18.6%であった。

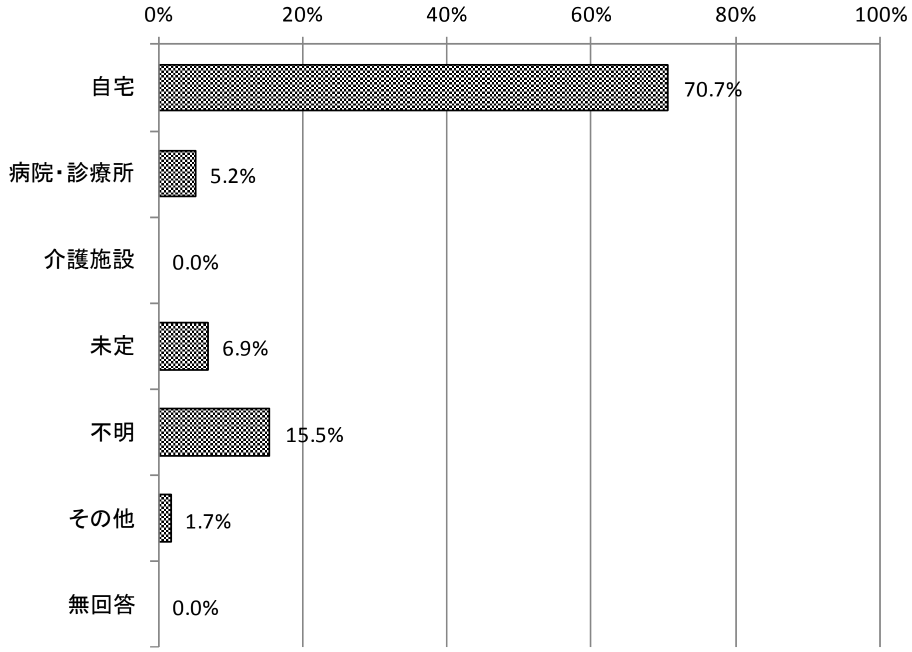
図表 4-47　家族構成（n=515）



7) 希望する看取りの場所（利用者）

利用者が希望する看取りの場所は、「自宅」が 70.7%、「不明」が 15.5%、「未定」が 6.9%であった。

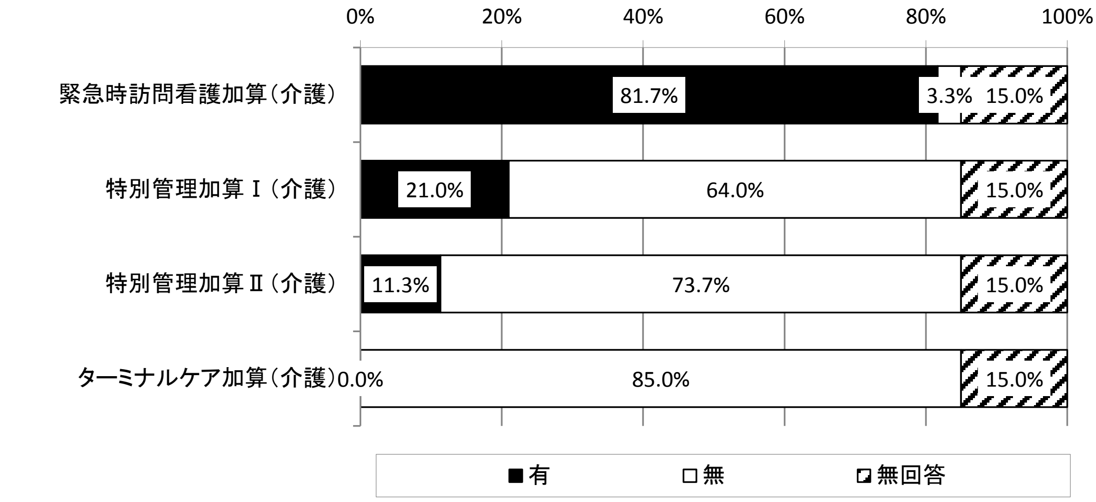
図表 4-48　希望する看取りの場所（利用者）（n=58）



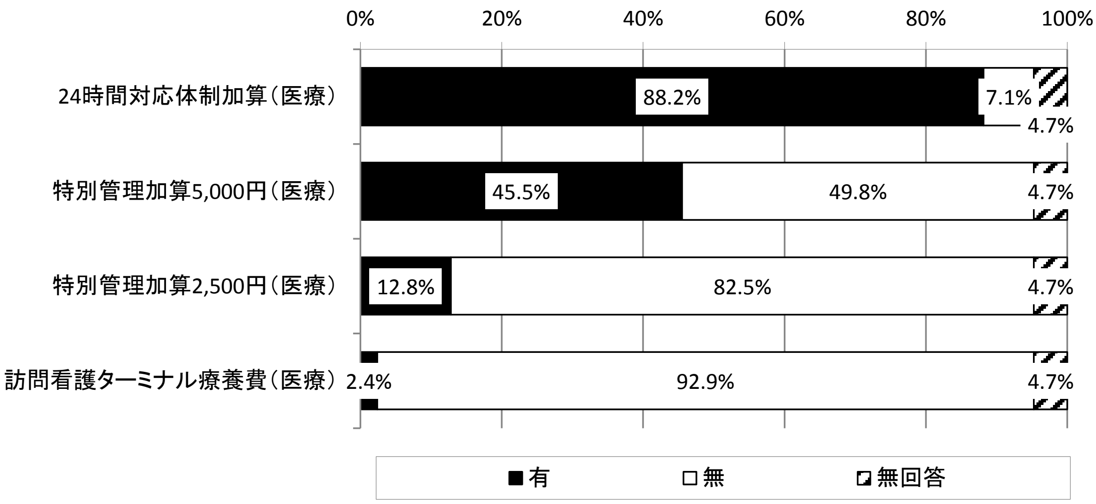
8) 加算算定状況

加算算定状況は、介護保険の「特別管理加算Ⅰ」が 21.0%、「特別管理加算Ⅱ」が 11.3%であった。また、医療保険の「特別管理加算 5,000 円」が 45.5%、「特別管理加算 2,500 円」が 12.8%であった。

図表 4-49　加算算定状況（介護保険）（n=300）



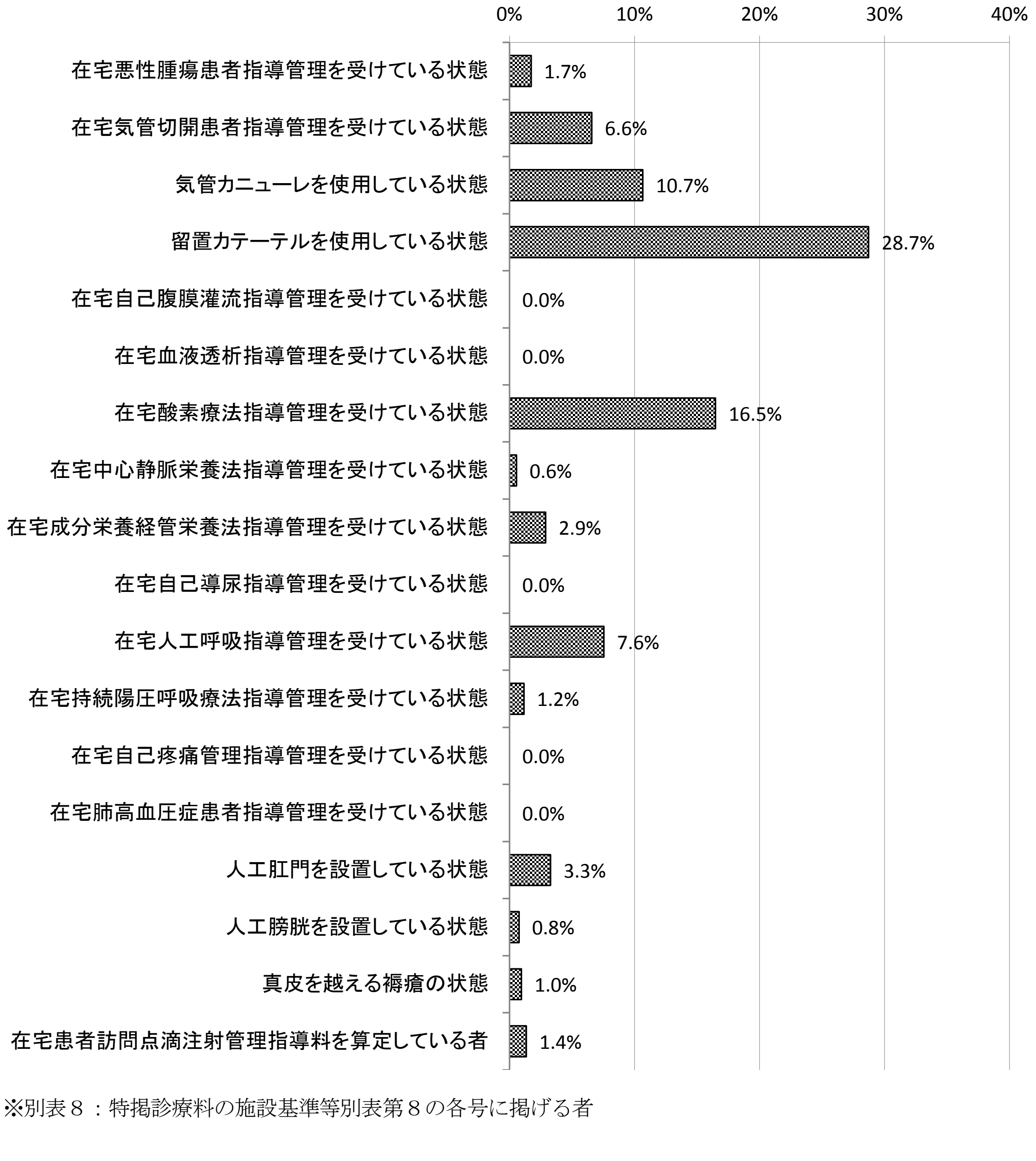
図表 4-50　加算算定状況（医療保険）（n=211）



9) 別表 8※の利用者

別表 8 のうち、「留置カテーテルを使用している状態」の利用者が 28.7%、「在宅酸素療法指導管理を受けている状態」の利用者が 16.5%、「気管カニューレを使用している状態」が 10.7%、「在宅人工呼吸指導管理を受けている状態」の利用者が 7.6%、「在宅気管切開患者指導管理を受けている状態」の利用者が 6.6%であった。

図表 4-51 別表 8 のうち該当する状態（複数回答）（n=515）

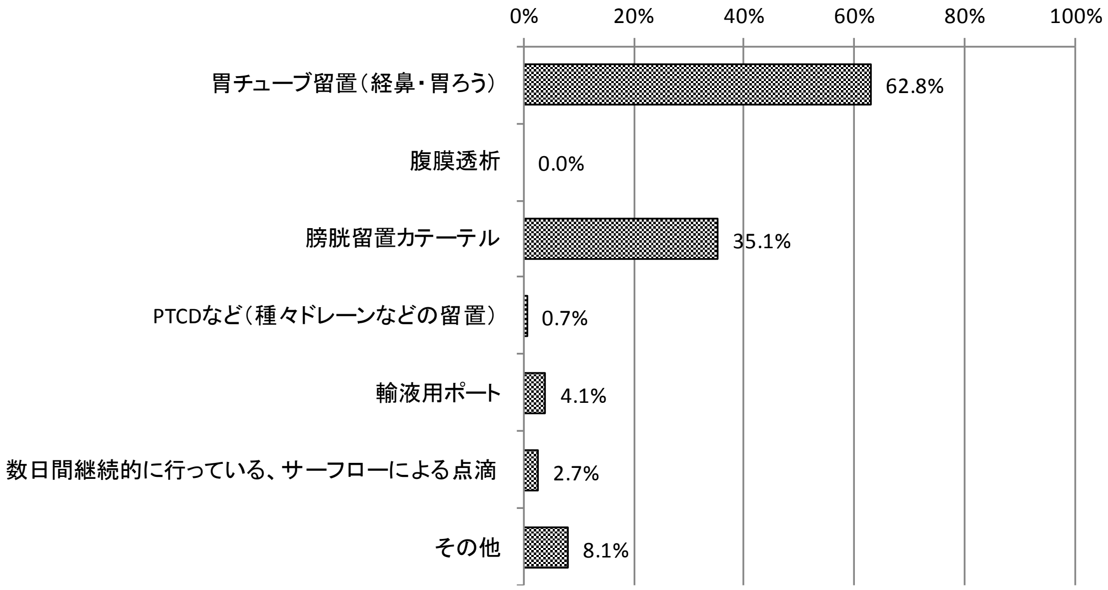


※別表８：特掲診療料の施設基準等別表第８の各号に掲げる者

10) 留置カテーテルの種類

留置カテーテルを使用している場合、留置カテーテルの種類は、「胃チューブ留置（経鼻・胃ろう）」が 62.8%、「膀胱留置カテーテル」が 35.1%であった。

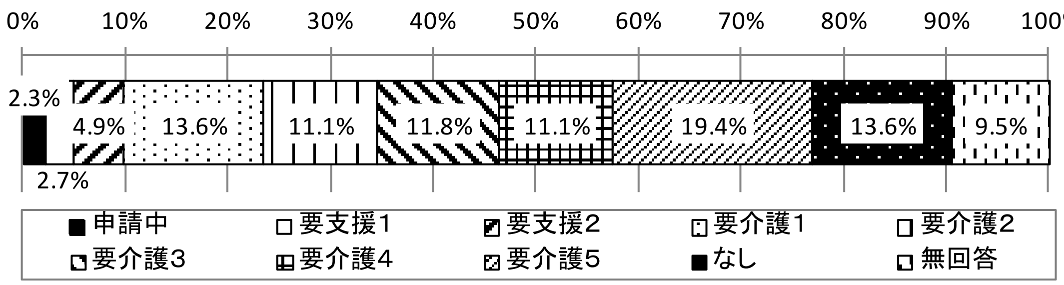
図表 4-52 （留置カテーテルを使用している場合）留置カテーテルの種類（複数回答）（n=148）



11) 要介護度

要介護度は、「要介護 5」が 19.4%、「要介護 1」が 13.6%、「要介護 3」が 11.8%であった。

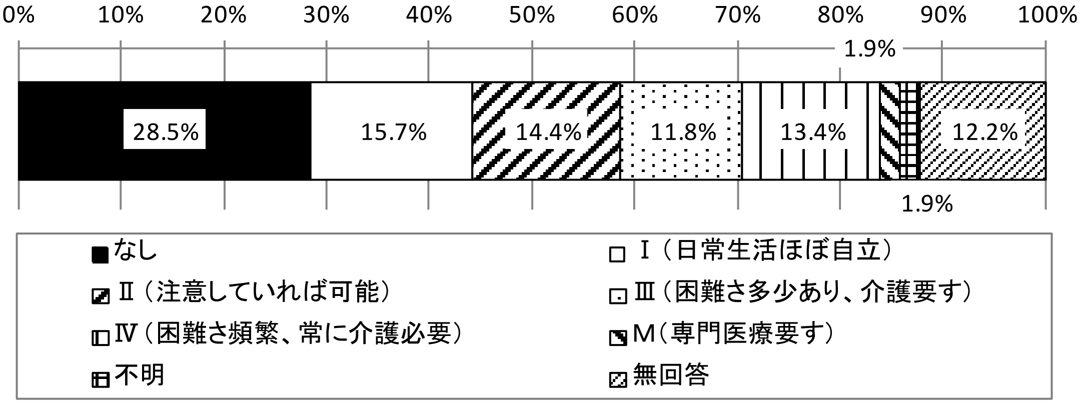
図表 4-53 要介護度（n=515）



12) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅰ（日常生活ほぼ自立)」が 15.7%、「Ⅱ（注意していれば可能)」が 14.4%、「Ⅳ（困難さ頻繁、常に介護必要)」が 13.4%であった。

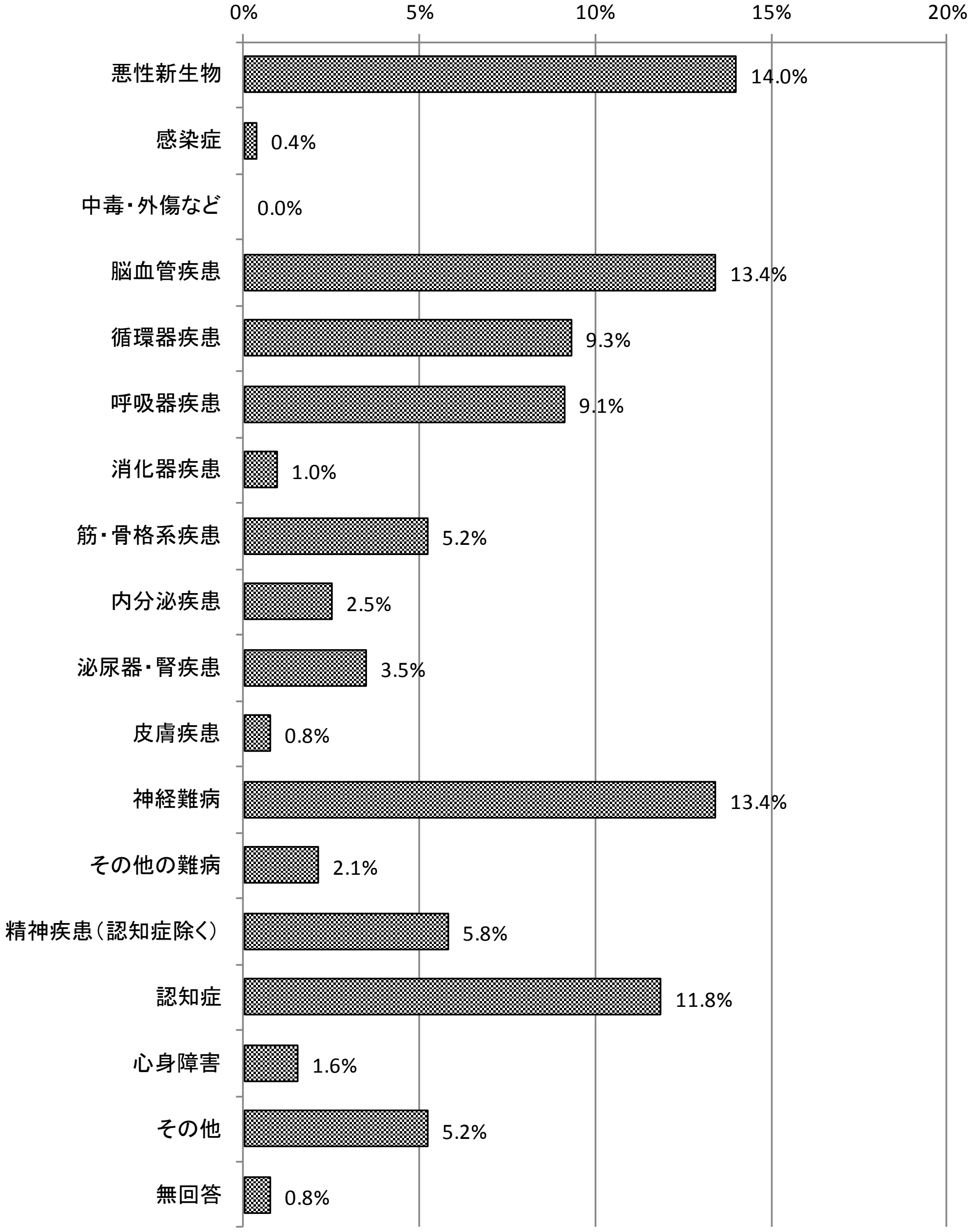
図表 4-54　認知症高齢者の日常生活自立度（n=515）



13) 主疾患

主疾患は、「悪性新生物」が 14.0%、「脳血管疾患」「神経難病」がそれぞれ 13.4%であった。

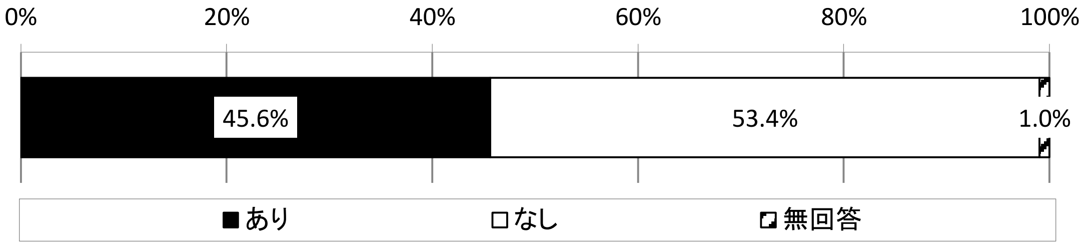
図表 4-55　主疾患（n=515）



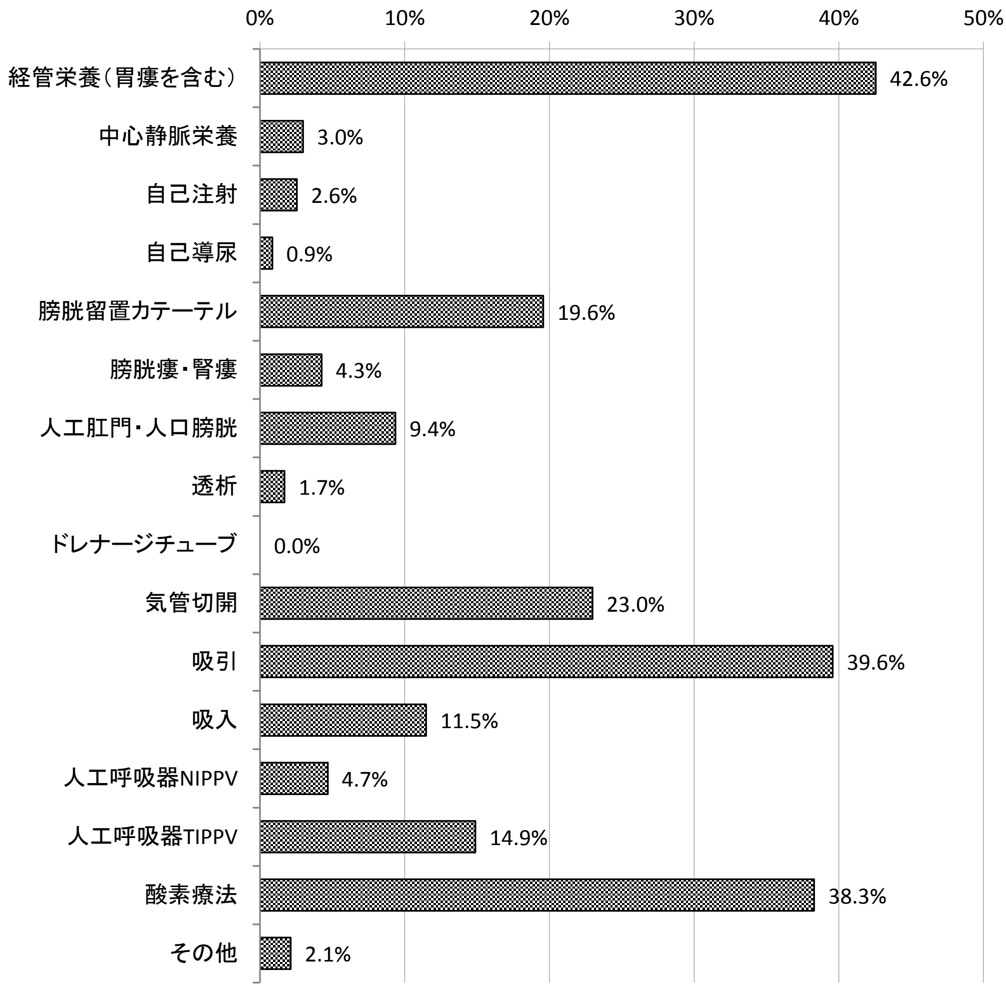
14) 医療機器等の使用状況

医療機器等の使用状況は、「あり」が 45.6%、「なし」が 53.4%であった。医療機器等を使用している場合、「経管栄養（胃瘻を含む）」が 42.6%、「吸引」が 39.6%、「酸素療法」が 38.3%であった。

図表 4-56　医療機器等の使用有無（n=515）



図表 4-57　（医療機器等を使用している場合）医療機器等の使用状況（n=235）



第3節 事業所自己評価の実施結果

1. 実施方法

平成 27 年度老人保健健康増進等事業「医療ニーズの高い療養者の在宅生活を支援する訪問看護ステーションの在り方に関するシステム開発及び調査研究事業」において作成した「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン～看取りや医療ニーズの高い療養者を支える標準的な指針（ガイドライン）～」を用いて、今年度調査対象の訪問看護事業所 10 事業所に事業所自己評価を実施してもらい、平成 27 年度に調査した訪問看護事業所 316 カ所の自己評価結果と比較した。

2. 各項目（39 項目）の判断基準の平均と全国平均

１項目を除いた全ての項目で昨年度調査した全国平均値より高値であった。合計平均値は全国平均値が「88.37」であったが、10 事業所では「103.2」であった。

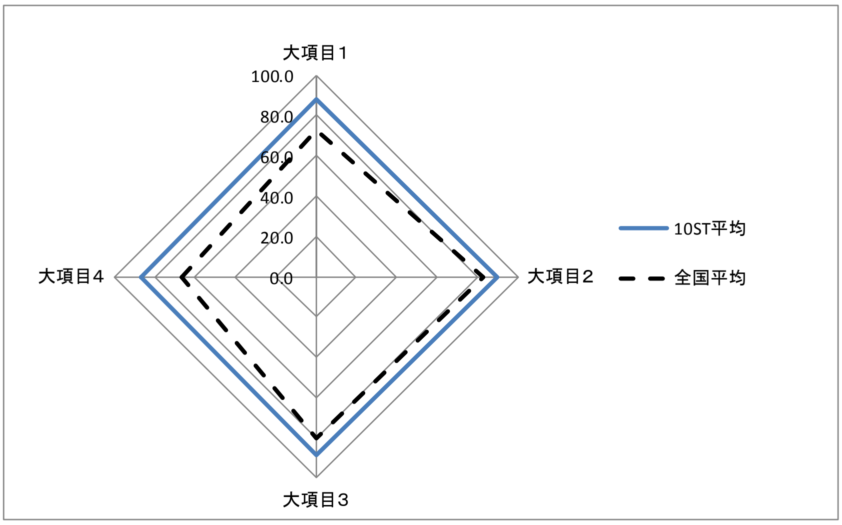
図表 4-58　各項目（39 項目）の判断基準の平均と全国平均

大項目	中項目	No	評価項目	10ST平均	全国平均
一 事業所運営の基盤整備	(1) 理念・目標等を踏まえた事業計画の策定と評価に基づくサービスの改善	1	中・長期事業計画の策定と定期的な自己評価	2.60	2.08
		2	単年度の事業計画の策定と定期的な自己評価	3.00	2.44
		3	事業所の運営について改善への反映	2.80	2.38
		4	利用者・家族から評価を受ける仕組みとサービスの活用	2.00	1.94
		5	外部から評価を受ける仕組みとサービスの改善	1.10	1.30
	(2) 計画的な人材育成	6	新任職員向けの研修計画などの整備	2.90	2.14
		7	職員育成計画と研修を受ける機会の確保	2.70	2.08
	(3) 人材の配置と体制整備	8	早朝・夜間の計画的な訪問体制	2.70	2.00
		9	日曜、祝日、年末・年始の計画的な訪問体制	2.90	2.35
		10	「人工呼吸器の利用者」の即日対応体制	2.80	2.22
		11	「がん末期の利用者」の即日対応体制	3.00	2.46
	(4) 経営・労務の管理	12	財務状況のチェックと経営の安定化に向けた取組み	3.00	2.34
		13	人事基準・評価などを連動させた人材マネジメント	2.20	1.93
		14	働きやすい職場づくりへの取組み	2.90	2.53
		15	業務の効率化のための記録等関係書類の電子化	2.40	2.04
	(5) サービスの標準化とリスクマネジメント	16	人工呼吸器の利用者への事業所独自のマニュアル作成	2.70	1.97
		17	終末期ケアの事業所独自のマニュアル作成	2.70	2.08
		18	カンファレンス・事例検討の実施およびサービスの改善	2.90	2.58
		19	事故の対応マニュアル作成および職員への周知	2.80	2.41
二 利用者等の状況に応じた専門的なサービスの提供	(6) アセスメントに基づく看護計画の作成と見直し	20	利用者の包括的なアセスメントと看護計画の作成	2.80	2.68
		21	看護計画について管理者・リーダー等からのアドバイス	2.70	2.39
		22	利用者等が行う医療的ケアの個別性に合わせた指導	2.60	2.46
	(7) 在宅での看取りまでを支えるケアの提供	23	利用者や家族等の意向を踏まえた支援	2.90	2.71
		24	利用者等の希望に応じた看取りの実現	2.80	2.62
		25	終末期ケアの経過説明と記録	2.80	2.56
		26	デスカンファレンスの開催	2.20	2.04
三 多職種・多機関との連携	(8) 在宅生活の継続を支えるための多職種との連携促進	27	「褥瘡のある利用者」の多職種との情報共有・協力要請	2.60	2.75
		28	「緩和ケアの必要な利用者」の多職種との情報共有・協力要請	2.70	2.59
		29	「精神障がいの利用者」の多職種との情報共有・協力要請	2.50	2.22
		30	「小児の利用者」の多職種との情報共有・協力要請	2.60	2.01
		31	サービス担当者会議等への参加、情報提供	2.80	2.91
		32	他の訪問看護ステーションなどからの研修の受け入れ	2.90	2.21
		33	多職種間での共通様式やICTの導入	2.40	1.62
	(9) 円滑で切れ目のないケアの提供	34	退院・退所前における在宅生活のための準備	2.80	2.71
		35	入院の可能性がある利用者への対応方針等の事前調整	2.60	2.61
四 安心して暮らせるまちづくり	(10) 地域への積極的な展開	36	地域住民向けた情報発信	2.40	1.70
	(11) 地域包括ケアシステムの構築への貢献	37	地域包括ケアシステムの構築に係る取組みへの参加	2.80	2.40
		38	認知症の人が安心して暮らせる地域づくりへの積極的な参加	2.40	1.77
		39	地域における訪問看護ステーション間のネットワークの構築	2.80	2.16
			合計	103.2	88.37

3. 大項目（４項目）・中項目（11 項目）の評価結果と全国平均のレーダーチャート

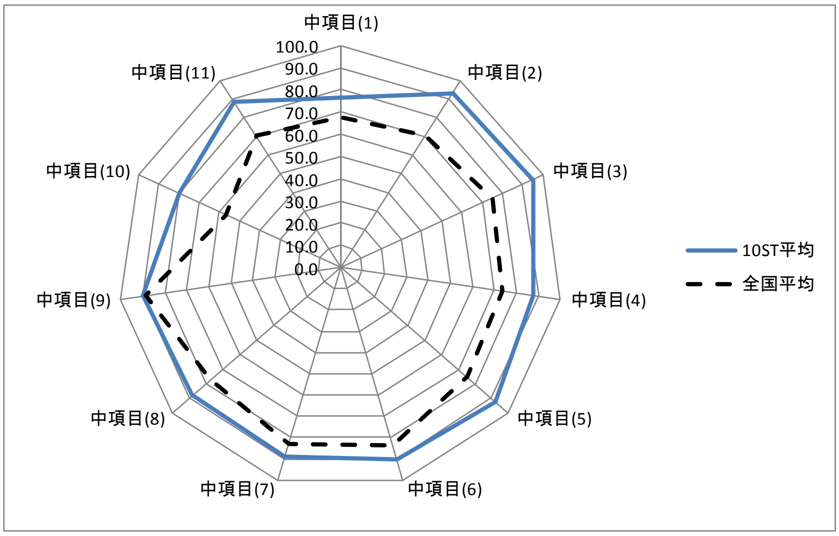
図表 4-59　大項目（４項目）の評価結果と全国平均のレーダーチャート

大項目	10ST平均	全国平均
大項目1	87.9	72.4
大項目2	89.5	83.1
大項目3	88.5	80.1
大項目4	86.7	66.8



図表 4-60　中項目（11 項目）の評価結果と全国平均のレーダーチャート

中項目	10ST平均	全国平均
中項目(1)	76.7	67.6
中項目(2)	93.3	70.4
中項目(3)	95.0	75.2
中項目(4)	87.5	73.7
中項目(5)	92.5	75.3
中項目(6)	90.0	83.6
中項目(7)	89.2	82.8
中項目(8)	88.1	77.7
中項目(9)	90.0	88.8
中項目(10)	80.0	56.5
中項目(11)	88.9	70.3



注）平成 27 年度施行実施後に項目 22 と項目 23 の順序や文言に変更があったため、平成 27 年度の全国平均を一部修正して表示している。

第4節 調査からわかったソフトウェアの課題

1. データの保存・出力機能

〇今回のシステムでは更新ボタンをクリックする毎に、データが新規作成される仕様であり、データの状態について特定ができなかった（『確定』・『一時保存』・『変化』・『削除』等、状態が把握できる機能が必要と考えられる）。

・データが変更されている場合について、間違ったデータを入力したのか、あるいは利用者の状態に変化があって、データを変更・更新したのか、判断ができなかった。

・自由回答欄に『入力ミス』等の記載があったため把握できた点であるが、不要なデータが入力され、保存、出力されていた。入力ミスの場合に、そのことを伝える機能がなかった。

〇特段の入力しなおしやデータ加工をせずに、集計が円滑にできるようなデータの出力になっている方がよい。

・無回答、非該当を手元で入力する必要があった（自動出力化）。

・複数回答の場合、１つのセルに複数の回答が入力されており、手元で回答を複数のセルに分ける必要があった（表頭に選択肢別の列をつくり、その列で有無データになっているとよい）。

・ニーズ、ニーズ評価が出力されたフォーマットについて、ニーズ別に行が分けられていなかったため、ニーズ別の集計がそのままではできなかった。また、上記同様、複数回答の集計がそのままではできなかった（手元でニーズ別に行を分ける変換が必要であった）。

・介入について、介入の件数ごとにデータが出力される形式であった。利用者１人ずつのデータになっていなかった(利用者とリンクできるようなフォーマットが望ましい)。そのため、１か月あたりの訪問回数・訪問時間等については、別途、手元で、データを加工しなおして、集計を行う必要があった（自動計算されるような仕組みがあるとよい)。

2. アラート機能

〇異常値だと考えられるデータがあったため、入力時点でアラートを出し、修正してもらう機能を持たせた方がよい。

例）

・介入時間について、開始時間よりも終了時間が早いデータや、対応時間が０分、０時・12 時・24 時の表記の違いで、介入時間が異常に長いデータ等があった

・併用している訪問看護事業所が「有」となっているが、他の訪問看護事業所からの訪問回数が０回であった

・小児の利用者が介護保険を利用しているようにみえるデータがあった　　　／等

3. グラフ化

○事業所が本システムを使って分析を行いたい場合、自動でグラフ化までできると、より使いやすいものになるのではないか。

第５章　標準モデルの提案に向けての利用者の特性別分析

第5章　標準モデルの提案に向けての利用者の特性別分析

第1節 疾患・介護者等別分析

下記の疾患・介護者等別に分類した結果を示す。

＜利用者特性１＞　下記の条件で重複している利用者がいないように分類を行った。

①-1 小児	：６歳以下の者
①-2 小児	：７～１９歳の者
②がん末期の利用者	：別表７※1の「末期の悪性腫瘍」に該当する者 ﾀｰﾐﾅﾙ期の利用者であり、主疾患が悪性新生物の者
③がん以外の終末期の利用者	：ﾀｰﾐﾅﾙ期の利用者であり、①以外の者
④神経難病	：主疾患が神経難病の者
⑤脳血管疾患	：主疾患が脳血管疾患の者
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	：主疾患が呼吸器疾患または循環器疾患の者
⑦精神疾患	：主疾患が精神疾患の者
⑧認知症	：主疾患が認知症の者
⑨その他	：上記①～⑧に該当しない者

※１　特掲診療料の施設基準等別表７に掲げる疾病等の者

＜利用者特性２＞

⑩主介護者がいない	：主介護者が「いない」者
⑪独居	：家族構成が独居の者

1. 疾患・介護者等別　基本情報

(1) 年齢

年齢について、がん以外の終末期の利用者は、「90 歳代」が 47.1%であった。脳血管疾患の利用者は「70 歳代」が 34.4%、精神疾患の利用者が「50 歳代」が 37.9%であった。

図表 5-1　疾患・介護者等別　年齢

	合計	０～３歳	４～６歳	７～９歳	１０歳代	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	８０歳代	９０歳代	１００歳以上	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	31	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	70.5%	29.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	25	0	0	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	38	0	0	0	0	0	0	0	3	7	9	14	4	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	18.4%	23.7%	36.8%	10.5%	0.0%	2.6%
③がん以外の終末期の利用者	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	8	5	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%	47.1%	29.4%	0.0%
④神経難病	59	0	0	0	0	4	2	1	6	10	16	19	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%	3.4%	1.7%	10.2%	16.9%	27.1%	32.2%	1.7%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	61	0	0	0	0	1	0	1	3	16	21	16	3	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	4.9%	26.2%	34.4%	26.2%	4.9%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	0	0	0	0	0	0	1	2	3	21	27	23	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	2.6%	3.8%	26.9%	34.6%	29.5%	1.3%	0.0%
⑦精神疾患	29	0	0	0	0	0	5	1	11	4	4	4	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	3.4%	37.9%	13.8%	13.8%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	53	0	0	0	0	0	0	0	1	0	12	24	16	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	22.6%	45.3%	30.2%	0.0%	0.0%
⑨その他	111	0	0	0	0	2	1	6	7	10	28	41	15	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%	5.4%	6.3%	9.0%	25.2%	36.9%	13.5%	0.9%	0.0%
⑩主介護者がいない	39	0	0	0	0	0	3	1	10	5	12	6	2	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	2.6%	25.6%	12.8%	30.8%	15.4%	5.1%	0.0%	0.0%
⑪独居	96	0	1	0	0	0	2	0	9	11	27	31	13	2	0
	100.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	9.4%	11.5%	28.1%	32.3%	13.5%	2.1%	0.0%

(2) 要介護度

要介護度について、がん以外の終末期の利用者は、「要介護５」が 76.5%であった。脳血管疾患の利用者は「要介護５」が 32.8%であった。

図表 5-2　疾患・介護者等別　要介護度

	合計	申請中	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	なし	無回答
②がん末期の利用者	38	6	1	0	4	10	3	5	3	5	1
	100.0%	15.8%	2.6%	0.0%	10.5%	26.3%	7.9%	13.2%	7.9%	13.2%	2.6%
③がん以外の終末期の利用者	17	1	0	0	0	0	1	2	13	0	0
	100.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	76.5%	0.0%	0.0%
④神経難病	59	2	0	5	5	1	9	6	20	5	6
	100.0%	3.4%	0.0%	8.5%	8.5%	1.7%	15.3%	10.2%	33.9%	8.5%	10.2%
⑤脳血管疾患	61	0	2	3	9	5	13	7	20	2	0
	100.0%	0.0%	3.3%	4.9%	14.8%	8.2%	21.3%	11.5%	32.8%	3.3%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	1	5	9	20	7	16	9	9	2	0
	100.0%	1.3%	6.4%	11.5%	25.6%	9.0%	20.5%	11.5%	11.5%	2.6%	0.0%
⑦精神疾患	29	0	1	0	6	2	1	1	0	18	0
	100.0%	0.0%	3.4%	0.0%	20.7%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%	62.1%	0.0%
⑧認知症	53	0	2	0	11	9	4	11	16	0	0
	100.0%	0.0%	3.8%	0.0%	20.8%	17.0%	7.5%	20.8%	30.2%	0.0%	0.0%
⑨その他	111	2	3	8	15	23	12	13	19	11	5
	100.0%	1.8%	2.7%	7.2%	13.5%	20.7%	10.8%	11.7%	17.1%	9.9%	4.5%
⑩主介護者がいない	39	1	3	2	4	3	2	2	6	15	1
	100.0%	2.6%	7.7%	5.1%	10.3%	7.7%	5.1%	5.1%	15.4%	38.5%	2.6%
⑪独居	96	2	6	7	26	15	11	5	10	12	2
	100.0%	2.1%	6.3%	7.3%	27.1%	15.6%	11.5%	5.2%	10.4%	12.5%	2.1%

※表側の①-1・①-2 小児については、非該当であるため、掲載していない。

(3) 寝たきり度

寝たきり度について、がん以外の終末期の利用者は、「寝たきり（ランクC）」が 70.6%であった。神経難病の利用者は「寝たきり（ランクC）」が 40.7%、認知症の利用者は同様に「寝たきり（ランクC）」が 35.8%であった。

図表 5-3　疾患・介護者等別　寝たきり度

	合計	生活自立（ランクJ）	準寝たきり（ランクA）	寝たきり（ランクB）	寝たきり（ランクC）	無回答
①-1　小児（６歳以下）	44 100.0%	3 6.8%	2 4.5%	1 2.3%	5 11.4%	33 75.0%
①-2　小児（７～19 歳）	25 100.0%	3 12.0%	2 8.0%	1 4.0%	4 16.0%	15 60.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	6 15.8%	10 26.3%	13 34.2%	9 23.7%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	0 0.0%	1 5.9%	4 23.5%	12 70.6%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	10 16.9%	10 16.9%	10 16.9%	24 40.7%	5 8.5%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	8 13.1%	23 37.7%	8 13.1%	20 32.8%	2 3.3%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	27 34.6%	30 38.5%	13 16.7%	7 9.0%	1 1.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	23 79.3%	3 10.3%	0 0.0%	1 3.4%	2 6.9%
⑧認知症	53 100.0%	13 24.5%	16 30.2%	5 9.4%	19 35.8%	0 0.0%
⑨その他	111 100.0%	30 27.0%	35 31.5%	18 16.2%	20 18.0%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	22 56.4%	4 10.3%	3 7.7%	6 15.4%	4 10.3%
⑪独居	96 100.0%	36 37.5%	31 32.3%	12 12.5%	11 11.5%	6 6.3%

(4) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度について、がん以外の終末期の利用者は、「Ⅳ（困難さ頻繁、常に介護必要）」が 64.7%であった。

図表 5-4　疾患・介護者等別　認知症高齢者の日常生活自立度

	合計	なし	Ⅰ（日常生活ほぼ自立）	Ⅱ（注意していれば可能）	Ⅲ（困難さ多少あり、介護要す）	Ⅳ（困難さ頻繁、常に介護必要）	M（専門医療要す）	不明	無回答
②がん末期の利用者	38	18	5	4	6	4	0	1	0
	100.0%	47.4%	13.2%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%	2.6%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17	1	0	0	3	11	2	0	0
	100.0%	5.9%	0.0%	0.0%	17.6%	64.7%	11.8%	0.0%	0.0%
④神経難病	59	19	9	6	7	7	2	3	6
	100.0%	32.2%	15.3%	10.2%	11.9%	11.9%	3.4%	5.1%	10.2%
⑤脳血管疾患	61	17	9	10	9	12	1	3	0
	100.0%	27.9%	14.8%	16.4%	14.8%	19.7%	1.6%	4.9%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	18	25	22	7	3	3	0	0
	100.0%	23.1%	32.1%	28.2%	9.0%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	29	18	6	2	1	0	0	1	1
	100.0%	62.1%	20.7%	6.9%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%
⑧認知症	53	0	2	10	16	24	1	0	0
	100.0%	0.0%	3.8%	18.9%	30.2%	45.3%	1.9%	0.0%	0.0%
⑨その他	111	45	24	19	10	6	0	1	6
	100.0%	40.5%	21.6%	17.1%	9.0%	5.4%	0.0%	0.9%	5.4%
⑩主介護者がいない	39	24	9	1	1	1	2	0	1
	100.0%	61.5%	23.1%	2.6%	2.6%	2.6%	5.1%	0.0%	2.6%
⑪独居	96	33	30	12	10	8	1	1	1
	100.0%	34.4%	31.3%	12.5%	10.4%	8.3%	1.0%	1.0%	1.0%

※表側の①-1・①-2 小児については、非該当であるため、掲載していない。

(5) サービス利用期間

調査期間中、死亡等の理由でサービスを終了した利用者以外について、サービス利用期間は７歳～19 歳の小児が平均 1,390.8 日であった。

図表 5-5　疾患・介護者等別　サービス利用期間（利用開始から 11 月 30 日までの期間）

	回答件数（件）	平均（日）	標準偏差	中央値（日）
①-1　小児（６歳以下）	44	798.8	623.1	608.0
①-2　小児（７～19 歳）	23	1,390.8	1262.2	1,031.0
②がん末期の利用者	30	246.2	472.6	112.0
③がん以外の終末期の利用者	16	1,123.2	958.7	815.5
④神経難病	58	1,457.6	1466.9	753.0
⑤脳血管疾患	58	812.3	816.3	517.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	73	619.6	747.0	370.0
⑦精神疾患	28	1,207.4	1307.3	789.0
⑧認知症	50	840.9	880.4	492.5
⑨その他	105	673.6	1018.9	240.0
⑩主介護者がいない	38	785.6	913.2	429.0
⑪独居	92	863.9	1127.1	327.5

図表 5-6　疾患・介護者等別　サービス利用期間_死亡等の理由でサービスを終了した利用者（利用開始からサービス利用終了の期間）

	回答件数（件）	平均（日）	標準偏差	中央値（日）
①-1　小児（６歳以下）	0	－	－	－
①-2　小児（７～19 歳）	0	－	－	－
②がん末期の利用者	8	68.6	65.9	45.5
③がん以外の終末期の利用者	1	328.0	－	－
④神経難病	1	1,253.0	－	－
⑤脳血管疾患	0	－	－	－
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	3	428.7	92.6	458.0
⑦精神疾患	1	3,288.0	－	－
⑧認知症	0	－	－	－
⑨その他	3	65.0	51.3	59.0
⑩主介護者がいない	1	17.0	－	－
⑪独居	3	1103.7	1891.7	17.0

(6) 加算算定状況

加算算定状況について、緊急時訪問看護加算はがん以外の終末期の利用者が 94.1%、認知症の利用者が 79.2%であった。24 時間対応体制加算はがん末期の利用者が 89.5%、６歳以下の小児が 84.1%、７～19 歳の小児が 80.0%であった。

図表 5-7 疾患・介護者等別 加算算定状況

	合計	介護保険				医療保険				無回答
		緊急時訪問看護加算	特別管理加算Ⅰ	特別管理加算Ⅱ	ﾀｰﾐﾅﾙｹｱ加算	24 時間対応体制加算	特別管理加算 5,000 円	特別管理加算 2,500 円	訪問看護ﾀｰﾐﾅﾙ療養費	
①-1 小児（６歳以下）	44 100.0%					37 84.1%	27 61.4%	7 15.9%	0 0.0%	0 0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	25 100.0%					20 80.0%	17 68.0%	3 12.0%	0 0.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	3 7.9%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	34 89.5%	14 36.8%	5 13.2%	5 13.2%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	16 94.1%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	8 13.6%	3 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	47 79.7%	25 42.4%	4 6.8%	0 0.0%	2 3.4%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	47 77.0%	15 24.6%	1 1.6%	0 0.0%	4 6.6%	3 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	10 16.4%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	56 71.8%	12 15.4%	21 26.9%	0 0.0%	7 9.0%	2 2.6%	3 3.8%	0 0.0%	11 14.1%
⑦精神疾患	29 100.0%	5 17.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 69.0%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 13.8%
⑧認知症	53 100.0%	42 79.2%	11 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	10 18.9%
⑨その他	111 100.0%	70 63.1%	16 14.4%	10 9.0%	1 0.9%	22 19.8%	9 8.1%	4 3.6%	0 0.0%	17 15.3%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	16 41.0%	2 5.1%	3 7.7%	1 2.6%	16 41.0%	5 12.8%	2 5.1%	0 0.0%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	55 57.3%	4 4.2%	7 7.3%	0 0.0%	22 22.9%	7 7.3%	3 3.1%	1 1.0%	16 16.7%

(7) 医療機器等の使用状況

医療機器等を使用している利用者について、6歳以下の小児が 84.1%、7～19 歳の小児が 84.0%であった。

図表 5-8　疾患・介護者等別　医療機器等の使用の有無

	合計	あり	なし	無回答
①-1　小児（6歳以下）	44 100.0%	37 84.1%	5 11.4%	2 4.5%
①-2　小児（7～19 歳）	25 100.0%	21 84.0%	4 16.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	18 47.4%	20 52.6%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	10 58.8%	7 41.2%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	31 52.5%	28 47.5%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	19 31.1%	42 68.9%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	40 51.3%	37 47.4%	1 1.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	2 6.9%	27 93.1%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	10 18.9%	43 81.1%	0 0.0%
⑨その他	111 100.0%	47 42.3%	62 55.9%	2 1.8%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	12 30.8%	27 69.2%	0 0.0%
⑪独居	96 100.0%	22 22.9%	74 77.1%	0 0.0%

図表 5-9　疾患・介護者等別　医療機器等の使用状況（複数回答）

	合計	経管栄養（胃瘻を含む）	中心静脈栄養	自己注射	自己導尿	膀胱留置カテーテル	膀胱瘻・腎瘻	人工肛門・人口膀胱	透析	ドレナージチューブ	気管切開
①-1　小児（６歳以下）	37 100.0%	31 83.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	22 59.5%
①-2　小児（７～19 歳）	21 100.0%	13 61.9%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 52.4%
②がん末期の利用者	18 100.0%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 33.3%	2 11.1%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%
③がん以外の終末期の利用者	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	31 100.0%	24 77.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 19.4%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	10 32.3%
⑤脳血管疾患	19 100.0%	15 78.9%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	3 15.8%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	40 100.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 17.5%	1 2.5%	2 5.0%	1 2.5%	0 0.0%	3 7.5%
⑦精神疾患	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
⑧認知症	10 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	47 100.0%	7 14.9%	1 2.1%	5 10.6%	1 2.1%	11 23.4%	4 8.5%	12 25.5%	2 4.3%	0 0.0%	3 6.4%
⑩主介護者がいない	12 100.0%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 33.3%	2 11.1%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%
⑪独居	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（続き）

	合計	吸引	吸入	人工呼吸器 NIPPV	人工呼吸器 TIPPV	酸素療法	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	37 100.0%	27 73.0%	12 32.4%	3 8.1%	14 37.8%	23 62.2%	1 2.7%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	21 100.0%	17 81.0%	6 28.6%	2 9.5%	9 42.9%	14 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	18 100.0%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	10 100.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%
④神経難病	31 100.0%	19 61.3%	1 3.2%	2 6.5%	8 25.8%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	19 100.0%	8 42.1%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	40 100.0%	4 10.0%	1 2.5%	2 5.0%	1 2.5%	28 70.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
⑧認知症	10 100.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	47 100.0%	7 14.9%	2 4.3%	1 2.1%	2 4.3%	7 14.9%	1 2.1%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	22 100.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%

(8) その他の利用者の主疾患

下記の①～⑧に該当しない者がその他の利用者である。

その他の利用者の主疾患は、「悪性新生物」が 27.9%、「筋・骨格系疾患」が 20.7%であった。

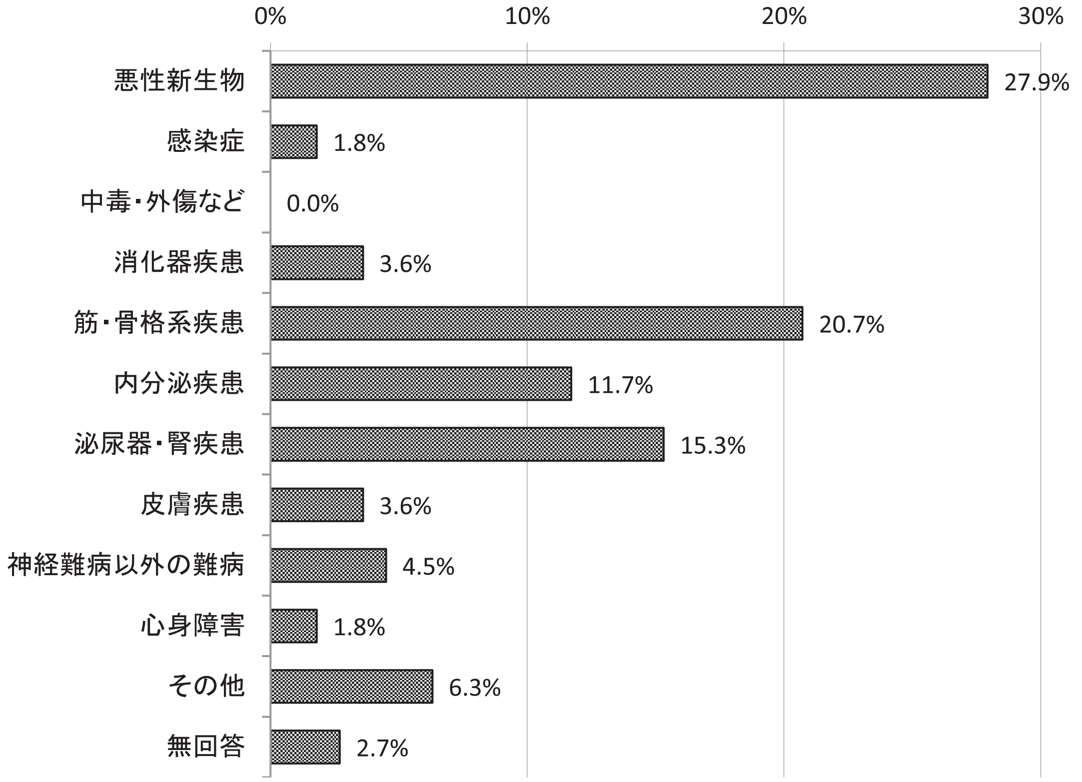
（再掲）

＜利用者特性１＞　下記の条件で重複している利用者がいないように分類を行った。

①-1 小児	: ６歳以下の者
①-2 小児	: ７～19 歳の者
②がん末期の利用者	: 別表７[※1]の「末期の悪性腫瘍」に該当する者 ﾀｰﾐﾅﾙ期の利用者であり、主疾患が悪性新生物の者
③がん以外の終末期の利用者	: ﾀｰﾐﾅﾙ期の利用者であり、①以外の者
④神経難病	: 主疾患が神経難病の者
⑤脳血管疾患	: 主疾患が脳血管疾患の者
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	: 主疾患が呼吸器疾患または循環器疾患の者
⑦精神疾患	: 主疾患が精神疾患の者
⑧認知症	: 主疾患が認知症の者
⑨その他	: 上記①～⑧に該当しない者

※１　特掲診療料の施設基準等別表７に掲げる疾病等の者

図表 5-10　その他の利用者の主疾患(n=111)



(9) 利用者の QOL 評価

1) 回答者

精神疾患の利用者「本人」が 11 月に回答した利用者は 93.1%であった。

図表 5-11　疾患・介護者等別　回答者

	合計	11 月			12 月		
		本人	本人以外	無回答	本人	本人以外	無回答
①-1 小児（6 歳以下）	44	0	43	1	2	40	2
	100.0%	0.0%	97.7%	2.3%	4.5%	90.9%	4.5%
①-2 小児（7～19 歳）	25	3	22	0	3	20	2
	100.0%	12.0%	88.0%	0.0%	12.0%	80.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	22	15	1	19	10	9
	100.0%	57.9%	39.5%	2.6%	50.0%	26.3%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	4	13	0	2	14	1
	100.0%	23.5%	76.5%	0.0%	11.8%	82.4%	5.9%
④神経難病	59	29	28	2	29	28	2
	100.0%	49.2%	47.5%	3.4%	49.2%	47.5%	3.4%
⑤脳血管疾患	61	27	30	4	28	29	4
	100.0%	44.3%	49.2%	6.6%	45.9%	47.5%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	61	14	3	58	14	6
	100.0%	78.2%	17.9%	3.8%	74.4%	17.9%	7.7%
⑦精神疾患	29	27	2	0	26	3	0
	100.0%	93.1%	6.9%	0.0%	89.7%	10.3%	0.0%
⑧認知症	53	17	34	2	18	34	1
	100.0%	32.1%	64.2%	3.8%	34.0%	64.2%	1.9%
⑨その他	111	78	29	4	76	28	7
	100.0%	70.3%	26.1%	3.6%	68.5%	25.2%	6.3%
⑩主介護者がいない	39	34	2	3	32	2	5
	100.0%	87.2%	5.1%	7.7%	82.1%	5.1%	12.8%
⑪独居	96	78	14	4	77	9	10
	100.0%	81.3%	14.6%	4.2%	80.2%	9.4%	10.4%

図表 5-12　疾患・介護者等別　本人以外の回答者

	11月						12月					
	合計	配偶者	親	子	それ以外	無回答	合計	配偶者	親	子	それ以外	無回答
①-1 小児（６歳以下）	43	0	40	0	3	0	40	0	39	1	0	0
	100.0%	0.0%	93.0%	0.0%	6.4%	0.0%	100.0%	0.0%	97.5%	2.5%	0.0%	0.0%
①-2 小児（７～19歳）	22	0	20	0	2	0	20	0	17	0	3	0
	100.0%	0.0%	90.9%	0.0%	9.1%	0.0%	100.0%	0.0%	85.0%	0.0%	15.0%	0.0%
②がん末期の利用者	15	4	0	6	5	0	10	5	0	2	3	0
	100.0%	26.7%	0.0%	40.0%	33.3%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	13	1	0	8	4	0	14	1	0	8	5	0
	100.0%	7.7%	0.0%	61.5%	30.8%	0.0%	100.0%	7.1%	0.0%	57.1%	35.7%	0.0%
④神経難病	28	15	7	5	1	0	28	16	7	4	1	0
	100.0%	53.6%	25.0%	17.9%	3.6%	0.0%	100.0%	57.1%	25.0%	14.3%	3.6%	0.0%
⑤脳血管疾患	30	22	1	5	2	0	29	21	1	5	2	0
	100.0%	73.3%	3.3%	16.7%	6.7%	0.0%	100.0%	72.4%	3.4%	17.2%	6.9%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	14	4	0	7	3	0	14	6	0	6	2	0
	100.0%	28.6%	0.0%	50.0%	21.4%	0.0%	100.0%	42.9%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%
⑦精神疾患	2	0	1	0	1	0	3	0	1	1	1	0
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
⑧認知症	34	12	0	15	5	2	34	11	0	18	5	0
	100.0%	35.3%	0.0%	44.1%	14.7%	5.9%	100.0%	32.4%	0.0%	52.9%	14.7%	0.0%
⑨その他	29	11	2	10	5	1	28	11	2	10	5	0
	100.0%	37.9%	6.9%	34.5%	17.2%	3.4%	100.0%	39.3%	7.1%	35.7%	17.9%	0.0%
⑩主介護者がいない	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	14	1	1	8	4	0	9	1	1	4	3	0
	100.0%	7.1%	7.1%	57.1%	28.6%	0.0%	100.0%	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%

2) QOL の結果

移動の程度について、「歩き回ることができない」と回答した 6 歳以下の小児の利用者は 11 月時点で 88.6%、12 月時点で 86.4%であった。

がん以外の終末期の利用者は 11 月時点で 82.4%、12 月時点で 76.5%であった。

身の回りの管理について、「自分で身体を洗ったり着替えをすることができない」と回答した 6 歳以下の小児の利用者は 11 月時点で 90.9%、12 月時点で 88.6%であった。

がん以外の終末期の利用者は 11 月時点で 94.1%で、12 月時点で 88.2%であった。

普段の活動（仕事、勉強、家族・余暇活動）について、「ふだんの活動を行うことができない」と回答したがん以外の終末期の利用者が 11 月時点で 82.4%、12 月時点で 82.4%であった。

痛み／不快感について、「少し痛みや不快感がある」と回答したがん以外の終末期の利用者は 11 月時点で 64.7%、12 月時点で 52.9%であった。

「訪問看護を利用する前に比べ身体が安定」について、「とてもそう思う」と回答した精神疾患の利用者は 11 月時点で 37.9%、12 月時点で 55.2%であった。

図表 5-13　疾患・介護者等別　移動の程度

	合計	11月						12月					
		歩き回るのに問題はない	歩き回るのに少し問題がある	歩き回るのに中程度の問題がある	歩き回るのにかなり問題がある	歩き回ることができない	無回答	歩き回るのに問題はない	歩き回るのに少し問題がある	歩き回るのに中程度の問題がある	歩き回るのにかなり問題がある	歩き回ることができない	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	4	0	0	0	39	1	4	0	0	0	38	2
	100.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.6%	2.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	86.4%	4.5%
①-2 小児（７～19 歳）	25	2	1	0	3	19	0	3	0	0	3	17	2
	100.0%	8.0%	4.0%	0.0%	12.0%	76.0%	0.0%	12.0%	0.0%	0.0%	12.0%	68.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	3	10	7	1	16	1	6	6	3	1	13	9
	100.0%	7.9%	26.3%	18.4%	2.6%	42.1%	2.6%	15.8%	15.8%	7.9%	2.6%	34.2%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	0	1	0	2	14	0	0	0	0	3	13	1
	100.0%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	76.5%	5.9%
④神経難病	59	1	5	9	7	35	2	1	4	8	9	35	2
	100.0%	1.7%	8.5%	15.3%	11.9%	59.3%	3.4%	1.7%	6.8%	13.6%	15.3%	59.3%	3.4%
⑤脳血管疾患	61	1	10	11	10	25	4	2	11	9	8	27	4
	100.0%	1.6%	16.4%	18.0%	16.4%	41.0%	6.6%	3.3%	18.0%	14.8%	13.1%	44.3%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	8	23	14	14	16	3	10	22	15	12	13	6
	100.0%	10.3%	29.5%	17.9%	17.9%	20.5%	3.8%	12.8%	28.2%	19.2%	15.4%	16.7%	7.7%
⑦精神疾患	29	17	7	3	1	1	0	18	7	2	1	1	0
	100.0%	58.6%	24.1%	10.3%	3.4%	3.4%	0.0%	62.1%	24.1%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%
⑧認知症	53	8	9	7	5	22	2	11	9	6	4	22	1
	100.0%	15.1%	17.0%	13.2%	9.4%	41.5%	3.8%	20.8%	17.0%	11.3%	7.5%	41.5%	1.9%
⑨その他	111	18	24	21	10	36	2	13	25	22	8	36	7
	100.0%	16.2%	21.6%	18.9%	9.0%	32.4%	1.8%	11.7%	22.5%	19.8%	7.2%	32.4%	6.3%
⑩主介護者がいない	39	13	8	3	5	7	3	12	9	2	4	7	5
	100.0%	33.3%	20.5%	7.7%	12.8%	17.9%	7.7%	30.8%	23.1%	5.1%	10.3%	17.9%	12.8%
⑪独居	96	21	30	17	9	16	3	21	25	21	7	12	10
	100.0%	21.9%	31.3%	17.7%	9.4%	16.7%	3.1%	21.9%	26.0%	21.9%	7.3%	12.5%	10.4%

図表 5-14　疾患・介護者等別　身の回りの管理

	合計	11月						12月					
		問題はない	少し問題がある	中程度の問題がある	かなり問題がある	できない	無回答	問題はない	少し問題がある	中程度の問題がある	かなり問題がある	できない	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	1	0	1	1	40	1	1	0	1	1	39	2
	100.0%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	90.9%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	88.6%	4.5%
①-2 小児（７～19歳）	25	1	2	1	3	18	0	2	1	0	4	16	2
	100.0%	4.0%	8.0%	4.0%	12.0%	72.0%	0.0%	8.0%	4.0%	0.0%	16.0%	64.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	7	4	7	2	17	1	6	5	5	0	13	9
	100.0%	18.4%	10.5%	18.4%	5.3%	44.7%	2.6%	15.8%	13.2%	13.2%	0.0%	34.2%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	0	0	1	0	16	0	0	0	0	1	15	1
	100.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	94.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	88.2%	5.9%
④神経難病	59	1	7	8	6	35	2	1	3	9	9	34	3
	100.0%	1.7%	11.9%	13.6%	10.2%	59.3%	3.4%	1.7%	5.1%	15.3%	15.3%	57.6%	5.1%
⑤脳血管疾患	61	3	9	9	10	26	4	4	8	8	8	29	4
	100.0%	4.9%	14.8%	14.8%	16.4%	42.6%	6.6%	6.6%	13.1%	13.1%	13.1%	47.5%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	15	23	8	14	14	4	12	24	10	13	12	7
	100.0%	19.2%	29.5%	10.3%	17.9%	17.9%	5.1%	15.4%	30.8%	12.8%	16.7%	15.4%	9.0%
⑦精神疾患	29	20	4	1	2	2	0	21	4	1	2	1	0
	100.0%	69.0%	13.8%	3.4%	6.9%	6.9%	0.0%	72.4%	13.8%	3.4%	6.9%	3.4%	0.0%
⑧認知症	53	6	12	5	2	26	2	8	11	7	2	24	1
	100.0%	11.3%	22.6%	9.4%	3.8%	49.1%	3.8%	15.1%	20.8%	13.2%	3.8%	45.3%	1.9%
⑨その他	111	21	23	20	11	34	2	17	24	19	13	31	7
	100.0%	18.9%	20.7%	18.0%	9.9%	30.6%	1.8%	15.3%	21.6%	17.1%	11.7%	27.9%	6.3%
⑩主介護者がいない	39	16	7	3	1	9	3	14	9	2	1	8	5
	100.0%	41.0%	17.9%	7.7%	2.6%	23.1%	7.7%	35.9%	23.1%	5.1%	2.6%	20.5%	12.8%
⑪独居	96	28	25	16	9	15	3	24	26	14	9	12	11
	100.0%	29.2%	26.0%	16.7%	9.4%	15.6%	3.1%	25.0%	27.1%	14.6%	9.4%	12.5%	11.5%

注）身の回りの管理の表記については、下記のように省略を行っている。

・自分で身体を洗ったり着替えをするのに問題はない：問題はない　　※少し問題がある・中程度の問題がある・かなり問題がある　についても同様

・自分で身体を洗ったり着替えをすることができない：できない

図表 5-15　疾患・介護者等別　普段の活動（仕事、勉強、家族・余暇活動）

	合計	11月						12月					
		ふだんの活動を行うのに問題はない	ふだんの活動を行うのに少し問題がある	ふだんの活動を行うのに中程度の問題がある	ふだんの活動を行うのにかなり問題がある	ふだんの活動を行うことができない	無回答	ふだんの活動を行うのに問題はない	ふだんの活動を行うのに少し問題がある	ふだんの活動を行うのに中程度の問題がある	ふだんの活動を行うのにかなり問題がある	ふだんの活動を行うことができない	無回答
①-1 小児	44	4	1	2	5	30	2	5	1	3	7	25	3
（６歳以下）	100.0%	9.1%	2.3%	4.5%	11.4%	68.2%	4.5%	11.4%	2.3%	6.8%	15.9%	56.8%	6.8%
①-2 小児	25	1	2	2	8	11	1	1	2	1	8	11	2
（７～19 歳）	100.0%	4.0%	8.0%	8.0%	32.0%	44.0%	4.0%	4.0%	8.0%	4.0%	32.0%	44.0%	8.0%
②がん末期の	38	5	10	2	4	16	1	4	6	4	1	14	9
利用者	100.0%	13.2%	26.3%	5.3%	10.5%	42.1%	2.6%	10.5%	15.8%	10.5%	2.6%	36.8%	23.7%
③がん以外の	17	0	0	0	3	14	0	0	0	0	2	14	1
終末期の利用者	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	82.4%	5.9%
④神経難病	59	0	7	10	14	26	2	0	7	8	13	29	2
	100.0%	0.0%	11.9%	16.9%	23.7%	44.1%	3.4%	0.0%	11.9%	13.6%	22.0%	49.2%	3.4%
⑤脳血管疾患	61	1	10	13	13	20	4	1	9	12	14	21	4
	100.0%	1.6%	16.4%	21.3%	21.3%	32.8%	6.6%	1.6%	14.8%	19.7%	23.0%	34.4%	6.6%
⑥呼吸器疾患ま	78	11	22	12	20	9	4	5	29	11	16	11	6
たは循環器疾患	100.0%	14.1%	28.2%	15.4%	25.6%	11.5%	5.1%	6.4%	37.2%	14.1%	20.5%	14.1%	7.7%
⑦精神疾患	29	14	7	3	4	1	0	16	9	2	2	0	0
	100.0%	48.3%	24.1%	10.3%	13.8%	3.4%	0.0%	55.2%	31.0%	6.9%	6.9%	0.0%	0.0%
⑧認知症	53	4	13	7	5	22	2	7	12	5	10	18	1
	100.0%	7.5%	24.5%	13.2%	9.4%	41.5%	3.8%	13.2%	22.6%	9.4%	18.9%	34.0%	1.9%
⑨その他	111	18	29	18	17	27	2	15	29	18	20	22	7
	100.0%	16.2%	26.1%	16.2%	15.3%	24.3%	1.8%	13.5%	26.1%	16.2%	18.0%	19.8%	6.3%
⑩主介護者が	39	9	14	2	3	8	3	10	11	3	2	8	5
いない	100.0%	23.1%	35.9%	5.1%	7.7%	20.5%	7.7%	25.6%	28.2%	7.7%	5.1%	20.5%	12.8%
⑪独居	96	16	38	14	11	14	3	13	36	16	10	11	10
	100.0%	16.7%	39.6%	14.6%	11.5%	14.6%	3.1%	13.5%	37.5%	16.7%	10.4%	11.5%	10.4%

図表 5-16　疾患・介護者等別　痛み／不快感

	合計	11月						12月					
		痛みや不快感はない	少し痛みや不快感がある	中程度の痛みや不快感がある	かなりの痛みや不快感がある	極度の痛みや不快感がある	無回答	痛みや不快感はない	少し痛みや不快感がある	中程度の痛みや不快感がある	かなりの痛みや不快感がある	極度の痛みや不快感がある	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	19	12	9	0	0	4	18	11	9	0	0	6
	100.0%	43.2%	27.3%	20.5%	0.0%	0.0%	9.1%	40.9%	25.0%	20.5%	0.0%	0.0%	13.6%
①-2 小児（７～19 歳）	25	11	8	3	2	1	0	9	8	4	1	1	2
	100.0%	44.0%	32.0%	12.0%	8.0%	4.0%	0.0%	36.0%	32.0%	16.0%	4.0%	4.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	5	14	14	3	1	1	4	17	3	3	2	9
	100.0%	13.2%	36.8%	36.8%	7.9%	2.6%	2.6%	10.5%	44.7%	7.9%	7.9%	5.3%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	2	11	4	0	0	0	3	9	3	1	0	1
	100.0%	11.8%	64.7%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	52.9%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%
④神経難病	59	22	16	9	6	3	3	17	18	10	7	2	5
	100.0%	37.3%	27.1%	15.3%	10.2%	5.1%	5.1%	28.8%	30.5%	16.9%	11.9%	3.4%	8.5%
⑤脳血管疾患	61	17	21	17	2	0	4	18	25	13	1	0	4
	100.0%	27.9%	34.4%	27.9%	3.3%	0.0%	6.6%	29.5%	41.0%	21.3%	1.6%	0.0%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	23	30	11	7	3	4	19	30	16	5	2	6
	100.0%	29.5%	38.5%	14.1%	9.0%	3.8%	5.1%	24.4%	38.5%	20.5%	6.4%	2.6%	7.7%
⑦精神疾患	29	11	10	5	3	0	0	14	10	3	2	0	0
	100.0%	37.9%	34.5%	17.2%	10.3%	0.0%	0.0%	48.3%	34.5%	10.3%	6.9%	0.0%	0.0%
⑧認知症	53	18	18	9	3	2	3	18	18	11	2	0	4
	100.0%	34.0%	34.0%	17.0%	5.7%	3.8%	5.7%	34.0%	34.0%	20.8%	3.8%	0.0%	7.5%
⑨その他	111	27	37	31	12	2	2	25	42	26	9	2	7
	100.0%	24.3%	33.3%	27.9%	10.8%	1.8%	1.8%	22.5%	37.8%	23.4%	8.1%	1.8%	6.3%
⑩主介護者がいない	39	12	12	8	3	1	3	12	13	6	3	0	5
	100.0%	30.8%	30.8%	20.5%	7.7%	2.6%	7.7%	30.8%	33.3%	15.4%	7.7%	0.0%	12.8%
⑪独居	96	26	34	24	5	4	3	25	34	17	6	2	12
	100.0%	27.1%	35.4%	25.0%	5.2%	4.2%	3.1%	26.0%	35.4%	17.7%	6.3%	2.1%	12.5%

図表 5-17　疾患・介護者等別　不安／ふさぎ込み

	合計	11月						12月					
		不安でもふさぎ込んでもいない	少し不安あるいはふさぎ込んでいる	中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる	かなり不安あるいはふさぎ込んでいる	極度に不安あるいはふさぎ込んでいる	無回答	不安でもふさぎ込んでもいない	少し不安あるいはふさぎ込んでいる	中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる	かなり不安あるいはふさぎ込んでいる	極度に不安あるいはふさぎ込んでいる	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	25	7	4	0	0	8	23	9	3	0	0	9
	100.0%	56.8%	15.9%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	52.3%	20.5%	6.8%	0.0%	0.0%	20.5%
①-2 小児（７～19歳）	25	13	6	0	3	1	2	14	5	2	1	0	3
	100.0%	52.0%	24.0%	0.0%	12.0%	4.0%	8.0%	56.0%	20.0%	8.0%	4.0%	0.0%	12.0%
②がん末期の利用者	38	10	13	10	4	0	1	11	9	6	1	2	9
	100.0%	26.3%	34.2%	26.3%	10.5%	0.0%	2.6%	28.9%	23.7%	15.8%	2.6%	5.3%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	7	5	4	0	1	0	10	5	1	0	0	1
	100.0%	41.2%	29.4%	23.5%	0.0%	5.9%	0.0%	58.8%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%
④神経難病	59	17	23	10	4	2	3	18	20	13	3	1	4
	100.0%	28.8%	39.0%	16.9%	6.8%	3.4%	5.1%	30.5%	33.9%	22.0%	5.1%	1.7%	6.8%
⑤脳血管疾患	61	24	23	8	2	0	4	27	22	7	1	0	4
	100.0%	39.3%	37.7%	13.1%	3.3%	0.0%	6.6%	44.3%	36.1%	11.5%	1.6%	0.0%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	28	31	9	5	1	4	31	27	11	2	1	6
	100.0%	35.9%	39.7%	11.5%	6.4%	1.3%	5.1%	39.7%	34.6%	14.1%	2.6%	1.3%	7.7%
⑦精神疾患	29	3	13	8	5	0	0	7	7	9	3	2	1
	100.0%	10.3%	44.8%	27.6%	17.2%	0.0%	0.0%	24.1%	24.1%	31.0%	10.3%	6.9%	3.4%
⑧認知症	53	18	15	9	5	3	3	20	17	5	4	5	2
	100.0%	34.0%	28.3%	17.0%	9.4%	5.7%	5.7%	37.7%	32.1%	9.4%	7.5%	9.4%	3.8%
⑨その他	111	36	44	20	6	3	2	41	44	11	5	2	8
	100.0%	32.4%	39.6%	18.0%	5.4%	2.7%	1.8%	36.9%	39.6%	9.9%	4.5%	1.8%	7.2%
⑩主介護者がいない	39	10	15	6	5	0	3	11	13	7	2	1	5
	100.0%	25.6%	38.5%	15.4%	12.8%	0.0%	7.7%	28.2%	33.3%	17.9%	5.1%	2.6%	12.8%
⑪独居	96	33	39	12	9	0	3	31	34	15	4	1	11
	100.0%	34.4%	40.6%	12.5%	9.4%	0.0%	3.1%	32.3%	35.4%	15.6%	4.2%	1.0%	11.5%

図表 5-18 疾患・介護者等別 訪問看護を利用する前に比べ身体が安定

	合計	11月						12月					
		とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	16	19	8	0	0	1	10	25	7	0	0	2
	100.0%	36.4%	43.2%	18.2%	0.0%	0.0%	2.3%	22.7%	56.8%	15.9%	0.0%	0.0%	4.5%
①-2 小児（７～19 歳）	25	10	11	3	1	0	0	10	11	2	0	0	2
	100.0%	40.0%	44.0%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%	40.0%	44.0%	8.0%	0.0%	0.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	9	15	13	0	0	1	15	9	4	1	0	9
	100.0%	23.7%	39.5%	34.2%	0.0%	0.0%	2.6%	39.5%	23.7%	10.5%	2.6%	0.0%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	7	5	5	0	0	0	8	3	5	0	0	1
	100.0%	41.2%	29.4%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	17.6%	29.4%	0.0%	0.0%	5.9%
④神経難病	59	29	20	7	1	0	2	27	22	6	2	0	2
	100.0%	49.2%	33.9%	11.9%	1.7%	0.0%	3.4%	45.8%	37.3%	10.2%	3.4%	0.0%	3.4%
⑤脳血管疾患	61	19	32	5	1	0	4	21	29	5	2	0	4
	100.0%	31.1%	52.5%	8.2%	1.6%	0.0%	6.6%	34.4%	47.5%	8.2%	3.3%	0.0%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	27	35	10	1	1	4	27	34	9	1	1	6
	100.0%	34.6%	44.9%	12.8%	1.3%	1.3%	5.1%	34.6%	43.6%	11.5%	1.3%	1.3%	7.7%
⑦精神疾患	29	11	14	2	1	1	0	16	11	1	0	1	0
	100.0%	37.9%	48.3%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%	55.2%	37.9%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%
⑧認知症	53	18	21	11	1	0	2	24	18	8	2	0	1
	100.0%	34.0%	39.6%	20.8%	1.9%	0.0%	3.8%	45.3%	34.0%	15.1%	3.8%	0.0%	1.9%
⑨その他	111	37	51	15	4	1	3	54	36	8	5	0	8
	100.0%	33.3%	45.9%	13.5%	3.6%	0.9%	2.7%	48.6%	32.4%	7.2%	4.5%	0.0%	7.2%
⑩主介護者がいない	39	12	18	4	1	1	3	14	14	3	1	2	5
	100.0%	30.8%	46.2%	10.3%	2.6%	2.6%	7.7%	35.9%	35.9%	7.7%	2.6%	5.1%	12.8%
⑪独居	96	36	45	11	1	0	3	44	31	8	2	0	11
	100.0%	37.5%	46.9%	11.5%	1.0%	0.0%	3.1%	45.8%	32.3%	8.3%	2.1%	0.0%	11.5%

図表 5-19　疾患・介護者等別　訪問看護を利用する前に比べ不安軽減

	合計	11月						12月					
		とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	14	22	7	0	0	1	9	25	7	1	0	2
	100.0%	31.8%	50.0%	15.9%	0.0%	0.0%	2.3%	20.5%	56.8%	15.9%	2.3%	0.0%	4.5%
①-2 小児（７～19歳）	25	11	10	4	0	0	0	9	12	2	0	0	2
	100.0%	44.0%	40.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.0%	48.0%	8.0%	0.0%	0.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	12	15	10	0	0	1	13	11	2	1	2	9
	100.0%	31.6%	39.5%	26.3%	0.0%	0.0%	2.6%	34.2%	28.9%	5.3%	2.6%	5.3%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	6	6	5	0	0	0	5	7	4	0	0	1
	100.0%	35.3%	35.3%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	41.2%	23.5%	0.0%	0.0%	5.9%
④神経難病	59	24	26	6	0	0	3	25	28	4	0	0	2
	100.0%	40.7%	44.1%	10.2%	0.0%	0.0%	5.1%	42.4%	47.5%	6.8%	0.0%	0.0%	3.4%
⑤脳血管疾患	61	22	23	11	1	0	4	23	23	10	1	0	4
	100.0%	36.1%	37.7%	18.0%	1.6%	0.0%	6.6%	37.7%	37.7%	16.4%	1.6%	0.0%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	18	40	13	2	0	5	21	39	11	0	1	6
	100.0%	23.1%	51.3%	16.7%	2.6%	0.0%	6.4%	26.9%	50.0%	14.1%	0.0%	1.3%	7.7%
⑦精神疾患	29	10	12	6	0	1	0	13	11	3	1	1	0
	100.0%	34.5%	41.4%	20.7%	0.0%	3.4%	0.0%	44.8%	37.9%	10.3%	3.4%	3.4%	0.0%
⑧認知症	53	15	19	15	1	1	2	22	19	10	0	1	1
	100.0%	28.3%	35.8%	28.3%	1.9%	1.9%	3.8%	41.5%	35.8%	18.9%	0.0%	1.9%	1.9%
⑨その他	111	39	54	12	3	1	2	51	42	8	3	0	7
	100.0%	35.1%	48.6%	10.8%	2.7%	0.9%	1.8%	45.9%	37.8%	7.2%	2.7%	0.0%	6.3%
⑩主介護者がいない	39	13	18	4	0	1	3	16	15	2	0	1	5
	100.0%	33.3%	46.2%	10.3%	0.0%	2.6%	7.7%	41.0%	38.5%	5.1%	0.0%	2.6%	12.8%
⑪独居	96	35	46	11	0	0	4	39	39	7	1	0	10
	100.0%	36.5%	47.9%	11.5%	0.0%	0.0%	4.2%	40.6%	40.6%	7.3%	1.0%	0.0%	10.4%

図表 5-20　疾患・介護者等別　訪問看護を利用する前に比べ自信がついた

	合計	11月						12月					
		とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
①-1 小児（６歳以下）	44	14	22	7	0	0	1	10	24	7	0	0	3
	100.0%	31.8%	50.0%	15.9%	0.0%	0.0%	2.3%	22.7%	54.5%	15.9%	0.0%	0.0%	6.8%
①-2 小児（７～19 歳）	25	13	5	7	0	0	0	10	6	7	0	0	2
	100.0%	52.0%	20.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	24.0%	28.0%	0.0%	0.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	10	13	12	2	0	1	12	10	5	1	1	9
	100.0%	26.3%	34.2%	31.6%	5.3%	0.0%	2.6%	31.6%	26.3%	13.2%	2.6%	2.6%	23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17	5	5	6	1	0	0	6	5	4	1	0	1
	100.0%	29.4%	29.4%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	35.3%	29.4%	23.5%	5.9%	0.0%	5.9%
④神経難病	59	20	25	10	2	0	2	23	28	5	0	1	2
	100.0%	33.9%	42.4%	16.9%	3.4%	0.0%	3.4%	39.0%	47.5%	8.5%	0.0%	1.7%	3.4%
⑤脳血管疾患	61	19	23	14	0	0	5	21	24	12	0	0	4
	100.0%	31.1%	37.7%	23.0%	0.0%	0.0%	8.2%	34.4%	39.3%	19.7%	0.0%	0.0%	6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	19	33	19	1	0	6	23	36	11	0	2	6
	100.0%	24.4%	42.3%	24.4%	1.3%	0.0%	7.7%	29.5%	46.2%	14.1%	0.0%	2.6%	7.7%
⑦精神疾患	29	9	12	7	0	1	0	14	11	2	1	1	0
	100.0%	31.0%	41.4%	24.1%	0.0%	3.4%	0.0%	48.3%	37.9%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%
⑧認知症	53	16	15	17	1	2	2	23	13	15	0	1	1
	100.0%	30.2%	28.3%	32.1%	1.9%	3.8%	3.8%	43.4%	24.5%	28.3%	0.0%	1.9%	1.9%
⑨その他	111	36	49	22	1	1	2	40	43	18	2	1	7
	100.0%	32.4%	44.1%	19.8%	0.9%	0.9%	1.8%	36.0%	38.7%	16.2%	1.8%	0.9%	6.3%
⑩主介護者がいない	39	14	14	6	1	1	3	15	12	5	1	1	5
	100.0%	35.9%	35.9%	15.4%	2.6%	2.6%	7.7%	38.5%	30.8%	12.8%	2.6%	2.6%	12.8%
⑪独居	96	37	39	14	2	0	4	48	31	6	1	0	10
	100.0%	38.5%	40.6%	14.6%	2.1%	0.0%	4.2%	50.0%	32.3%	6.3%	1.0%	0.0%	10.4%

(10) EQ-5D※

11 月の EQ-5D について、がん以外の終末期の利用者は平均 0.286 であった。

※EQ-5D は「0～1」のスコアで表し、QOL について、「0」は死亡、「1」は完全な健康と基準化されている。「1」に近づくに従って、QOL は高いと評価する。

図表 5-21　疾患・介護者等別　11 月の EQ-5D

	回答件数（件）	平均	標準偏差	中央値
①-1　小児（６歳以下）	36	0.373	0.159	0.362
①-2　小児（７～19 歳）	22	0.375	0.184	0.362
②がん末期の利用者	37	0.449	0.239	0.423
③がん以外の終末期の利用者	17	0.286	0.065	0.295
④神経難病	56	0.365	0.177	0.362
⑤脳血管疾患	57	0.438	0.197	0.381
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	74	0.545	0.246	0.589
⑦精神疾患	29	0.693	0.195	0.726
⑧認知症	50	0.462	0.251	0.401
⑨その他	109	0.512	0.243	0.480
⑩主介護者がいない	36	0.593	0.250	0.667
⑪独居	93	0.590	0.231	0.639

図表 5-22　疾患・介護者等別　12 月の EQ-5D

	回答件数（件）	平均	標準偏差	中央値
①-1　小児（６歳以下）	35	0.381	0.160	0.329
①-2　小児（７～19 歳）	22	0.388	0.198	0.331
②がん末期の利用者	29	0.472	0.279	0.420
③がん以外の終末期の利用者	16	0.304	0.063	0.317
④神経難病	53	0.355	0.165	0.317
⑤脳血管疾患	57	0.444	0.203	0.362
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	71	0.556	0.232	0.590
⑦精神疾患	28	0.753	0.173	0.784
⑧認知症	49	0.496	0.264	0.447
⑨その他	103	0.517	0.238	0.535
⑩主介護者がいない	34	0.608	0.231	0.665
⑪独居	83	0.605	0.214	0.665

2. 疾患・介護者等別　ニーズ

(1) ニーズの有無

ニーズの有無について、６歳以下の小児の利用者は「心肺機能」のニーズがある利用者は 79.5%、「尿失禁」のニーズがある利用者が 54.5%、「医療的処置や器材」のニーズがある利用者が 81.8%、「成長と発達」のニーズがある利用者が 81.8%であった。

７～19 歳の小児の利用者は「身体活動の推進」のニーズがある利用者は 80.0%、「ADL」のニーズがある利用者は 80.0%、「尿失禁」のニーズがある利用者は 48.0%、「感染・発熱の徴候」のニーズがある利用者は 48.0%、「医療的処置や器材」のニーズがある利用者は 76.0%、「成長と発達」のニーズがある利用者が 76.0%、「清潔」のニーズがある利用者が 68.0%であった。

がん末期の利用者は「痛み」のニーズがある利用者が 65.8%、「感染・発熱の徴候」のニーズがある利用者が 42.1%、「ターミナル期」のニーズがある利用者が 86.8%であった。

がん以外の終末期の利用者は「褥瘡」のニーズがある利用者は 52.9%、「低栄養」のニーズがある利用者は 64.7%、「家族介護力・家族機能」のニーズがある利用者が 76.5%、「ターミナル期」のニーズがある利用者が 70.6%であった。

神経難病の利用者は「ADL」のニーズがある利用者は 84.7%であった。

脳血管疾患の利用者は「ADL」のニーズがある利用者は 90.2%であった。

呼吸器疾患または循環器疾患の利用者は「心肺機能」のニーズがある利用者は 78.2%であった。

精神疾患の利用者は「気分」のニーズがある利用者は 82.8%、「社会関係」のニーズがある利用者は 65.5%、「健康管理・セルフケア」のニーズがある利用者は 86.2%、「睡眠」のニーズがある利用者は 44.8%であった。

認知症の利用者は「認知低下」のニーズがある利用者は 71.7%であった。

主介護者がいない利用者は「気分」のニーズがある利用者は 48.7%であった。

図表 5-23　疾患・介護者等別　ニーズの有無_有の割合（複数回答）

	合計	身体活動の推進	IADL	ADL	住環境の改善	施設入所のリスク	身体抑制	認知低下	せん妄	コミュニケーション	気分	行動	虐待	アクティビティ	インフォーマルな支援	社会関係	転倒	痛み	褥瘡	心肺機能
①-1　小児（６歳以下）	44	32	25	31	8	3	3	0	0	23	3	10	2	9	3	8	5	2	1	35
	100.0%	72.7%	56.8%	70.5%	18.2%	6.8%	6.8%	0.0%	0.0%	52.3%	6.8%	22.7%	4.5%	20.5%	6.8%	18.2%	11.4%	4.5%	2.3%	79.5%
①-2　小児（７～19 歳）	25	20	16	20	4	4	2	1	1	14	6	9	1	8	2	8	4	4	3	18
	100.0%	80.0%	64.0%	80.0%	16.0%	16.0%	8.0%	4.0%	4.0%	56.0%	24.0%	36.0%	4.0%	32.0%	8.0%	32.0%	16.0%	16.0%	12.0%	72.0%
②がん末期の利用者	38	17	11	24	8	2	2	11	5	5	13	7	0	1	5	2	10	25	10	13
	100.0%	44.7%	28.9%	63.2%	21.1%	5.3%	5.3%	28.9%	13.2%	13.2%	34.2%	18.4%	0.0%	2.6%	13.2%	5.3%	26.3%	65.8%	26.3%	34.2%
③がん以外の終末期の利用者	17	3	3	7	1	0	0	5	3	5	1	2	0	0	0	0	2	1	9	8
	100.0%	17.6%	17.6%	41.2%	5.9%	0.0%	0.0%	29.4%	17.6%	29.4%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	52.9%	47.1%
④神経難病	59	34	24	50	13	6	3	12	3	25	15	13	0	9	4	9	21	16	14	24
	100.0%	57.6%	40.7%	84.7%	22.0%	10.2%	5.1%	20.3%	5.1%	42.4%	25.4%	22.0%	0.0%	15.3%	6.8%	15.3%	35.6%	27.1%	23.7%	40.7%
⑤脳血管疾患	61	43	28	55	18	7	0	14	0	18	9	15	0	5	11	8	26	17	7	23
	100.0%	70.5%	45.9%	90.2%	29.5%	11.5%	0.0%	23.0%	0.0%	29.5%	14.8%	24.6%	0.0%	8.2%	18.0%	13.1%	42.6%	27.9%	11.5%	37.7%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	53	28	57	15	11	1	31	2	11	17	18	1	10	14	14	31	25	4	61
	100.0%	67.9%	35.9%	73.1%	19.2%	14.1%	1.3%	39.7%	2.6%	14.1%	21.8%	23.1%	1.3%	12.8%	17.9%	17.9%	39.7%	32.1%	5.1%	78.2%
⑦精神疾患	29	17	15	12	7	2	0	4	0	8	24	9	2	6	8	19	7	5	0	3
	100.0%	58.6%	51.7%	41.4%	24.1%	6.9%	0.0%	13.8%	0.0%	27.6%	82.8%	31.0%	6.9%	20.7%	27.6%	65.5%	24.1%	17.2%	0.0%	10.3%
⑧認知症	53	37	19	36	10	5	0	38	3	16	11	11	0	10	6	7	21	14	12	19
	100.0%	69.8%	35.8%	67.9%	18.9%	9.4%	0.0%	71.7%	5.7%	30.2%	20.8%	20.8%	0.0%	18.9%	11.3%	13.2%	39.6%	26.4%	22.6%	35.8%
⑨その他	111	69	38	73	13	7	4	24	2	13	22	25	1	12	13	19	45	33	21	42
	100.0%	62.2%	34.2%	65.8%	11.7%	6.3%	3.6%	21.6%	1.8%	11.7%	19.8%	22.5%	0.9%	10.8%	11.7%	17.1%	40.5%	29.7%	18.9%	37.8%
⑩主介護者がいない	39	22	16	22	9	6	0	4	0	5	19	10	1	6	6	11	7	9	4	11
	100.0%	56.4%	41.0%	56.4%	23.1%	15.4%	0.0%	10.3%	0.0%	12.8%	48.7%	25.6%	2.6%	15.4%	15.4%	28.2%	17.9%	23.1%	10.3%	28.2%
⑪独居	96	53	30	55	17	14	2	24	2	13	28	21	0	15	13	22	41	33	9	34
	100.0%	55.2%	31.3%	57.3%	17.7%	14.6%	2.1%	25.0%	2.1%	13.5%	29.2%	21.9%	0.0%	15.6%	13.5%	22.9%	42.7%	34.4%	9.4%	35.4%

（続き）

	合計	低栄養	脱水	胃ろう	検診・予防接種	適切な薬剤使用	喫煙と飲酒	尿失禁	便通	健康管理・セルフケア	感染・発熱の徴候	医療的処置や器材	家族介護力・家族機能	ターミナル期	成長と発達	睡眠	清潔	経済・制度利用の選択や変更・拡大	人間のセクシュアリティ
①-1　小児	44	4	3	11	8	12	0	24	10	31	9	36	28	3	36	5	22	5	2
（6歳以下）	100.0%	9.1%	6.8%	25.0%	18.2%	27.3%	0.0%	54.5%	22.7%	70.5%	20.5%	81.8%	63.6%	6.8%	81.8%	11.4%	50.0%	11.4%	4.5%
①-2　小児	25	6	3	9	4	10	0	12	16	17	12	19	15	1	19	4	17	4	2
（7～19歳）	100.0%	24.0%	12.0%	36.0%	16.0%	40.0%	0.0%	48.0%	64.0%	68.0%	48.0%	76.0%	60.0%	4.0%	76.0%	16.0%	68.0%	16.0%	8.0%
②がん末期の利用者	38	18	8	1	0	22	2	8	24	20	16	18	24	33	1	10	15	2	1
	100.0%	47.4%	21.1%	2.6%	0.0%	57.9%	5.3%	21.1%	63.2%	52.6%	42.1%	47.4%	63.2%	86.8%	2.6%	26.3%	39.5%	5.3%	2.6%
③がん以外の終末期の	17	11	6	1	1	5	0	4	9	3	5	6	13	12	0	0	3	0	0
利用者	100.0%	64.7%	35.3%	5.9%	5.9%	29.4%	0.0%	23.5%	52.9%	17.6%	29.4%	35.3%	76.5%	70.6%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%
④神経難病	59	6	6	22	4	21	0	16	35	30	22	28	35	0	3	11	27	4	3
	100.0%	10.2%	10.2%	37.3%	6.8%	35.6%	0.0%	27.1%	59.3%	50.8%	37.3%	47.5%	59.3%	0.0%	5.1%	18.6%	45.8%	6.8%	5.1%
⑤脳血管疾患	61	5	4	15	7	21	0	15	31	33	14	11	42	0	0	6	16	7	1
	100.0%	8.2%	6.6%	24.6%	11.5%	34.4%	0.0%	24.6%	50.8%	54.1%	23.0%	18.0%	68.9%	0.0%	0.0%	9.8%	26.2%	11.5%	1.6%
⑥呼吸器疾患または循	78	10	10	2	8	38	2	13	27	52	16	35	36	1	0	11	27	6	3
環器疾患	100.0%	12.8%	12.8%	2.6%	10.3%	48.7%	2.6%	16.7%	34.6%	66.7%	20.5%	44.9%	46.2%	1.3%	0.0%	14.1%	34.6%	7.7%	3.8%
⑦精神疾患	29	0	1	1	4	19	6	1	8	25	2	3	15	0	1	13	7	6	4
	100.0%	0.0%	3.4%	3.4%	13.8%	65.5%	20.7%	3.4%	27.6%	86.2%	6.9%	10.3%	51.7%	0.0%	3.4%	44.8%	24.1%	20.7%	13.8%
⑧認知症	53	11	13	6	3	24	1	14	27	31	10	12	33	0	0	6	17	4	0
	100.0%	20.8%	24.5%	11.3%	5.7%	45.3%	1.9%	26.4%	50.9%	58.5%	18.9%	22.6%	62.3%	0.0%	0.0%	11.3%	32.1%	7.5%	0.0%
⑨その他	111	15	14	5	5	69	5	13	56	72	33	40	52	2	1	16	31	4	4
	100.0%	13.5%	12.6%	4.5%	4.5%	62.2%	4.5%	11.7%	50.5%	64.9%	29.7%	36.0%	46.8%	1.8%	0.9%	14.4%	27.9%	3.6%	3.6%
⑩主介護者がいない	39	5	3	0	2	23	5	2	14	22	4	10	9	3	1	10	8	4	2
	100.0%	12.8%	7.7%	0.0%	5.1%	59.0%	12.8%	5.1%	35.9%	56.4%	10.3%	25.6%	23.1%	7.7%	2.6%	25.6%	20.5%	10.3%	5.1%
⑪独居	96	12	14	1	3	59	7	8	37	59	15	22	33	9	0	16	22	7	2
	100.0%	12.5%	14.6%	1.0%	3.1%	61.5%	7.3%	8.3%	38.5%	61.5%	15.6%	22.9%	34.4%	9.4%	0.0%	16.7%	22.9%	7.3%	2.1%

(2) ニーズ有の個数

ニーズ有の個数について、７～19 歳の利用者は平均 12.6 個であった。

図表 5-24　疾患・介護者等別　ニーズ有の個数

	回答件数（件）	平均（個）	標準偏差	中央値（個）
①-1　小児（６歳以下）	44	10.3	22.2	9.0
①-2　小児（７～19 歳）	25	12.6	34.4	12.0
②がん末期の利用者	38	10.4	43.9	8.0
③がん以外の終末期の利用者	17	7.6	32.5	6.0
④神経難病	59	9.6	40.3	9.0
⑤脳血管疾患	61	8.7	24.4	8.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	9.0	28.7	8.0
⑦精神疾患	29	9.1	26.4	8.0
⑧認知症	53	9.2	22.9	8.0
⑨その他	111	8.2	20.1	7.0
⑩主介護者がいない	39	7.6	16.2	7.0
⑪独居	96	7.8	19.1	7.0

(3) ニーズを選んだ視点

ニーズをもっている利用者の割合が高い、代表的なニーズ（上位５位まで）の視点、また、(1) ニーズの有無で特徴のあったニーズについて、検討を行った。

＜代表的なニーズ（上位５位まで）＞

１．ADL
２．身体活動の推進
３．健康管理・セルフケア
４．家族介護力・家族機能
５．心肺機能

＜（1）ニーズの有無で特徴のあったニーズ＞

６．尿失禁
７．医療的処置や器材
８．成長と発達
９．感染・発熱の徴候
10．清潔
11．痛み
12．ターミナル期
13．褥瘡
14．低栄養
15．気分
16．社会関係
17．睡眠
18．認知低下

1) ADL のニーズがある利用者について選んだ視点

ADL のニーズがある利用者について選んだ視点は「利用者・家族のセルフケア能力の向上」の視点を選んだ利用者は、がん末期の利用者が 50.0%、精神疾患の利用者が 41.7%、主介護者がいない利用者が 50.0%、独居の利用者が 41.8%であった。

図表 5-25　疾患・介護者等別　ADL のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	31 100.0%	29 93.5%	26 83.9%	2 6.5%	3 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	20 100.0%	17 85.0%	17 85.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	24 100.0%	20 83.3%	9 37.5%	2 8.3%	12 50.0%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	7 100.0%	5 71.4%	4 57.1%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
④神経難病	50 100.0%	45 90.0%	37 74.0%	2 4.0%	10 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	55 100.0%	49 89.1%	40 72.7%	1 1.8%	14 25.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	57 100.0%	48 84.2%	42 73.7%	1 1.8%	15 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	12 100.0%	12 100.0%	6 50.0%	0 0.0%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	36 100.0%	26 72.2%	25 69.4%	0 0.0%	13 36.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	73 100.0%	63 86.3%	54 74.0%	2 2.7%	19 26.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	22 100.0%	22 100.0%	10 45.5%	0 0.0%	11 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	55 100.0%	48 87.3%	34 61.8%	0 0.0%	23 41.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%

2) 身体活動の推進のニーズがある利用者について選んだ視点

身体活動の推進のニーズがある利用者について選んだ視点は、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者は、脳血管疾患の利用者が 93.0%、7 歳～19 歳の小児の利用者が 90.0%、精神疾患の利用者が 100.0%であった。「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者は、呼吸器疾患または循環器疾患の利用者が 86.8%、 6 歳以下の小児の利用者が 90.6%であった。「利用者・家族の意思決定」の視点を選んだ利用者は、がん以外の終末期の利用者が 66.7%であった。

図表 5-26　疾患・介護者等別　身体活動の推進のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（6 歳以下）	32 100.0%	28 87.5%	29 90.6%	0 0.0%	4 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（7～19 歳）	20 100.0%	18 90.0%	18 90.0%	1 5.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	17 100.0%	11 64.7%	8 47.1%	5 29.4%	4 23.5%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	34 100.0%	29 85.3%	26 76.5%	2 5.9%	6 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	43 100.0%	40 93.0%	32 74.4%	0 0.0%	7 16.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	53 100.0%	43 81.1%	46 86.8%	0 0.0%	10 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	17 100.0%	17 100.0%	9 52.9%	1 5.9%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	37 100.0%	28 75.7%	28 75.7%	1 2.7%	11 29.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	69 100.0%	53 76.8%	49 71.0%	0 0.0%	26 37.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	22 100.0%	19 86.4%	14 63.6%	1 4.5%	9 40.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	53 100.0%	42 79.2%	37 69.8%	0 0.0%	22 41.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

3) 健康管理・セルフケアのニーズがある利用者について選んだ視点

健康管理･セルフケアのニーズがある利用者について選んだ視点は､「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者は、神経難病の利用者が 73.3%、６歳以下の小児の利用者が 67.7%であった。「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者は、６歳以下の小児の利用者が 90.3%、７～19 歳の小児の利用者が 94.1%であった。

図表 5-27　疾患・介護者等別　健康管理・セルフケアのニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	31 100.0%	21 67.7%	28 90.3%	1 3.2%	9 29.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	17 100.0%	10 58.8%	16 94.1%	1 5.9%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	20 100.0%	7 35.0%	11 55.0%	3 15.0%	12 60.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	30 100.0%	22 73.3%	20 66.7%	2 6.7%	11 36.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	33 100.0%	14 42.4%	23 69.7%	1 3.0%	18 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	52 100.0%	29 55.8%	39 75.0%	2 3.8%	28 53.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	25 100.0%	13 52.0%	14 56.0%	1 4.0%	17 68.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	31 100.0%	13 41.9%	23 74.2%	3 9.7%	16 51.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	72 100.0%	27 37.5%	45 62.5%	12 16.7%	47 65.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	22 100.0%	10 45.5%	14 63.6%	3 13.6%	13 59.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	59 100.0%	21 35.6%	43 72.9%	5 8.5%	41 69.5%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%

4) 家族介護力・家族機能のニーズがある利用者について選んだ視点

家族介護力・家族機能のニーズがある利用者について選んだ視点は、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者は、７～19 歳の小児の利用者が 53.3%であった。「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者は、呼吸器疾患または循環器疾患の利用者が 50.0%であった。「利用者・家族の意思決定」の視点を選んだ利用者は、がん末期の利用者が 62.5%、神経難病の利用者は 51.4%であった。「希望に沿った看取り」の視点を選んだ利用者は、がん末期の利用者が 37.5%であった。

図表 5-28　疾患・介護者等別　家族介護力・家族機能のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	28 100.0%	10 35.7%	11 39.3%	11 39.3%	13 46.4%	2 7.1%	1 3.6%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	15 100.0%	8 53.3%	4 26.7%	7 46.7%	6 40.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
②がん末期の利用者	24 100.0%	3 12.5%	7 29.2%	15 62.5%	11 45.8%	9 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	13 100.0%	1 7.7%	1 7.7%	5 38.5%	8 61.5%	8 61.5%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	35 100.0%	15 42.9%	6 17.1%	18 51.4%	21 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	42 100.0%	15 35.7%	14 33.3%	12 28.6%	29 69.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	36 100.0%	12 33.3%	18 50.0%	8 22.2%	21 58.3%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	15 100.0%	6 40.0%	4 26.7%	6 40.0%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	33 100.0%	12 36.4%	9 27.3%	11 33.3%	23 69.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	52 100.0%	18 34.6%	11 21.2%	19 36.5%	34 65.4%	2 3.8%	2 3.8%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	33 100.0%	9 27.3%	8 24.2%	18 54.5%	12 36.4%	5 15.2%	0 0.0%	0 0.0%

5) 心肺機能のニーズがある利用者について選んだ視点

心肺機能のニーズがある利用者について選んだ視点は、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者は、脳血管疾患の利用者が 65.2%、呼吸器疾患または循環器疾患の利用者が 67.2%、6歳以下の小児の利用者が 74.3%、7～19 歳の小児の利用者が 66.7%であった。「利用者・家族のセルフケア能力の向上」の視点を選んだ利用者は、精神疾患が 66.7%であった。「希望に沿った看取り」の視点を選んだ利用者は、がん末期の利用者が 30.8%、がん以外の終末期の利用者は 37.5%であった。

図表 5-29 疾患・介護者等別 心肺機能のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1 小児（６歳以下）	35 100.0%	26 74.3%	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	18 100.0%	12 66.7%	18 100.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	13 100.0%	6 46.2%	11 84.6%	0 0.0%	1 7.7%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	8 100.0%	1 12.5%	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	24 100.0%	9 37.5%	23 95.8%	0 0.0%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	23 100.0%	15 65.2%	22 95.7%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	61 100.0%	41 67.2%	60 98.4%	0 0.0%	8 13.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	19 100.0%	9 47.4%	18 94.7%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	42 100.0%	17 40.5%	42 100.0%	2 4.8%	6 14.3%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	11 100.0%	7 63.6%	11 100.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	34 100.0%	14 41.2%	32 94.1%	0 0.0%	4 11.8%	3 8.8%	0 0.0%	0 0.0%

6) 尿失禁のニーズがある利用者について選んだ視点

尿失禁のニーズがある利用者について選んだ視点は、６歳以下の小児の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」を選んだ利用者が 91.7%であった。７歳～19 歳の小児の利用者のうち、「QOL の向上・維持」「合併症の予防・病状悪化の予防」それぞれを選んだ利用者が 75.0%であった。

図表 5-30　疾患・介護者等別　尿失禁のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	24 100.0%	13 54.2%	22 91.7%	0 0.0%	1 4.2%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	12 100.0%	9 75.0%	9 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
②がん末期の利用者	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	16 100.0%	11 68.8%	13 81.3%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	15 100.0%	7 46.7%	11 73.3%	0 0.0%	7 46.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	13 100.0%	8 61.5%	12 92.3%	0 0.0%	4 30.8%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%
⑦精神疾患	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	14 100.0%	7 50.0%	10 71.4%	0 0.0%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	13 100.0%	6 46.2%	12 92.3%	0 0.0%	6 46.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
⑪独居	8 100.0%	4 50.0%	6 75.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%

7) 医療的処置や器材のニーズがある利用者について選んだ視点

医療的処置や器材のニーズがある利用者について選んだ視点は、６歳以下の小児の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 91.7%であった。７歳～19 歳の小児の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が全利用者であった。

図表 5-31　疾患・介護者等別　医療的処置や器材のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	36	23	33	0	7	0	0	0
	100.0%	63.9%	91.7%	0.0%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	19	13	19	0	2	0	0	0
	100.0%	68.4%	100.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	18	9	15	0	3	2	2	0
	100.0%	50.0%	83.3%	0.0%	16.7%	11.1%	11.1%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	6	0	6	1	1	2	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
④神経難病	28	10	26	2	7	0	0	0
	100.0%	35.7%	92.9%	7.1%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	11	3	11	0	5	0	0	0
	100.0%	27.3%	100.0%	0.0%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	35	21	30	0	12	0	1	0
	100.0%	60.0%	85.7%	0.0%	34.3%	0.0%	2.9%	0.0%
⑦精神疾患	3	1	2	0	2	0	0	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	12	4	11	0	7	0	0	0
	100.0%	33.3%	91.7%	0.0%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	40	14	39	2	13	0	0	0
	100.0%	35.0%	97.5%	5.0%	32.5%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	10	5	9	1	2	0	0	0
	100.0%	50.0%	90.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	22	9	21	1	6	0	0	0
	100.0%	40.9%	95.5%	4.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%

8) 成長と発達のニーズがある利用者について選んだ視点

成長と発達のニーズがある利用者について選んだ視点は、６歳以下の小児の利用者のうち、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者が 83.3%であった。７歳～19 歳の小児の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 84.2%であった。

図表 5-32　疾患・介護者等別　成長と発達のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	36	30	24	3	8	0	1	0
	100.0%	83.3%	66.7%	8.3%	22.2%	0.0%	2.8%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	19	14	16	1	4	0	0	0
	100.0%	73.7%	84.2%	5.3%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	1	0	0	1	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	3	3	3	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	1	1	1	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

9) 感染・発熱の徴候のニーズがある利用者について選んだ視点

感染・発熱の徴候のニーズがある利用者について選んだ視点は、７歳～19 歳以下の小児の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者は全利用者であった。がん末期の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 93.8%であった。

図表 5-33　疾患・介護者等別　感染・発熱の徴候のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	9	3	9	0	0	0	0	0
	100.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	12	3	12	0	3	1	0	0
	100.0%	25.0%	100.0%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	16	4	15	0	6	3	0	0
	100.0%	25.0%	93.8%	0.0%	37.5%	18.8%	0.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	5	0	5	0	2	1	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	22	6	22	0	2	0	0	0
	100.0%	27.3%	100.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	14	3	14	0	4	0	0	0
	100.0%	21.4%	100.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	16	7	16	0	3	0	0	0
	100.0%	43.8%	100.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	2	1	2	0	1	0	0	0
	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	10	3	10	1	3	0	0	0
	100.0%	30.0%	100.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	33	12	31	1	9	0	0	1
	100.0%	36.4%	93.9%	3.0%	27.3%	0.0%	0.0%	3.0%
⑩主介護者がいない	4	0	4	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	15	2	14	0	5	0	0	1
	100.0%	13.3%	93.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	6.7%

10) 清潔のニーズがある利用者について選んだ視点

清潔のニーズがある利用者について選んだ視点は、7 歳～19 歳の小児の利用者のうち、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者が 88.2%であった。

図表 5-34　疾患・介護者等別　清潔のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	22	19	17	0	1	0	0	0
	100.0%	86.4%	77.3%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	17	15	13	0	3	0	0	0
	100.0%	88.2%	76.5%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	15	11	8	2	6	1	0	0
	100.0%	73.3%	53.3%	13.3%	40.0%	6.7%	0.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	3	1	2	0	2	1	0	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
④神経難病	27	19	21	0	7	0	1	0
	100.0%	70.4%	77.8%	0.0%	25.9%	0.0%	3.7%	0.0%
⑤脳血管疾患	16	5	10	0	13	0	0	0
	100.0%	31.3%	62.5%	0.0%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	27	21	17	0	6	0	0	0
	100.0%	77.8%	63.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	7	3	2	1	5	0	0	0
	100.0%	42.9%	28.6%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	17	7	13	0	10	0	0	0
	100.0%	41.2%	76.5%	0.0%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	31	21	23	2	9	0	0	0
	100.0%	67.7%	74.2%	6.5%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	8	5	1	1	4	0	0	0
	100.0%	62.5%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	22	17	11	1	6	0	0	0
	100.0%	77.3%	50.0%	4.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%

11) 痛みのニーズがある利用者について選んだ視点

痛みのニーズがある利用者について選んだ視点は、がん末期の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 76.0%であった。

図表 5-35　疾患・介護者等別　痛みのニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	2	2	2	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	4	3	4	0	0	1	0	0
	100.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	25	15	19	1	5	6	1	0
	100.0%	60.0%	76.0%	4.0%	20.0%	24.0%	4.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	1	1	1	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	16	13	13	0	2	0	0	0
	100.0%	81.3%	81.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	17	13	17	0	2	0	0	0
	100.0%	76.5%	100.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	25	21	23	0	1	0	0	0
	100.0%	84.0%	92.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	5	5	3	0	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	14	7	13	0	2	0	0	0
	100.0%	50.0%	92.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	33	22	28	0	6	1	0	0
	100.0%	66.7%	84.8%	0.0%	18.2%	3.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	9	8	6	0	3	0	0	0
	100.0%	88.9%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	33	22	29	0	7	2	0	0
	100.0%	66.7%	87.9%	0.0%	21.2%	6.1%	0.0%	0.0%

12) ターミナル期のニーズがある利用者について選んだ視点

ターミナル期のニーズがある利用者について選んだ視点は、がん末期の利用者のうち、「利用者・家族の意思決定」の視点を選んだ利用者が 66.7%であった。がん以外の終末期の利用者のうち、「利用者・家族の意思決定」の視点を選んだ利用者が 66.7%であった。

図表 5-36　疾患・介護者等別　ターミナル期のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	33 100.0%	5 15.2%	9 27.3%	22 66.7%	4 12.1%	20 60.6%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	12 100.0%	1 8.3%	2 16.7%	8 66.7%	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	6 66.7%	0 0.0%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%

13) 褥瘡のニーズがある利用者について選んだ視点

褥瘡のニーズがある利用者について選んだ視点は、がん以外の終末期の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者は全利用者であった。

図表 5-37　疾患・介護者等別　褥瘡のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	10 100.0%	4 40.0%	10 100.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	9 100.0%	3 33.3%	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	14 100.0%	6 42.9%	14 100.0%	0 0.0%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	7 100.0%	1 14.3%	7 100.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	4 100.0%	2 50.0%	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	12 100.0%	3 25.0%	12 100.0%	0 0.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	21 100.0%	6 28.6%	21 100.0%	0 0.0%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	4 100.0%	1 25.0%	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	9 100.0%	3 33.3%	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

14) 低栄養のニーズがある利用者について選んだ視点

低栄養のニーズがある利用者について選んだ視点は、がん以外の終末期の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 72.7%であった。

図表 5-38 疾患・介護者等別 低栄養のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1 小児（６歳以下）	4	1	3	1	0	1	0	0
	100.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	6	3	6	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	18	7	15	1	0	5	1	0
	100.0%	38.9%	83.3%	5.6%	0.0%	27.8%	5.6%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	11	4	8	3	1	3	0	0
	100.0%	36.4%	72.7%	27.3%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%
④神経難病	6	4	6	0	2	0	0	0
	100.0%	66.7%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	5	2	5	0	2	0	0	0
	100.0%	40.0%	100.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	10	4	9	0	1	0	0	0
	100.0%	40.0%	90.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	11	4	9	1	3	0	1	0
	100.0%	36.4%	81.8%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%
⑨その他	15	4	12	0	5	1	0	0
	100.0%	26.7%	80.0%	0.0%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	5	3	5	0	0	0	0	0
	100.0%	60.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	12	6	11	0	2	1	0	0
	100.0%	50.0%	91.7%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%

15) 気分のニーズがある利用者について選んだ視点

気分のニーズがある利用者について選んだ視点は、精神疾患の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 62.5%であった。主介護者がいない利用者のうち、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者が 68.4%であった。

図表 5-39　疾患・介護者等別　気分のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	6 100.0%	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	13 100.0%	4 30.8%	3 23.1%	7 53.8%	4 30.8%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	15 100.0%	9 60.0%	3 20.0%	5 33.3%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	9 100.0%	7 77.8%	2 22.2%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	17 100.0%	11 64.7%	9 52.9%	2 11.8%	6 35.3%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
⑦精神疾患	24 100.0%	14 58.3%	15 62.5%	4 16.7%	9 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	11 100.0%	7 63.6%	6 54.5%	4 36.4%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	22 100.0%	16 72.7%	6 27.3%	3 13.6%	8 36.4%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	19 100.0%	13 68.4%	7 36.8%	2 10.5%	8 42.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	28 100.0%	19 67.9%	7 25.0%	4 14.3%	11 39.3%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%

16) 社会関係のニーズがある利用者について選んだ視点

社会関係のニーズがある利用者について選んだ視点は、精神疾患の利用者のうち、「QOL の向上・維持」の視点を選んだ利用者が 63.2%であった。

図表 5-40　疾患・介護者等別　社会関係のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	8	7	1	5	1	0	0	0
	100.0%	87.5%	12.5%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	8	6	3	2	3	0	0	0
	100.0%	75.0%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	2	2	0	1	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	9	8	3	3	2	0	0	0
	100.0%	88.9%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	8	5	4	2	4	0	0	0
	100.0%	62.5%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	14	9	5	0	7	0	0	0
	100.0%	64.3%	35.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	19	12	6	3	8	0	0	0
	100.0%	63.2%	31.6%	15.8%	42.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	7	5	3	3	2	0	0	0
	100.0%	71.4%	42.9%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	19	14	5	1	7	0	0	0
	100.0%	73.7%	26.3%	5.3%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	11	6	2	1	7	0	0	0
	100.0%	54.5%	18.2%	9.1%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	22	17	5	3	9	0	0	0
	100.0%	77.3%	22.7%	13.6%	40.9%	0.0%	0.0%	0.0%

17) 睡眠のニーズがある利用者について選んだ視点

睡眠のニーズがある利用者について選んだ視点は、精神疾患の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 61.5%であった。

図表 5-41 疾患・介護者等別 睡眠のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1 小児（６歳以下）	5	5	4	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	4	3	3	0	0	0	0	0
	100.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	10	5	5	2	0	4	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	11	10	8	1	2	0	0	0
	100.0%	90.9%	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	6	3	3	0	2	0	0	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	11	7	9	0	3	0	0	0
	100.0%	63.6%	81.8%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	13	7	8	0	6	0	0	0
	100.0%	53.8%	61.5%	0.0%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	6	4	5	0	1	0	0	0
	100.0%	66.7%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	16	12	8	1	4	1	0	0
	100.0%	75.0%	50.0%	6.3%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	10	5	4	1	6	0	0	0
	100.0%	50.0%	40.0%	10.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	16	10	8	1	5	0	0	0
	100.0%	62.5%	50.0%	6.3%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%

18) 認知低下のニーズがある利用者について選んだ視点

認知低下のニーズがある利用者について選んだ視点は、認知症の利用者のうち、「合併症の予防・病状悪化の予防」の視点を選んだ利用者が 73.7%であった。

図表 5-42　疾患・介護者等別　認知低下のニーズがある利用者について選んだ視点（複数回答：最大２つまで）

	合計	QOL の向上・維持	合併症の予防病状悪化の予防	利用者家族の意思決定	利用者家族のｾﾙﾌｹｱ能力の向上	希望に沿った看取り	その他	無回答
①-1　小児（６歳以下）	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	1	1	1	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	11	4	4	4	1	3	1	0
	100.0%	36.4%	36.4%	36.4%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	5	1	2	2	1	4	0	0
	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	12	8	5	6	1	0	0	0
	100.0%	66.7%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	14	7	8	4	6	0	0	0
	100.0%	50.0%	57.1%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	31	18	18	7	7	1	1	0
	100.0%	58.1%	58.1%	22.6%	22.6%	3.2%	3.2%	0.0%
⑦精神疾患	4	3	3	0	1	0	0	0
	100.0%	75.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	38	22	28	6	10	0	0	0
	100.0%	57.9%	73.7%	15.8%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	24	14	15	4	11	0	0	0
	100.0%	58.3%	62.5%	16.7%	45.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	4	4	1	1	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	24	15	14	3	6	1	0	0
	100.0%	62.5%	58.3%	12.5%	25.0%	4.2%	0.0%	0.0%

3. 疾患・介護者等別　介入

(1) 訪問回数・時間

訪問回数・時間について、がん末期の利用者は平均 11.8 回、平均 629.6 分、がん以外の終末期の利用者は平均 11.4 回、平均 511.9 分、神経難病の利用者は平均 12.3 回、平均 732.2 分、６歳以下の小児は平均 10.9 回、平均 613.8 分であった。

図表 5-43　疾患・介護者等別　訪問回数

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	43	10.9	7.6	9.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	6.3	4.1	6.5
②がん末期の利用者	38	11.8	8.5	13.0
③がん以外の終末期の利用者	17	11.4	6.5	9.0
④神経難病	58	12.3	6.9	11.5
⑤脳血管疾患	61	7.8	5.0	6.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	6.8	4.0	5.0
⑦精神疾患	29	4.5	2.5	4.0
⑧認知症	53	7.5	5.4	6.0
⑨その他	111	8.7	7.6	6.0
⑩主介護者がいない	39	7.3	5.7	5.0
⑪独居	96	8.4	6.5	6.5

図表 5-44　疾患・介護者等別　訪問時間

	回答件数 (件)	平均 (分)	標準偏差	中央値 (分)
①-1　小児（６歳以下）	43	613.8	436.9	490.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	368.3	282.1	340.5
②がん末期の利用者	38	629.6	442.4	555.0
③がん以外の終末期の利用者	17	511.9	279.8	441.0
④神経難病	58	732.2	476.5	654.0
⑤脳血管疾患	61	411.8	323.6	277.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	351.7	250.5	270.0
⑦精神疾患	29	254.5	185.5	194.0
⑧認知症	53	369.6	292.7	295.0
⑨その他	111	445.7	408.8	290.0
⑩主介護者がいない	39	357.5	299.0	240.0
⑪独居	96	412.0	366.6	277.5

(2) 訪問時の介入内容の有無

６歳以下の小児の利用者は、「家族支援」を行った利用者が 93.0%であった。

がん末期の利用者は、「清潔のケア・指導」が 92.1%、「排泄のケア・指導」が 86.8%、「疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）」が 94.7%、「薬剤の管理・指導（介助含む）」が 84.2%、「ターミナルケア」が 63.2%、「介護相談」は 76.3%であった。

がん以外の終末期の利用者は、「清潔のケア・指導」が 94.1%、「衣生活のケア・指導」が 94.1%、「排泄のケア・指導」が 88.2%、「睡眠のケア・指導」が 64.7%、「環境整備・調整」が 88.2%、「介護相談」が 88.2%であった。

神経難病の利用者は、「リハビリテーション」を行った利用者が 84.5%であった。

精神疾患の利用者は、「精神的援助」を行った利用者が 96.6%であった。

リハビリテーションについて、６歳以下の小児の利用者は、「呼吸リハビリテーション」を行った利用者が 48.8%であった。

神経難病の利用者は、「身体機能リハビリテーション」が 82.8%、「リラクゼーション法」が 60.3%であった。

医療処置の管理・実施・指導について、６歳以下の小児の利用者は「カテーテルの管理」が 60.5%、「医療機器の管理」が 48.8%、「吸引・吸入」が 34.9%であった。

７～19 歳の小児の利用者は、「カテーテルの管理」が 37.5%、「医療機器の管理」が 20.8%、「吸引・吸入」が 20.8%であった。

がん末期の利用者は、「麻薬等の管理」を行った利用者が 10.5%であった。

がん以外の終末期の利用者について、「排泄処置」が 82.4%、「皮膚処置」が 64.7%、「褥瘡・創傷部の処置」が 52.9%であった。

図表 5-45　疾患・介護者等別　訪問時の介入内容の有無_有の割合（複数回答）

	合計	清潔のケア・指導	衣生活のケア・指導	食事や栄養のケア・指導	排泄のケア・指導	睡眠のケア・指導	環境整備・調整	リハビリテーション	疾病や治療に関する説明・指導	薬剤の管理・指導	医療処置の管理・実施・指導	精神的援助	意思決定支援	ターミナルケア	介護相談	家族支援	グリーフケア	その他（安否確認等）
①-1 小児（６歳以下）	43	29	27	28	31	14	26	30	24	21	37	20	5	1	20	40	0	4
	100.0%	67.4%	62.8%	65.1%	72.1%	32.6%	60.5%	69.8%	55.8%	48.8%	86.0%	46.5%	11.6%	2.3%	46.5%	93.0%	0.0%	9.3%
①-2 小児（７～19 歳）	24	19	15	12	18	9	17	11	14	14	21	11	0	0	10	20	0	2
	100.0%	79.2%	62.5%	50.0%	75.0%	37.5%	70.8%	45.8%	58.3%	58.3%	87.5%	45.8%	0.0%	0.0%	41.7%	83.3%	0.0%	8.3%
②がん末期の利用者	38	35	28	33	33	21	29	21	36	32	36	34	18	24	29	31	4	7
	100.0%	92.1%	73.7%	86.8%	86.8%	55.3%	76.3%	55.3%	94.7%	84.2%	94.7%	89.5%	47.4%	63.2%	76.3%	81.6%	10.5%	18.4%
③がん以外の終末期の利用者	17	16	16	15	15	11	15	11	14	11	16	11	9	6	15	14	0	2
	100.0%	94.1%	94.1%	88.2%	88.2%	64.7%	88.2%	64.7%	82.4%	64.7%	94.1%	64.7%	52.9%	35.3%	88.2%	82.4%	0.0%	11.8%
④神経難病	58	49	43	40	46	24	41	49	36	38	46	45	13	0	30	40	0	8
	100.0%	84.5%	74.1%	69.0%	79.3%	41.4%	70.7%	84.5%	62.1%	65.5%	79.3%	77.6%	22.4%	0.0%	51.7%	69.0%	0.0%	13.8%
⑤脳血管疾患	61	38	25	37	34	20	33	46	39	38	34	43	6	0	34	33	0	3
	100.0%	62.3%	41.0%	60.7%	55.7%	32.8%	54.1%	75.4%	63.9%	62.3%	55.7%	70.5%	9.8%	0.0%	55.7%	54.1%	0.0%	4.9%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	50	38	49	43	22	45	47	45	53	51	63	14	0	38	34	0	11
	100.0%	64.9%	49.4%	63.6%	55.8%	28.6%	58.4%	61.0%	58.4%	68.8%	66.2%	81.8%	18.2%	0.0%	49.4%	44.2%	0.0%	14.3%
⑦精神疾患	29	9	4	13	12	13	9	10	14	23	7	28	8	0	11	11	0	6
	100.0%	31.0%	13.8%	44.8%	41.4%	44.8%	31.0%	34.5%	48.3%	79.3%	24.1%	96.6%	27.6%	0.0%	37.9%	37.9%	0.0%	20.7%
⑧認知症	53	39	31	39	35	22	37	36	31	40	34	41	4	0	32	34	1	6
	100.0%	73.6%	58.5%	73.6%	66.0%	41.5%	69.8%	67.9%	58.5%	75.5%	64.2%	77.4%	7.5%	0.0%	60.4%	64.2%	1.9%	11.3%
⑨その他	111	79	55	83	80	41	68	64	85	87	74	82	33	5	54	67	2	9
	100.0%	71.2%	49.5%	74.8%	72.1%	36.9%	61.3%	57.7%	76.6%	78.4%	66.7%	73.9%	29.7%	4.5%	48.6%	60.4%	1.8%	8.1%
⑩主介護者がいない	39	21	10	25	23	15	19	14	26	30	19	31	12	3	11	6	0	9
	100.0%	53.8%	25.6%	64.1%	59.0%	38.5%	48.7%	35.9%	66.7%	76.9%	48.7%	79.5%	30.8%	7.7%	28.2%	15.4%	0.0%	23.1%
⑪独居	96	59	47	77	68	46	68	50	67	84	53	80	29	8	32	28	0	21
	100.0%	61.5%	49.0%	80.2%	70.8%	47.9%	70.8%	52.1%	69.8%	87.5%	55.2%	83.3%	30.2%	8.3%	33.3%	29.2%	0.0%	21.9%

図表 5-46　疾患・介護者等別　リハビリテーションの種類の有無_有の割合（複数回答）

	合計	身体機能リハビリテーション	呼吸リハビリテーション	嚥下リハビリテーション	言語訓練	作業療法	リラクゼーション法	マッサージ（ﾘﾝﾊﾟﾏｯｻｰｼﾞ含む）	その他のリハビリテーション
①-1 小児（6歳以下）	43	26	21	3	2	4	15	17	1
	100.0%	60.5%	48.8%	7.0%	4.7%	9.3%	34.9%	39.5%	2.3%
①-2 小児（7～19歳）	24	9	5	2	0	2	5	4	5
	100.0%	37.5%	20.8%	8.3%	0.0%	8.3%	20.8%	16.7%	20.8%
②がん末期の利用者	38	12	6	1	1	2	9	13	3
	100.0%	31.6%	15.8%	2.6%	2.6%	5.3%	23.7%	34.2%	7.9%
③がん以外の終末期の利用者	17	10	7	2	0	0	6	4	0
	100.0%	58.8%	41.2%	11.8%	0.0%	0.0%	35.3%	23.5%	0.0%
④神経難病	58	48	17	16	11	9	35	25	13
	100.0%	82.8%	29.3%	27.6%	19.0%	15.5%	60.3%	43.1%	22.4%
⑤脳血管疾患	61	44	14	11	14	3	15	30	9
	100.0%	72.1%	23.0%	18.0%	23.0%	4.9%	24.6%	49.2%	14.8%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	36	24	1	0	4	15	22	10
	100.0%	46.8%	31.2%	1.3%	0.0%	5.2%	19.5%	28.6%	13.0%
⑦精神疾患	29	9	0	1	0	2	5	2	3
	100.0%	31.0%	0.0%	3.4%	0.0%	6.9%	17.2%	6.9%	10.3%
⑧認知症	53	33	9	5	0	2	8	11	9
	100.0%	62.3%	17.0%	9.4%	0.0%	3.8%	15.1%	20.8%	17.0%
⑨その他	111	47	14	5	3	1	26	28	6
	100.0%	42.3%	12.6%	4.5%	2.7%	0.9%	23.4%	25.2%	5.4%
⑩主介護者がいない	39	11	4	0	0	1	6	4	3
	100.0%	28.2%	10.3%	0.0%	0.0%	2.6%	15.4%	10.3%	7.7%
⑪独居	96	41	14	2	1	5	17	15	6
	100.0%	42.7%	14.6%	2.1%	1.0%	5.2%	17.7%	15.6%	6.3%

図表 5-47　疾患・介護者等別　医療処置の管理・実施・指導の種類の有無_有の割合（複数回答）

	合計	カテーテルの管理	医療機器の管理	排泄処置	皮膚処置	褥瘡・創傷部の処置	吸引・吸入	注射・点滴・IVH	麻薬等の管理	検査	その他の医療処置
①-1 小児（6歳以下）	43	26	21	3	2	4	15	17	26	21	3
	100.0%	60.5%	48.8%	7.0%	4.7%	9.3%	34.9%	39.5%	60.5%	48.8%	7.0%
①-2 小児（7～19歳）	24	9	5	2	0	2	5	4	9	5	2
	100.0%	37.5%	20.8%	8.3%	0.0%	8.3%	20.8%	16.7%	37.5%	20.8%	8.3%
②がん末期の利用者	38	13	8	19	21	17	7	8	4	6	2
	100.0%	34.2%	21.1%	50.0%	55.3%	44.7%	18.4%	21.1%	10.5%	15.8%	5.3%
③がん以外の終末期の利用者	17	3	5	14	11	9	3	2	0	4	1
	100.0%	17.6%	29.4%	82.4%	64.7%	52.9%	17.6%	11.8%	0.0%	23.5%	5.9%
④神経難病	58	48	17	16	11	9	35	25	48	17	16
	100.0%	82.8%	29.3%	27.6%	19.0%	15.5%	60.3%	43.1%	82.8%	29.3%	27.6%
⑤脳血管疾患	61	17	4	22	24	11	11	2	1	7	8
	100.0%	27.9%	6.6%	36.1%	39.3%	18.0%	18.0%	3.3%	1.6%	11.5%	13.1%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	36	24	1	0	4	15	22	36	24	1
	100.0%	46.8%	31.2%	1.3%	0.0%	5.2%	19.5%	28.6%	46.8%	31.2%	1.3%
⑦精神疾患	29	2	1	4	2	1	1	0	2	0	16
	100.0%	6.9%	3.4%	13.8%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%	6.9%	0.0%	55.2%
⑧認知症	53	12	5	19	28	14	6	4	1	3	9
	100.0%	22.6%	9.4%	35.8%	52.8%	26.4%	11.3%	7.5%	1.9%	5.7%	17.0%
⑨その他	111	31	14	43	52	23	7	10	4	23	13
	100.0%	27.9%	12.6%	38.7%	46.8%	20.7%	6.3%	9.0%	3.6%	20.7%	11.7%
⑩主介護者がいない	39	5	5	12	13	6	0	3	1	4	17
	100.0%	12.8%	12.8%	30.8%	33.3%	15.4%	0.0%	7.7%	2.6%	10.3%	43.6%
⑪独居	96	11	12	26	35	16	2	7	2	13	30
	100.0%	11.5%	12.5%	27.1%	36.5%	16.7%	2.1%	7.3%	2.1%	13.5%	31.3%

(3) 訪問時の介入内容の回数

訪問時の介入内容について、がん以外の終末期の利用者は、清潔のケア・指導が平均 9.2 回、衣生活のケア・指導が平均 5.0 回、食事や栄養のケア・指導が平均 6.5 回、排泄のケア・指導が平均 9.0 回、睡眠のケア・指導が平均 2.7 回、環境整備・調整が平均 4.9 回であり、基本的なケアの回数が多かった。疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）は平均 7.2 回であった。医療処置の管理・実施・指導は平均 9.0 回、精神的援助は平均 8.1 回、意思決定支援が平均 2.3 回、介護相談が平均 5.9 回であった。

神経難病の利用者は、リハビリテーションが平均 7.6 回であった。

薬剤の管理・指導（介助含む）については、がん末期の利用者が平均 6.4 回、がん以外の終末期の利用者は平均 6.4 回、独居の利用者は平均 5.6 回であった。

６歳以下の小児は、家族支援が平均 7.7 回であった。

図表 5-48　疾患・介護者等別　訪問回数（清潔のケア・指導）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	43	6.1	6.1	4.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	4.5	3.9	4.0
②がん末期の利用者	38	8.2	7.0	8.0
③がん以外の終末期の利用者	17	9.2	5.4	8.0
④神経難病	58	6.4	5.3	5.0
⑤脳血管疾患	61	3.9	4.5	2.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	2.8	3.3	2.0
⑦精神疾患	29	1.4	2.7	0.0
⑧認知症	53	4.3	4.9	3.0
⑨その他	111	5.2	6.6	3.0
⑩主介護者がいない	39	3.5	5.4	1.0
⑪独居	96	4.3	5.9	2.0

図表 5-49　疾患・介護者等別　訪問回数（衣生活のケア・指導）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	43	4.2	4.5	3.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	3.0	3.3	2.0
②がん末期の利用者	38	3.9	5.1	2.5
③がん以外の終末期の利用者	17	5.0	4.3	4.0
④神経難病	58	3.6	3.7	2.5
⑤脳血管疾患	61	1.5	2.5	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	1.4	2.0	0.0
⑦精神疾患	29	0.7	2.3	0.0
⑧認知症	53	2.2	2.9	1.0
⑨その他	111	2.3	3.5	0.0
⑩主介護者がいない	39	1.0	2.4	0.0
⑪独居	96	2.1	3.3	0.0

図表 5-50　疾患・介護者等別　訪問回数（食事や栄養のケア・指導）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	43	3.7	5.2	2.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	2.2	2.9	0.5
②がん末期の利用者	38	5.1	5.5	3.0
③がん以外の終末期の利用者	17	6.5	6.0	3.0
④神経難病	58	3.4	4.7	1.5
⑤脳血管疾患	61	2.4	3.2	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	2.5	3.0	1.0
⑦精神疾患	29	1.6	2.6	0.0
⑧認知症	53	3.5	3.6	2.0
⑨その他	111	4.0	4.8	2.0
⑩主介護者がいない	39	3.3	3.9	2.0
⑪独居	96	4.6	4.7	3.0

図表 5-51　疾患・介護者等別　訪問回数（排泄のケア・指導）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	43	4.8	5.0	3.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	3.4	3.5	2.0
②がん末期の利用者	38	6.3	6.2	4.5
③がん以外の終末期の利用者	17	9.0	6.1	8.0
④神経難病	58	5.8	5.5	5.0
⑤脳血管疾患	61	2.9	3.8	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	2.5	3.4	1.0
⑦精神疾患	29	1.6	2.7	0.0
⑧認知症	53	4.3	5.0	2.0
⑨その他	111	4.5	5.3	3.0
⑩主介護者がいない	39	3.2	4.3	1.0
⑪独居	96	4.5	5.2	2.5

図表 5-52　疾患・介護者等別　訪問回数（睡眠のケア・指導）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	43	1.0	1.9	0.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	0.5	0.8	0.0
②がん末期の利用者	38	1.8	2.6	1.0
③がん以外の終末期の利用者	17	2.7	2.9	2.0
④神経難病	58	1.2	2.1	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.6	1.1	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	0.8	1.8	0.0
⑦精神疾患	29	1.1	1.8	0.0
⑧認知症	53	1.3	2.2	0.0
⑨その他	111	1.2	2.4	0.0
⑩主介護者がいない	39	1.0	1.8	0.0
⑪独居	96	1.4	2.1	0.0

図表 5-53　疾患・介護者等別　訪問回数（環境整備・調整）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	43	3.5	4.7	2.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	2.3	2.7	1.0
②がん末期の利用者	38	3.7	3.5	3.0
③がん以外の終末期の利用者	17	4.9	3.9	4.0
④神経難病	58	4.3	5.2	2.0
⑤脳血管疾患	61	1.9	2.9	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	2.0	2.7	1.0
⑦精神疾患	29	0.9	2.1	0.0
⑧認知症	53	2.7	3.1	1.0
⑨その他	111	2.8	4.4	1.0
⑩主介護者がいない	39	2.3	3.7	0.0
⑪独居	96	3.4	4.5	2.0

図表 5-54　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリテーション）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（6歳以下）	43	4.0	4.1	3.0
①-2　小児（7～19歳）	24	2.0	3.2	0.0
②がん末期の利用者	38	2.9	4.2	1.0
③がん以外の終末期の利用者	17	5.4	5.9	4.0
④神経難病	58	7.6	5.6	7.0
⑤脳血管疾患	61	4.9	4.5	4.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	3.4	3.7	2.0
⑦精神疾患	29	1.6	2.7	0.0
⑧認知症	53	3.3	4.0	2.0
⑨その他	111	3.3	4.5	2.0
⑩主介護者がいない	39	1.7	2.7	0.0
⑪独居	96	3.2	4.7	1.0

図表 5-55　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：身体機能リハビリテーション）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（6歳以下）	30	4.6	3.7	4.0
①-2　小児（7～19歳）	11	3.1	2.5	3.0
②がん末期の利用者	21	3.4	4.2	1.0
③がん以外の終末期の利用者	11	6.6	4.7	6.0
④神経難病	49	6.9	4.6	5.0
⑤脳血管疾患	46	5.0	3.2	4.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	4.0	3.5	4.0
⑦精神疾患	10	4.1	3.1	3.0
⑧認知症	36	4.1	3.2	4.0
⑨その他	64	4.2	4.7	3.0
⑩主介護者がいない	14	3.8	3.2	3.0
⑪独居	50	5.0	5.1	4.0

図表 5-56　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：呼吸リハビリテーション）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	30	2.5	2.5	2.0
①-2　小児（7～19歳）	11	1.0	1.8	0.0
②がん末期の利用者	21	0.5	1.2	0.0
③がん以外の終末期の利用者	11	2.7	4.5	1.0
④神経難病	49	1.8	3.7	0.0
⑤脳血管疾患	46	1.2	2.4	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	2.2	3.1	1.0
⑦精神疾患	10	0.0	−	0.0
⑧認知症	36	1.0	2.2	0.0
⑨その他	64	1.2	3.7	0.0
⑩主介護者がいない	14	0.6	1.3	0.0
⑪独居	50	1.2	3.4	0.0

図表 5-57　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：嚥下リハビリテーション）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	30	0.2	0.7	0.0
①-2　小児（7～19歳）	11	0.4	0.9	0.0
②がん末期の利用者	21	0.1	0.7	0.0
③がん以外の終末期の利用者	11	0.5	1.2	0.0
④神経難病	49	0.9	1.8	0.0
⑤脳血管疾患	46	0.9	1.9	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	0.0	0.1	0.0
⑦精神疾患	10	0.3	0.9	0.0
⑧認知症	36	0.4	1.3	0.0
⑨その他	64	0.3	1.3	0.0
⑩主介護者がいない	14	0.0	−	0.0
⑪独居	50	0.1	0.3	0.0

図表 5-58　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：言語訓練）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（6歳以下）	30	0.2	0.7	0.0
①-2　小児（7～19歳）	11	0.4	0.9	0.0
②がん末期の利用者	21	0.1	0.7	0.0
③がん以外の終末期の利用者	11	0.5	1.2	0.0
④神経難病	49	0.9	1.8	0.0
⑤脳血管疾患	46	0.9	1.9	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	0.0	0.1	0.0
⑦精神疾患	10	0.3	0.9	0.0
⑧認知症	36	0.4	1.3	0.0
⑨その他	64	0.3	1.3	0.0
⑩主介護者がいない	14	0.0	－	0.0
⑪独居	50	0.1	0.3	0.0

図表 5-59　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：作業療法）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（6歳以下）	30	0.2	0.5	0.0
①-2　小児（7～19歳）	11	0.4	0.8	0.0
②がん末期の利用者	21	0.2	0.7	0.0
③がん以外の終末期の利用者	11	0.0	－	0.0
④神経難病	49	0.4	0.9	0.0
⑤脳血管疾患	46	0.2	0.7	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	0.3	1.1	0.0
⑦精神疾患	10	1.1	2.3	0.0
⑧認知症	36	0.2	0.7	0.0
⑨その他	64	0.0	0.1	0.0
⑩主介護者がいない	14	0.1	0.3	0.0
⑪独居	50	0.3	1.0	0.0

図表 5-60　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：リラクゼーション法）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	30	1.4	1.9	0.5
①-2　小児（７～19 歳）	11	1.4	2.2	0.0
②がん末期の利用者	21	1.6	2.2	0.0
③がん以外の終末期の利用者	11	2.5	4.2	1.0
④神経難病	49	2.9	3.2	2.0
⑤脳血管疾患	46	1.5	3.1	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	1.4	2.7	0.0
⑦精神疾患	10	1.1	1.7	0.5
⑧認知症	36	0.9	3.1	0.0
⑨その他	64	1.1	1.8	0.0
⑩主介護者がいない	14	1.1	1.8	0.0
⑪独居	50	1.0	2.1	0.0

図表 5-61　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：マッサージ（リンパマッサージ含む））

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	30	1.8	2.5	1.0
①-2　小児（７～19 歳）	11	0.6	0.9	0.0
②がん末期の利用者	21	1.3	1.3	1.0
③がん以外の終末期の利用者	11	0.5	0.7	0.0
④神経難病	49	2.2	3.9	1.0
⑤脳血管疾患	46	2.2	2.5	2.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	1.8	2.6	0.0
⑦精神疾患	10	0.8	2.2	0.0
⑧認知症	36	0.6	1.1	0.0
⑨その他	64	1.4	2.2	0.0
⑩主介護者がいない	14	0.9	1.7	0.0
⑪独居	50	1.4	3.4	0.0

図表 5-62　疾患・介護者等別　訪問回数（リハビリ内容：その他のリハビリテーション）

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
①-1　小児（６歳以下）	30	1.8	2.5	1.0
①-2　小児（７～19 歳）	11	0.6	0.9	0.0
②がん末期の利用者	21	1.3	1.3	1.0
③がん以外の終末期の利用者	11	0.5	0.7	0.0
④神経難病	49	2.2	3.9	1.0
⑤脳血管疾患	46	2.2	2.5	2.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	47	1.8	2.6	0.0
⑦精神疾患	10	0.8	2.2	0.0
⑧認知症	36	0.6	1.1	0.0
⑨その他	64	1.4	2.2	0.0
⑩主介護者がいない	14	0.9	1.7	0.0
⑪独居	50	1.4	3.4	0.0

図表 5-63　疾患・介護者等別　訪問回数（疾病や治療に関する説明・指導（実施含む））

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
①-1　小児（６歳以下）	43	3.0	4.9	1.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	1.5	2.1	1.0
②がん末期の利用者	38	5.8	5.9	4.0
③がん以外の終末期の利用者	17	7.2	7.4	4.0
④神経難病	58	3.2	4.9	2.0
⑤脳血管疾患	61	2.0	2.4	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	2.2	3.0	1.0
⑦精神疾患	29	1.5	2.5	0.0
⑧認知症	53	2.5	4.0	1.0
⑨その他	111	3.7	4.8	2.0
⑩主介護者がいない	39	2.6	3.8	1.0
⑪独居	96	3.6	5.2	1.0

図表 5-64　疾患・介護者等別　訪問回数（薬剤の管理・指導（介助含む））

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	43	2.1	4.7	0.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	2.0	2.8	1.0
②がん末期の利用者	38	6.4	6.5	5.0
③がん以外の終末期の利用者	17	6.4	6.5	5.0
④神経難病	58	3.7	4.9	1.5
⑤脳血管疾患	61	2.4	3.2	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	3.1	3.3	3.0
⑦精神疾患	29	2.7	2.6	2.0
⑧認知症	53	3.9	4.0	3.0
⑨その他	111	4.1	4.4	3.0
⑩主介護者がいない	39	3.8	3.5	3.0
⑪独居	96	5.6	4.8	4.0
（参考）⑪独居_非該当者	419	3.1	4.2	2.0

図表 5-65　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の管理・実施・指導）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	43	8.2	7.7	7.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	4.8	4.0	4.0
②がん末期の利用者	38	8.3	7.4	6.5
③がん以外の終末期の利用者	17	9.0	6.4	7.0
④神経難病	58	6.2	6.2	4.0
⑤脳血管疾患	61	3.6	4.5	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	3.7	4.0	3.0
⑦精神疾患	29	1.0	2.5	0.0
⑧認知症	53	4.5	5.8	3.0
⑨その他	111	5.7	6.8	4.0
⑩主介護者がいない	39	3.9	6.0	0.0
⑪独居	96	4.4	6.3	1.0

図表 5-66　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：カテーテルの管理）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	37	6.5	7.4	4.0
①-2　小児（７～19歳）	21	4.3	4.1	3.0
②がん末期の利用者	36	2.3	4.1	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	2.5	5.7	0.0
④神経難病	46	4.4	6.4	1.5
⑤脳血管疾患	34	2.9	3.9	0.5
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	1.4	3.3	0.0
⑦精神疾患	7	0.7	1.3	0.0
⑧認知症	34	3.1	5.3	0.0
⑨その他	74	2.9	4.9	0.0
⑩主介護者がいない	19	1.9	3.8	0.0
⑪独居	53	1.7	5.1	0.0

図表 5-67　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：医療機器の管理）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	37	6.7	6.7	5.0
①-2　小児（７～19歳）	21	3.7	4.1	2.0
②がん末期の利用者	36	1.3	4.3	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	1.5	3.8	0.0
④神経難病	46	3.5	6.6	0.0
⑤脳血管疾患	34	0.6	2.6	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	2.8	3.4	2.0
⑦精神疾患	7	0.1	0.4	0.0
⑧認知症	34	0.7	2.5	0.0
⑨その他	74	0.5	1.5	0.0
⑩主介護者がいない	19	0.9	2.4	0.0
⑪独居	53	1.7	4.9	0.0

図表 5-68　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：排泄処置）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	37	2.4	3.2	1.0
①-2　小児（７～19 歳）	21	2.1	3.3	0.0
②がん末期の利用者	36	2.5	4.0	1.0
③がん以外の終末期の利用者	16	6.3	4.8	6.5
④神経難病	46	3.7	4.1	1.5
⑤脳血管疾患	34	3.4	3.9	1.5
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	1.4	3.1	0.0
⑦精神疾患	7	1.1	1.5	1.0
⑧認知症	34	3.6	4.4	2.0
⑨その他	74	3.2	4.4	1.5
⑩主介護者がいない	19	3.5	4.3	1.0
⑪独居	53	2.6	3.8	0.0

図表 5-69　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：皮膚処置）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	37	2.5	3.5	1.0
①-2　小児（７～19 歳）	21	1.6	2.9	0.0
②がん末期の利用者	36	2.6	4.5	1.0
③がん以外の終末期の利用者	16	4.3	4.4	3.5
④神経難病	46	4.0	5.7	1.5
⑤脳血管疾患	34	3.2	3.6	2.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	1.5	2.4	0.0
⑦精神疾患	7	1.9	3.5	0.0
⑧認知症	34	3.4	3.4	3.0
⑨その他	74	3.6	4.8	2.0
⑩主介護者がいない	19	4.9	6.2	2.0
⑪独居	53	4.1	5.9	1.0

図表 5-70　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：褥瘡・創傷部の処置）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	37	0.5	1.1	0.0
①-2　小児（７～19歳）	21	0.4	1.1	0.0
②がん末期の利用者	36	3.2	5.4	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	4.6	6.2	2.0
④神経難病	46	1.8	3.4	0.0
⑤脳血管疾患	34	1.3	2.6	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	1.0	2.4	0.0
⑦精神疾患	7	0.3	0.8	0.0
⑧認知症	34	2.2	4.6	0.0
⑨その他	74	2.1	5.3	0.0
⑩主介護者がいない	19	3.3	7.1	0.0
⑪独居	53	2.3	5.8	0.0

図表 5-71　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：吸引・吸入）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	37	6.8	7.9	5.0
①-2　小児（７～19歳）	21	3.4	4.4	1.0
②がん末期の利用者	36	1.7	5.9	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	1.9	4.7	0.0
④神経難病	46	3.6	6.5	0.0
⑤脳血管疾患	34	2.3	4.4	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	0.6	2.2	0.0
⑦精神疾患	7	0.3	0.8	0.0
⑧認知症	34	1.2	3.1	0.0
⑨その他	74	0.7	2.7	0.0
⑩主介護者がいない	19	0.0	－	0.0
⑪独居	53	0.6	4.1	0.0

図表 5-72　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：注射・点滴・IVH）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	37	0.4	2.6	0.0
①-2　小児（7～19歳）	21	0.2	0.8	0.0
②がん末期の利用者	36	2.3	6.3	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	0.6	1.7	0.0
④神経難病	46	0.0	－	0.0
⑤脳血管疾患	34	0.3	1.4	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	0.0	－	0.0
⑦精神疾患	7	0.0	－	0.0
⑧認知症	34	1.0	3.7	0.0
⑨その他	74	1.2	4.4	0.0
⑩主介護者がいない	19	0.5	1.8	0.0
⑪独居	53	0.4	1.3	0.0

図表 5-73　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：麻薬等の管理）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	37	0.0	－	0.0
①-2　小児（7～19歳）	21	0.0	－	0.0
②がん末期の利用者	36	1.1	2.9	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	0.4	1.8	0.0
④神経難病	46	0.0	0.3	0.0
⑤脳血管疾患	34	0.0	－	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	0.0	－	0.0
⑦精神疾患	7	0.0	－	0.0
⑧認知症	34	0.0	－	0.0
⑨その他	74	0.2	1.2	0.0
⑩主介護者がいない	19	0.4	1.6	0.0
⑪独居	53	0.5	2.1	0.0

図表 5-74　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：検査）

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
①-1　小児（6歳以下）	37	0.0	−	0.0
①-2　小児（7～19歳）	21	0.0	−	0.0
②がん末期の利用者	36	0.3	1.5	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	0.0	−	0.0
④神経難病	46	0.0	−	0.0
⑤脳血管疾患	34	0.0	0.2	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	0.1	0.3	0.0
⑦精神疾患	7	1.0	2.2	0.0
⑧認知症	34	0.0	0.2	0.0
⑨その他	74	0.1	0.6	0.0
⑩主介護者がいない	19	0.1	0.2	0.0
⑪独居	53	0.1	0.4	0.0

図表 5-75　疾患・介護者等別　訪問回数（医療処置の内容：その他の医療処置）

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
①-1　小児（6歳以下）	37	1.6	2.7	0.0
①-2　小児（7～19歳）	21	1.0	1.8	0.0
②がん末期の利用者	36	0.4	1.4	0.0
③がん以外の終末期の利用者	16	0.3	0.6	0.0
④神経難病	46	0.8	2.1	0.0
⑤脳血管疾患	34	0.7	2.6	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	51	0.0	0.1	0.0
⑦精神疾患	7	0.0	−	0.0
⑧認知症	34	0.2	0.6	0.0
⑨その他	74	0.7	1.4	0.0
⑩主介護者がいない	19	0.2	0.4	0.0
⑪独居	53	0.4	0.7	0.0

図表 5-76　疾患・介護者等別　訪問回数（精神的援助）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	43	2.6	4.5	0.0
①-2　小児（7～19歳）	24	2.0	3.2	0.0
②がん末期の利用者	38	7.7	7.3	6.0
③がん以外の終末期の利用者	17	8.1	8.0	8.0
④神経難病	58	5.3	6.1	3.5
⑤脳血管疾患	61	3.7	4.2	2.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	3.9	3.6	3.0
⑦精神疾患	29	4.2	2.7	3.0
⑧認知症	53	3.7	4.2	2.0
⑨その他	111	4.5	5.8	3.0
⑩主介護者がいない	39	4.8	4.8	3.0
⑪独居	96	6.0	6.1	4.0

図表 5-77　疾患・介護者等別　訪問回数（意思決定支援）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	43	0.2	0.8	0.0
①-2　小児（7～19歳）	24	0.0	−	0.0
②がん末期の利用者	38	1.7	2.6	0.0
③がん以外の終末期の利用者	17	2.3	3.0	1.0
④神経難病	58	0.6	1.2	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.1	0.3	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	0.3	0.8	0.0
⑦精神疾患	29	0.7	1.4	0.0
⑧認知症	53	0.1	0.5	0.0
⑨その他	111	0.8	1.8	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.8	1.5	0.0
⑪独居	96	0.9	1.9	0.0

図表 5-78　疾患・介護者等別　訪問回数（ターミナルケア）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	43	0.4	2.6	0.0
①-2　小児（７～19歳）	24	0.0	－	0.0
②がん末期の利用者	38	2.5	3.5	1.0
③がん以外の終末期の利用者	17	0.8	1.3	0.0
④神経難病	58	0.0	－	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.0	－	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	0.0	－	0.0
⑦精神疾患	29	0.0	－	0.0
⑧認知症	53	0.0	－	0.0
⑨その他	111	0.1	0.5	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.1	0.4	0.0
⑪独居	96	0.3	1.3	0.0

図表 5-79　疾患・介護者等別　訪問回数（介護相談）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	43	1.3	2.1	0.0
①-2　小児（７～19歳）	24	1.5	2.6	0.0
②がん末期の利用者	38	3.8	3.5	4.0
③がん以外の終末期の利用者	17	5.9	5.4	4.0
④神経難病	58	2.1	3.1	1.0
⑤脳血管疾患	61	1.7	2.3	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	1.2	1.7	0.0
⑦精神疾患	29	0.7	1.2	0.0
⑧認知症	53	2.1	2.6	1.0
⑨その他	111	2.0	3.3	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.7	1.4	0.0
⑪独居	96	0.9	1.8	0.0

図表 5-80　疾患・介護者等別　訪問回数（家族支援）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（6歳以下）	43	7.7	7.5	6.0
①-2　小児（7～19歳）	24	4.3	3.5	4.0
②がん末期の利用者	38	5.5	6.1	4.5
③がん以外の終末期の利用者	17	5.2	5.4	3.0
④神経難病	58	3.6	4.2	2.5
⑤脳血管疾患	61	2.4	3.8	1.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	2.0	3.4	0.0
⑦精神疾患	29	1.1	2.2	0.0
⑧認知症	53	2.9	3.8	1.0
⑨その他	111	3.2	5.0	1.0
⑩主介護者がいない	39	0.4	1.3	0.0
⑪独居	96	1.1	2.5	0.0

図表 5-81　疾患・介護者等別　訪問回数（グリーフケア）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（6歳以下）	43	0.0	－	0.0
①-2　小児（7～19歳）	24	0.0	－	0.0
②がん末期の利用者	38	0.1	0.4	0.0
③がん以外の終末期の利用者	17	0.0	－	0.0
④神経難病	58	0.0	－	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.0	－	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	0.0	－	0.0
⑦精神疾患	29	0.0	－	0.0
⑧認知症	53	0.1	0.5	0.0
⑨その他	111	0.1	0.5	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.0	－	0.0
⑪独居	96	0.0	－	0.0

図表 5-82　疾患・介護者等別　訪問回数（安否確認）

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	43	0.1	0.3	0.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	0.1	0.3	0.0
②がん末期の利用者	38	0.4	1.3	0.0
③がん以外の終末期の利用者	17	0.1	0.3	0.0
④神経難病	58	0.2	0.5	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.0	0.2	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	0.2	0.7	0.0
⑦精神疾患	29	0.2	0.5	0.0
⑧認知症	53	0.2	0.5	0.0
⑨その他	111	0.2	0.8	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.4	0.9	0.0
⑪独居	96	0.3	0.8	0.0

(4) 訪問以外の介入

1) 連絡対応

連絡対応を行った利用者は、がん末期の利用者で 84.2%、がん以外の終末期の利用者で 88.2%であった。

また、連絡対応回数については、がん末期の利用者が平均 4.9 回、がん以外の終末期の利用者が平均 3.6 回であった。

連絡対応時間については、がん末期の利用者が平均 53.8 分、7～19 歳の小児が平均 42.8 分であった。

図表 5-83　疾患・介護者等別　連絡対応の有無

	合計	あり	なし	無回答
①-1　小児 （6歳以下）	44 100.0%	22 50.0%	22 50.0%	0 0.0%
①-2　小児 （7～19 歳）	25 100.0%	6 24.0%	18 72.0%	1 4.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	32 84.2%	6 15.8%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	29 49.2%	30 50.8%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	30 49.2%	31 50.8%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	40 51.3%	38 48.7%	0 0.0%
⑦精神疾患	29 100.0%	13 44.8%	16 55.2%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	36 67.9%	17 32.1%	0 0.0%
⑨その他	111 100.0%	63 56.8%	48 43.2%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	24 61.5%	15 38.5%	0 0.0%
⑪独居	96 100.0%	60 62.5%	36 37.5%	0 0.0%

図表 5-84　疾患・介護者等別　連絡対応回数

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	44	1.5	2.9	0.5
①-2　小児（7～19歳）	24	1.1	2.4	0.0
②がん末期の利用者	38	4.9	4.2	3.5
③がん以外の終末期の利用者	17	3.6	4.1	2.0
④神経難病	59	1.1	1.4	0.0
⑤脳血管疾患	61	1.4	2.1	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	1.8	2.8	1.0
⑦精神疾患	29	1.4	2.4	0.0
⑧認知症	53	2.7	3.8	2.0
⑨その他	111	2.5	4.6	1.0
⑩主介護者がいない	39	3.0	4.7	1.0
⑪独居	96	2.7	3.9	1.0

図表 5-85　疾患・介護者等別　連絡対応時間

	回答件数 (件)	平均 (分)	標準偏差	中央値 (分)
①-1　小児（6歳以下）	22	27.0	25.6	20.0
①-2　小児（7～19歳）	6	42.8	19.7	39.0
②がん末期の利用者	32	53.8	37.7	48.5
③がん以外の終末期の利用者	15	30.6	29.9	20.0
④神経難病	27	20.7	15.2	16.0
⑤脳血管疾患	30	22.3	20.6	15.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	39	29.7	35.1	15.0
⑦精神疾患	13	20.5	17.3	20.0
⑧認知症	35	34.1	35.5	20.0
⑨その他	62	39.9	50.3	25.0
⑩主介護者がいない	24	34.3	41.0	20.0
⑪独居	60	30.6	30.7	20.0

2) 利用者に関する会議等の有無・回数・時間

利用者に関する会議等を行った利用者は、がん末期の利用者で 21.1%、がん以外の終末期の利用者で 17.6%であった。

図表 5-86　疾患・介護者等別　当該利用者に関する会議等の有無

	合計	あり	なし	無回答
①-1　小児（6歳以下）	44	2	42	0
	100.0%	4.5%	95.5%	0.0%
①-2　小児（7～19歳）	25	2	22	1
	100.0%	8.0%	88.0%	4.0%
②がん末期の利用者	38	8	30	0
	100.0%	21.1%	78.9%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17	3	14	0
	100.0%	17.6%	82.4%	0.0%
④神経難病	59	7	52	0
	100.0%	11.9%	88.1%	0.0%
⑤脳血管疾患	61	6	55	0
	100.0%	9.8%	90.2%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	7	71	0
	100.0%	9.0%	91.0%	0.0%
⑦精神疾患	29	0	29	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
⑧認知症	53	5	48	0
	100.0%	9.4%	90.6%	0.0%
⑨その他	111	17	94	0
	100.0%	15.3%	84.7%	0.0%
⑩主介護者がいない	39	4	35	0
	100.0%	10.3%	89.7%	0.0%
⑪独居	96	6	90	0
	100.0%	6.3%	93.8%	0.0%

図表 5-87　疾患・介護者等別　当該利用者に関する会議等の回数

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	44	0.1	0.3	0.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	0.1	0.3	0.0
②がん末期の利用者	38	0.3	0.8	0.0
③がん以外の終末期の利用者	17	0.3	0.8	0.0
④神経難病	59	0.1	0.4	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.1	0.4	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	0.1	0.4	0.0
⑦精神疾患	29	0.0	－	－
⑧認知症	53	0.1	0.4	0.0
⑨その他	111	0.3	0.7	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.2	0.5	0.0
⑪独居	96	0.1	0.4	0.0

図表 5-88　疾患・介護者等別　当該利用者に関する会議等の時間

	回答件数 (件)	平均 (分)	標準偏差	中央値 (分)
①-1　小児（６歳以下）	2	45.0	21.2	45.0
①-2　小児（７～19 歳）	2	60.0	42.4	60.0
②がん末期の利用者	8	72.8	65.7	60.0
③がん以外の終末期の利用者	3	53.3	48.0	45.0
④神経難病	7	56.4	54.3	35.0
⑤脳血管疾患	6	42.3	19.6	45.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	6	65.8	25.0	60.0
⑦精神疾患	0	－	－	－
⑧認知症	5	45.0	16.6	50.0
⑨その他	17	59.4	22.6	60.0
⑩主介護者がいない	3	31.7	25.7	25.0
⑪独居	6	45.8	29.4	45.0

3) サマリーの作成

サマリーの作成を行った利用者は、がん末期の利用者で 15.8%であった。

図表 5-89　疾患・介護者等別　サマリーの作成の有無

	合計	あり	なし	無回答
①-1　小児（６歳以下）	44 100.0%	2 4.5%	42 95.5%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	25 100.0%	1 4.0%	23 92.0%	1 4.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	6 15.8%	32 84.2%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	0 0.0%	17 100.0%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	3 5.1%	56 94.9%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	4 6.6%	57 93.4%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	2 2.6%	76 97.4%	0 0.0%
⑦精神疾患	29 100.0%	0 0.0%	29 100.0%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	0 0.0%	53 100.0%	0 0.0%
⑨その他	111 100.0%	3 2.7%	108 97.3%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	3 7.7%	36 92.3%	0 0.0%
⑪独居	96 100.0%	3 3.1%	93 96.9%	0 0.0%

図表 5-90　疾患・介護者等別　サマリーの作成回数

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（6歳以下）	44	0.0	0.2	0.0
①-2　小児（7～19歳）	24	0.0	0.2	0.0
②がん末期の利用者	38	0.2	0.4	0.0
③がん以外の終末期の利用者	17	0.0	－	－
④神経難病	59	0.1	0.2	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.1	0.2	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	0.0	0.3	0.0
⑦精神疾患	29	0.0	－	－
⑧認知症	53	0.0	－	－
⑨その他	111	0.0	0.2	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.1	0.3	0.0
⑪独居	96	0.0	0.2	0.0

図表 5-91　疾患・介護者等別　サマリーの作成時間

	回答件数 (件)	平均 (分)	標準偏差	中央値 (分)
①-1　小児（6歳以下）	2	22.0	9.9	22.0
①-2　小児（7～19歳）	1	20.0	－	－
②がん末期の利用者	6	39.5	20.2	40.0
③がん以外の終末期の利用者	0	－	－	－
④神経難病	3	31.7	27.5	30.0
⑤脳血管疾患	4	33.8	18.9	30.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	2	40.0	28.3	40.0
⑦精神疾患	0	－	－	－
⑧認知症	0	－	－	－
⑨その他	3	35.0	22.9	30.0
⑩主介護者がいない	3	35.0	22.9	30.0
⑪独居	3	35.0	22.9	30.0

4) その他の対応

その他の対応を行った利用者は、がん末期の利用者で 10.5%であり、対応回数は平均 0.7 回、対応時間は平均 119.5 分であった。

図表 5-92　疾患・介護者等別　その他の対応の有無

	合計	あり	なし	無回答
①-1　小児（6歳以下）	44 100.0%	1 2.3%	43 97.7%	0 0.0%
①-2　小児（7～19歳）	25 100.0%	0 0.0%	24 96.0%	1 4.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	4 10.5%	34 89.5%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	2 11.8%	15 88.2%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	4 6.8%	55 93.2%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	5 8.2%	56 91.8%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	9 11.5%	69 88.5%	0 0.0%
⑦精神疾患	29 100.0%	1 3.4%	28 96.6%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	6 11.3%	47 88.7%	0 0.0%
⑨その他	111 100.0%	12 10.8%	99 89.2%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	4 10.3%	35 89.7%	0 0.0%
⑪独居	96 100.0%	11 11.5%	85 88.5%	0 0.0%

図表 5-93　疾患・介護者等別　その他の対応回数

	回答件数（件）	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
①-1　小児（６歳以下）	44	0.0	0.3	0.0
①-2　小児（７～19 歳）	24	0.0	－	－
②がん末期の利用者	38	0.7	2.9	0.0
③がん以外の終末期の利用者	17	0.1	0.3	0.0
④神経難病	59	0.2	0.8	0.0
⑤脳血管疾患	61	0.1	0.4	0.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78	0.1	0.4	0.0
⑦精神疾患	29	0.1	0.4	0.0
⑧認知症	53	0.1	0.4	0.0
⑨その他	111	0.2	0.5	0.0
⑩主介護者がいない	39	0.1	0.4	0.0
⑪独居	96	0.2	0.5	0.0

図表 5-94　疾患・介護者等別　その他の対応時間

	回答件数（件）	平均（分）	標準偏差	中央値（分）
①-1　小児（６歳以下）	1	35.0	－	－
①-2　小児（７～19 歳）	0	－	－	－
②がん末期の利用者	4	119.5	125.8	85.0
③がん以外の終末期の利用者	2	20.0	14.1	20.0
④神経難病	4	58.8	45.9	52.5
⑤脳血管疾患	5	28.0	27.5	15.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	9	13.9	9.3	10.0
⑦精神疾患	1	11.0	－	－
⑧認知症	6	5.8	2.2	5.0
⑨その他	11	21.8	24.7	10.0
⑩主介護者がいない	4	11.5	2.4	10.5
⑪独居	10	24.2	25.8	13.5

(5) 訪問介護の併用状況（11 月中の状況）

11 月に訪問介護を併用していた利用者は、主介護者がいない利用者が 56.4%、独居の利用者が 66.7%であった。

がん以外の終末期の利用者は、11 月に訪問介護を併用している場合、1 か月あたりの訪問回数は平均 57.8 回、訪問時間は 31.1 時間であった。

図表 5-95　疾患・介護者等別　訪問介護の併用の有無（11 月中の状況）

	合計	あり	なし	無回答
①-1　小児（６歳以下）	44 100.0%	1 2.3%	5 11.4%	38 86.4%
①-2　小児（７～19 歳）	25 100.0%	4 16.0%	1 4.0%	20 80.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	9 23.7%	23 60.5%	6 15.8%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	6 35.3%	11 64.7%	0 0.0%
④神経難病	59 100.0%	26 44.1%	22 37.3%	11 18.6%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	24 39.3%	33 54.1%	4 6.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	33 42.3%	30 38.5%	15 19.2%
⑦精神疾患	29 100.0%	6 20.7%	6 20.7%	17 58.6%
⑧認知症	53 100.0%	25 47.2%	23 43.4%	5 9.4%
⑨その他	111 100.0%	43 38.7%	47 42.3%	21 18.9%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	22 56.4%	5 12.8%	12 30.8%
（参考）⑩主介護者がいない_非該当者	476 100.0%	155 32.6%	196 41.2%	125 26.3%
⑪独居	96 100.0%	64 66.7%	19 19.8%	13 13.5%
（参考）⑪独居_非該当者	419 100.0%	113 23.7%	182 38.2%	124 26.1%

図表 5-96　疾患・介護者等別　１か月あたりの訪問介護の回数（11 月中の状況）

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
①-1　小児（６歳以下）	1	60.0	−	60.0
①-2　小児（７～19 歳）	4	16.8	3.4	17.5
②がん末期の利用者	9	30.9	25.2	16.0
③がん以外の終末期の利用者	5	57.8	33.1	53.0
④神経難病	24	28.0	22.4	27.0
⑤脳血管疾患	22	24.0	23.4	15.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	30	21.8	21.4	13.0
⑦精神疾患	6	13.3	3.8	12.5
⑧認知症	22	21.1	20.6	13.5
⑨その他	40	17.1	17.3	10.5
⑩主介護者がいない	20	28.9	27.7	17.5
⑪独居	59	24.4	23.2	13.0

図表 5-97　疾患・介護者等別　１か月あたりの訪問介護の時間（11 月中の状況）

	回答件数 (件)	平均 (時間)	標準偏差	中央値 (時間)
①-1　小児（６歳以下）	1	90.0	−	90.0
①-2　小児（７～19 歳）	4	13.5	4.8	12.8
②がん末期の利用者	9	21.6	17.8	16.0
③がん以外の終末期の利用者	4	31.1	20.4	26.3
④神経難病	23	25.0	19.2	21.0
⑤脳血管疾患	21	18.1	14.9	13.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	28	20.5	20.7	13.0
⑦精神疾患	5	20.3	16.2	15.2
⑧認知症	20	11.2	6.3	10.5
⑨その他	39	16.8	18.8	8.0
⑩主介護者がいない	15	21.3	20.8	15.5
⑪独居	53	20.8	20.9	14.0

4. 疾患・介護者等別　訪問看護の診療報酬・介護報酬

訪問看護の診療報酬について、がん末期の利用者は平均 129,838.6 円、神経難病の利用者は平均 127,354.0 円、独居の利用者は平均 105,794.7 円と高かった。一方、がん以外の終末期の利用者は平均 97,280.0 円と、その他と同程度であった。

介護報酬について、がん末期の利用者は平均 80,930.0 円、神経難病の利用者は平均 75,223.4 円であった。

図表 5-98　疾患・介護者等別　診療報酬

	回答件数（件）	平均（円）	標準偏差	中央値（円）
①-1　小児（６歳以下）	42	111,817.7	60,977.2	102,590.0
①-2　小児（７～19 歳）	25	76,203.7	47,761.1	69,500.0
②がん末期の利用者	35	129,838.6	78,631.0	124,710.0
③がん以外の終末期の利用者	4	97,280.0	45,950.1	77,130.0
④神経難病	50	127,354.0	61,431.6	123,215.0
⑤脳血管疾患	7	112,254.3	77,273.5	79,660.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	7	103,104.1	77,481.0	87,060.0
⑦精神疾患	26	53,558.5	18,662.0	50,440.0
⑧認知症	5	93,097.0	104,845.9	43,513.0
⑨その他	33	98,966.9	77,341.4	71,272.0
⑩主介護者がいない	25	78,430.8	47,648.3	58,970.0
⑪独居	36	105,794.7	68,163.1	89,325.0

図表 5-99　疾患・介護者等別　介護報酬

	回答件数（件）	平均（円）	標準偏差	中央値（円）
②がん末期の利用者	3	80,930.0	29,136.4	77,030.0
③がん以外の終末期の利用者	16	69,618.1	36,485.0	62,328.5
④神経難病	8	75,223.4	42,502.2	62,473.5
⑤脳血管疾患	54	55,277.0	33,638.7	39,816.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	70	52,731.0	31,172.4	40,348.0
⑦精神疾患	3	44,803.0	40,771.6	35,823.0
⑧認知症	50	50,720.9	34,827.3	42,718.5
⑨その他	82	59,235.9	36,691.0	46,793.5
⑩主介護者がいない	17	40,226.2	23,978.1	32,320.0
⑪独居	65	46,499.4	27,173.5	40,221.0

※表側の①-1・①-2 小児については、医療保険対象であるため、非表示にしている。

図表 5-100　疾患・介護者等別　報酬全体

	回答件数 (件)	平均 (円)	標準偏差	中央値 (円)
①-1　小児（６歳以下）	42	111,817.7	60,977.2	102,590.0
①-2　小児（７～19 歳）	25	76,203.7	47,761.1	69,500.0
②がん末期の利用者	38	125,977.4	76,850.8	119,855.0
③がん以外の終末期の利用者	17	88,412.3	49,395.5	70,609.0
④神経難病	58	120,163.6	61,602.2	119,165.0
⑤脳血管疾患	61	61,815.3	43,954.0	44,035.0
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	77	52,310.4	39,605.9	41,580.0
⑦精神疾患	29	52,652.7	20,905.9	50,440.0
⑧認知症	53	56,632.7	47,747.1	45,513.0
⑨その他	111	73,847.8	62,839.9	50,855.0
⑩主介護者がいない	39	67,810.6	50,169.6	50,440.0
⑪独居	96	71,157.0	58,581.3	46,815.5

5. 疾患・介護者等別　介入の効果

(1) QOL の変化

QOL の変化について、精神疾患の利用者が普段の活動（仕事、勉強、家族・余暇活動）が改善した割合は 24.1%、痛み／不快感は改善した割合が 27.6%、不安／ふさぎ込みが改善した割合は 34.5%、『訪問看護を利用する前に比べ自信がついた』は改善した割合が 37.9%であった。

がん末期の利用者については、痛み／不快感が改善した割合が 23.7%、『訪問看護を利用する前に比べ身体が安定』が改善した割合が 31.6%であった。

がん以外の終末期の利用者については、不安／ふさぎ込みが改善した割合が 29.4%であった。

図表 5-101　疾患・介護者等別　QOL の変化_移動の程度

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児 （６歳以下）	44 100.0%	0 0.0%	41 93.2%	0 0.0%	3 6.8%
①-2　小児 （７～19 歳）	25 100.0%	2 8.0%	21 84.0%	0 0.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	3 7.9%	22 57.9%	4 10.5%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	1 5.9%	13 76.5%	2 11.8%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	4 6.8%	49 83.1%	3 5.1%	3 5.1%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	5 8.2%	50 82.0%	1 1.6%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	8 10.3%	56 71.8%	6 7.7%	8 10.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	3 10.3%	25 86.2%	1 3.4%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	7 13.2%	41 77.4%	2 3.8%	3 5.7%
⑨その他	111 100.0%	9 8.1%	80 72.1%	14 12.6%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	2 5.1%	31 79.5%	1 2.6%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	10 10.4%	68 70.8%	8 8.3%	10 10.4%

図表 5-102　疾患・介護者等別　QOL の変化_身の回りの管理

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児 （６歳以下）	44 100.0%	0 0.0%	41 93.2%	0 0.0%	3 6.8%
①-2　小児 （７～19 歳）	25 100.0%	1 4.0%	21 84.0%	1 4.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	4 10.5%	20 52.6%	5 13.2%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	1 5.9%	14 82.4%	1 5.9%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	4 6.8%	47 79.7%	4 6.8%	4 6.8%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	2 3.3%	51 83.6%	3 4.9%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	6 7.7%	54 69.2%	9 11.5%	9 11.5%
⑦精神疾患	29 100.0%	2 6.9%	26 89.7%	1 3.4%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	7 13.2%	41 77.4%	2 3.8%	3 5.7%
⑨その他	111 100.0%	9 8.1%	82 73.9%	12 10.8%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	2 5.1%	29 74.4%	3 7.7%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	10 10.4%	63 65.6%	12 12.5%	11 11.5%

図表 5-103　疾患・介護者等別　QOL の変化_普段の活動（仕事、勉強、家族・余暇活動）

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児（６歳以下）	44 100.0%	4 9.1%	36 81.8%	0 0.0%	4 9.1%
①-2　小児（７～19 歳）	25 100.0%	0 0.0%	20 80.0%	2 8.0%	3 12.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	2 5.3%	19 50.0%	8 21.1%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	0 0.0%	15 88.2%	1 5.9%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	4 6.8%	46 78.0%	6 10.2%	3 5.1%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	2 3.3%	51 83.6%	3 4.9%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	5 6.4%	54 69.2%	11 14.1%	8 10.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	7 24.1%	20 69.0%	2 6.9%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	7 13.2%	42 79.2%	1 1.9%	3 5.7%
⑨その他	111 100.0%	13 11.7%	77 69.4%	13 11.7%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	1 2.6%	31 79.5%	2 5.1%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	9 9.4%	63 65.6%	14 14.6%	10 10.4%

図表 5-104　疾患・介護者等別　QOL の変化_痛み／不快感

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児（６歳以下）	44 100.0%	0 0.0%	36 81.8%	1 2.3%	7 15.9%
①-2　小児（７～19 歳）	25 100.0%	2 8.0%	20 80.0%	1 4.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	9 23.7%	14 36.8%	6 15.8%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	2 11.8%	12 70.6%	2 11.8%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	5 8.5%	38 64.4%	10 16.9%	6 10.2%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	10 16.4%	43 70.5%	3 4.9%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	14 17.9%	43 55.1%	13 16.7%	8 10.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	8 27.6%	18 62.1%	3 10.3%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	4 7.5%	39 73.6%	4 7.5%	6 11.3%
⑨その他	111 100.0%	14 12.6%	75 67.6%	14 12.6%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	6 15.4%	23 59.0%	5 12.8%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	12 12.5%	62 64.6%	10 10.4%	12 12.5%

図表 5-105　疾患・介護者等別　QOL の変化_不安／ふさぎ込み

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児 （６歳以下）	44 100.0%	1 2.3%	32 72.7%	1 2.3%	10 22.7%
①-2　小児 （７～19 歳）	25 100.0%	4 16.0%	17 68.0%	0 0.0%	4 16.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	7 18.4%	16 42.1%	6 15.8%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	5 29.4%	11 64.7%	0 0.0%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	10 16.9%	36 61.0%	8 13.6%	5 8.5%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	8 13.1%	45 73.8%	3 4.9%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	12 15.4%	50 64.1%	8 10.3%	8 10.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	10 34.5%	12 41.4%	6 20.7%	1 3.4%
⑧認知症	53 100.0%	5 9.4%	39 73.6%	5 9.4%	4 7.5%
⑨その他	111 100.0%	23 20.7%	70 63.1%	9 8.1%	9 8.1%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	8 20.5%	21 53.8%	5 12.8%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	13 13.5%	56 58.3%	16 16.7%	11 11.5%

図表 5-106　疾患・介護者等別　QOL の変化_訪問看護を利用する前に比べ身体が安定

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児 （６歳以下）	44 100.0%	2 4.5%	35 79.5%	4 9.1%	3 6.8%
①-2　小児 （７～19 歳）	25 100.0%	5 20.0%	16 64.0%	2 8.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	12 31.6%	15 39.5%	2 5.3%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	2 11.8%	11 64.7%	3 17.6%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	2 3.4%	48 81.4%	6 10.2%	3 5.1%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	4 6.6%	49 80.3%	3 4.9%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	8 10.3%	55 70.5%	7 9.0%	8 10.3%
⑦精神疾患	29 100.0%	7 24.1%	21 72.4%	1 3.4%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	9 17.0%	39 73.6%	2 3.8%	3 5.7%
⑨その他	111 100.0%	28 25.2%	68 61.3%	5 4.5%	10 9.0%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	5 12.8%	28 71.8%	1 2.6%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	19 19.8%	59 61.5%	7 7.3%	11 11.5%

図表 5-107　疾患・介護者等別　QOL の変化_訪問看護を利用する前に比べ不安軽減

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児 （６歳以下）	44 100.0%	0 0.0%	38 86.4%	3 6.8%	3 6.8%
①-2　小児 （７～19 歳）	25 100.0%	3 12.0%	19 76.0%	1 4.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	9 23.7%	15 39.5%	5 13.2%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	2 11.8%	11 64.7%	3 17.6%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	5 8.5%	46 78.0%	4 6.8%	4 6.8%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	5 8.2%	47 77.0%	4 6.6%	5 8.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	10 12.8%	54 69.2%	5 6.4%	9 11.5%
⑦精神疾患	29 100.0%	7 24.1%	20 69.0%	2 6.9%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	13 24.5%	35 66.0%	2 3.8%	3 5.7%
⑨その他	111 100.0%	23 20.7%	74 66.7%	6 5.4%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	6 15.4%	28 71.8%	0 0.0%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	16 16.7%	63 65.6%	6 6.3%	11 11.5%

図表 5-108　疾患・介護者等別　QOL の変化_訪問看護を利用する前に比べ自信がついた

	合計	改善	維持	悪化	無回答
①-1　小児 （６歳以下）	44 100.0%	0 0.0%	38 86.4%	2 4.5%	4 9.1%
①-2　小児 （７～19 歳）	25 100.0%	4 16.0%	16 64.0%	3 12.0%	2 8.0%
②がん末期の利用者	38 100.0%	10 26.3%	16 42.1%	3 7.9%	9 23.7%
③がん以外の終末期の利用者	17 100.0%	4 23.5%	10 58.8%	2 11.8%	1 5.9%
④神経難病	59 100.0%	9 15.3%	42 71.2%	5 8.5%	3 5.1%
⑤脳血管疾患	61 100.0%	5 8.2%	47 77.0%	3 4.9%	6 9.8%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	78 100.0%	12 15.4%	52 66.7%	4 5.1%	10 12.8%
⑦精神疾患	29 100.0%	11 37.9%	16 55.2%	2 6.9%	0 0.0%
⑧認知症	53 100.0%	11 20.8%	38 71.7%	1 1.9%	3 5.7%
⑨その他	111 100.0%	13 11.7%	82 73.9%	8 7.2%	8 7.2%
⑩主介護者がいない	39 100.0%	6 15.4%	26 66.7%	2 5.1%	5 12.8%
⑪独居	96 100.0%	22 22.9%	60 62.5%	3 3.1%	11 11.5%

(2) EQ-5D の変化

EQ-5D の変化について、精神疾患の利用者が平均 0.041 と改善した。一方、がん末期の利用者は平均－0.030、神経難病の利用者については平均－0.001 と悪化していた。

図表 5-109　疾患・介護者等別　EQ-5D の変化

	回答件数（件）	平均	標準偏差	中央値
①-1　小児（6 歳以下）	34	0.007	0.040	0.000
①-2　小児（7～19 歳）	20	0.019	0.053	0.000
②がん末期の利用者	29	-0.030	0.130	0.000
③がん以外の終末期の利用者	16	0.015	0.079	0.000
④神経難病	52	-0.001	0.099	0.000
⑤脳血管疾患	56	0.010	0.067	0.000
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	69	0.007	0.084	0.000
⑦精神疾患	28	0.041	0.125	0.009
⑧認知症	47	0.021	0.051	0.000
⑨その他	102	0.004	0.111	0.000
⑩主介護者がいない	34	0.008	0.089	0.000
⑪独居	83	0.001	0.090	0.000

(3) 解決の有無・解決していない場合の利用者の状態

1) 身体活動の推進

「介入により解決した」がん末期の利用者は29.4%であった。「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者について、７歳〜19歳の小児の利用者が95.0%、脳血管疾患の利用者が90.7%であった。

図表 5-110　疾患・介護者等別　（身体活動の推進）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	32 100.0%	2 6.3%	1 3.1%	27 84.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.3%
①-2　小児（７〜19歳）	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 95.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
②がん末期の利用者	17 100.0%	5 29.4%	1 5.9%	7 41.2%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%
③がん以外の終末期の利用者	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
④神経難病	34 100.0%	0 0.0%	1 2.9%	30 88.2%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.9%
⑤脳血管疾患	43 100.0%	1 2.3%	1 2.3%	39 90.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.7%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	53 100.0%	1 1.9%	3 5.7%	46 86.8%	1 1.9%	0 0.0%	2 3.8%
⑦精神疾患	17 100.0%	1 5.9%	1 5.9%	14 82.4%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	37 100.0%	0 0.0%	2 5.4%	33 89.2%	1 2.7%	0 0.0%	1 2.7%
⑨その他	69 100.0%	1 1.4%	8 11.6%	54 78.3%	4 5.8%	0 0.0%	2 2.9%
⑩主介護者がいない	22 100.0%	1 4.5%	1 4.5%	19 86.4%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	53 100.0%	1 1.9%	5 9.4%	39 73.6%	5 9.4%	0 0.0%	3 5.7%

2) ADL

「介入により解決した」がん末期の利用者は 20.8%であった。「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者について、主介護者がいない利用者は全利用者、６歳以下の小児の利用者が 93.5%、神経難病の利用者が 92.0%であった。「状態が悪化」した利用者は、がん末期の利用者が 25.0%であった。

図表 5-111　疾患・介護者等別　（ADL）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	31 100.0%	0 0.0%	1 3.2%	29 93.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%
①-2　小児（７～19 歳）	20 100.0%	0 0.0%	1 5.0%	18 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
②がん末期の利用者	24 100.0%	5 20.8%	3 12.5%	9 37.5%	6 25.0%	0 0.0%	1 4.2%
③がん以外の終末期の利用者	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%
④神経難病	50 100.0%	0 0.0%	2 4.0%	46 92.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%
⑤脳血管疾患	55 100.0%	0 0.0%	3 5.5%	49 89.1%	1 1.8%	1 1.8%	1 1.8%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	57 100.0%	1 1.8%	3 5.3%	47 82.5%	2 3.5%	2 3.5%	2 3.5%
⑦精神疾患	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 91.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	36 100.0%	0 0.0%	3 8.3%	31 86.1%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%
⑨その他	73 100.0%	0 0.0%	10 13.7%	57 78.1%	3 4.1%	0 0.0%	3 4.1%
⑩主介護者がいない	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	55 100.0%	0 0.0%	3 5.5%	45 81.8%	4 7.3%	0 0.0%	3 5.5%

3) 痛み

「介入により解決した」がん末期の利用者は 32.0%であった。

図表 5-112　疾患・介護者等別　（痛み）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
①-2　小児（７～19 歳）	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	25 100.0%	8 32.0%	3 12.0%	9 36.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%
③がん以外の終末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
④神経難病	16 100.0%	1 6.3%	0 0.0%	14 87.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	25 100.0%	2 8.0%	0 0.0%	20 80.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%
⑦精神疾患	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	14 100.0%	2 14.3%	1 7.1%	10 71.4%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	33 100.0%	2 6.1%	6 18.2%	23 69.7%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	33 100.0%	2 6.1%	4 12.1%	21 63.6%	5 15.2%	1 3.0%	0 0.0%

4) 褥瘡

「介入により解決した」がん以外の終末期の利用者は 44.4%であった。

図表 5-113 疾患・介護者等別 （褥瘡）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1 小児（６歳以下）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	10 100.0%	2 20.0%	0 0.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%
③がん以外の終末期の利用者	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
④神経難病	14 100.0%	1 7.1%	2 14.3%	11 78.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 100.0%						
⑧認知症	12 100.0%	2 16.7%	2 16.7%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	21 100.0%	4 19.0%	4 19.0%	11 52.4%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%
⑩主介護者がいない	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

5) 健康管理・セルフケア

「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者について、脳血管疾患の利用者が 90.9%、認知症の利用者が 87.1%、神経難病の利用者が 86.7%であった。

図表 5-114　疾患・介護者等別　（健康管理・セルフケア）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	31	1	2	25	1	0	2
	100.0%	3.2%	6.5%	80.6%	3.2%	0.0%	6.5%
①-2　小児（７～19 歳）	17	1	3	12	0	0	1
	100.0%	5.9%	17.6%	70.6%	0.0%	0.0%	5.9%
②がん末期の利用者	20	3	3	10	3	0	1
	100.0%	15.0%	15.0%	50.0%	15.0%	0.0%	5.0%
③がん以外の終末期の利用者	3	0	0	1	1	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
④神経難病	30	2	1	26	0	0	1
	100.0%	6.7%	3.3%	86.7%	0.0%	0.0%	3.3%
⑤脳血管疾患	33	0	1	30	0	1	1
	100.0%	0.0%	3.0%	90.9%	0.0%	3.0%	3.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	52	3	4	41	2	1	1
	100.0%	5.8%	7.7%	78.8%	3.8%	1.9%	1.9%
⑦精神疾患	25	0	4	18	2	1	0
	100.0%	0.0%	16.0%	72.0%	8.0%	4.0%	0.0%
⑧認知症	31	0	2	27	1	0	1
	100.0%	0.0%	6.5%	87.1%	3.2%	0.0%	3.2%
⑨その他	72	2	12	55	2	0	1
	100.0%	2.8%	16.7%	76.4%	2.8%	0.0%	1.4%
⑩主介護者がいない	22	1	3	18	0	0	0
	100.0%	4.5%	13.6%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	59	3	7	43	5	0	1
	100.0%	5.1%	11.9%	72.9%	8.5%	0.0%	1.7%

6) 感染・発熱の徴候

「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者は、６歳以下の小児の利用者が全利用者、７～19 歳の利用者が 91.7%であった。

図表 5-115　疾患・介護者等別　（感染・発熱の徴候）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	12 100.0%	1 8.3%	0 0.0%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	16 100.0%	3 18.8%	1 6.3%	12 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
④神経難病	22 100.0%	1 4.5%	0 0.0%	20 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
⑤脳血管疾患	14 100.0%	2 14.3%	0 0.0%	11 78.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 87.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%
⑦精神疾患	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	10 100.0%	1 10.0%	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	33 100.0%	4 12.1%	4 12.1%	24 72.7%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
⑪独居	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	10 66.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%

7) 家族介護力・家族機能

「介入により解決した」がん末期の利用者は37.5%であった。「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が改善」した利用者は7～19歳の小児の利用者が20.0%、がん末期の利用者が16.7%であった。

図表 5-116　疾患・介護者等別　（家族介護力・家族機能）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（6歳以下）	28 100.0%	1 3.6%	2 7.1%	23 82.1%	1 3.6%	0 0.0%	1 3.6%
①-2　小児（7～19歳）	15 100.0%	1 6.7%	3 20.0%	9 60.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%
②がん末期の利用者	24 100.0%	9 37.5%	4 16.7%	9 37.5%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%
③がん以外の終末期の利用者	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	9 69.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
④神経難病	35 100.0%	2 5.7%	3 8.6%	28 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.7%
⑤脳血管疾患	42 100.0%	0 0.0%	3 7.1%	38 90.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	36 100.0%	4 11.1%	0 0.0%	28 77.8%	3 8.3%	0 0.0%	1 2.8%
⑦精神疾患	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	11 73.3%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	33 100.0%	2 6.1%	2 6.1%	26 78.8%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%
⑨その他	52 100.0%	1 1.9%	5 9.6%	45 86.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%
⑩主介護者がいない	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	33 100.0%	1 3.0%	1 3.0%	28 84.8%	1 3.0%	0 0.0%	2 6.1%

8) ターミナル期

「介入により解決した」がん末期の利用者は 27.3%であった。

図表 5-117　疾患・介護者等別　（ターミナル期）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（6歳以下）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（7～19歳）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	33 100.0%	9 27.3%	2 6.1%	15 45.5%	6 18.2%	0 0.0%	1 3.0%
③がん以外の終末期の利用者	12 100.0%	1 8.3%	1 8.3%	8 66.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%
④神経難病	0 100.0%						
⑤脳血管疾患	0 100.0%						
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 100.0%						
⑧認知症	0 100.0%						
⑨その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%

9) 成長と発達

「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者について、６歳以下の小児の利用者が 86.1%、７~19 歳の小児の利用者が 94.7%であった。

図表 5-118 疾患・介護者等別 （成長と発達）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1 小児（６歳以下）	36 100.0%	0 0.0%	3 8.3%	31 86.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%
①-2 小児（７～19 歳）	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 94.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
②がん末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	0 100.0%						
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	0 100.0%						
⑦精神疾患	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	0 100.0%						
⑨その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	0 100.0%						

10) IADL

図表 5-119　疾患・介護者等別　（IADL）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 92.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%
①-2　小児（７～19 歳）	16 100.0%	1 6.3%	0 0.0%	15 93.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	11 100.0%	2 18.2%	1 9.1%	6 54.5%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
③がん以外の終末期の利用者	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
④神経難病	24 100.0%	0 0.0%	1 4.2%	21 87.5%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%
⑤脳血管疾患	28 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 96.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	28 100.0%	1 3.6%	0 0.0%	26 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%
⑦精神疾患	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 86.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%
⑧認知症	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	38 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 97.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%
⑩主介護者がいない	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	30 100.0%	0 0.0%	1 3.3%	28 93.3%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%

11) 住環境の改善

図表 5-120　疾患・介護者等別　（住環境の改善）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19歳）	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	8 100.0%	1 12.5%	0 0.0%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	13 100.0%	1 7.7%	0 0.0%	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
⑤脳血管疾患	18 100.0%	2 11.1%	1 5.6%	15 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	15 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	13 86.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%
⑦精神疾患	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	13 100.0%	2 15.4%	0 0.0%	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	17 100.0%	2 11.8%	0 0.0%	15 88.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

12) 施設入所のリスク

図表 5-121　疾患・介護者等別　（施設入所のリスク）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	11 100.0%	0 0.0%	1 9.1%	10 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%

13) 身体抑制

図表 5-122　疾患・介護者等別　（身体抑制）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	0 100.0%						
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 100.0%						
⑧認知症	0 100.0%						
⑨その他	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	0 100.0%						
⑪独居	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

14) 認知低下

図表 5-123　疾患・介護者等別　（認知低下）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	0 100.0%						
①-2　小児（７～19 歳）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	11 100.0%	2 18.2%	1 9.1%	8 72.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	31 100.0%	1 3.2%	0 0.0%	28 90.3%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	38 100.0%	0 0.0%	1 2.6%	32 84.2%	4 10.5%	0 0.0%	1 2.6%
⑨その他	24 100.0%	1 4.2%	0 0.0%	21 87.5%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 91.7%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%

15) せん妄

図表 5-124　疾患・介護者等別　（せん妄）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	0 100.0%						
①-2　小児（７～19歳）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	0 100.0%						
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 100.0%						
⑧認知症	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	0 100.0%						
⑪独居	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

16) コミュニケーション

図表 5-125 疾患・介護者等別 （コミュニケーション）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1 小児（６歳以下）	23 100.0%	0 0.0%	3 13.0%	18 78.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%
①-2 小児（７～19歳）	14 100.0%	0 0.0%	1 7.1%	13 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
④神経難病	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 92.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%
⑤脳血管疾患	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	14 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	13 100.0%	1 7.7%	1 7.7%	10 76.9%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	9 69.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%

17) 気分

図表 5-126　疾患・介護者等別　（気分）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	3	0	0	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	6	0	0	6	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	13	1	1	8	2	0	1
	100.0%	7.7%	7.7%	61.5%	15.4%	0.0%	7.7%
③がん以外の終末期の利用者	1	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
④神経難病	15	0	1	14	0	0	0
	100.0%	0.0%	6.7%	93.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	9	0	1	8	0	0	0
	100.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	17	1	1	14	1	0	0
	100.0%	5.9%	5.9%	82.4%	5.9%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	24	0	4	18	2	0	0
	100.0%	0.0%	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%
⑧認知症	11	0	1	9	1	0	0
	100.0%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	0.0%
⑨その他	22	1	3	16	0	1	1
	100.0%	4.5%	13.6%	72.7%	0.0%	4.5%	4.5%
⑩主介護者がいない	19	1	3	14	0	1	0
	100.0%	5.3%	15.8%	73.7%	0.0%	5.3%	0.0%
⑪独居	28	2	2	22	1	1	0
	100.0%	7.1%	7.1%	78.6%	3.6%	3.6%	0.0%

18) 行動

図表 5-127 疾患・介護者等別 （行動）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1 小児（６歳以下）	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
①-2 小児（７～19歳）	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
②がん末期の利用者	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
④神経難病	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 84.6%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	18 100.0%	0 0.0%	2 11.1%	15 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%
⑦精神疾患	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	11 100.0%	0 0.0%	1 9.1%	10 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	25 100.0%	0 0.0%	2 8.0%	21 84.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%
⑩主介護者がいない	10 100.0%	0 0.0%	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	21 100.0%	0 0.0%	2 9.5%	18 85.7%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%

19) 虐待

図表 5-128　疾患・介護者等別　（虐待）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	0 100.0%						
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	0 100.0%						
⑤脳血管疾患	0 100.0%						
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	0 100.0%						
⑨その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	0 100.0%						

20) アクティビティ

図表 5-129　疾患・介護者等別　（アクティビティ）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
①-2　小児（７～19歳）	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
②がん末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 75.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%
⑩主介護者がいない	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%

21) インフォーマルな支援

図表 5-130　疾患・介護者等別　（インフォーマルな支援）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	13 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	13 100.0%	0 0.0%	1 7.7%	12 92.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%

22) 社会関係

図表 5-131　疾患・介護者等別　（社会関係）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19歳）	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
⑤脳血管疾患	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	13 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 94.7%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	19 100.0%	0 0.0%	1 5.3%	17 89.5%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

23) 転倒

図表 5-132　疾患・介護者等別　（転倒）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19歳）	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	10 100.0%	2 20.0%	0 0.0%	6 60.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 95.2%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 84.6%	2 7.7%	0 0.0%	2 7.7%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	31 100.0%	0 0.0%	1 3.2%	27 87.1%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%
⑦精神疾患	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	21 100.0%	0 0.0%	3 14.3%	16 76.2%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%
⑨その他	45 100.0%	2 4.4%	7 15.6%	32 71.1%	3 6.7%	0 0.0%	1 2.2%
⑩主介護者がいない	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	41 100.0%	1 2.4%	3 7.3%	31 75.6%	3 7.3%	0 0.0%	3 7.3%

24) 心肺機能

図表 5-133　疾患・介護者等別　（心肺機能）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	35 100.0%	1 2.9%	0 0.0%	28 80.0%	3 8.6%	1 2.9%	2 5.7%
①-2　小児（７～19歳）	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 94.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%
②がん末期の利用者	13 100.0%	2 15.4%	0 0.0%	9 69.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	8 100.0%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%
④神経難病	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 91.7%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%
⑤脳血管疾患	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	61 100.0%	1 1.6%	1 1.6%	52 85.2%	5 8.2%	0 0.0%	2 3.3%
⑦精神疾患	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 94.7%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	42 100.0%	1 2.4%	8 19.0%	31 73.8%	1 2.4%	0 0.0%	1 2.4%
⑩主介護者がいない	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	34 100.0%	1 2.9%	3 8.8%	27 79.4%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.9%

25) 低栄養

図表 5-134 疾患・介護者等別 （低栄養）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1 小児（６歳以下）	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2 小児（７～19 歳）	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	18 100.0%	5 27.8%	0 0.0%	8 44.4%	4 22.2%	0 0.0%	1 5.6%
③がん以外の終末期の利用者	11 100.0%	1 9.1%	1 9.1%	6 54.5%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%
④神経難病	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	10 100.0%	1 10.0%	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	0 100.0%						
⑧認知症	11 100.0%	1 9.1%	0 0.0%	10 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	8 53.3%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	12 100.0%	4 33.3%	3 25.0%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%

26) 脱水

図表 5-135　疾患・介護者等別　（脱水）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	3	0	0	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	3	0	1	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
②がん末期の利用者	8	2	0	4	2	0	0
	100.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
③がん以外の終末期の利用者	6	1	1	3	0	0	1
	100.0%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%
④神経難病	6	0	1	5	0	0	0
	100.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤脳血管疾患	4	0	0	3	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	10	3	0	7	0	0	0
	100.0%	30.0%	0.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦精神疾患	1	0	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧認知症	13	3	1	9	0	0	0
	100.0%	23.1%	7.7%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨その他	14	1	1	12	0	0	0
	100.0%	7.1%	7.1%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩主介護者がいない	3	0	1	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
⑪独居	14	5	1	8	0	0	0
	100.0%	35.7%	7.1%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%

27) 胃ろう

図表 5-136　疾患・介護者等別　（胃ろう）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	11 100.0%	2 18.2%	0 0.0%	8 72.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%
①-2　小児（７～19 歳）	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
②がん末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
④神経難病	22 100.0%	2 9.1%	1 4.5%	18 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
⑤脳血管疾患	15 100.0%	1 6.7%	1 6.7%	12 80.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	0 100.0%						
⑪独居	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

28) 検診・予防接種

図表 5-137　疾患・介護者等別　（検診・予防接種）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	8 100.0%	1 12.5%	0 0.0%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19歳）	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	0 100.0%						
③がん以外の終末期の利用者	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
④神経難病	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	8 100.0%	2 25.0%	0 0.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

29) 適切な薬剤使用

図表 5-138　疾患・介護者等別　（適切な薬剤使用）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
①-2　小児（７～19 歳）	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
②がん末期の利用者	22 100.0%	4 18.2%	4 18.2%	11 50.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%
③がん以外の終末期の利用者	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
④神経難病	21 100.0%	0 0.0%	1 4.8%	19 90.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%
⑤脳血管疾患	21 100.0%	0 0.0%	3 14.3%	17 81.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	38 100.0%	2 5.3%	3 7.9%	29 76.3%	3 7.9%	0 0.0%	1 2.6%
⑦精神疾患	19 100.0%	0 0.0%	2 10.5%	17 89.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	24 100.0%	1 4.2%	3 12.5%	19 79.2%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	69 100.0%	5 7.2%	13 18.8%	47 68.1%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%
⑩主介護者がいない	23 100.0%	0 0.0%	5 21.7%	18 78.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	59 100.0%	2 3.4%	8 13.6%	46 78.0%	2 3.4%	0 0.0%	1 1.7%

30) 喫煙と飲酒

図表 5-139　疾患・介護者等別　（喫煙と飲酒）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	0 100.0%						
①-2　小児（７～19歳）	0 100.0%						
②がん末期の利用者	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	0 100.0%						
⑤脳血管疾患	0 100.0%						
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%

31) 尿失禁

図表 5-140　疾患・介護者等別　（尿失禁）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	24 100.0%	2 8.3%	0 0.0%	20 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%
①-2　小児（７～19歳）	12 100.0%	1 8.3%	0 0.0%	10 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
②がん末期の利用者	8 100.0%	2 25.0%	0 0.0%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%
③がん以外の終末期の利用者	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
④神経難病	16 100.0%	1 6.3%	0 0.0%	14 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
⑤脳血管疾患	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 92.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
⑦精神疾患	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
⑨その他	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	8 61.5%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%
⑩主介護者がいない	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%

32) 便通

図表 5-141　疾患・介護者等別　（便通）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	7 70.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%
①-2　小児（７～19 歳）	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	13 81.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
②がん末期の利用者	24 100.0%	3 12.5%	3 12.5%	14 58.3%	3 12.5%	0 0.0%	1 4.2%
③がん以外の終末期の利用者	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
④神経難病	35 100.0%	1 2.9%	1 2.9%	30 85.7%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.7%
⑤脳血管疾患	31 100.0%	1 3.2%	2 6.5%	27 87.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	27 100.0%	1 3.7%	4 14.8%	21 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%
⑦精神疾患	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	27 100.0%	3 11.1%	2 7.4%	21 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%
⑨その他	56 100.0%	2 3.6%	8 14.3%	44 78.6%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%
⑩主介護者がいない	14 100.0%	0 0.0%	3 21.4%	10 71.4%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	37 100.0%	1 2.7%	6 16.2%	27 73.0%	1 2.7%	0 0.0%	2 5.4%

33) 医療的処置や器材

図表 5-142　疾患・介護者等別　（医療的処置や器材）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	36 100.0%	2 5.6%	1 2.8%	31 86.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%
①-2　小児（７～19 歳）	19 100.0%	2 10.5%	0 0.0%	16 84.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
②がん末期の利用者	18 100.0%	4 22.2%	1 5.6%	11 61.1%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%
③がん以外の終末期の利用者	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
④神経難病	28 100.0%	2 7.1%	0 0.0%	25 89.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%
⑤脳血管疾患	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	35 100.0%	1 2.9%	2 5.7%	31 88.6%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	12 100.0%	0 0.0%	3 25.0%	9 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	40 100.0%	4 10.0%	5 12.5%	30 75.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	10 100.0%	1 10.0%	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	22 100.0%	1 4.5%	2 9.1%	18 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%

34) 睡眠

図表 5-143　疾患・介護者等別　（睡眠）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 90.9%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	9 69.2%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	16 100.0%	1 6.3%	2 12.5%	11 68.8%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%
⑩主介護者がいない	10 100.0%	0 0.0%	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	16 100.0%	2 12.5%	3 18.8%	11 68.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

35) 清潔

図表 5-144　疾患・介護者等別　（清潔）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	22 100.0%	3 13.6%	2 9.1%	17 77.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	17 100.0%	1 5.9%	3 17.6%	12 70.6%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
②がん末期の利用者	15 100.0%	5 33.3%	3 20.0%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
④神経難病	27 100.0%	2 7.4%	3 11.1%	18 66.7%	1 3.7%	1 3.7%	2 7.4%
⑤脳血管疾患	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	13 81.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	27 100.0%	1 3.7%	2 7.4%	23 85.2%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	17 100.0%	1 5.9%	0 0.0%	16 94.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	31 100.0%	0 0.0%	5 16.1%	26 83.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	22 100.0%	0 0.0%	2 9.1%	19 86.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%

36) 経済・制度利用の選択や変更・拡大

図表 5-145　疾患・介護者等別　（経済・制度利用の選択や変更・拡大）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（6歳以下）	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（7～19歳）	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
⑤脳血管疾患	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑦精神疾患	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨その他	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

37) 人間のセクシュアリティ

図表 5-146　疾患・介護者等別　（人間のセクシュアリティ）解決の有無・解決していない場合の利用者の状態変化

	合計	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
①-1　小児（６歳以下）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①-2　小児（７～19 歳）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②がん末期の利用者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
③がん以外の終末期の利用者	0 100.0%						
④神経難病	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤脳血管疾患	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥呼吸器疾患または循環器疾患	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
⑦精神疾患	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧認知症	0 100.0%						
⑨その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩主介護者がいない	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑪独居	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

6. 疾患・介護者等別　まとめ

	ストラクチャー	プロセス		アウトカム			まとめ
	（3）利用者特性	（4）利用者のニーズ	（5）（6） 介入回数・時間・内容	（7）訪問看護の 診療報酬・ 介護報酬	（8）評価１ （ニーズ評価）	（9）評価２ （QOL 評価）	
①-1　小児 （６歳以下） の利用者 対象者数：44	○医療機器等の使用有が 84.1% ○EQ-5D （11 月）0.373 （12 月）0.381	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 10.3 個 ○「心肺機能」のﾆｰｽﾞがある利用者は 79.5% ○「尿失禁」のﾆｰｽﾞがある利用者は 54.5% ○「医療的処置や器材」のﾆｰｽﾞがある利用者は 81.8% ○「成長と発達」のﾆｰｽﾞがある利用者が 81.8% （参考）※１ ○「ADL」のﾆｰｽﾞがある利用者は 70.5%	○訪問 回数：平均 10.9 回 時間：平均 613.8 分 ○家族支援：93.0%・平均 7.7 回 ○訪問介護　併用有：2.3%	診療報酬（42 名）： 平均 111,817.7 円	○「心肺機能」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 80.0% ○「尿失禁」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 83.3% ○「医療的処置や器材」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 86.1% ○「成長と発達」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 86.1% ○「ADL」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 93.5%	-	○医療機器を使用している割合が約８割を占めており、訪問回数が約 11 回、訪問時間が約 10 時間かかっている。 ○訪問看護の診療報酬が約 11 万円であった。 ○利用者が小児であるため、その家族を支えるため、約９割の利用者に家族支援を行っていた。 ○「成長と発達」のﾆｰｽﾞがある利用者が約８割を占めていたが、そのうち９割の利用者が解決していなくても状態が維持していた。
①-2　小児 （７～19 歳） の利用者 対象者数：25	○医療機器等の使用有が 84.0% ○EQ-5D （11 月）0.375 （12 月）0.388	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 12.6 個 ○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞがある利用者は 80.0% ○「ADL」のﾆｰｽﾞがある利用者は 80.0% ○「尿失禁」のﾆｰｽﾞがある利用者は 48.0% ○「感染・発熱の徴候」のﾆｰｽﾞがある利用者は 48.0% ○「医療的処置や器材」のﾆｰｽﾞがある利用者は 76.0% ○「成長と発達」のﾆｰｽﾞがある利用者は 76.0% ○「清潔」のﾆｰｽﾞがある利用者は 68.0% （参考）※１ ○「家族介護力・家族機能」のﾆｰｽﾞがある利用者は 60.0%	○訪問 回数：平均 6.3 回 時間：平均 368.3 分 ○訪問介護　併用有：16.0%	診療報酬（25 名）： 平均 76,203.7 円	○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 95.0% ○「ADL」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 90.0% ○「尿失禁」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 83.3% ○「感染・発熱の徴候」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 91.7% ○「医療的処置や器材」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 84.2% ○「成長と発達」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 94.7% ○「清潔」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 70.6% ○「家族介護力・家族機能」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が改善」した利用者が 20.0%	-	○医療機器を使用している割合が約８割であった。 ○37 個のうち、約 13 個のﾆｰｽﾞをもっていた。 ○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞがある利用者が約８割を占めていたが、そのうち９割の利用者が解決していなくても状態が維持していた。 ○「感染・発熱の徴候」のﾆｰｽﾞがある利用者が約半数いたが、そのうち９割の利用者が解決していなくても状態が維持していた。 ○「成長と発達」のﾆｰｽﾞがある利用者が約８割を占めていたが、そのうち９割の利用者が解決していなくても状態が維持していた。

※特徴があったデータには下線をひいている。　　※１：（参考）については、（4）利用者のﾆｰｽﾞで特徴がみられなかったが、（8）評価１（ﾆｰｽﾞ評価）に特徴があったﾆｰｽﾞを表示している。

	ストラクチャー	プロセス		アウトカム			まとめ
	（3）利用者特性	（4）利用者のニーズ	（5）（6） 介入回数・時間・内容	（7）訪問看護の 診療報酬・ 介護報酬	（8）評価１ （ニーズ評価）	（9）評価２ （QOL 評価）	
②がん末期の利用者 対象者数：38	○EQ-5D （11 月）0.449 （12 月）0.472	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 10.4 個 ○「痛み」のﾆｰｽﾞがある利用者 65.8% ○「ターミナル期」のﾆｰｽﾞがある利用者が 86.8% （参考）※１ ○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞがある利用者が 44.7% ○「ADL」のﾆｰｽﾞがある利用者が 63.2% ○「家族介護力・家族機能」のﾆｰｽﾞがある利用者が 63.2%	○訪問： 回数：平均 11.8 回 時間：平均 629.6 分 ○訪問以外 （連絡対応） 実施有：84.2% 回数：平均 4.9 回 時間：平均 53.8 分 ○訪問介護　併用有：23.7% ○清潔のケア・指導：92.1%、排泄のケア・指導：86.8%、疾病や治療に関する説明・指導：94.7% 薬剤の管理・指導：84.2%、平均 6.4 回、ターミナルケア：63.2% 介護相談：76.3%	診療報酬（35 名）： 平均 129,838.6 円介護報酬（3 名）： 平均 80,930.0 円 全体（38 名）： 平均 125,977.4 円	○「痛み」のﾆｰｽﾞが解決した利用者が 32.0% ○「ターミナル期」のﾆｰｽﾞが解決した利用者が 27.3% ○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞが解決した利用者が 29.4% ○「ADL」のﾆｰｽﾞが解決した利用者が 20.8% ○「家族介護力・家族機能」のﾆｰｽﾞが解決した利用者が 37.5%。また、介入したが解決していない利用者について、「状態が改善」した利用者が 16.7%	○痛み（不快感）が改善した割合が 23.7% ○『訪問看護を利用する前に比べ身体が安定』が改善した割合が 31.6%	○訪問回数が約 12 回、訪問時間が約 10 時間であった。また、連絡対応の介入を約８割の利用者に行っていた。 ○訪問看護の診療報酬・介護報酬が約 13 万円であった。 ○「痛み」のﾆｰｽﾞがある利用者が約７割を占めていたが、看護師によるﾆｰｽﾞ評価において、そのうち３割の利用者がﾆｰｽﾞが解決されていた。また、利用者・家族による QOL の評価でもがん末期の全利用者のうち、２割の利用者が痛み（不快感）が改善していた。 ○ﾆｰｽﾞ評価では、「痛み」以外に、「ターミナル期」のﾆｰｽﾞがある利用者が約８割を占めていたが、そのうち３割の利用者が解決していた。 ○QOL 評価でも、「痛み」以外に、『訪問看護を利用する前に比べ身体が安定』が改善した利用者の割合が３割であった。
③がん以外の終末期の利用者 対象者数：17	○年齢：90 歳代が 47.1% ○要介護５が 76.5% ○寝たきり（ランクC）70.6% ○認知症高齢者の日常生活自立度　Ⅳ（困難さ頻繁､常に介護必要）が 64.7% ○EQ-5D （11 月）0.286 （12 月）0.304	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 7.6 個 ○「褥瘡」のﾆｰｽﾞがある利用者は 52.9% ○「低栄養」のﾆｰｽﾞがある利用者は 64.7% ○「家族介護力・家族機能」のﾆｰｽﾞがある利用者は 76.5% ○「ターミナル期」のﾆｰｽﾞがある利用者が 70.6%	○訪問 回数：平均 11.4 回 時間：平均 511.9 分 ○訪問以外 （連絡対応） 実施有：88.2% 回数：平均 3.6 回 ○訪問介護　併用有：35.3% 回数：平均 57.8 回 時間：平均 31.1 時間 ○清潔のケア・指導：94.1%・平均 9.2 回 衣生活のケア・指導：94.1%・平均 5.0 回 食事や栄養のケア・指導：平均 6.5 回 排泄のケア・指導：88.2%・平均 9.0 回 睡眠のケア・指導：平均 2.7 回 環境整備・調整：平均 4.9 回	診療報酬（4 名）： 平均 97,280.0 円 介護報酬（16 名）： 平均 69,618.1 円 全体（17 名）： 平均 88,412.3 円	○「褥瘡」のﾆｰｽﾞが解決した利用者が 44.4% ○「低栄養」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 54.5% ○「家族介護力・家族機能」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 69.2% ○「ターミナル期」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 66.7%	○不安（ふさぎ込み）が改善した割合が 29.4%	○90 歳代の利用者が約半数であり、要介護５、寝たきり度（ランクＣ）、認知症高齢者の日常生活自立度（Ⅳ）も利用者のうち、それぞれ約７割を占めていた。 ○EQ-5D が 11 月で 0.286、12 月で 0.304 であった。 ○がん末期の利用者もがん以外の終末期の利用者も約 11 回の訪問しているが、訪問看護の診療報酬・介護報酬はがん末期の利用者が約 13 万円、がん以外の終末期の利用者が約９万円であった。また、訪問以外の介入において、連絡対応を実施した利用者の割合でも、がん末期の利用者もがん以外の終末期の利用者も約８割であった。 ○90 歳代の利用者が約半数を占めているため、基本的なケア（清潔・衣生活・食事／栄養・排泄・睡眠・環境整備／調整）が積極的に行われていた。また、他のケアも行われており、１回の訪問で様々なケアを行う必要があった。 ○「褥瘡」のﾆｰｽﾞがある利用者が約５割を占めていたが、そのうち４割の利用者が「褥瘡」のﾆｰｽﾞが解決されていた。

	ストラクチャー	プロセス		アウトカム			
	（3）利用者特性	（4）利用者のニーズ	（5）（6） 介入回数・時間・内容	（7）訪問看護の診療報酬・介護報酬	（8）評価１ （ニーズ評価）	（9）評価２ （QOL 評価）	まとめ
④神経難病の利用者 対象者数：59	○寝たきり（ランクC）40.7% ○EQ-5D （11 月）0.365 （12 月）0.355	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 9.6 個 ○「ADL」のﾆｰｽﾞがある利用者は 84.7% （参考）※1 ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞがある利用者は 50.8%	○訪問 回数：平均 12.3 回 時間：平均 732.2 分 ○リハビリテーション：84.5%・平均 7.6 回 身体機能リハビリテーション：82.8%、リラクゼーション法：60.3% ○訪問介護　併用有：44.1%	診療報酬（50 名）： 平均 127,354.0 円介護報酬（8 名）： 平均 75,223.4 円 全体（58 名）： 平均 120,163.6 円	○「ADL」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 92.0% ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 86.7%	―	○寝たきりの利用者が４割であった。 ○訪問回数が約 12 回、訪問時間が約 12 時間であった ○訪問看護の診療報酬・介護報酬は約 12 万円であった。 ○「ADL」のﾆｰｽﾞがある利用者が約８割を占めていたが、そのうち９割の利用者が介入により、解決していなくても状態が維持していた。
⑤脳血管疾患の利用者 対象者数：61	○要介護５が 32.8% ○EQ-5D （11 月）0.438 （12 月）0.444	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 8.7 個 ○「ADL」のﾆｰｽﾞがある利用者は 90.2% （参考）※1 ○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞがある利用者は 70.5% ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞがある利用者は 54.1%	○訪問 回数：平均 7.8 回 時間：平均 411.8 分 ○訪問介護　併用有：39.3%	診療報酬（7 名）： 平均 112,254.3 円介護報酬（54 名）： 平均 55,277.0 円 全体（61 名）： 平均 61,815.3 円	○「ADL」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 89.1% ○「身体活動の推進」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 90.7% ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 90.9%	‐	○要介護５が約３割であった。 ○「身体活動の推進」は約７割、「健康管理・セルフケア」は約５割の利用者がﾆｰｽﾞをもっていたが、そのうち、それぞれ約９割の利用者が解決していなくても状態が維持していた。
⑥呼吸器疾患または循環器疾患の利用者 対象者数：78	○EQ-5D （11 月）0.545 （12 月）0.556	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 9.0 個 ○「心肺機能」のﾆｰｽﾞがある利用者は 78.2%	○訪問 回数：平均 6.8 回 時間：平均 351.7 分 ○訪問介護　併用有：42.3%	診療報酬（7 名）： 平均 103,104.1 円介護報酬（70 名）： 平均 52,731.0 円 全体（77 名）： 平均 52,310.4 円	○「心肺機能」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 85.2%		○「心肺機能」のﾆｰｽﾞがある利用者が約８割であった。
⑦精神疾患の利用者 対象者数：29	○EQ-5D （11 月）0.693 （12 月）0.753	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 9.1 個 ○「気分」のﾆｰｽﾞがある利用者　は 82.8% ○「社会関係」のﾆｰｽﾞがある利用者は 65.5% ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞがある利用者　は 86.2% ○「睡眠」のﾆｰｽﾞがある利用者は 44.8%	○訪問 回数：平均 4.5 回 時間：平均 254.5 分 ○訪問介護　併用有：20.7% ○精神的援助：96.6%	診療報酬（26 名）： 平均 53,558.5 円介護報酬（3 名）： 平均 44,803.0 円 全体（29 名）： 平均 52,652.7 円	○「気分」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 75.0% ○「社会関係」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 94.7% ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 72.0% ○「睡眠」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 69.2%	○普段の活動（仕事、勉強、家族、余暇活動）が改善した割合が 24.1% ○痛み（不快感）が改善した割合が 27.6% ○不安（ふさぎ込み）が改善した割合が 34.5% ○『訪問看護を利用する前に比べ自信がついた』が改善した割合が 37.9%	○「普段の活動（仕事、勉強、家族、余暇活動）」、「痛み（不快感）」、「不安（ふさぎ込み）」、「訪問看護を利用する前に比べ自信がついた」が改善した利用者が約２～４割であり、QOL が改善していた。
⑧認知症の利用者 対象者数：53	○要介護５が 30.2% ○寝たきり（ランクC）35.8% ○EQ-5D （11 月）0.462 （12 月）0.496	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 9.2 個 ○「認知低下」のﾆｰｽﾞがある利用者は 71.7% （参考）※1 ○「健康管理・ｾﾙﾌｹｱ」のﾆｰｽﾞがある利用者は 58.5%	○訪問 回数：平均 7.5 回 時間：平均 369.6 分 ○訪問介護　併用有：47.2%	診療報酬（5 名）： 平均 93,097.0 円介護報酬（50 名）： 平均 50,720.9 円全体（53 名）： 平均 56,632.7 円	○「認知低下」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 84.2% ○「健康管理・セルフケア」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 87.1%		○要介護５、寝たきり（ランク C）の利用者がそれぞれ３割であった。

	ストラクチャー	プロセス		アウトカム			まとめ
	（3）利用者特性	（4）利用者のニーズ	（5）（6） 介入回数・時間・内容	（7）訪問看護の 診療報酬・ 介護報酬	（8）評価１ （ニーズ評価）	（9）評価２ （QOL 評価）	
⑩主介護者がいない利用者 対象者数：39	○EQ-5D （11 月）0.593 （12 月）0.608	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 7.6 個 ○「気分」のﾆｰｽﾞがある利用者は 48.7% （参考）※１ ○「 ADL 」のﾆｰｽﾞがある利用者は 56.4%	○訪問 回数：平均 7.3 回 時間：平均 357.5 分 ○訪問以外 （連絡対応） 回数：平均 3.0 回 ○訪問介護　併用有：56.4% （主介護者がいる利用者については、併用有：32.6%）	診療報酬（25 名）： 平均 78,430.8 円介護報酬（17 名）： 平均 40,226.2 円 全体（39 名）： 平均 67,810.6 円	○「気分」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 73.7% ○「ADL」のﾆｰｽﾞに介入したが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者が 100.0%	–	○主介護者がいる利用者が訪問介護を併用している割合は約３割であったが、主介護者がいない利用者は約５割であった。
⑪独居の利用者 対象者数：96	○EQ-5D （11 月）0.590 （12 月）0.605	ﾆｰｽﾞ有の個数：平均 7.8 個	○訪問 回数：平均 8.4 回 時間：平均 412.0 分 ○訪問以外 （連絡対応） 回数：平均 2.7 回 ○訪問介護　併用有：66.7% （独居ではない利用者については、併用有：23.7%） ○薬剤の管理・指導（介助含む）は平均 5.6 回 （独居ではない利用者については、平均 3.1 回）	診療報酬（36 名）： 平均 105,794.7 円介護報酬（65 名）： 平均 46,499.4 円 全体（96 名）： 平均 71,157.0 円	–	–	○独居ではない利用者が訪問介護を併用している割合は約２割であるが、独居である利用者は約６割であった。 ○独居ではない利用者が薬剤の管理・指導の介入回数は約３回であったが、独居である利用者は約６回であった。

第2節 ニーズ別　分析

37 個のニーズ別に分類した結果を示す。

＜ニーズ＞

- 身体活動の推進
- ADL
- 施設入所のリスク
- 認知低下
- コミュニケーション
- 行動
- アクティビティ
- 社会関係
- 痛み
- 心肺機能
- 脱水
- 検診・予防接種
- 喫煙と飲酒
- 便通
- 感染・発熱の徴候
- 家族介護力・家族機能
- 成長と発達
- 清潔
- 人間のセクシュアリティ
- IADL
- 住環境の改善
- 身体抑制
- せん妄
- 気分
- 虐待
- インフォーマルな支援
- 転倒
- 褥瘡
- 低栄養
- 胃ろう
- 適切な薬剤使用
- 尿失禁
- 健康管理・セルフケア
- 医療的処置や器材
- ターミナル期
- 睡眠
- 経済・制度利用の選択や変更・拡大

1. ニーズ別　訪問時の介入内容の有無

「施設入所のリスク」のニーズがある利用者は、「排泄のケア・指導」を行った利用者が 80.9%であった。

「身体抑制」のニーズがある利用者は、「清潔のケア・指導」を行った利用者が 93.3%、「衣生活のケア・指導」が 80.0%、「家族支援」が 80.0%であった。

「せん妄」のニーズがある利用者は、「清潔のケア・指導」を行った利用者が 100.0%、「衣生活のケア・指導」が 78.9%、「排泄のケア・指導」が 94.7%、「睡眠のケア・指導」が 57.9%、「環境整備・調整」が 100.0%、「疾病や治療に関する説明・指導」が 84.2%、「医療処置の管理・実施・指導」が 94.7%、「介護相談」が 78.9%であった。

「虐待」のニーズがある利用者は、「薬剤の管理・指導（介助含む）」を行った利用者が 100.0%であった。

「インフォーマルな支援」のニーズがある利用者は、「精神的援助」を行った利用者が 90.9%であった。

「褥瘡」のニーズがある利用者は、「清潔のケア・指導」を行った利用者が 97.5%、「衣生活のケア・指導」が 84.0%、「食事や栄養のケア・指導」が 81.5%、「排泄のケア・指導」が 85.2%、「医療処置の管理・実施・指導」が 92.6%、「介護相談」が 72.8%、「家族支援」が 82.7%であった。

「胃ろう」のニーズがある利用者は、「清潔のケア・指導」を行った利用者が 95.9%、「排泄のケア・指導」が 86.3%、「医療処置の管理・実施・指導」が 98.6%、「家族支援」が 84.9%であった。「喫煙と飲酒」のニーズがある利用者について、「薬剤の管理・指導（介助含む）」を行った利用者が 81.3%であった。

「ターミナル期」のニーズがある利用者は、「清潔のケア・指導」を行った利用者が 90.4%、「衣生活のケア・指導」を行った利用者が 78.8%、「食事や栄養のケア・指導」が 84.6%、「排泄のケア・指導」が 84.6%、「環境整備・調整」が 80.8%、「疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）」が 88.5%、「意思決定支援」が 48.1%、「ターミナルケア」が 53.8%、「介護相談」が 80.8%、「家族支援」が 86.5%であった。

「成長と発達」のニーズがある利用者は、「家族支援」を行った利用者が 88.1%であった。

「人間のセクシュアリティ」のニーズがある利用者は、「精神的援助」を行った利用者が 90.0%であった。

注）介入内容・ニーズの表記については、下記のように省略を行っている。

（介入内容）

・疾病や治療の説明・指導：疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）

・薬剤の管理・指導　：薬剤の管理・指導（介助含む）

（ニーズ）

・家族介護力　：家族介護力・家族機能

・経済・制度利用　：経済・制度利用の選択や変更・拡大

図表 5-147　ニーズ別　訪問時の介入内容の有無_有の割合（複数回答）

ニーズ＼ケア	合計	清潔のケア・指導	衣生活のケア・指導	食事や栄養のｹｱ･指導	排泄のケア・指導	睡眠のケア・指導	環境整備・調整	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	疾病や治療の説明・指導	薬剤の管理・指導	医療処置の管理･実施・指導	精神的援助	意思決定支援	ﾀｰﾐﾅﾙｹｱ	介護相談	家族支援	ｸﾞﾘｰﾌｹｱ	その他(安否確認等)
全体	511	363	282	349	347	197	320	325	338	357	356	378	110	36	273	324	7	58
	100.0%	71.0%	55.2%	68.3%	67.9%	38.6%	62.6%	63.6%	66.1%	69.9%	69.7%	74.0%	21.5%	7.0%	53.4%	63.4%	1.4%	11.4%
身体活動の推進	321	212	160	213	209	103	185	196	191	206	206	220	49	13	137	188	7	35
	100.0%	66.0%	49.8%	66.4%	65.1%	32.1%	57.6%	61.1%	59.5%	64.2%	64.2%	68.5%	15.3%	4.0%	42.7%	58.6%	2.2%	10.9%
IADL	203	128	106	112	118	61	117	118	106	114	134	128	21	8	80	117	1	27
	100.0%	63.1%	52.2%	55.2%	58.1%	30.0%	57.6%	58.1%	52.2%	56.2%	66.0%	63.1%	10.3%	3.9%	39.4%	57.6%	0.5%	13.3%
ADL	362	255	196	243	246	129	225	242	225	240	251	258	56	21	182	226	7	37
	100.0%	70.4%	54.1%	67.1%	68.0%	35.6%	62.2%	66.9%	62.2%	66.3%	69.3%	71.3%	15.5%	5.8%	50.3%	62.4%	1.9%	10.2%
住環境の改善	96	56	45	52	45	27	47	61	50	57	55	69	12	5	40	50	0	17
	100.0%	58.3%	46.9%	54.2%	46.9%	28.1%	49.0%	63.5%	52.1%	59.4%	57.3%	71.9%	12.5%	5.2%	41.7%	52.1%	0.0%	17.7%
施設入所のﾘｽｸ	47	37	29	35	38	20	37	29	33	37	35	36	7	2	24	30	0	14
	100.0%	78.7%	61.7%	74.5%	80.9%	42.6%	78.7%	61.7%	70.2%	78.7%	74.5%	76.6%	14.9%	4.3%	51.1%	63.8%	0.0%	29.8%
身体抑制	15	14	12	10	11	6	11	8	10	10	13	9	3	2	7	12	0	1
	100.0%	93.3%	80.0%	66.7%	73.3%	40.0%	73.3%	53.3%	66.7%	66.7%	86.7%	60.0%	20.0%	13.3%	46.7%	80.0%	0.0%	6.7%
認知低下	140	99	77	102	90	46	99	87	95	99	90	113	25	11	84	90	1	20
	100.0%	70.7%	55.0%	72.9%	64.3%	32.9%	70.7%	62.1%	67.9%	70.7%	64.3%	80.7%	17.9%	7.9%	60.0%	64.3%	0.7%	14.3%
せん妄	19	19	15	17	18	11	19	13	16	16	18	14	4	5	15	14	0	3
	100.0%	100.0%	78.9%	89.5%	94.7%	57.9%	100.0%	68.4%	84.2%	84.2%	94.7%	73.7%	21.1%	26.3%	78.9%	73.7%	0.0%	15.8%
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	137	99	86	86	96	47	86	81	69	78	101	76	20	6	59	93	1	20
	100.0%	72.3%	62.8%	62.8%	70.1%	34.3%	62.8%	59.1%	50.4%	56.9%	73.7%	55.5%	14.6%	4.4%	43.1%	67.9%	0.7%	14.6%
気分	121	77	55	78	77	52	66	71	82	92	73	102	30	11	59	67	4	21
	100.0%	63.6%	45.5%	64.5%	63.6%	43.0%	54.5%	58.7%	67.8%	76.0%	60.3%	84.3%	24.8%	9.1%	48.8%	55.4%	3.3%	17.4%
行動	117	79	62	73	74	44	74	67	77	79	77	80	19	7	51	70	2	21
	100.0%	67.5%	53.0%	62.4%	63.2%	37.6%	63.2%	57.3%	65.8%	67.5%	65.8%	68.4%	16.2%	6.0%	43.6%	59.8%	1.7%	17.9%
虐待	7	4	2	2	5	3	4	3	4	7	4	4	2	0	2	4	0	2
	100.0%	57.1%	28.6%	28.6%	71.4%	42.9%	57.1%	42.9%	57.1%	100.0%	57.1%	57.1%	28.6%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%	28.6%
ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ	70	45	32	47	42	24	40	48	42	42	42	48	7	2	29	44	0	15
	100.0%	64.3%	45.7%	67.1%	60.0%	34.3%	57.1%	68.6%	60.0%	60.0%	60.0%	68.6%	10.0%	2.9%	41.4%	62.9%	0.0%	21.4%
ｲﾝﾌｫｰﾏﾙな支援	66	35	28	31	27	19	27	49	35	42	36	60	7	3	23	35	0	9
	100.0%	53.0%	42.4%	47.0%	40.9%	28.8%	40.9%	74.2%	53.0%	63.6%	54.5%	90.9%	10.6%	4.5%	34.8%	53.0%	0.0%	13.6%
社会関係	94	51	41	51	50	36	52	53	52	65	51	71	10	3	32	50	0	20
	100.0%	54.3%	43.6%	54.3%	53.2%	38.3%	55.3%	56.4%	55.3%	69.1%	54.3%	75.5%	10.6%	3.2%	34.0%	53.2%	0.0%	21.3%
転倒	171	107	78	104	104	50	101	111	101	111	101	121	33	9	83	92	3	19
	100.0%	62.6%	45.6%	60.8%	60.8%	29.2%	59.1%	64.9%	59.1%	64.9%	59.1%	70.8%	19.3%	5.3%	48.5%	53.8%	1.8%	11.1%
痛み	141	88	69	91	88	50	85	91	99	100	93	112	39	18	66	76	6	19
	100.0%	62.4%	48.9%	64.5%	62.4%	35.5%	60.3%	64.5%	70.2%	70.9%	66.0%	79.4%	27.7%	12.8%	46.8%	53.9%	4.3%	13.5%
褥瘡	81	79	68	66	69	41	63	50	64	58	75	59	17	13	59	67	4	13
	100.0%	97.5%	84.0%	81.5%	85.2%	50.6%	77.8%	61.7%	79.0%	71.6%	92.6%	72.8%	21.0%	16.0%	72.8%	82.7%	4.9%	16.0%
心肺機能	243	180	147	167	171	85	156	154	154	158	182	164	41	12	126	165	1	31
	100.0%	74.1%	60.5%	68.7%	70.4%	35.0%	64.2%	63.4%	63.4%	65.0%	74.9%	67.5%	16.9%	4.9%	51.9%	67.9%	0.4%	12.8%

（続き）

ケア / ニーズ	合計	清潔のケア・指導	衣生活のケア・指導	食事や栄養のｹｱ･指導	排泄のケア・指導	睡眠のケア・指導	環境整備・調整	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	疾病や治療の説明・指導	薬剤の管理・指導	医療処置の管理･実施・指導	精神的援助	意思決定支援	ﾀｰﾐﾅﾙｹｱ	介護相談	家族支援	ｸﾞﾘｰﾌｹｱ	その他(安否確認等)
全体	511	363	282	349	347	197	320	325	338	357	356	378	110	36	273	324	7	58
	100.0%	71.0%	55.2%	68.3%	67.9%	38.6%	62.6%	63.6%	66.1%	69.9%	69.7%	74.0%	21.5%	7.0%	53.4%	63.4%	1.4%	11.4%
低栄養	85	69	58	68	64	36	63	53	62	62	66	61	21	19	56	60	3	17
	100.0%	81.2%	68.2%	80.0%	75.3%	42.4%	74.1%	62.4%	72.9%	72.9%	77.6%	71.8%	24.7%	22.4%	65.9%	70.6%	3.5%	20.0%
脱水	68	54	46	57	52	20	47	39	44	50	50	48	16	13	40	43	1	9
	100.0%	79.4%	67.6%	83.8%	76.5%	29.4%	69.1%	57.4%	64.7%	73.5%	73.5%	70.6%	23.5%	19.1%	58.8%	63.2%	1.5%	13.2%
胃ろう	73	70	58	50	63	29	55	56	49	48	72	47	12	2	49	62	0	7
	100.0%	95.9%	79.5%	68.5%	86.3%	39.7%	75.3%	76.7%	67.1%	65.8%	98.6%	64.4%	16.4%	2.7%	67.1%	84.9%	0.0%	9.6%
検診・予防接種	44	28	19	21	18	12	18	31	22	24	30	33	4	0	18	30	0	4
	100.0%	63.6%	43.2%	47.7%	40.9%	27.3%	40.9%	70.5%	50.0%	54.5%	68.2%	75.0%	9.1%	0.0%	40.9%	68.2%	0.0%	9.1%
適切な薬剤使用	240	149	111	168	151	88	135	149	155	186	144	202	57	20	119	138	6	29
	100.0%	62.1%	46.3%	70.0%	62.9%	36.7%	56.3%	62.1%	64.6%	77.5%	60.0%	84.2%	23.8%	8.3%	49.6%	57.5%	2.5%	12.1%
喫煙と飲酒	16	6	4	10	8	5	9	4	9	13	8	12	2	3	6	6	0	6
	100.0%	37.5%	25.0%	62.5%	50.0%	31.3%	56.3%	25.0%	56.3%	81.3%	50.0%	75.0%	12.5%	18.8%	37.5%	37.5%	0.0%	37.5%
尿失禁	119	101	81	78	90	38	79	76	67	72	102	71	21	8	61	87	3	14
	100.0%	84.9%	68.1%	65.5%	75.6%	31.9%	66.4%	63.9%	56.3%	60.5%	85.7%	59.7%	17.6%	6.7%	51.3%	73.1%	2.5%	11.8%
便通	241	203	160	180	197	99	162	154	171	182	194	184	53	22	146	165	7	27
	100.0%	84.2%	66.4%	74.7%	81.7%	41.1%	67.2%	63.9%	71.0%	75.5%	80.5%	76.3%	22.0%	9.1%	60.6%	68.5%	2.9%	11.2%
健康管理・ｾﾙﾌｹｱ	311	210	158	207	199	108	175	192	191	215	204	223	64	18	153	199	6	32
	100.0%	67.5%	50.8%	66.6%	64.0%	34.7%	56.3%	61.7%	61.4%	69.1%	65.6%	71.7%	20.6%	5.8%	49.2%	64.0%	1.9%	10.3%
感染・発熱の徴候	137	110	85	96	100	48	86	95	97	94	117	101	23	11	84	91	3	19
	100.0%	80.3%	62.0%	70.1%	73.0%	35.0%	62.8%	69.3%	70.8%	68.6%	85.4%	73.7%	16.8%	8.0%	61.3%	66.4%	2.2%	13.9%
医療的処置や器材	206	171	133	139	151	75	135	130	134	130	195	138	34	14	112	145	4	25
	100.0%	83.0%	64.6%	67.5%	73.3%	36.4%	65.5%	63.1%	65.0%	63.1%	94.7%	67.0%	16.5%	6.8%	54.4%	70.4%	1.9%	12.1%
家族介護力	292	205	158	194	192	111	174	199	190	202	207	222	64	26	171	206	5	39
	100.0%	70.2%	54.1%	66.4%	65.8%	38.0%	59.6%	68.2%	65.1%	69.2%	70.9%	76.0%	21.9%	8.9%	58.6%	70.5%	1.7%	13.4%
ﾀｰﾐﾅﾙ期	52	47	41	44	44	29	42	28	46	41	48	43	25	28	42	45	4	8
	100.0%	90.4%	78.8%	84.6%	84.6%	55.8%	80.8%	53.8%	88.5%	78.8%	92.3%	82.7%	48.1%	53.8%	80.8%	86.5%	7.7%	15.4%
成長と発達	59	42	37	32	43	17	35	34	30	27	52	22	4	1	23	52	0	6
	100.0%	71.2%	62.7%	54.2%	72.9%	28.8%	59.3%	57.6%	50.8%	45.8%	88.1%	37.3%	6.8%	1.7%	39.0%	88.1%	0.0%	10.2%
睡眠	82	50	37	50	50	34	44	52	46	60	48	68	18	8	39	46	5	13
	100.0%	61.0%	45.1%	61.0%	61.0%	41.5%	53.7%	63.4%	56.1%	73.2%	58.5%	82.9%	22.0%	9.8%	47.6%	56.1%	6.1%	15.9%
清潔	181	158	132	113	125	56	118	104	112	111	144	116	30	11	94	120	2	22
	100.0%	87.3%	72.9%	62.4%	69.1%	30.9%	65.2%	57.5%	61.9%	61.3%	79.6%	64.1%	16.6%	6.1%	51.9%	66.3%	1.1%	12.2%
経済・制度利用	41	18	17	21	21	14	18	26	19	25	26	33	8	3	16	22	0	7
	100.0%	43.9%	41.5%	51.2%	51.2%	34.1%	43.9%	63.4%	46.3%	61.0%	63.4%	80.5%	19.5%	7.3%	39.0%	53.7%	0.0%	17.1%
人間のｾｸｼｭｱﾘﾃｨ	20	12	9	13	10	8	11	13	14	12	12	18	3	2	10	12	0	5
	100.0%	60.0%	45.0%	65.0%	50.0%	40.0%	55.0%	65.0%	70.0%	60.0%	60.0%	90.0%	15.0%	10.0%	50.0%	60.0%	0.0%	25.0%

2. ニーズ別　訪問時の介入内容の回数

(1) 清潔のケア・指導

清潔のケア・指導は、「身体抑制」のニーズがある利用者が平均 10.4 回、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 10.3 回、「褥瘡」のニーズがある利用者が平均 9.5 回であった。

図表 5-148　ニーズ別　清潔のケア・指導

	回答件数(件)	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
全体	511	4.9	5.6	3.0
身体活動の推進	321	4.2	5.5	2.0
IADL	203	4.5	6.1	2.0
ADL	362	4.7	5.4	3.0
住環境の改善	96	4.3	6.5	1.0
施設入所のリスク	47	5.1	5.5	4.0
身体抑制	15	10.4	9.4	9.0
認知低下	140	4.5	5.9	3.0
せん妄	19	10.3	9.4	7.0
コミュニケーション	137	5.3	5.4	4.0
気分	121	4.1	6.0	3.0
行動	117	5.0	6.5	3.0
虐待	7	2.1	2.8	1.0
アクティビティ	70	4.0	5.1	1.5
インフォーマルな支援	66	4.2	6.9	1.0
社会関係	94	3.4	4.6	1.0
転倒	171	3.5	4.6	2.0
痛み	141	4.4	5.9	3.0
褥瘡	81	9.5	6.2	8.0
心肺機能	243	5.5	6.1	4.0
低栄養	85	6.9	7.3	5.0
脱水	68	6.4	7.3	3.5
胃ろう	73	7.3	4.7	7.0
検診・予防接種	44	4.2	5.2	1.0
適切な薬剤使用	240	4.5	5.9	2.0
喫煙と飲酒	16	3.0	6.4	0.0
尿失禁	119	6.7	6.4	5.0
便通	241	6.3	5.8	5.0
健康管理・セルフケア	311	4.3	5.2	3.0
感染・発熱の徴候	137	6.0	6.4	4.0
医療的処置や器材	206	6.3	6.1	4.0
家族介護力・家族機能	292	5.4	6.0	4.0
ターミナル期	52	8.4	6.5	8.0
成長と発達	59	5.3	5.7	4.0
睡眠	82	4.8	6.9	1.5
清潔	181	6.6	6.1	5.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	3.5	5.0	0.0
人間のセクシュアリティ	20	4.1	5.2	1.0

(2) 衣生活のケア・指導

衣生活のケア・指導は、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 5.1 回、「褥瘡」のニーズがある利用者が平均 4.9 回、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 4.3 回であった。

図表 5-149　ニーズ別　衣生活のケア・指導

	回答件数(件)	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
全体	511	2.5	3.5	1.0
身体活動の推進	321	2.0	3.2	0.0
IADL	203	2.4	3.7	1.0
ADL	362	2.3	3.4	1.0
住環境の改善	96	2.3	4.0	0.0
施設入所のリスク	47	2.4	3.3	1.0
身体抑制	15	4.1	3.9	4.0
認知低下	140	2.3	3.5	1.0
せん妄	19	5.1	6.2	3.0
コミュニケーション	137	2.7	3.7	2.0
気分	121	1.9	3.7	0.0
行動	117	2.5	4.0	1.0
虐待	7	1.6	2.8	0.0
アクティビティ	70	2.1	3.6	0.0
インフォーマルな支援	66	2.0	3.5	0.0
社会関係	94	1.9	3.2	0.0
転倒	171	1.7	2.8	0.0
痛み	141	1.9	3.0	0.0
褥瘡	81	4.9	4.5	4.0
心肺機能	243	3.0	3.9	1.0
低栄養	85	3.3	4.5	2.0
脱水	68	3.3	4.5	1.0
胃ろう	73	3.9	3.5	3.0
検診・予防接種	44	2.5	4.1	0.0
適切な薬剤使用	240	2.1	3.6	0.0
喫煙と飲酒	16	0.9	2.3	0.0
尿失禁	119	3.3	4.1	2.0
便通	241	3.0	3.6	2.0
健康管理・セルフケア	311	2.2	3.5	1.0
感染・発熱の徴候	137	2.9	3.9	1.0
医療的処置や器材	206	3.2	4.0	2.0
家族介護力・家族機能	292	2.8	3.9	1.0
ターミナル期	52	4.3	4.8	3.0
成長と発達	59	3.8	4.9	2.0
睡眠	82	2.2	4.2	0.0
清潔	181	3.7	4.1	2.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	1.6	2.6	0.0
人間のセクシュアリティ	20	2.6	4.3	0.0

(3) 食事や栄養のケア・指導

食事や栄養のケア・指導は、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 6.6 回、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 5.5 回、「褥瘡」のニーズがある利用者が平均 4.7 回であった。

図表 5-150　ニーズ別　食事や栄養のケア・指導

	回答件数(件)	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
全体	511	3.4	4.3	2.0
身体活動の推進	321	3.1	4.2	2.0
IADL	203	2.3	4.1	1.0
ADL	362	3.1	4.2	2.0
住環境の改善	96	2.4	4.2	1.0
施設入所のリスク	47	2.8	3.3	2.0
身体抑制	15	4.5	7.6	1.0
認知低下	140	3.3	4.1	2.0
せん妄	19	6.6	7.1	4.0
コミュニケーション	137	3.0	4.4	1.0
気分	121	3.3	4.7	2.0
行動	117	3.0	4.4	2.0
虐待	7	1.1	2.0	0.0
アクティビティ	70	2.7	3.8	1.5
インフォーマルな支援	66	2.1	4.2	0.0
社会関係	94	2.4	3.5	1.0
転倒	171	2.7	3.8	1.0
痛み	141	3.1	4.5	1.0
褥瘡	81	4.7	4.8	3.0
心肺機能	243	3.4	4.5	2.0
低栄養	85	4.4	5.4	3.0
脱水	68	4.9	5.3	3.0
胃ろう	73	3.5	4.4	2.0
検診・予防接種	44	2.1	4.1	0.0
適切な薬剤使用	240	4.0	4.9	2.0
喫煙と飲酒	16	3.6	5.7	1.5
尿失禁	119	4.0	5.7	1.0
便通	241	3.9	4.6	3.0
健康管理・セルフケア	311	3.2	4.1	2.0
感染・発熱の徴候	137	3.1	4.1	2.0
医療的処置や器材	206	3.5	4.8	2.0
家族介護力・家族機能	292	3.7	4.8	2.0
ターミナル期	52	5.5	5.6	3.5
成長と発達	59	2.6	4.5	1.0
睡眠	82	3.5	5.5	1.0
清潔	181	3.1	4.7	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	2.7	3.9	2.0
人間のセクシュアリティ	20	3.3	5.0	2.0

(4) 排泄のケア・指導

排泄のケア・指導は、「せん妄」のニーズがある利用者が平均8.7回、「褥瘡」のニーズがある利用者が平均7.7回、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均6.6回であった。

図表 5-151　ニーズ別　排泄のケア・指導

	回答件数 (件)	平均 (回)	標準偏差	中央値 (回)
全体	511	4.2	5.0	2.0
身体活動の推進	321	3.8	5.0	2.0
IADL	203	3.6	5.5	1.0
ADL	362	4.1	4.9	2.0
住環境の改善	96	2.6	4.4	0.0
施設入所のリスク	47	4.4	4.9	3.0
身体抑制	15	7.3	7.8	3.0
認知低下	140	3.5	4.4	2.0
せん妄	19	8.7	6.2	8.0
コミュニケーション	137	4.3	4.9	3.0
気分	121	3.7	4.8	2.0
行動	117	4.0	5.4	1.0
虐待	7	1.9	1.8	2.0
アクティビティ	70	3.5	5.0	1.5
インフォーマルな支援	66	2.5	4.7	0.0
社会関係	94	2.9	4.6	1.0
転倒	171	3.0	4.2	1.0
痛み	141	3.6	4.9	2.0
褥瘡	81	7.7	6.2	7.0
心肺機能	243	4.4	5.0	2.0
低栄養	85	5.3	6.1	3.0
脱水	68	5.3	5.7	3.5
胃ろう	73	6.5	5.3	7.0
検診・予防接種	44	2.9	4.7	0.0
適切な薬剤使用	240	3.9	5.0	2.0
喫煙と飲酒	16	3.2	6.0	0.5
尿失禁	119	5.6	5.9	3.0
便通	241	5.8	5.3	4.0
健康管理・セルフケア	311	3.7	4.6	2.0
感染・発熱の徴候	137	4.6	4.9	3.0
医療的処置や器材	206	4.9	5.3	3.0
家族介護力・家族機能	292	4.6	5.4	2.0
ターミナル期	52	6.6	6.0	6.0
成長と発達	59	4.0	4.6	2.0
睡眠	82	4.0	5.6	2.0
清潔	181	4.4	5.2	2.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	3.4	4.9	1.0
人間のセクシュアリティ	20	3.3	4.4	0.5

(5) 睡眠のケア・指導

睡眠のケア・指導は、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 2.8 回であった。

図表 5-152　ニーズ別　睡眠のケア・指導

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	1.1	2.1	0.0
身体活動の推進	321	0.8	1.7	0.0
IADL	203	0.7	1.7	0.0
ADL	362	0.9	1.7	0.0
住環境の改善	96	0.8	2.0	0.0
施設入所のリスク	47	0.9	1.3	0.0
身体抑制	15	1.9	3.9	0.0
認知低下	140	0.8	1.8	0.0
せん妄	19	2.8	4.0	1.0
コミュニケーション	137	0.9	1.9	0.0
気分	121	1.2	2.2	0.0
行動	117	1.0	2.1	0.0
虐待	7	1.0	1.3	0.0
アクティビティ	70	0.6	1.1	0.0
インフォーマルな支援	66	0.7	2.1	0.0
社会関係	94	0.9	1.8	0.0
転倒	171	0.8	1.8	0.0
痛み	141	0.9	2.0	0.0
褥瘡	81	1.9	2.7	1.0
心肺機能	243	1.0	2.1	0.0
低栄養	85	1.2	2.4	0.0
脱水	68	0.8	2.2	0.0
胃ろう	73	1.0	1.9	0.0
検診・予防接種	44	0.7	1.5	0.0
適切な薬剤使用	240	1.0	2.2	0.0
喫煙と飲酒	16	1.1	2.6	0.0
尿失禁	119	0.9	2.0	0.0
便通	241	1.1	1.9	0.0
健康管理・セルフケア	311	0.9	1.8	0.0
感染・発熱の徴候	137	0.9	2.0	0.0
医療的処置や器材	206	1.1	2.1	0.0
家族介護力・家族機能	292	1.2	2.3	0.0
ターミナル期	52	1.9	2.6	1.0
成長と発達	59	0.7	1.5	0.0
睡眠	82	1.4	2.5	0.0
清潔	181	0.8	1.9	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	0.9	1.5	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.8	1.4	0.0

(6) 環境整備・調整

環境整備・調整は、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 4.8 回、「褥瘡」のニーズがある利用者が平均 4.6 回、「身体抑制」のニーズがある利用者が平均 4.5 回であった。

図表 5-153　ニーズ別　環境整備・調整

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	2.8	3.8	1.0
身体活動の推進	321	2.4	3.7	1.0
IADL	203	2.4	3.8	1.0
ADL	362	2.7	3.8	1.0
住環境の改善	96	1.9	3.3	0.0
施設入所のリスク	47	3.3	3.8	2.0
身体抑制	15	4.5	3.8	4.0
認知低下	140	2.4	3.3	1.0
せん妄	19	4.8	3.7	4.0
コミュニケーション	137	2.7	4.1	1.0
気分	121	2.3	3.7	1.0
行動	117	2.5	3.3	1.0
虐待	7	1.4	1.4	2.0
アクティビティ	70	2.5	4.5	1.0
インフォーマルな支援	66	1.8	3.4	0.0
社会関係	94	2.5	4.2	1.0
転倒	171	2.2	3.5	1.0
痛み	141	2.5	3.4	1.0
褥瘡	81	4.6	4.3	3.0
心肺機能	243	2.9	3.8	1.0
低栄養	85	3.3	4.0	2.0
脱水	68	2.9	3.5	1.0
胃ろう	73	4.4	5.0	3.0
検診・予防接種	44	2.1	4.5	0.0
適切な薬剤使用	240	2.6	4.1	1.0
喫煙と飲酒	16	3.3	6.5	1.0
尿失禁	119	3.0	4.3	1.0
便通	241	3.2	4.0	2.0
健康管理・セルフケア	311	2.2	3.3	1.0
感染・発熱の徴候	137	2.6	3.4	1.0
医療的処置や器材	206	3.2	4.2	1.0
家族介護力・家族機能	292	2.8	4.0	1.0
ターミナル期	52	3.8	3.4	3.0
成長と発達	59	2.7	4.1	1.0
睡眠	82	2.4	4.0	1.0
清潔	181	3.0	4.1	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	2.5	4.8	0.0
人間のセクシュアリティ	20	3.6	6.4	1.0

(7) リハビリテーション

リハビリテーションは、「胃ろう」のニーズがある利用者が平均 6.6 回であった。

図表 5-154　ニーズ別　リハビリテーション

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	3.9	4.6	3.0
身体活動の推進	321	3.4	4.2	2.0
IADL	203	3.1	4.1	2.0
ADL	362	4.1	4.5	3.0
住環境の改善	96	3.3	3.8	2.0
施設入所のリスク	47	3.8	4.7	2.0
身体抑制	15	3.9	4.9	2.0
認知低下	140	3.4	3.9	2.0
せん妄	19	4.3	5.1	3.0
コミュニケーション	137	4.2	5.3	2.0
気分	121	3.4	4.0	2.0
行動	117	3.5	4.4	2.0
虐待	7	1.4	2.1	0.0
アクティビティ	70	3.8	4.4	2.5
インフォーマルな支援	66	3.5	3.4	3.0
社会関係	94	3.1	4.0	2.0
転倒	171	3.7	4.0	3.0
痛み	141	3.8	4.3	2.0
褥瘡	81	4.1	5.2	2.0
心肺機能	243	4.0	4.7	2.0
低栄養	85	3.4	4.2	2.0
脱水	68	3.4	4.7	1.0
胃ろう	73	6.6	5.6	7.0
検診・予防接種	44	3.6	3.6	2.5
適切な薬剤使用	240	3.5	4.2	2.0
喫煙と飲酒	16	1.9	4.7	0.0
尿失禁	119	3.9	4.7	2.0
便通	241	4.2	4.8	3.0
健康管理・セルフケア	311	3.4	3.9	2.0
感染・発熱の徴候	137	3.9	4.2	3.0
医療的処置や器材	206	3.9	4.7	2.0
家族介護力・家族機能	292	4.4	4.8	3.0
ターミナル期	52	3.3	4.7	1.0
成長と発達	59	2.7	3.4	1.0
睡眠	82	3.6	4.0	3.0
清潔	181	3.3	4.2	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	3.6	4.0	2.0
人間のセクシュアリティ	20	3.9	4.1	3.0

(8) 疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）

疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）は、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 6.3 回、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 5.4 回、「喫煙と飲酒」のニーズがある利用者が平均 5.1 回であった。

図表 5-155　ニーズ別　疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）

	回答件数(件)	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
全体	511	3.1	4.4	1.0
身体活動の推進	321	2.1	3.5	1.0
IADL	203	2.2	4.2	1.0
ADL	362	2.3	3.6	1.0
住環境の改善	96	2.3	4.2	1.0
施設入所のリスク	47	2.1	2.2	1.0
身体抑制	15	4.3	7.2	2.0
認知低下	140	3.1	4.4	1.5
せん妄	19	5.4	7.2	3.0
コミュニケーション	137	1.8	3.1	1.0
気分	121	3.0	4.7	1.0
行動	117	2.7	4.2	1.0
虐待	7	1.6	2.1	1.0
アクティビティ	70	2.1	4.1	1.0
インフォーマルな支援	66	2.2	4.1	1.0
社会関係	94	2.2	3.9	1.0
転倒	171	2.4	4.0	1.0
痛み	141	3.0	4.2	2.0
褥瘡	81	4.2	4.9	3.0
心肺機能	243	2.8	4.4	1.0
低栄養	85	3.8	5.8	1.0
脱水	68	3.5	5.8	1.0
胃ろう	73	2.4	3.8	1.0
検診・予防接種	44	1.7	3.0	0.5
適切な薬剤使用	240	2.9	4.5	1.0
喫煙と飲酒	16	5.1	8.8	1.0
尿失禁	119	2.3	4.4	1.0
便通	241	3.1	4.3	1.0
健康管理・セルフケア	311	2.5	3.8	1.0
感染・発熱の徴候	137	3.1	4.2	2.0
医療的処置や器材	206	2.9	4.4	1.0
家族介護力・家族機能	292	3.3	4.9	1.0
ターミナル期	52	6.3	6.0	4.5
成長と発達	59	1.6	2.9	1.0
睡眠	82	2.7	4.9	1.0
清潔	181	2.5	3.9	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	2.5	5.0	0.0
人間のセクシュアリティ	20	4.0	6.5	1.5

(9) 薬剤の管理・指導（介助含む）

薬剤の管理・指導（介助含む）は、「喫煙と飲酒」のニーズがある利用者が平均 6.8 回、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 6.7 回、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 6.1 回であった。

図表 5-156　ニーズ別　薬剤の管理・指導（介助含む）

	回答件数(件)	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
全体	511	3.6	4.4	2.0
身体活動の推進	321	3.1	4.3	2.0
IADL	203	2.7	4.6	1.0
ADL	362	3.3	4.3	2.0
住環境の改善	96	2.9	4.0	1.0
施設入所のリスク	47	3.4	4.2	2.0
身体抑制	15	4.7	6.1	1.0
認知低下	140	3.6	4.4	2.0
せん妄	19	6.7	5.7	5.0
コミュニケーション	137	2.4	3.8	1.0
気分	121	4.1	5.0	3.0
行動	117	3.6	4.5	2.0
虐待	7	2.6	1.7	2.0
アクティビティ	70	3.1	5.0	1.0
インフォーマルな支援	66	2.8	3.8	2.0
社会関係	94	3.6	4.8	2.0
転倒	171	3.6	4.6	2.0
痛み	141	4.0	4.7	3.0
褥瘡	81	4.5	5.4	3.0
心肺機能	243	3.3	4.4	1.0
低栄養	85	4.6	5.9	3.0
脱水	68	4.6	5.2	3.0
胃ろう	73	3.0	4.2	1.0
検診・予防接種	44	2.2	4.1	1.0
適切な薬剤使用	240	4.7	5.0	4.0
喫煙と飲酒	16	6.8	8.9	3.0
尿失禁	119	3.5	5.5	1.0
便通	241	4.0	4.6	3.0
健康管理・セルフケア	311	3.4	4.2	2.0
感染・発熱の徴候	137	3.4	4.1	2.0
医療的処置や器材	206	3.3	4.7	1.0
家族介護力・家族機能	292	3.8	4.9	2.0
ターミナル期	52	6.1	6.3	4.5
成長と発達	59	1.7	3.8	0.0
睡眠	82	4.4	5.4	3.0
清潔	181	3.2	4.5	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	3.6	5.7	1.0
人間のセクシュアリティ	20	4.6	7.7	1.5

(10) 医療処置の管理・実施・指導

医療処置の管理・実施・指導は、「身体抑制」のニーズがある利用者が平均 10.2 回、「褥瘡」のニーズがある利用者が平均 10.0 回、「胃ろう」のニーズがある利用者が平均 8.7 回であった。

図表 5-157 ニーズ別 医療処置の管理・実施・指導

	回答件数(件)	平均（回）	標準偏差	中央値（回）
全体	511	5.3	6.1	4.0
身体活動の推進	321	4.8	6.3	3.0
IADL	203	5.1	6.6	3.0
ADL	362	5.2	6.2	3.0
住環境の改善	96	4.2	5.6	2.0
施設入所のリスク	47	5.4	6.2	4.0
身体抑制	15	10.2	7.6	7.0
認知低下	140	4.6	5.9	3.0
せん妄	19	8.5	6.5	7.0
コミュニケーション	137	5.9	6.6	4.0
気分	121	4.4	6.4	2.0
行動	117	5.4	7.0	3.0
虐待	7	2.1	2.7	1.0
アクティビティ	70	4.8	6.8	2.5
インフォーマルな支援	66	4.4	5.9	2.5
社会関係	94	4.3	6.1	1.0
転倒	171	3.6	5.4	1.0
痛み	141	4.8	6.1	3.0
褥瘡	81	10.0	7.0	9.0
心肺機能	243	6.2	6.4	4.0
低栄養	85	7.3	7.7	5.0
脱水	68	6.3	6.6	4.0
胃ろう	73	8.7	6.2	8.0
検診・予防接種	44	4.6	5.5	3.5
適切な薬剤使用	240	5.0	6.4	3.0
喫煙と飲酒	16	5.3	8.8	0.5
尿失禁	119	7.5	7.3	5.0
便通	241	6.8	6.4	5.0
健康管理・セルフケア	311	4.9	6.0	3.0
感染・発熱の徴候	137	6.4	6.0	4.0
医療的処置や器材	206	8.0	6.5	7.0
家族介護力・家族機能	292	5.6	6.3	4.0
ターミナル期	52	8.4	7.2	7.0
成長と発達	59	6.7	6.8	4.0
睡眠	82	4.8	6.9	1.5
清潔	181	6.5	6.7	4.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	5.2	7.0	1.0
人間のセクシュアリティ	20	6.3	8.6	3.0

(11) 精神的援助

精神的援助は、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均7.8回、「せん妄」のニーズがある利用者が平均6.9回であった。

図表 5-158　ニーズ別　精神的援助

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	4.4	5.3	3.0
身体活動の推進	321	3.5	4.8	2.0
IADL	203	2.9	4.8	1.0
ADL	362	3.9	5.0	2.0
住環境の改善	96	3.7	5.3	2.0
施設入所のリスク	47	3.3	3.7	2.0
身体抑制	15	6.0	9.9	2.0
認知低下	140	4.1	5.0	2.0
せん妄	19	6.9	9.3	3.0
コミュニケーション	137	3.2	5.1	1.0
気分	121	4.8	5.5	4.0
行動	117	3.9	5.2	3.0
虐待	7	2.7	2.6	4.0
アクティビティ	70	2.6	2.9	2.0
インフォーマルな支援	66	4.3	5.2	3.0
社会関係	94	3.6	3.4	3.0
転倒	171	3.5	4.3	2.0
痛み	141	4.8	5.7	3.0
褥瘡	81	6.0	7.0	3.0
心肺機能	243	4.3	5.7	2.0
低栄養	85	5.1	7.0	3.0
脱水	68	5.2	6.9	3.0
胃ろう	73	4.2	5.6	2.0
検診・予防接種	44	3.1	2.9	2.5
適切な薬剤使用	240	5.2	5.7	3.5
喫煙と飲酒	16	4.3	6.2	2.0
尿失禁	119	4.2	6.5	2.0
便通	241	5.0	5.9	3.0
健康管理・セルフケア	311	3.8	4.7	2.0
感染・発熱の徴候	137	4.2	5.4	2.0
医療的処置や器材	206	4.5	6.1	2.0
家族介護力・家族機能	292	4.8	5.8	3.0
ターミナル期	52	7.8	7.3	7.0
成長と発達	59	1.4	2.6	0.0
睡眠	82	4.8	6.1	4.0
清潔	181	3.8	5.6	2.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	3.8	3.7	4.0
人間のセクシュアリティ	20	3.8	2.7	3.0

(12) 意思決定支援

意思決定支援は、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 1.8 回であった。

図表 5-159　ニーズ別　意思決定支援

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	0.6	1.5	0.0
身体活動の推進	321	0.4	1.3	0.0
IADL	203	0.4	1.4	0.0
ADL	362	0.4	1.4	0.0
住環境の改善	96	0.3	0.9	0.0
施設入所のリスク	47	0.2	0.5	0.0
身体抑制	15	0.3	0.8	0.0
認知低下	140	0.3	0.8	0.0
せん妄	19	0.6	1.5	0.0
コミュニケーション	137	0.3	1.2	0.0
気分	121	0.7	1.5	0.0
行動	117	0.4	1.3	0.0
虐待	7	0.9	1.9	0.0
アクティビティ	70	0.3	1.1	0.0
インフォーマルな支援	66	0.2	0.5	0.0
社会関係	94	0.3	0.9	0.0
転倒	171	0.5	1.5	0.0
痛み	141	0.8	1.8	0.0
褥瘡	81	0.8	2.0	0.0
心肺機能	243	0.5	1.5	0.0
低栄養	85	0.6	1.6	0.0
脱水	68	0.8	2.0	0.0
胃ろう	73	0.4	1.0	0.0
検診・予防接種	44	0.1	0.4	0.0
適切な薬剤使用	240	0.7	1.8	0.0
喫煙と飲酒	16	0.8	2.3	0.0
尿失禁	119	0.5	1.7	0.0
便通	241	0.7	1.7	0.0
健康管理・セルフケア	311	0.6	1.5	0.0
感染・発熱の徴候	137	0.6	1.9	0.0
医療的処置や器材	206	0.5	1.4	0.0
家族介護力・家族機能	292	0.6	1.5	0.0
ターミナル期	52	1.8	2.7	0.0
成長と発達	59	0.1	0.3	0.0
睡眠	82	0.7	1.9	0.0
清潔	181	0.4	1.3	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	0.4	1.0	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.4	1.2	0.0

(13) ターミナルケア

ターミナルケアは、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 2.4 回、「低栄養」のニーズがある利用者が平均 1.1 回であった。

図表 5-160　ニーズ別　ターミナルケア

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	0.3	1.4	0.0
身体活動の推進	321	0.1	1.1	0.0
IADL	203	0.2	1.3	0.0
ADL	362	0.2	1.3	0.0
住環境の改善	96	0.2	0.9	0.0
施設入所のリスク	47	0.1	0.6	0.0
身体抑制	15	0.4	1.1	0.0
認知低下	140	0.2	1.2	0.0
せん妄	19	0.9	1.7	0.0
コミュニケーション	137	0.1	0.6	0.0
気分	121	0.4	1.8	0.0
行動	117	0.2	0.8	0.0
虐待	7	0.0	-	0.0
アクティビティ	70	0.0	0.2	0.0
インフォーマルな支援	66	0.1	0.6	0.0
社会関係	94	0.1	0.4	0.0
転倒	171	0.2	1.2	0.0
痛み	141	0.5	1.9	0.0
褥瘡	81	0.8	3.0	0.0
心肺機能	243	0.2	1.3	0.0
低栄養	85	1.1	3.1	0.0
脱水	68	0.8	2.6	0.0
胃ろう	73	0.0	0.2	0.0
検診・予防接種	44	0.0	-	0.0
適切な薬剤使用	240	0.3	1.6	0.0
喫煙と飲酒	16	0.4	1.0	0.0
尿失禁	119	0.5	2.4	0.0
便通	241	0.4	1.8	0.0
健康管理・セルフケア	311	0.2	1.2	0.0
感染・発熱の徴候	137	0.2	0.7	0.0
医療的処置や器材	206	0.3	1.4	0.0
家族介護力・家族機能	292	0.3	1.7	0.0
ターミナル期	52	2.4	3.8	1.0
成長と発達	59	0.1	0.5	0.0
睡眠	82	0.5	2.1	0.0
清潔	181	0.3	1.5	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	0.1	0.7	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.1	0.3	0.0

(14) 介護相談

介護相談は、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 4.9 回、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 4.3 回であった。

図表 5-161　ニーズ別　介護相談

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	2.0	3.0	1.0
身体活動の推進	321	1.4	2.6	0.0
IADL	203	1.3	2.7	0.0
ADL	362	1.8	2.9	1.0
住環境の改善	96	1.5	3.0	0.0
施設入所のリスク	47	1.4	1.9	1.0
身体抑制	15	3.2	5.9	0.0
認知低下	140	1.9	2.9	1.0
せん妄	19	4.9	5.4	3.0
コミュニケーション	137	1.5	2.7	0.0
気分	121	1.8	3.0	0.0
行動	117	1.6	3.2	0.0
虐待	7	1.3	2.2	0.0
アクティビティ	70	0.9	1.4	0.0
インフォーマルな支援	66	1.3	3.0	0.0
社会関係	94	1.0	2.2	0.0
転倒	171	1.5	2.5	0.0
痛み	141	1.8	3.2	0.0
褥瘡	81	3.7	3.8	3.0
心肺機能	243	2.0	3.1	1.0
低栄養	85	3.0	4.1	2.0
脱水	68	2.8	4.2	1.0
胃ろう	73	2.7	3.1	1.0
検診・予防接種	44	1.3	2.1	0.0
適切な薬剤使用	240	1.9	3.2	0.0
喫煙と飲酒	16	0.8	1.2	0.0
尿失禁	119	1.9	3.3	1.0
便通	241	2.6	3.5	1.0
健康管理・セルフケア	311	1.6	2.7	0.0
感染・発熱の徴候	137	2.5	3.6	1.0
医療的処置や器材	206	2.2	3.3	1.0
家族介護力・家族機能	292	2.3	3.3	1.0
ターミナル期	52	4.3	4.1	4.0
成長と発達	59	1.2	2.2	0.0
睡眠	82	1.9	3.4	0.0
清潔	181	1.9	3.2	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	1.4	2.6	0.0
人間のセクシュアリティ	20	1.3	1.7	0.5

(15) 家族支援

家族支援は、「身体抑制」のニーズがある利用者が平均 7.9 回、「成長と発達」のニーズがある利用者が平均 6.5 回、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 6.4 回であった。

図表 5-162　ニーズ別　家族支援

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	3.5	4.9	1.0
身体活動の推進	321	2.9	4.8	1.0
IADL	203	3.1	5.3	1.0
ADL	362	3.3	4.8	1.0
住環境の改善	96	2.5	4.7	1.0
施設入所のリスク	47	3.3	4.5	2.0
身体抑制	15	7.9	9.1	5.0
認知低下	140	3.0	4.2	1.0
せん妄	19	6.4	7.8	5.0
コミュニケーション	137	3.8	5.2	2.0
気分	121	2.8	5.2	1.0
行動	117	3.6	5.9	1.0
虐待	7	2.1	2.4	1.0
アクティビティ	70	3.0	4.9	1.0
インフォーマルな支援	66	2.6	5.1	1.0
社会関係	94	2.6	4.4	1.0
転倒	171	2.2	3.6	1.0
痛み	141	3.0	5.3	1.0
褥瘡	81	5.3	5.7	4.0
心肺機能	243	4.1	5.4	2.0
低栄養	85	4.0	5.9	2.0
脱水	68	3.6	5.4	2.0
胃ろう	73	5.9	5.7	4.0
検診・予防接種	44	3.6	5.1	2.0
適切な薬剤使用	240	3.2	5.1	1.0
喫煙と飲酒	16	1.7	3.4	0.0
尿失禁	119	4.7	6.6	3.0
便通	241	4.2	5.4	2.0
健康管理・セルフケア	311	3.3	5.0	1.0
感染・発熱の徴候	137	3.4	4.7	2.0
医療的処置や器材	206	4.7	6.1	2.0
家族介護力・家族機能	292	4.0	5.1	2.0
ターミナル期	52	5.9	5.9	5.0
成長と発達	59	6.5	6.7	4.0
睡眠	82	3.9	6.7	1.0
清潔	181	3.7	5.1	2.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	2.7	3.8	1.0
人間のセクシュアリティ	20	3.9	5.6	2.0

(16) グリーフケア

グリーフケアは、「睡眠」のニーズがある利用者が平均 0.2 回であった。

図表 5-163　ニーズ別　グリーフケア

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	0.0	0.3	0.0
身体活動の推進	321	0.0	0.4	0.0
IADL	203	0.0	0.1	0.0
ADL	362	0.0	0.4	0.0
住環境の改善	96	0.0	−	0.0
施設入所のリスク	47	0.0	−	0.0
身体抑制	15	0.0	−	0.0
認知低下	140	0.0	0.3	0.0
せん妄	19	0.0	−	0.0
コミュニケーション	137	0.0	0.3	0.0
気分	121	0.1	0.5	0.0
行動	117	0.1	0.6	0.0
虐待	7	0.0	−	0.0
アクティビティ	70	0.0	−	0.0
インフォーマルな支援	66	0.0	−	0.0
社会関係	94	0.0	−	0.0
転倒	171	0.0	0.3	0.0
痛み	141	0.1	0.4	0.0
褥瘡	81	0.1	0.6	0.0
心肺機能	243	0.0	0.1	0.0
低栄養	85	0.0	0.3	0.0
脱水	68	0.0	0.1	0.0
胃ろう	73	0.0	−	0.0
検診・予防接種	44	0.0	−	0.0
適切な薬剤使用	240	0.1	0.4	0.0
喫煙と飲酒	16	0.0	−	0.0
尿失禁	119	0.1	0.5	0.0
便通	241	0.1	0.4	0.0
健康管理・セルフケア	311	0.0	0.4	0.0
感染・発熱の徴候	137	0.0	0.1	0.0
医療的処置や器材	206	0.0	0.2	0.0
家族介護力・家族機能	292	0.0	0.3	0.0
ターミナル期	52	0.1	0.4	0.0
成長と発達	59	0.0	−	0.0
睡眠	82	0.2	0.7	0.0
清潔	181	0.0	0.1	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	0.0	−	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.0	−	0.0

(17) 安否確認

安否確認は、「喫煙と飲酒」のニーズがある利用者が平均 1.0 回、「人間のセクシュアリティ」のニーズがある利用者が平均 0.8 回であった。

図表 5-164　ニーズ別　安否確認

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	511	0.2	0.6	0.0
身体活動の推進	321	0.2	0.7	0.0
IADL	203	0.2	0.8	0.0
ADL	362	0.2	0.7	0.0
住環境の改善	96	0.4	1.0	0.0
施設入所のリスク	47	0.5	0.9	0.0
身体抑制	15	0.1	0.3	0.0
認知低下	140	0.3	1.0	0.0
せん妄	19	0.4	1.4	0.0
コミュニケーション	137	0.2	0.8	0.0
気分	121	0.3	1.0	0.0
行動	117	0.3	0.9	0.0
虐待	7	0.3	0.5	0.0
アクティビティ	70	0.4	1.0	0.0
インフォーマルな支援	66	0.2	0.7	0.0
社会関係	94	0.4	1.0	0.0
転倒	171	0.2	0.8	0.0
痛み	141	0.2	0.7	0.0
褥瘡	81	0.3	0.9	0.0
心肺機能	243	0.2	0.7	0.0
低栄養	85	0.4	1.1	0.0
脱水	68	0.3	1.0	0.0
胃ろう	73	0.2	0.7	0.0
検診・予防接種	44	0.1	0.4	0.0
適切な薬剤使用	240	0.2	0.8	0.0
喫煙と飲酒	16	1.0	1.9	0.0
尿失禁	119	0.2	0.8	0.0
便通	241	0.2	0.7	0.0
健康管理・セルフケア	311	0.2	0.7	0.0
感染・発熱の徴候	137	0.3	0.8	0.0
医療的処置や器材	206	0.2	0.7	0.0
家族介護力・家族機能	292	0.2	0.7	0.0
ターミナル期	52	0.3	1.1	0.0
成長と発達	59	0.2	0.8	0.0
睡眠	82	0.3	0.9	0.0
清潔	181	0.2	0.8	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	41	0.4	1.3	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.8	1.7	0.0

3. ニーズ別　訪問以外の介入

(1) 連絡対応

連絡対応を行った利用者は、「褥瘡」のニーズがある利用者が 71.6%、「低栄養」のニーズがある利用者が 75.6%であった。

連絡対応回数については、「せん妄」のニーズがある利用者が平均 4.1 回、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 4.7 回であった。

連絡対応時間については、「せん妄」のニーズがある利用者は平均 51.9 分、「ターミナル期」のニーズがある利用者が平均 50.9 分であった。

図表 5-165　ニーズ別　連絡対応の有無

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	286	228	1
	100.0%	55.5%	44.3%	0.2%
身体活動の推進	325	161	163	1
	100.0%	49.5%	50.2%	0.3%
IADL	207	101	105	1
	100.0%	48.8%	50.7%	0.5%
ADL	365	192	172	1
	100.0%	52.6%	47.1%	0.3%
住環境の改善	97	48	49	0
	100.0%	49.5%	50.5%	0.0%
施設入所のリスク	47	22	25	0
	100.0%	46.8%	53.2%	0.0%
身体抑制	15	7	8	0
	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%
認知低下	140	73	67	0
	100.0%	52.1%	47.9%	0.0%
せん妄	19	12	7	0
	100.0%	63.2%	36.8%	0.0%
コミュニケーション	138	69	69	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
気分	121	62	59	0
	100.0%	51.2%	48.8%	0.0%
行動	119	53	66	0
	100.0%	44.5%	55.5%	0.0%
虐待	7	4	3	0
	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
アクティビティ	70	29	41	0
	100.0%	41.4%	58.6%	0.0%
インフォーマルな支援	66	28	38	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%
社会関係	94	42	52	0
	100.0%	44.7%	55.3%	0.0%
転倒	172	91	81	0
	100.0%	52.9%	47.1%	0.0%
痛み	142	79	63	0
	100.0%	55.6%	44.4%	0.0%
褥瘡	81	58	23	0
	100.0%	71.6%	28.4%	0.0%
心肺機能	246	126	119	1
	100.0%	51.2%	48.4%	0.4%

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	286	228	1
	100.0%	55.5%	44.3%	0.2%
低栄養	86	65	20	1
	100.0%	75.6%	23.3%	1.2%
脱水	68	48	20	0
	100.0%	70.6%	29.4%	0.0%
胃ろう	73	37	36	0
	100.0%	50.7%	49.3%	0.0%
検診・予防接種	44	14	30	0
	100.0%	31.8%	68.2%	0.0%
適切な薬剤使用	241	132	109	0
	100.0%	54.8%	45.2%	0.0%
喫煙と飲酒	16	8	8	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
尿失禁	120	65	55	0
	100.0%	54.2%	45.8%	0.0%
便通	243	142	100	1
	100.0%	58.4%	41.2%	0.4%
健康管理・セルフケア	314	157	157	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
感染・発熱の徴候	139	82	56	1
	100.0%	59.0%	40.3%	0.7%
医療的処置や器材	208	115	92	1
	100.0%	55.3%	44.2%	0.5%
家族介護力・家族機能	293	162	131	0
	100.0%	55.3%	44.7%	0.0%
ターミナル期	52	42	10	0
	100.0%	80.8%	19.2%	0.0%
成長と発達	61	22	38	1
	100.0%	36.1%	62.3%	1.6%
睡眠	82	40	42	0
	100.0%	48.8%	51.2%	0.0%
清潔	182	100	82	0
	100.0%	54.9%	45.1%	0.0%
経済・制度利用の選択や	42	18	24	0
変更・拡大	100.0%	42.9%	57.1%	0.0%
人間のセクシュアリティ	20	9	11	0
	100.0%	45.0%	55.0%	0.0%

図表 5-166　ニーズ別　連絡対応回数

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	514	2.1	3.5	1.0
身体活動の推進	324	1.6	2.6	0.0
IADL	206	1.7	2.9	0.0
ADL	364	1.9	3.0	1.0
住環境の改善	97	1.8	2.9	0.0
施設入所のリスク	47	2.6	4.9	0.0
身体抑制	15	2.1	4.0	0.0
認知低下	140	2.1	3.1	1.0
せん妄	19	4.1	5.2	2.0
コミュニケーション	138	1.4	2.4	0.5
気分	121	1.9	3.0	1.0
行動	119	1.7	3.0	0.0
虐待	7	2.0	2.1	2.0
アクティビティ	70	1.6	3.0	0.0
インフォーマルな支援	66	1.9	4.0	0.0
社会関係	94	1.6	2.8	0.0
転倒	172	2.1	4.0	1.0
痛み	142	2.7	4.6	1.0
褥瘡	81	3.3	4.2	2.0
心肺機能	245	2.2	3.9	1.0
低栄養	85	3.9	4.2	2.0
脱水	68	3.7	4.8	2.0
胃ろう	73	1.9	3.1	1.0
検診・予防接種	44	1.0	1.8	0.0
適切な薬剤使用	241	2.4	3.9	1.0
喫煙と飲酒	16	2.7	4.2	0.5
尿失禁	120	1.8	2.7	1.0
便通	242	2.4	4.0	1.0
健康管理・セルフケア	314	1.8	3.2	0.5
感染・発熱の徴候	138	2.3	3.1	1.5
医療的処置や器材	207	2.1	3.4	1.0
家族介護力・家族機能	293	2.3	3.8	1.0
ターミナル期	52	4.7	4.3	3.0
成長と発達	60	0.8	1.4	0.0
睡眠	82	1.8	2.9	0.0
清潔	182	2.0	2.9	1.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	42	2.0	3.2	0.0
人間のセクシュアリティ	20	1.4	2.2	0.0

図表 5-167　ニーズ別　連絡対応時間

	回答件数（件）	平均（分）	標準偏差	中央値（分）
全体	281	33.3	36.2	20.0
身体活動の推進	156	30.3	28.6	20.0
IADL	97	33.4	31.5	23.0
ADL	187	32.6	31.7	20.0
住環境の改善	46	36.4	35.1	24.0
施設入所のリスク	22	47.5	49.1	39.0
身体抑制	7	39.7	43.9	25.0
認知低下	72	37.4	36.8	20.0
せん妄	12	51.9	41.8	45.5
コミュニケーション	66	26.6	28.6	16.0
気分	61	30.0	29.9	20.0
行動	52	33.1	32.2	20.0
虐待	4	43.5	26.1	46.5
アクティビティ	27	31.9	31.2	20.0
インフォーマルな支援	26	38.5	44.8	23.5
社会関係	41	30.2	31.9	20.0
転倒	89	38.7	46.2	23.0
痛み	77	43.4	48.7	27.0
褥瘡	57	40.4	42.9	25.0
心肺機能	124	37.7	41.7	24.0
低栄養	65	44.6	39.9	30.0
脱水	46	44.8	42.9	29.0
胃ろう	37	31.6	27.6	20.0
検診・予防接種	14	29.2	12.3	31.0
適切な薬剤使用	130	38.0	41.0	25.0
喫煙と飲酒	8	44.5	39.6	40.0
尿失禁	62	29.7	29.7	18.5
便通	138	35.9	41.0	20.5
健康管理・セルフケア	153	32.1	36.8	20.0
感染・発熱の徴候	80	39.0	33.0	30.0
医療的処置や器材	113	34.0	36.4	20.0
家族介護力・家族機能	159	36.4	39.3	25.0
ターミナル期	42	50.9	37.1	42.5
成長と発達	21	24.4	19.1	20.0
睡眠	39	30.1	28.1	23.0
清潔	96	34.8	34.8	21.5
経済・制度利用の選択や変更・拡大	18	40.2	33.7	28.5
人間のセクシュアリティ	9	22.9	28.6	15.0

(2) 利用者に関する会議等

利用者に関する会議等を行った利用者は、「ターミナル期」のニーズがある利用者が 23.1%であった。

図表 5-168　ニーズ別　当該利用者に関する会議等の有無

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	57	457	1
	100.0%	11.1%	88.7%	0.2%
身体活動の推進	325	25	299	1
	100.0%	7.7%	92.0%	0.3%
IADL	207	18	188	1
	100.0%	8.7%	90.8%	0.5%
ADL	365	36	328	1
	100.0%	9.9%	89.9%	0.3%
住環境の改善	97	13	84	0
	100.0%	13.4%	86.6%	0.0%
施設入所のリスク	47	8	39	0
	100.0%	17.0%	83.0%	0.0%
身体抑制	15	2	13	0
	100.0%	13.3%	86.7%	0.0%
認知低下	140	18	122	0
	100.0%	12.9%	87.1%	0.0%
せん妄	19	4	15	0
	100.0%	21.1%	78.9%	0.0%
コミュニケーション	138	13	125	0
	100.0%	9.4%	90.6%	0.0%
気分	121	9	112	0
	100.0%	7.4%	92.6%	0.0%
行動	119	12	107	0
	100.0%	10.1%	89.9%	0.0%
虐待	7	0	7	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
アクティビティ	70	5	65	0
	100.0%	7.1%	92.9%	0.0%
インフォーマルな支援	66	8	58	0
	100.0%	12.1%	87.9%	0.0%
社会関係	94	8	86	0
	100.0%	8.5%	91.5%	0.0%
転倒	172	18	154	0
	100.0%	10.5%	89.5%	0.0%
痛み	142	15	127	0
	100.0%	10.6%	89.4%	0.0%
褥瘡	81	11	70	0
	100.0%	13.6%	86.4%	0.0%
心肺機能	246	26	219	1
	100.0%	10.6%	89.0%	0.4%

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	57	457	1
	100.0%	11.1%	88.7%	0.2%
低栄養	86	17	68	1
	100.0%	19.8%	79.1%	1.2%
脱水	68	10	58	0
	100.0%	14.7%	85.3%	0.0%
胃ろう	73	5	68	0
	100.0%	6.8%	93.2%	0.0%
検診・予防接種	44	6	38	0
	100.0%	13.6%	86.4%	0.0%
適切な薬剤使用	241	30	211	0
	100.0%	12.4%	87.6%	0.0%
喫煙と飲酒	16	1	15	0
	100.0%	6.3%	93.8%	0.0%
尿失禁	120	10	110	0
	100.0%	8.3%	91.7%	0.0%
便通	243	29	213	1
	100.0%	11.9%	87.7%	0.4%
健康管理・セルフケア	314	27	287	0
	100.0%	8.6%	91.4%	0.0%
感染・発熱の徴候	139	18	120	1
	100.0%	12.9%	86.3%	0.7%
医療的処置や器材	208	20	187	1
	100.0%	9.6%	89.9%	0.5%
家族介護力・家族機能	293	39	254	0
	100.0%	13.3%	86.7%	0.0%
ターミナル期	52	12	40	0
	100.0%	23.1%	76.9%	0.0%
成長と発達	61	3	57	1
	100.0%	4.9%	93.4%	1.6%
睡眠	82	9	73	0
	100.0%	11.0%	89.0%	0.0%
清潔	182	18	164	0
	100.0%	9.9%	90.1%	0.0%
経済・制度利用の選択や	42	4	38	0
変更・拡大	100.0%	9.5%	90.5%	0.0%
人間のセクシュアリティ	20	2	18	0
	100.0%	10.0%	90.0%	0.0%

図表 5-169　ニーズ別　当該利用者に関する会議等の回数

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	514	0.2	0.5	0.0
身体活動の推進	324	0.1	0.4	0.0
IADL	206	0.1	0.4	0.0
ADL	364	0.1	0.4	0.0
住環境の改善	97	0.2	0.5	0.0
施設入所のリスク	47	0.2	0.4	0.0
身体抑制	15	0.1	0.4	0.0
認知低下	140	0.2	0.6	0.0
せん妄	19	0.3	0.7	0.0
コミュニケーション	138	0.1	0.3	0.0
気分	121	0.1	0.3	0.0
行動	119	0.1	0.4	0.0
虐待	7	0.0	-	0.0
アクティビティ	70	0.1	0.3	0.0
インフォーマルな支援	66	0.1	0.4	0.0
社会関係	94	0.1	0.3	0.0
転倒	172	0.2	0.5	0.0
痛み	142	0.1	0.4	0.0
褥瘡	81	0.2	0.4	0.0
心肺機能	245	0.2	0.5	0.0
低栄養	85	0.2	0.5	0.0
脱水	68	0.2	0.5	0.0
胃ろう	73	0.1	0.4	0.0
検診・予防接種	44	0.1	0.3	0.0
適切な薬剤使用	241	0.2	0.5	0.0
喫煙と飲酒	16	0.1	0.5	0.0
尿失禁	120	0.1	0.3	0.0
便通	242	0.2	0.5	0.0
健康管理・セルフケア	314	0.1	0.5	0.0
感染・発熱の徴候	138	0.2	0.4	0.0
医療的処置や器材	207	0.1	0.4	0.0
家族介護力・家族機能	293	0.2	0.6	0.0
ターミナル期	52	0.4	0.8	0.0
成長と発達	60	0.1	0.2	0.0
睡眠	82	0.1	0.4	0.0
清潔	182	0.1	0.4	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	42	0.1	0.4	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.1	0.3	0.0

図表 5-170　ニーズ別　当該利用者に関する会議等の時間

	回答件数 (件)	平均 (分)	標準偏差	中央値 (分)
全体	56	57.7	36.7	60.0
身体活動の推進	24	60.2	33.8	60.0
IADL	17	68.8	37.0	60.0
ADL	35	55.5	30.1	60.0
住環境の改善	13	65.8	38.9	60.0
施設入所のリスク	8	54.9	25.4	55.0
身体抑制	2	75.0	21.2	75.0
認知低下	18	67.8	51.8	60.0
せん妄	4	57.3	47.3	57.5
コミュニケーション	13	47.3	25.8	50.0
気分	9	50.6	20.7	60.0
行動	12	54.6	24.5	60.0
虐待	0	−	−	−
アクティビティ	5	61.0	19.5	60.0
インフォーマルな支援	8	56.9	18.3	60.0
社会関係	8	53.1	26.0	47.5
転倒	18	68.6	35.7	60.0
痛み	15	49.6	24.3	60.0
褥瘡	11	56.8	24.0	60.0
心肺機能	25	60.2	27.1	60.0
低栄養	16	52.4	26.5	55.0
脱水	10	55.0	26.7	55.0
胃ろう	5	44.0	34.5	30.0
検診・予防接種	6	44.2	18.0	47.5
適切な薬剤使用	30	63.8	29.2	60.0
喫煙と飲酒	1	90.0	−	90.0
尿失禁	10	50.5	20.5	55.0
便通	29	49.6	24.2	50.0
健康管理・セルフケア	27	60.1	37.4	60.0
感染・発熱の徴候	18	47.5	25.9	40.0
医療的処置や器材	19	47.3	23.9	45.0
家族介護力・家族機能	39	59.8	40.3	60.0
ターミナル期	12	73.1	54.6	60.0
成長と発達	3	50.0	34.6	30.0
睡眠	9	52.8	19.2	60.0
清潔	17	61.2	36.3	60.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	4	61.3	22.5	60.0
人間のセクシュアリティ	2	47.5	17.7	47.5

(3) サマリーの作成

サマリーの作成を行った利用者は、「虐待」のニーズがある利用者が 14.3%、「ターミナル期」のニーズがある利用者が 9.6%、「胃ろう」のニーズがある利用者が 6.8%であった。

図表 5-171　ニーズ別　サマリーの作成の有無

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	21	493	1
	100.0%	4.1%	95.7%	0.2%
身体活動の推進	325	9	315	1
	100.0%	2.8%	96.9%	0.3%
IADL	207	3	203	1
	100.0%	1.4%	98.1%	0.5%
ADL	365	12	352	1
	100.0%	3.3%	96.4%	0.3%
住環境の改善	97	2	95	0
	100.0%	2.1%	97.9%	0.0%
施設入所のリスク	47	2	45	0
	100.0%	4.3%	95.7%	0.0%
身体抑制	15	0	15	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
認知低下	140	2	138	0
	100.0%	1.4%	98.6%	0.0%
せん妄	19	0	19	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
コミュニケーション	138	4	134	0
	100.0%	2.9%	97.1%	0.0%
気分	121	2	119	0
	100.0%	1.7%	98.3%	0.0%
行動	119	2	117	0
	100.0%	1.7%	98.3%	0.0%
虐待	7	1	6	0
	100.0%	14.3%	85.7%	0.0%
アクティビティ	70	0	70	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
インフォーマルな支援	66	1	65	0
	100.0%	1.5%	98.5%	0.0%
社会関係	94	1	93	0
	100.0%	1.1%	98.9%	0.0%
転倒	172	1	171	0
	100.0%	0.6%	99.4%	0.0%
痛み	142	5	137	0
	100.0%	3.5%	96.5%	0.0%
褥瘡	81	5	76	0
	100.0%	6.2%	93.8%	0.0%
心肺機能	246	8	237	1
	100.0%	3.3%	96.3%	0.4%

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	21	493	1
	100.0%	4.1%	95.7%	0.2%
低栄養	86	4	81	1
	100.0%	4.7%	94.2%	1.2%
脱水	68	2	66	0
	100.0%	2.9%	97.1%	0.0%
胃ろう	73	5	68	0
	100.0%	6.8%	93.2%	0.0%
検診・予防接種	44	0	44	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
適切な薬剤使用	241	11	230	0
	100.0%	4.6%	95.4%	0.0%
喫煙と飲酒	16	0	16	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
尿失禁	120	5	115	0
	100.0%	4.2%	95.8%	0.0%
便通	243	10	232	1
	100.0%	4.1%	95.5%	0.4%
健康管理・セルフケア	314	13	301	0
	100.0%	4.1%	95.9%	0.0%
感染・発熱の徴候	139	6	132	1
	100.0%	4.3%	95.0%	0.7%
医療的処置や器材	208	8	199	1
	100.0%	3.8%	95.7%	0.5%
家族介護力・家族機能	293	14	279	0
	100.0%	4.8%	95.2%	0.0%
ターミナル期	52	5	47	0
	100.0%	9.6%	90.4%	0.0%
成長と発達	61	2	58	1
	100.0%	3.3%	95.1%	1.6%
睡眠	82	0	82	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
清潔	182	4	178	0
	100.0%	2.2%	97.8%	0.0%
経済・制度利用の選択や	42	1	41	0
変更・拡大	100.0%	2.4%	97.6%	0.0%
人間のセクシュアリティ	20	0	20	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%

図表 5-172　ニーズ別　サマリーの作成の回数

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	514	0.0	0.2	0.0
身体活動の推進	324	0.0	0.2	0.0
IADL	206	0.0	0.1	0.0
ADL	364	0.0	0.2	0.0
住環境の改善	97	0.0	0.1	0.0
施設入所のリスク	47	0.0	0.2	0.0
身体抑制	15	0.0	−	0.0
認知低下	140	0.0	0.1	0.0
せん妄	19	0.0	−	0.0
コミュニケーション	138	0.0	0.2	0.0
気分	121	0.0	0.1	0.0
行動	119	0.0	0.1	0.0
虐待	7	0.1	0.4	0.0
アクティビティ	70	0.0	−	0.0
インフォーマルな支援	66	0.0	0.1	0.0
社会関係	94	0.0	0.1	0.0
転倒	172	0.0	0.1	0.0
痛み	142	0.0	0.2	0.0
褥瘡	81	0.1	0.2	0.0
心肺機能	245	0.0	0.2	0.0
低栄養	85	0.0	0.2	0.0
脱水	68	0.0	0.2	0.0
胃ろう	73	0.1	0.3	0.0
検診・予防接種	44	0.0	−	0.0
適切な薬剤使用	241	0.0	0.2	0.0
喫煙と飲酒	16	0.0	−	0.0
尿失禁	120	0.0	0.2	0.0
便通	242	0.0	0.2	0.0
健康管理・セルフケア	314	0.0	0.2	0.0
感染・発熱の徴候	138	0.0	0.2	0.0
医療的処置や器材	207	0.0	0.2	0.0
家族介護力・家族機能	293	0.1	0.2	0.0
ターミナル期	52	0.1	0.3	0.0
成長と発達	60	0.0	0.2	0.0
睡眠	82	0.0	−	0.0
清潔	182	0.0	0.1	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	42	0.0	0.2	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.0	−	0.0

図表 5-173　ニーズ別　サマリーの作成の時間

	回答件数（件）	平均（分）	標準偏差	中央値（分）
全体	21	34.1	19.1	30.0
身体活動の推進	9	37.1	19.4	30.0
IADL	3	24.7	8.4	29.0
ADL	12	34.5	16.2	30.0
住環境の改善	2	29.5	0.7	29.5
施設入所のリスク	2	29.5	0.7	29.5
身体抑制	0	－	－	－
認知低下	2	27.5	10.6	27.5
せん妄	0	－	－	－
コミュニケーション	4	19.8	12.0	22.0
気分	2	37.5	10.6	37.5
行動	2	22.5	10.6	22.5
虐待	1	29.0	－	29.0
アクティビティ	0	－	－	－
インフォーマルな支援	1	30.0	－	30.0
社会関係	1	5.0	－	5.0
転倒	1	60.0	－	60.0
痛み	5	45.0	15.0	45.0
褥瘡	5	25.0	21.5	15.0
心肺機能	8	33.9	22.5	24.5
低栄養	4	33.8	18.9	30.0
脱水	2	30.0	－	30.0
胃ろう	5	33.8	15.2	30.0
検診・予防接種	0	－	－	－
適切な薬剤使用	11	35.0	19.0	30.0
喫煙と飲酒	0	－	－	－
尿失禁	5	30.8	17.5	29.0
便通	10	37.2	20.9	30.0
健康管理・セルフケア	13	35.7	19.6	30.0
感染・発熱の徴候	6	29.2	24.4	17.5
医療的処置や器材	8	34.3	16.8	30.0
家族介護力・家族機能	14	34.0	20.0	30.0
ターミナル期	5	38.4	22.4	35.0
成長と発達	2	22.0	9.9	22.0
睡眠	0	－	－	－
清潔	4	29.8	21.2	22.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	1	30.0	－	30.0
人間のセクシュアリティ	0	－	－	－

(4) その他の介入

その他の介入を行った利用者は、「認知低下」のニーズがある利用者が 16.4%、「せん妄」のニーズがある利用者が 15.8%、「喫煙と飲酒」のニーズがある利用者が 12.5%であった。

図表 5-174　ニーズ別　その他の介入

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	44	470	1
	100.0%	8.5%	91.3%	0.2%
身体活動の推進	325	18	306	1
	100.0%	5.5%	94.2%	0.3%
IADL	207	16	190	1
	100.0%	7.7%	91.8%	0.5%
ADL	365	22	342	1
	100.0%	6.0%	93.7%	0.3%
住環境の改善	97	7	90	0
	100.0%	7.2%	92.8%	0.0%
施設入所のリスク	47	3	44	0
	100.0%	6.4%	93.6%	0.0%
身体抑制	15	1	14	0
	100.0%	6.7%	93.3%	0.0%
認知低下	140	23	117	0
	100.0%	16.4%	83.6%	0.0%
せん妄	19	3	16	0
	100.0%	15.8%	84.2%	0.0%
コミュニケーション	138	7	131	0
	100.0%	5.1%	94.9%	0.0%
気分	121	7	114	0
	100.0%	5.8%	94.2%	0.0%
行動	119	11	108	0
	100.0%	9.2%	90.8%	0.0%
虐待	7	0	7	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
アクティビティ	70	4	66	0
	100.0%	5.7%	94.3%	0.0%
インフォーマルな支援	66	5	61	0
	100.0%	7.6%	92.4%	0.0%
社会関係	94	7	87	0
	100.0%	7.4%	92.6%	0.0%
転倒	172	13	159	0
	100.0%	7.6%	92.4%	0.0%
痛み	142	10	132	0
	100.0%	7.0%	93.0%	0.0%
褥瘡	81	8	73	0
	100.0%	9.9%	90.1%	0.0%
心肺機能	246	23	222	1
	100.0%	9.3%	90.2%	0.4%

	合計	①有	②無	無回答
全体	515	44	470	1
	100.0%	8.5%	91.3%	0.2%
低栄養	86	8	77	1
	100.0%	9.3%	89.5%	1.2%
脱水	68	6	62	0
	100.0%	8.8%	91.2%	0.0%
胃ろう	73	6	67	0
	100.0%	8.2%	91.8%	0.0%
検診・予防接種	44	3	41	0
	100.0%	6.8%	93.2%	0.0%
適切な薬剤使用	241	17	224	0
	100.0%	7.1%	92.9%	0.0%
喫煙と飲酒	16	2	14	0
	100.0%	12.5%	87.5%	0.0%
尿失禁	120	3	117	0
	100.0%	2.5%	97.5%	0.0%
便通	243	17	225	1
	100.0%	7.0%	92.6%	0.4%
健康管理・セルフケア	314	21	293	0
	100.0%	6.7%	93.3%	0.0%
感染・発熱の徴候	139	13	125	1
	100.0%	9.4%	89.9%	0.7%
医療的処置や器材	208	16	191	1
	100.0%	7.7%	91.8%	0.5%
家族介護力・家族機能	293	25	268	0
	100.0%	8.5%	91.5%	0.0%
ターミナル期	52	6	46	0
	100.0%	11.5%	88.5%	0.0%
成長と発達	61	0	60	1
	100.0%	0.0%	98.4%	1.6%
睡眠	82	8	74	0
	100.0%	9.8%	90.2%	0.0%
清潔	182	11	171	0
	100.0%	6.0%	94.0%	0.0%
経済・制度利用の選択や変更・拡大	42	3	39	0
	100.0%	7.1%	92.9%	0.0%
人間のセクシュアリティ	20	2	18	0
	100.0%	10.0%	90.0%	0.0%

図表 5-175　ニーズ別　その他の介入の回数

	回答件数(件)	平均(回)	標準偏差	中央値(回)
全体	514	0.2	0.9	0.0
身体活動の推進	324	0.1	0.5	0.0
IADL	206	0.1	0.7	0.0
ADL	364	0.1	0.5	0.0
住環境の改善	97	0.2	0.8	0.0
施設入所のリスク	47	0.1	0.8	0.0
身体抑制	15	0.1	0.3	0.0
認知低下	140	0.4	1.6	0.0
せん妄	19	0.2	0.4	0.0
コミュニケーション	138	0.1	0.8	0.0
気分	121	0.2	0.8	0.0
行動	119	0.2	0.8	0.0
虐待	7	0.0	-	0.0
アクティビティ	70	0.2	0.9	0.0
インフォーマルな支援	66	0.2	0.7	0.0
社会関係	94	0.2	0.9	0.0
転倒	172	0.1	0.5	0.0
痛み	142	0.1	0.7	0.0
褥瘡	81	0.1	0.6	0.0
心肺機能	245	0.2	0.6	0.0
低栄養	85	0.2	0.7	0.0
脱水	68	0.2	0.8	0.0
胃ろう	73	0.2	0.9	0.0
検診・予防接種	44	0.2	0.8	0.0
適切な薬剤使用	241	0.1	0.6	0.0
喫煙と飲酒	16	0.5	1.5	0.0
尿失禁	120	0.1	0.7	0.0
便通	242	0.1	0.6	0.0
健康管理・セルフケア	314	0.2	1.1	0.0
感染・発熱の徴候	138	0.2	0.7	0.0
医療的処置や器材	207	0.1	0.6	0.0
家族介護力・家族機能	293	0.2	1.2	0.0
ターミナル期	52	0.5	2.5	0.0
成長と発達	60	0.0	-	0.0
睡眠	82	0.3	1.0	0.0
清潔	182	0.1	0.6	0.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	42	0.3	1.2	0.0
人間のセクシュアリティ	20	0.6	1.7	0.0

図表 5-176　ニーズ別　その他の介入の時間

	回答件数（件）	平均（分）	標準偏差	中央値（分）
全体	43	31.1	50.3	10.0
身体活動の推進	17	22.2	38.8	10.0
IADL	15	28.7	40.9	10.0
ADL	22	24.6	36.0	10.0
住環境の改善	7	43.0	56.2	11.0
施設入所のリスク	3	46.7	63.7	15.0
身体抑制	1	10.0	－	10.0
認知低下	22	34.9	67.1	10.0
せん妄	3	16.0	12.2	10.0
コミュニケーション	7	75.4	42.6	75.0
気分	7	47.0	55.0	11.0
行動	10	32.5	49.2	10.0
虐待	0	－	－	－
アクティビティ	3	85.0	69.5	120.0
インフォーマルな支援	4	56.3	57.6	50.0
社会関係	6	69.0	53.9	75.0
転倒	13	19.2	33.8	10.0
痛み	10	38.7	52.5	9.0
褥瘡	8	37.3	43.0	10.0
心肺機能	23	27.8	35.1	10.0
低栄養	7	36.9	51.3	10.0
脱水	5	30.6	55.6	5.0
胃ろう	6	61.7	55.0	52.5
検診・予防接種	3	45.3	64.7	11.0
適切な薬剤使用	16	32.8	39.2	13.0
喫煙と飲酒	2	85.0	63.6	85.0
尿失禁	3	86.7	66.6	120.0
便通	16	32.6	44.0	10.0
健康管理・セルフケア	20	40.4	69.6	10.0
感染・発熱の徴候	12	42.1	46.2	15.0
医療的処置や器材	16	27.9	41.4	10.0
家族介護力・家族機能	25	44.8	62.6	25.0
ターミナル期	6	86.3	110.3	35.0
成長と発達	0	－	－	－
睡眠	8	41.8	53.1	10.5
清潔	11	32.1	46.5	10.0
経済・制度利用の選択や変更・拡大	3	87.0	66.0	120.0
人間のセクシュアリティ	2	125.0	7.1	125.0

4. ニーズ別　評価

(1) 解決の有無・解決していない場合の利用者の状態

「検診・予防接種」のニーズがあり、「介入により解決した」利用者が 27.3%であった。

「ターミナル期」のニーズが「介入により解決した」利用者が 19.2%であった。

「褥瘡」のニーズが「介入により解決した」利用者が 18.5%であった。

「褥瘡」のニーズに「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が改善」した利用者が 16.0%であった。

「IADL」のニーズに「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者が 90.8%であった。

「住環境の改善」のニーズに「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者が 84.5%であった。

「胃ろう」のニーズに「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者が 80.8%であった。

「尿失禁」のニーズに「介入したが解決していない」利用者のうち、「状態が維持」した利用者がそれぞれ 82.5%であった。

図表 5-177　ニーズ別　解決の有無・解決していない場合の利用者の状態

	全体	介入により解決	介入したが解決していない利用者の状態変化				無回答
			状態が改善	状態が維持	状態が悪化	無回答	
身体活動の推進	325	11	18	270	12	0	14
	100.0%	3.4%	5.5%	83.1%	3.7%	0.0%	4.3%
IADL	207	4	2	188	4	1	8
	100.0%	1.9%	1.0%	90.8%	1.9%	0.5%	3.9%
ADL	365	6	26	302	15	3	13
	100.0%	1.6%	7.1%	82.7%	4.1%	0.8%	3.6%
住環境の改善	97	9	1	82	3	0	2
	100.0%	9.3%	1.0%	84.5%	3.1%	0.0%	2.1%
施設入所のリスク	47	3	2	40	1	1	0
	100.0%	6.4%	4.3%	85.1%	2.1%	2.1%	0.0%
身体抑制	15	2	0	12	0	1	0
	100.0%	13.3%	0.0%	80.0%	0.0%	6.7%	0.0%
認知低下	140	4	4	121	9	0	2
	100.0%	2.9%	2.9%	86.4%	6.4%	0.0%	1.4%
せん妄	19	2	1	13	3	0	0
	100.0%	10.5%	5.3%	68.4%	15.8%	0.0%	0.0%
コミュニケーション	138	2	9	119	3	1	4
	100.0%	1.4%	6.5%	86.2%	2.2%	0.7%	2.9%
気分	121	3	12	96	7	1	2
	100.0%	2.5%	9.9%	79.3%	5.8%	0.8%	1.7%
行動	119	1	8	100	3	3	4
	100.0%	0.8%	6.7%	84.0%	2.5%	2.5%	3.4%
虐待	7	1	0	6	0	0	0
	100.0%	14.3%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
アクティビティ	70	2	2	60	1	2	3
	100.0%	2.9%	2.9%	85.7%	1.4%	2.9%	4.3%
インフォーマルな支援	66	3	3	58	2	0	0
	100.0%	4.5%	4.5%	87.9%	3.0%	0.0%	0.0%
社会関係	94	2	2	86	1	2	1
	100.0%	2.1%	2.1%	91.5%	1.1%	2.1%	1.1%
転倒	172	5	13	136	12	0	6
	100.0%	2.9%	7.6%	79.1%	7.0%	0.0%	3.5%
痛み	142	15	11	100	11	1	4
	100.0%	10.6%	7.7%	70.4%	7.7%	0.7%	2.8%
褥瘡	81	15	13	47	2	1	3
	100.0%	18.5%	16.0%	58.0%	2.5%	1.2%	3.7%
心肺機能	246	6	9	207	15	1	8
	100.0%	2.4%	3.7%	84.1%	6.1%	0.4%	3.3%
低栄養	86	10	3	60	10	1	2
	100.0%	11.6%	3.5%	69.8%	11.6%	1.2%	2.3%
脱水	68	10	5	49	2	0	2
	100.0%	14.7%	7.4%	72.1%	2.9%	0.0%	2.9%
胃ろう	73	7	2	59	0	1	4
	100.0%	9.6%	2.7%	80.8%	0.0%	1.4%	5.5%
検診・予防接種	44	12	0	32	0	0	0
	100.0%	27.3%	0.0%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%
適切な薬剤使用	241	14	29	181	8	1	8
	100.0%	5.8%	12.0%	75.1%	3.3%	0.4%	3.3%
喫煙と飲酒	16	1	0	14	1	0	0
	100.0%	6.3%	0.0%	87.5%	6.3%	0.0%	0.0%
尿失禁	120	7	2	99	3	0	9
	100.0%	5.8%	1.7%	82.5%	2.5%	0.0%	7.5%
便通	243	12	23	192	4	2	10
	100.0%	4.9%	9.5%	79.0%	1.6%	0.8%	4.1%
健康管理・セルフケア	314	12	32	245	12	3	10
	100.0%	3.8%	10.2%	78.0%	3.8%	1.0%	3.2%
感染・発熱の徴候	139	13	6	114	2	1	3
	100.0%	9.4%	4.3%	82.0%	1.4%	0.7%	2.2%
医療的処置や器材	208	18	12	169	3	0	6
	100.0%	8.7%	5.8%	81.3%	1.4%	0.0%	2.9%
家族介護力・家族機能	293	22	24	226	9	2	10
	100.0%	7.5%	8.2%	77.1%	3.1%	0.7%	3.4%
ターミナル期	52	10	4	28	8	0	2
	100.0%	19.2%	7.7%	53.8%	15.4%	0.0%	3.8%
成長と発達	61	0	3	55	0	0	3
	100.0%	0.0%	4.9%	90.2%	0.0%	0.0%	4.9%
睡眠	82	4	5	67	3	1	2
	100.0%	4.9%	6.1%	81.7%	3.7%	1.2%	2.4%
清潔	182	14	21	137	4	2	4
	100.0%	7.7%	11.5%	75.3%	2.2%	1.1%	2.2%
経済・制度利用の選択や変更・拡大	42	1	3	36	1	0	1
	100.0%	2.4%	7.1%	85.7%	2.4%	0.0%	2.4%
人間のセクシュアリティ	20	0	0	18	1	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	90.0%	5.0%	5.0%	0.0%

5.ニーズ別　まとめ

ニーズ別の分析結果について、下記の視点で選んだニーズについて、下記の項目で改めて整理を行った。

＜ニーズを選択した視点＞

〇ニーズ評価において、解決した利用者の割合が高いニーズ（ただし、介入の特徴があったニーズのみとする）・同じくニーズ評価において、解決しなかったが状態が改善・維持した利用者の割合が高いニーズ

〇様々な種類の介入を行ったニーズ

＜整理した項目＞

〇介入の特徴：介入した利用者の割合が高い、または回数が多いもの

〇ニーズ評価：ニーズによって解決した利用者の割合や、解決しなかったが状態が改善・維持した利用者の割合

ニーズ	介入の特徴	ニーズ評価	まとめ
せん妄 （対象者数：19）	・清潔のケア・指導：100.0%（回数）平均 10.3 回 ・衣生活のケア・指導：78.9%（回数）平均 5.1 回 ・食事のケア・指導：（回数）平均 6.6 回 ・排泄のケア・指導：94.7%（回数）平均 8.7 回 ・睡眠のケア・指導：57.9%（回数）平均 2.8 回 ・環境整備・調整：100.0%（回数）平均 4.8 回 ・疾病や治療に関する説明・指導：84.2%（回数）平均 5.4 回 ・薬剤の管理・指導：（回数）平均 6.7 回 ・医療処置の管理・実施・指導：94.7% ・精神的援助：（回数）平均 6.9 回 ・介護相談：78.9%（回数）平均 4.9 回 ・家族支援：（回数）平均 6.4 回 ・連絡対応：（回数）平均 4.1 回　（時間）平均 51.9 分	・介入により解決した利用者の割合：10.5% ・介入して解決していないが利用者の「状態が改善」した割合：5.3% 「状態が維持」した割合：68.4%	〇様々な種類の介入を行ったが、介入により解決した利用者の割合は低かった。
褥瘡 （対象者数：81）	・清潔のケア・指導：97.5%（回数）平均 9.5 回 ・衣生活のケア・指導：84.0%（回数）平均 4.9 回 ・食事のケア・指導：81.5%（回数）平均 4.7 回 ・排泄のケア・指導：85.2%（回数）平均 7.7 回 ・医療処置の管理・実施・指導：92.6%（回数）平均 10.0 回 ・環境整備・調整：77.8%（回数）平均 4.6 回 ・介護相談：72.8% ・家族支援：82.7% ・連絡対応：71.6%	・ニーズにより解決した利用者が 18.5% ・介入したがニーズが解決していない利用者について、「状態が改善」した利用者の割合が 16.0%	〇基本的なケアを中心に、様々な種類の訪問時の介入や連絡対応を積極的に行った結果、介入により解決した利用者が多く、解決していなくても状態が改善した利用者が多かった。
胃ろう （対象者数：73）	・清潔のケア・指導：95.9% ・排泄のケア・指導：86.3% ・医療処置の管理・実施・指導：98.6%（回数）平均 8.7 回 ・家族支援：84.9% ・リハビリテーション：（回数）平均 6.6 回	・介入したがニーズが解決していない利用者について、「状態が維持」した利用者の割合が 80.8%	〇医療的処置や家族支援、リハビリテーションなどの介入を行った結果、解決していなくても状態が維持した利用者が多かった。
ターミナル期 （対象者数：81）	・清潔のケア・指導：90.4% ・衣生活のケア・指導：（回数）平均 4.3 回 ・食事のケア・指導：84.6%（回数）平均 5.5 回 ・排泄のケア・指導：84.6%（回数）平均 6.6 回 ・環境整備・調整：80.8% ・疾病や治療に関する説明・指導：88.5%（回数）平均 6.3 回 ・薬剤の管理・指導：（回数）平均 6.1 回 ・精神的援助：（回数）平均 7.8 回 ・意思決定支援：48.1%（回数）平均 1.8 回 ・ターミナルケア：53.8%（回数）平均 2.4 回 ・介護相談：80.8%（平均）4.3 回 ・家族支援：86.5% ・連絡対応：（回数）平均 4.7 回（時間）平均 50.9 分 ・利用者に関する会議等：23.1%	・介入により解決した利用者の割合が 19.2%	〇基本的なケアを中心に、様々な種類の訪問時の介入や連絡対応や会議等を積極的に行った結果、介入により解決した利用者が多かった。

6.　ニーズ別　介入率

ニーズ別の介入率（ニーズがある利用者数のうち、その介入を行った利用者数の割合）について、下記の通り整理した。

・介入率について、下記の記号で整理を行った。
　◎：70%以上
　○：60%以上 70%未満
　△：50%以上 60%未満
　（空白）：50%未満

・ニーズはニーズがある人数が多い順に表示している。

・介入内容はいずれかのニーズに対して、介入率が 50%以上であった介入内容のみを表示している。
　※すべてのニーズに対して、介入率が 50%未満であった介入内容は表示していない。

※調査結果は 207～208 頁参照

注）介入内容・ニーズの表記については、下記のように省略を行っている。

（介入内容）

・清潔のｹｱ：清潔のｹｱ・指導
・衣生活のｹｱ：衣生活のｹｱ・指導
・食事や栄養のｹｱ：食事や栄養のｹｱ・指導
・排泄のｹｱ：排泄のｹｱ・指導
・睡眠のｹｱ：睡眠のｹｱ・指導
・疾病や治療の説明：疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）
・薬剤の管理・指導：薬剤の管理・指導（介助含む）
・医療処置の管理：医療処置の管理・実施・指導

（ニーズ）

・経済・制度利用の選択：経済・制度利用の選択や変更・拡大

ニーズ別介入率表

ニーズ別介入率表	人数	清潔のｹｱ	衣生活のｹｱ	食事や栄養のｹｱ	排泄のｹｱ	睡眠のｹｱ	環境整備・調整	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	疾病や治療の説明	薬剤の管理・指導	医療処置の管理	精神的援助	ターミナルケア	介護相談	家族支援
全体	511	◎	△	○	○		○	○	○	○	○	◎		△	○
ADL	362	◎	△	○	○		○	○	○	○	○	◎		△	○
身体活動の推進	321	○		○	○		△	○	△	○	○	○			△
健康管理・セルフケア	311	○	△	○	○		△	○	○	○	○	◎			○
家族介護力・家族機能	292	◎	△	○	○		△	○	○	○	◎	◎		△	◎
心肺機能	243	◎	○	○	◎		○	○	○	○	◎	○		△	○
便通	241	◎	○	◎	◎		○	○	◎	◎	◎	◎		○	○
適切な薬剤使用	240	○		◎	○		△	○	○	◎	○	◎			△
医療的処置や器材	206	◎	○	○	◎		○	○	○	○	◎	○		△	◎
IADL	203	○	△	△	△		△	△	△	△	○	○			△
清潔	181	◎	◎	○	○		○	△	○	○	◎	○		△	○
転倒	171	○		○	○		△	○	△	○	△	◎			△
痛み	141	○		○	○		○	○	◎	◎	○	◎			△
認知低下	140	◎	△	◎	○		◎	○	○	◎	○	◎		○	○
コミュニケーション	137	◎	○	○	◎		○	△	△	△	◎	△			○
感染・発熱の徴候	137	◎	○	◎	◎		○	○	◎	○	◎	◎		○	○
気分	121	○		○	○		△	△	○	◎	○	◎			△
尿失禁	119	◎	○	○	◎		○	○	△	○	◎	△		△	◎
行動	117	○	△	○	○		○	△	○	○	○	○			△
住環境の改善	96	△		△				○	△	△	△	◎			△
社会関係	94	△		△	△		△	△	△	○	△	◎			△
低栄養	85	◎	○	◎	◎		◎	○	◎	◎	◎	◎		○	◎
睡眠	82	○		○	○		△	○	△	◎	△	◎			△
褥瘡	81	◎	◎	◎	◎	△	◎	○	◎	◎	◎	◎		◎	◎
胃ろう	73	◎	◎	○	◎		◎	◎	○	○	◎	○		○	◎
アクティビティ	70	○		○	○		△	○	○	○	○	○			○
脱水	68	◎	○	◎	◎		○	△	○	◎	◎	◎		△	○
インフォーマルな支援	66	△						◎	△	○	△	◎			△
成長と発達	59	◎	○	△	◎		△	△	△		◎				◎
ターミナル期	52	◎	◎	◎	◎	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎
施設入所のリスク	47	◎	○	◎	◎		◎	○	◎	◎	◎	◎		△	○
検診・予防接種	44	○						◎	△	△	○	◎			○
経済・制度利用の選択	41			△	△			○		○	○	◎			△
人間のｾｸｼｭｱﾘﾃｨ	20	○		○	△		△	○	◎	○	○	◎		△	○
せん妄	19	◎	◎	◎	◎	△	◎	○	◎	◎	◎	◎		◎	◎
喫煙と飲酒	16			○	△		△		△	◎	△	◎			
身体抑制	15	◎	◎	○	◎		◎	△	○	○	◎	○			◎
虐待	7	△			◎		△		△	◎	△	△			△

第６章　事業の結果・考察

第6章　事業の結果・考察

1. 訪問看護のケア実態の枠組みと項目の選定

本事業では、まず、利用者の特性に応じたサービス内容や提供量、コスト等の実態について把握するため、以下の方法により整理と検討を行い、多様かつ複雑化している利用者像を明らかにし、膨大なケアの特徴を抽出・類型化するための枠組みと項目を選定した。

①過去研究等（他団体）についての整理・検討
②過去研究等（全国訪問看護事業協会）についての整理・検討
③医療機関における項目についての情報収集
④検討委員会・ワーキング委員会での検討

2. 訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステムの開発

１．で選定した枠組みと項目を用いて、訪問看護事業所が行っている利用者の特性に応じたケアの実態を集積し分析するため、各訪問看護事業所がインターネット上で事業所情報や職員情報、利用者の特性、利用者のニーズ、介入の内容、コスト、評価についての情報を入力するためのシステムを開発した。また、各訪問看護事業所が入力したデータを収集・集積するシステムを開発した。

3. 訪問看護事業所のケア実態収集・集積のための調査の実施

２．で開発したシステムを運用し、実際にデータを収集した。また、収集したデータを集計し活用するにあたって、システムにおける課題を把握した。

⑴ 調査の実施（事業所情報・職員情報・利用者情報）

機能強化型訪問看護管理療養費１または２を算定している 10 カ所の訪問看護事業所に対して平成 28 年 9 月 22 日に調査実施説明会を実施した。事業協力の同意を得て、平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日の 1 か月間、調査を実施した。

調査では、事業所情報の入力、職員情報の入力を行った。対象とする職員は事業所の職員全員で、209 名分の結果を得ることができた。

利用者情報、介入の内容、ニーズ、評価についての情報を入力する対象の利用者は、各事業所において、①がん末期の利用者、②がん以外の終末期の利用者、③神経難病、④脳血管疾患、⑤呼吸器疾患または循環器疾患、⑥小児、⑦精神疾患、⑧認知症の疾患・状態の利用者をそれぞれ５名程度、サービス開始が近い利用者から選んでもらった。（た

だし、11 月中の利用予定者で、医療保険・介護保険対象の在宅の利用者とした。）１事業所あたり、約 50 名を抽出してもらい、合計で 515 名分の結果を得ることができた。

⑵ 事業所自己評価の実施と結果

今年度調査対象の 10 事業所が、昨年度事業で開発を行った事業所自己評価システムを用い自己評価を行ったところ、１項目を除いた全ての項目で昨年度試行した訪問看護事業所の全国平均値より高値であった。また、10 事業所の全 39 項目の合計平均値は「103.2」で、全国平均値の「88.37」より「14.83」高かった。

⑶ 調査からわかったシステムの課題

データの保存／出力機能・アラート機能・グラフ化機能について、今後の運用にあたって検討していく必要がある課題があることが明らかになった。

4. 訪問看護事業所が目指す訪問看護サービス標準モデル提案に向けての利用者の特性別（疾患等別、介護者等別）分析及び考察

３．で収集したデータを用いて、利用者の特性別（疾患等別、介護者等別）に分析を行った。機能強化型訪問看護事業所 10 カ所の利用者 515 人を対象とした分析結果より、訪問看護事業所の利用者の特性に応じた訪問看護サービス標準モデル提案のための一定の成果が得られた。ここで、主な結果を整理し、考察を行う。

⑴ 疾患等別分析

医療保険対象の小児の利用者やがん末期の利用者が、報酬上でも評価される傾向があったが、本調査において介護保険対象が多いがん以外の終末期の利用者、認知症や脳血管疾患、循環器疾患、呼吸器疾患の利用者についても、利用者を支えるために必要な訪問看護ケアの実態を、量的に捉えることができたと考えられる。以下に、今回の調査・分析で得られた特徴的な内容を記す。

○６歳以下の小児の利用者に対しては、医療と生活どちらの面も支えられる支援と共に、成長・発達段階の知識に基づいた成長への支援を行っている実態が示された。

６歳以下の小児の利用者は、医療機器を使用している割合が 84.1%と約８割を占めており、１か月あたりの訪問回数は平均 10.9 回、訪問時間は平均 613.8 分であった。医療機器の管理等に頻回な介入・多くの時間が必要であった。

医療機器の管理以外にも、93.0%の利用者に家族支援を行っていたことから、家族支援にも手間がかかっていることがわかる。小児の利用者は、基本的に家族が医療的ケアを担うことになるため、訪問看護師は医療的ケア、緊急時の対応等についての指導を中

心に、精神的なサポートを含め、家族を支えるための様々な支援を積極的に行う必要がある。

また、小児特有と考えられる「成長と発達」のニーズがある利用者が 81.8%を占めていたが、そのうち 86.1%の利用者がニーズ解決していなくても状態を維持できていた。小児の利用者は、医療的ケアだけではなく、成長への支援も重要であるため、訪問看護師は医療と生活どちらの面も支えられる支援と共に、成長・発達段階の知識に基づいて介入していくことが必要であると考えられる。

○７歳～19 歳の小児の利用者に対しては、医療と生活どちらの面も支えられる支援と共に、成長・発達段階の知識に基づいて、利用者自身でできることを増やし、社会生活への行動拡大ができるようなセルフケア能力を高められる支援を行っている実態が示された。

７歳～19 歳の小児の利用者も、６歳以下の小児と同様に、医療機器を使用している割合が 84.0%と約８割を占めていた。しかし、１か月あたりの訪問回数は平均 6.3 回、訪問時間は平均 368.3 分であり、６歳以下の小児の利用者よりも低くなっている。理由として、利用者自身で行えることが多くなっていることや、学校に通うなど生活の場が広がり、訪問の機会が減ることなどが考えられる。

ニーズについては、全 37 個のニーズ項目のうち、平均 12.6 個のニーズをもっており、複数の多様なニーズをもっていることが示された。その中でも、「成長と発達」のニーズがある利用者が 76.0%を占めていたが、そのうち 94.7%の利用者がニーズ解決していなくても状態を維持できており、６歳以下の小児と同様に、訪問看護師は医療と生活どちらの面も支えられる支援と共に、成長・発達段階の知識に基づいて介入していくことが必要である。

また、「身体活動の推進」のニーズがある利用者が 80.0%を占めていたが、そのうち 95.0%の利用者が解決していなくても状態が維持していた。７歳～19 歳は小児から成人になる移行時期であり、家族からの援助を受けるだけではなく、自身でできることを増やしていくことや学校に通ったり他のサービスを使ったりなど、社会生活への行動拡大の支援も必要となる。そのため、訪問看護師は利用者自身でできることを増やすようなセルフケア能力を高められる関わりが必要であると考えられる。

○がん末期の利用者に対しては、「痛み」に着目し、改善できるように様々な介入を行うことが必要であり、身体的痛みへの緩和だけでなく、全人的痛みへの緩和につながる看護ケアを行っている実態が示された。

がん末期の利用者について、１か月あたりの訪問回数は平均 11.8 回、訪問時間が平均 629.6 分であり、頻回な訪問と多くの時間をかけていた。また、連絡対応を 84.2%の利用者に行っており、訪問以外にも積極的な介入を行うことで、利用者のターミナル期を支えている。また、訪問看護の診療報酬・介護報酬が平均 129,838.6 万円であり、他

の特性と比べて一番高かった。

「痛み」のニーズがある利用者が 65.8%を占めていたが、看護師によるニーズ評価において、そのうち 32.0%の利用者がニーズ解決されていた。また、利用者・家族による QOL の評価でもがん末期の全利用者のうち、23.7%の利用者の痛み（不快感）が改善していた。

訪問時には、薬剤の管理・指導を 84.2%の利用者に対して行っており、鎮痛剤や医療用麻薬を効果的に適切に使用することや、疾病や治療に関する説明・指導を 94.7%の利用者に対して行っており、利用者が現在の状況を理解し、受け止められるような関わりを行うこと等の介入を行っていたことがわかった。訪問看護師はがん末期の利用者の「痛み」に着目し、改善できるように様々な介入を行うことが必要であると考えられる。

また、「痛み」以外でも、「ターミナル期」のニーズがある利用者が 86.8%を占めていたが、そのうち 27.3%の利用者が解決していた。QOL 評価においても、「痛み」以外に、「訪問看護を利用する前に比べ身体が安定」が改善した利用者の割合が 31.6%であった。「痛み」の緩和とは、身体的痛みだけでなく、心理的・精神的、社会的、霊的な痛みと言われる全人的痛みへの緩和につながる看護ケアが実施されていると考えられる。

○がん以外の終末期の利用者に対しては、基本的な欲求を満たすための看護ケアを行いつつ、低栄養を原因とした褥瘡予防のためのケア提供に着目し、予防的介入を行っている実態が示された。同時に、徐々に悪化する身体状況に対応しつつ、少しでも安定した状態で過ごすための身体的、心理的・精神的、社会的な不安を含む全人的な看護ケアが提供されている実態が確認された。

90 歳代の利用者が 47.1%であり、要介護５の利用者が 76.5%、寝たきり度がランクＣの利用者が 70.6%、認知症高齢者の日常生活自立度がⅣの利用者が 64.7%であった。また、EQ-5D は 11 月時点で 0.286 だったものが、12 月時点で 0.304 に上昇しており、生活の質（QOL）が高まっていた。高齢で ADL の低い利用者が多いため、利用者の基本的な欲求を満たすための看護ケア（清潔・衣生活・食事／栄養・排泄・睡眠・環境整備／調整）が積極的に行われており、１回の訪問で様々なケアを行う傾向があった。

「褥瘡」のニーズがある利用者が 52.9%を占めていたが、そのうち 44.4%の利用者がニーズ解決されていた。がん以外の終末期の利用者は、寝たきり度がランクＣの利用者が 70.6%であり、64.7%の利用者に「低栄養」のニーズがあり、「褥瘡」の発生のリスクが高いものと推測される。食事や栄養のケアを平均 6.5 回、環境整備・調整を平均 4.9 回行っていることから、訪問看護師は基本的な欲求を満たすための看護ケアを行いつつ、褥瘡に着目し、予防も含めた介入をすることが必要であると考えられる。

「ターミナル期」のニーズがある利用者が 70.6%を占めていたが、そのうち介入により解決したのは 8.3%であった。しかし、66.7%の利用者がニーズ解決していなくても状態を維持できており、QOL 評価においても、「不安（ふさぎ込み）」が改善した利用者の割合が 29.4%であった。がん末期の利用者と比較して、徐々に悪化する身体状況に

対応しつつ、少しでも安定した状態で過ごすための身体的、心理的・精神的、社会的な不安への看護ケアが実施される必要があると考えられる。

がん末期の利用者と比較すると、両者ともに訪問回数は約 11 回であり、連絡対応を実施した割合は 88.2%で、がん末期の利用者 84.2%とほぼ同程度であった。しかし、訪問看護の診療報酬・介護報酬は平均 88,412.3 円で、がん末期の利用者の平均 125,977.4 円に比べて低かった。この差は、がん以外の終末期の利用者は介護保険対象が多いため、医療保険対象で対応するがん末期の利用者と比べ、機能強化型訪問看護管理療養費が算定できないことの影響が考えられる。また、がん末期の利用者に比べ、訪問看護で関わる期間が長く、終末期という時期がわかりにくいことによって、利用者や家族に説明と同意が必要なターミナルケア加算が算定しにくいことが影響している可能性が考えられる。

○神経難病の利用者に対しては、頻回な訪問と多くの時間の介入により、病状の進行をできるだけ遅らせ、状態を維持できるような看護ケア提供の実態が確認された。

寝たきり度がランクＣの利用者が 40.7%であった。また、「ADL」のニーズがある利用者が 84.7%を占めていたが、そのうち 92.0%の利用者が解決していなくても状態が維持していた。神経難病の利用者は、一般的に、ADL の改善は難しく、病状の進行をできるだけ遅らせ、状態を維持できるような介入が意義深いと考えられるが、それと一致した結果であったと考えられる。また、１か月あたりの訪問回数は平均 12.3 回、訪問時間が平均 732.2 分であったことから、状態維持のためには頻回な介入・多くの時間が必要であった。

○脳血管疾患の利用者に対しては、セルフケア能力を高め、身体機能の低下を予防する看護ケアが、状態の維持のために提供されていた。

要介護５の利用者は 32.8%であった。「ADL」のニーズがある利用者は 90.2%、「身体活動の推進」は 70.5%、「健康管理・セルフケア」は 54.1%であり、介入により解決していなくても「状態が維持」した利用者は、それぞれ 89.1%、90.7%、90.9%であった。

要介護度が高くても、セルフケア能力を高め、身体機能の低下を予防する訪問看護の介入が、状態の維持のためには必要であると考えられる。

○呼吸器疾患または循環器疾患の利用者に対しては、肺炎予防等の予防的関わりや心肺機能を維持向上するための呼吸訓練等のリハビリテーションなどの看護ケアが、実態として提供されていた。

「心肺機能」のニーズがある利用者が 78.2%であり、介入により解決していなくても「状態が維持」した利用者が 85.2%であった。

このような利用者が在宅療養を継続し、安定的に生活するためには、肺炎予防等の予

防的関わりや心肺機能を維持向上するための呼吸訓練等のリハビリテーションなどの訪問看護の介入が必要であると考えられる。

○精神疾患の利用者に対しては、健康管理や睡眠という身体的なニーズへの看護ケアとともに、社会生活への不安を聞き取り、それを解消することで自信を持たせ、生活が送れるようにするための看護ケアが提供されていた。

「気分」のニーズがある利用者は 82.8%、「社会関係」は 65.5%、「健康管理・セルフケア」は 86.2%、「睡眠」は 44.8%であり、介入により解決していないが「状態が維持」した利用者は、それぞれ 75.0%、94.7%、72.0%、69.2%であった。また、QOL 評価では、「普段の活動（仕事、勉強、家族、余暇活動）」24.1%、「痛み（不快感）」27.6%、「不安（ふさぎ込み）」34.5%、「訪問看護を利用する前に比べ自信がついた」37.9%の利用者が改善しており、様々な QOL が改善していた。また、１か月あたりの訪問回数は平均 4.5 回、訪問時間が平均 254.5 分であった。

精神疾患の利用者が安心して在宅生活を継続するためには、健康管理や睡眠という身体的なニーズへの介入とともに、社会生活への不安を聞き取り、それを解消して自信を持たせ、生活が送れるようにする支援をすることで QOL は改善する。また、在宅で生活している期間によっても異なるとは思われるが、頻回な訪問でなくとも、その利用者のニーズに沿った看護ケアが提供できれば、週 1 回程度、1 回 1 時間程度の訪問で効果が期待できると考えられる。

○認知症の利用者に対しては、認知症症状や対応方法を正しく理解したうえで、その利用者に合わせた対応、健康維持やセルフケア能力を維持・向上させることにより、認知低下や周辺症状を予防する看護ケアが提供されていた。

要介護５の利用者が 30.2%、寝たきり度がランク C の利用者が 35.8%であった。「認知低下」のニーズがある利用者は 71.7%、「健康管理・セルフケア」は 58.5%であり、介入により解決していないが「状態が維持」した利用者は、それぞれ 84.2%、87.1%であった。また、訪問介護の併用が 47.2%と疾患等別分析の利用者の中で最も多かった。

認知症の利用者に対しては、認知症症状や対応方法を正しく理解したうえで、その利用者に合わせた対応が重要である。同時に健康維持やセルフケア能力を維持・向上させることにより、認知低下や周辺症状を予防することが可能となるため、このような介入が必要である。

⑵ 介護者等別分析

一般的に、主介護者や同居者の有無は、在宅療養を継続するための要件として影響が大きいと考えられる。本調査において、訪問看護事業所の利用者で主介護者がいない利用者および独居の利用者を支えるために必要な訪問看護ケアの特徴的な実態を、量的に

捉えることができたと考えられる。以下に、今回の調査・分析で得られた特徴的な内容を記す。

○主介護者がいない利用者に対しては、ADL の維持への支援とともに、生活面に着目した関わりや、訪問介護との連携（情報共有・介護職員への指導等）による支援が提供されている実態が示された。

主介護者がいない利用者は 56.4%が訪問介護を併用しており、主介護者がいる利用者の 32.6%よりも高かった。また、「ADL」のニーズがある利用者が 56.4%であったが、100%の利用者が解決していなくても状態を維持できていた。主介護者がいない利用者は ADL 維持への支援とともに、家事等の生活面での支援を頻回に受ける必要があるため、訪問介護を併用していたと考えられる。訪問看護師は生活面に着目した関わりや、訪問介護との連携（情報共有・介護職員への指導等）による支援が必要であると考えられる。

○独居の利用者に対しては、生活面に着目した関わりや、訪問介護との連携（情報共有・介護職員への指導等）による支援とともに、薬剤の管理や指導を看護師が主導して支援している実態が確認された。

独居である利用者は 66.7%が訪問介護を併用しており、独居ではない利用者の 23.7%よりも高かった。また、薬剤の管理・指導の介入回数について、独居である利用者は平均 5.6 回であり、独居ではない利用者の平均 3.1 回より多かった。独居の利用者は薬剤の管理が難しく、そのための介入が訪問看護で必要であったと考えられる。主介護者がいない利用者と同様に、訪問介護との連携が必要であると考えられるが、特に薬剤の管理・指導については、訪問看護師が主導で支援していく必要があると考えられる。

5. 訪問看護事業所が目指す訪問看護サービス標準モデル提案に向けての利用者の特性別（ニーズ別）分析及び考察

３．で収集したデータを用いて、利用者の特性別（ニーズ別）に分析を行った。機能強化型訪問看護事業所 10 カ所の利用者 515 人を対象とした分析結果より、訪問看護事業所の利用者のニーズに応じた訪問看護サービス標準モデル提案のための一定の成果が得られたので考察する。

本調査により、利用者が有するニーズ別に介入内容、介入回数、介入による解決状況を把握することができた。ただし、一人の利用者に複数のニーズが該当すること、訪問時の介入内容が毎回同じではなく異なる場合があることなどから、選ばれたニーズに対して直接的に介入された内容を今回のシステムで把握することは難しかった。

しかし、227 ページでは、介入率の 70%以上を◎、60%～70%未満を○、50%～60%未満を△、50%未満を空白で示しているが、どのニーズに対しても多くの看護ケアを

50%以上提供していることがわかる。また、このデータは、事業所自己評価の実施結果（第 4 章第 3 節）で示すように、全 39 項目中 1 項目を除いた全ての項目で全国平均値より高値であり、合計平均値は全国の「88.37」に対して「103.2」と 15 点程度高い評価ができる 10 か所の機能強化型訪問看護事業所の調査結果である。つまり、標準よりも高いレベルの事業所の調査から導き出した結果と考えることができるため、一般的な訪問看護事業所が目指すべき訪問看護サービス標準モデルの一案として提示できると考える。

6. 本調査の課題

今回は、調査対象の訪問看護事業所の種類（機能強化型）と量（10 事業所）及び利用者数（515 名）が限られた中での分析になったが、一定の成果が得られたところである。今後は調査対象の種類や量をより大きくすることで、『訪問看護の見える化』を検討するための分析と、より一般的な標準モデルが検討できると考えられる。

本調査におけるアウトカムは、訪問看護の介入だけのアウトカムというわけではなく、他の介護保険・医療保険・障害者等のサービスの介入すべてのアウトカムと考えられる。現実的には、訪問看護だけで在宅療養を支えている利用者は少なく、利用者や家族を中心に多くのサービスや職種がチームとなって活動している。そのような中、チーム内での訪問看護師の役割を把握し、他職種との連携を行いながら、看護の専門性を発揮できる介入を模索する必要がある。また、今回の調査では、調査期間を 1 か月間とし、その前後で状態の変化等を把握したが、調査期間前からの看護介入がアウトカムに影響していることを考慮する必要がある。さらに、今回の調査では、調査期間を 1 か月間としているが、それが最適とはいえず、状態の変化を把握するためには、どの程度の期間で評価すべきか、引き続き検討することが求められる。

上記の点を踏まえて、今後、システムおよび運用方法や調査方法を改善したうえで、多くの訪問看護事業所に協力いただき、一定期間、データを蓄積していくことで、調査対象の種類と量の限界という課題を解決でき、より正確な標準モデルの検討を行うためのデータ収集が可能となると考えられる。本調査は入力項目が多く、回答事業所の負担が大きかったという意見もあったことから、入力項目を厳選していくための検討も必要であると考えられる。そのことにより、今回示した「訪問看護事業所が目指す訪問看護サービス標準モデル」の精度が高まり、多くの訪問看護事業所の指針として活用されることにつながる。

また、各事業所が、自事業所のデータを蓄積・分析することで、事業所ごとの標準モデルを検討し、自事業所の評価を行うためにデータを活用することも有用なものとなり、訪問看護の質を高めるための一助となる。

参考資料

訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステム項目

調査実施説明会資料

訪問看護事業所のケア実態収集・集積のためのシステム
枠組みと大項目一覧表

	枠組み	内容	調査時期	大項目	
ストラクチャー	(1)事業所情報	事業所の基本的な情報	調査開始時と調査終了時	1.事業開始年月日 2.法人等種別 3.併設施設・事業の有無 4.緊急時訪問看護加算（介護保険） 5.特別管理加算（介護保険） 6.看護体制強化加算（介護保険） 7.サービス提供体制強化加算（介護保険） 8.ターミナルケア加算（介護保険） 9.精神科訪問看護基本療養費（医療保険）	10.24時間体制加算（医療保険） 11.特別管理加算（医療保険） 12.機能強化型訪問看護管理療養費（医療保険） 13.訪問看護基本療養費注２及び注４に規定する専門の研修を受けた看護師（医療保険） 14.医療保険 15.介護保険（要支援） 16.介護保険（要介護）
	(2)職員情報	個々の職員の基本的な情報	調査開始時	1.職員番号 2.性別 3.当該ステーションでの勤務経験 4.勤務形態区分 5.届出常勤換算数 6.主たる資格種類 7.保有資格種類 8.認定看護師の専門分野	9.専門看護師の専門分野 10.認定看護管理者の認定 11.看護職経験年数（入職時） 12.医療機関における看護職経験年数（入職時） 13.訪問看護職経験年数（入職時） 14.小児科病棟での勤務経験（入職時） 15.精神科病棟での勤務経験（入職時） 16.精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師
	(3)利用者情報	疾患や状態（ステージ）、処置（加算）介護度、家族介護力、利用している他のサービス等	調査開始時と調査終了後また、変更があった都度修正する	1.主担当看護師番号 2.利用者番号 3.調査時点での年代 4.性別 5.保険種別 6.生活保護法による公費負担医療の有無 7.居住形態 8.家族形態（同居） 9.主介護者 10.（主介護者で01～10を回答した場合）主な介護者との同居状況 11.副介護者 12.家族構成 13.家族介護力 14.希望する療養場所（利用者） 15.希望する療養場所（家族） 16.ターミナル期かどうか 17.（ターミナル期の場合）希望する看取りの場所（利用者） 18.（ターミナル期の場合）希望する看取りの場所（家族） 19.加算算定状況（10月の状況） 20.別表８ 21.（04留置カテーテル使用の場合）留置カテーテルの種類	22.サービス利用開始年月日 23.利用前の状況 24.依頼者 25.サービス終了年月日 26.（サービス終了の場合）終了理由・入所（院）の状況 27.要介護度 28.障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 29.認知症高齢者の日常生活自立度 30.認知症に伴う危険行動の可能性 31.主疾患 32.副疾患 33.別表７に該当する疾病・状態の有無 34.医療機器等の使用有無 35.（医療機器等の使用の場合）医療機器等の使用状況 36.他の訪問看護事業所との併用 37.他に併用している介護保険サービス 38.他に併用している医療保険サービス 39.特別訪問看護指示書が出されているか 40.他に併用している自立支援法によるサービス 41.インフォーマルなサポート体制の有無（該当者のみ回答） 42.別表７の末期悪性腫瘍の利用者のケアプランが変更された回数 43.（退院直後の利用者）退院調整に係る回数・時間
プロセス	(4)利用者のニーズ	利用者のニーズの選択とニーズに対してどのような視点があるか。 01 QOLの向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	調査開始時点及び計画変更時	1.身体活動の推進 2.IADL 3.ADL 4.住環境の改善 5.施設入所のリスク 6.身体抑制 7.認知低下 8.せん妄 9.コミュニケーション 10.気分 11.行動 12.虐待 13.アクティビティ 14.インフォーマルな支援 15.社会関係 16.転倒 17.痛み 18.褥瘡 19.心肺機能	20.低栄養 21.脱水 22.胃ろう 23.検診・予防接種 24.適切な薬剤使用 25.喫煙と飲酒 26.尿失禁 27.便通 28.健康管理・セルフケア 29.感染・発熱の徴候 30.医療的処置や器材 31.家族介護力・家族機能 32.ターミナル期 33.成長と発達 34.睡眠 35.清潔 36.経済・制度利用の選択や変更・拡大 37.人間のセクシュアリティ
	(5)介入（訪問時）	訪問時実施している行為	訪問の都度	1.訪問者番号（職員番号） 2.内容 3.訪問時間 4.複数名訪問の有無 5.病状の観察 6.清潔のケア・指導 7.衣生活のケア・指導 8.食事や栄養のケア・指導 9.排泄のケア・指導 10.睡眠のケア・指導 11.環境整備・調整	12.リハビリテーション 13.疾病や治療に関する説明・指導（実施含む） 14.薬剤の管理・指導（介助含む） 15.医療処置の管理・実施・指導 16.精神的援助 17.意思決定支援 18.ターミナルケア 19.介護相談 20.家族支援 21.その他（安否確認等） 22.グリーフケア
	(6)介入（訪問以外）	電話・サービス担当者会議等	対応の都度	1.訪問者番号（職員番号） 2.内容 3.時間 4.対応方法 5.対象者 6.連絡対応の内容	7.その後の対応 8.会議等の内容 9.ステーションからの出席者 10.サマリー作成理由 11.その他の内容
アウトカム	(7)診療報酬・介護報酬	1か月間その利用者にかかる訪問看護のコスト（費用）	12月11日まで	介入（訪問時間・回数や加算等）の情報から計算する。 加えて、レセプトをPDFで取り込む。	
	(8)評価１	利用者ニーズの解決	計画の修正時と調査終了時	利用者ニーズで選択したニーズについて、以下を選択・入力する。 01 介入により解決した（ニーズの終了） 02介入したが解決していない 01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	利用者ニーズで選択した視点について、 01 QOLの向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他 訪問看護の関わりにより考えられた効果の有無を選択・入力する。
	(9)評価２	QOL調査（EQ-5D）	調査開始時と調査終了時	1.移動の程度 2.身の回りの管理 3.普段の活動（仕事、勉強、家族・余暇活動） 4.痛み／不快感	5.不安／ふさぎ込み 6.身体の状態が安定／苦痛・症状が和らいだ 7.不安や困ったことが軽減した 8.自宅での生活に自信をもつことができた

（１）事業所情報

＜基本情報＞

No	内容	確認事項
1.	事業開始年月日	西暦（　　　）年（　　　）月（　　　）日
2.	法人等種別	01 市町村 02 広域連合 03 日本赤十字社 04 医療法人 05 看護協会 06 医師会 07 社団・財団法人（医師会・看護協会除く） 08 社会福祉協議会 09 社会福祉法人（社協以外） 10 農業協同組合及び連合会 11 消費者生活協同組合及び連合会 12 営利法人 13 特定非営利活動法人（ＮＰＯ） 14 その他の法人（　　　　）
3.	併設施設・事業の有無 （複数回答）	01 あり　02 なし （01 ありの場合） 01 病院 02 診療所 03 介護老人保健施設 04 特別養護老人ホーム 05 訪問介護事業所 06 通所介護事業所 07 小規模多機能型居宅介護事業所 08 看護小規模多機能型居宅介護事業所 09 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 10 居宅介護支援事業所 11 その他（　　　　　　　　　　　）

＜加算届出状況＞

No	内容	確認事項
4.	緊急時訪問看護加算（介護保険） （10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
5.	特別管理加算（介護保険） （10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
6.	看護体制強化加算（介護保険） （10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
7.	サービス提供体制強化加算（介護保険）（10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
8.	ターミナルケア加算（介護保険） （10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
9.	精神科訪問看護基本療養費（医療保険）（10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
10.	24 時間体制加算（医療保険） （10 月 1 日の状況）	01 あり（01 24 時間対応体制加算 02　24 時間連絡体制加算） 02 なし
11.	特別管理加算（医療保険） （10 月 1 日の状況）	01 あり　02 なし
12.	機能強化型訪問看護管理療養費（医療保険）（10 月 1 日の状況）	01 あり（01 機能強化型訪問看護管理療養費１ 02 機能強化型訪問看護管理療養費２） 02 なし
（22.01 ありの場合）		
	直近１年間における、ターミナルケア療養費の算定件数	（　　　）件
	直近１年間における、ターミナルケア加算の算定件数	（　　　）件
	直近１年間における、在宅で死亡した利用者のうち保険医療機関で在宅がん医療総合診療料を算定した利用者数	（　　　）人
	直近１年間における、各月の超重症児の利用者数の合計	（　　　）人
	直近１年間における、各月の準超重症児の利用者数の合計	（　　　）人
	直近１年間における、各月の別表７の該当利用者数の合計	（　　　）人
13.	訪問看護基本療養費注２及び注４に規定する専門の研修を受けた看護師（医療保険）（10 月 1 日の状況）	01 あり（01 緩和ケアに係る専門の研修 02 褥創ケアに係る専門の研修） 02 なし

＜利用者全体の状況＞

No	内容	確認事項
14.	医療保険（10 月中の状況）	実人数（　　　）人　延べ訪問回数（　　　）回
15.	介護保険（要支援）（10 月中の状況）	実人数（　　　）人　延べ訪問回数（　　　）回
16.	介護保険（要介護）（10 月中の状況）	実人数（　　　）人　延べ訪問回数（　　　）回

（２）職員情報

＜基本情報＞

No	内容	確認事項	
	職員区分	01 看護職員等 02 事務職員等 03 その他	⇒01 選択の場合、職員番号から全項目を表示 ・02・03 選択の場合、職員番号から届出常勤換算数までを表示
1.	職員番号	【英数字のみ】	
2.	性別	01 男性 02 女性	
3.	当該ステーションでの勤務経験	（　　）年（　　）か月	
4.	勤務形態区分	01 常勤専従 02 常勤兼務 03 非常勤専従 04 非常勤兼務	
5.	届出常勤換算数	01　１人 02　０．９人 03　０．８人 04　０．７人 05　０．６人 06　０．５人 07　０．４人 08　０．３人 09　０．２人 10　０．１人	
6.	主たる資格種類	01 看護師 02 准看護師 03 保健師 04 助産師 05 理学療法士 06 作業療法士 07 言語聴覚士 08 精神保健福祉士	

No	内容	確認事項	
7.	保有資格種類 （複数回答）	01 看護師 02 准看護師 03 保健師 04 助産師 05 養護教諭 06 介護支援専門員 07 呼吸療法士理学療法士 08 作業療法士 09 言語聴覚士 10 介護福祉士 11 精神保健福祉士社会福祉士 12 ホームヘルパー 13（管理）栄養士 14 歯科衛生士	
8.	認定看護師の専門分野 （複数回答）	01 あり　02 なし	
		（01 ありの場合） 01 訪問看護 02 救急看護 03 皮膚・排せつケア 04 集中ケア 05 緩和ケア 06 がん化学療法看護 07 がん性疼痛看護 08 感染管理 09 糖尿病看護 10 不妊症看護 11 新生児集中ケア 12 透析看護 13 手術看護 14 乳がん看護 15 摂食・嚥下障害看護 16 小児救急看護 17 認知症看護 18 脳卒中リハビリテーション看護 19 がん放射線療法看護 20 慢性呼吸器疾患看護 21 慢性心不全看護	

No	内容	確認事項	
9.	専門看護師の専門分野 （複数回答）	01 あり　02 なし （01 ありの場合） 01 在宅看護 02 地域看護 03 がん看護 04 精神看護 05 老人看護 06 小児看護 07 母性看護 08 慢性疾患看護 09 急性・重症患者看護 10 感染症看護 11 家族支援看護	
10.	認定看護管理者の認定	01 あり　02 なし	
11.	看護職経験年数（入職時）	（　　　）年（　　　）か月	
12.	医療機関における看護職経験年数 （入職時）	（　　　）年（　　　）か月	
13.	訪問看護職経験年数（入職時）	（　　　）年（　　　）か月	
14.	小児科病棟での勤務経験（入職時）	01 あり　02 なし	
15.	精神科病棟での勤務経験（入職時）	01 あり　02 なし	
16.	精神科訪問看護基本療養費算定要件届出看護師	01 はい　02 いいえ	

5

（３）利用者情報

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
1.	主担当看護師番号	【英数字のみ】	

＜基本情報＞

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
2.	利用者番号	【英数字のみ】	
3.	調査時点での年齢	01　０～３歳 02　４～６歳 03　７～９歳 04　１０歳代 05　２０歳代 06　３０歳代 07　４０歳代 08　５０歳代 09　６０歳代 10　７０歳代 11　８０歳代 12　９０歳代 13　１００歳以上	
4.	性別	01 男性　　02 女性	
5.	保険種別	01 医療保険　⇒SQ あり 02 介護保険 03 その他（公害・原爆・労災・障害他） ⇒（01 医療保険を選択した場合） 001　訪問看護基本療養費 002　精神科訪問看護基本療養費	SQ あり
6.	生活保護法による公費負担医療の有無	01 あり　02 なし	

6

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
7.	居住形態	01 自宅（サービス付高齢者専用住宅除く） 02 サービス付高齢者専用住宅 03 グループホーム（障害・認知症） 04 有料老人ホーム 05 その他	
8.	家族形態（同居） （複数回答）	01 配偶者 02 子 03 子の配偶者 04 孫 05 孫の配偶者 06 本人の父母 07 配偶者の父母 08 祖父母 09 兄弟・姉妹 10 その他 11 いない	
9.	主介護者	01 配偶者 02 子 03 子の配偶者 04 孫 05 孫の配偶者 06 本人の父母 07 配偶者の父母 08 祖父母 09 兄弟・姉妹 10 その他 11 いない	SQ あり 10 へ
10.	9.主介護者で 01～10 を回答した場合 主な介護者との同居状況	01 同居 02 別居	9.の SQ

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
11.	副介護者 （複数回答）	01 配偶者 02 子 03 子の配偶者 04 孫 05 孫の配偶者 06 本人の父母 07 配偶者の父母 08 祖父母 09 兄弟・姉妹 10 その他 11 いない	
12.	家族構成	01 独居 02 日中独居 03 高齢者世帯 04 その他	
13.	家族介護力	01 積極的に介護できる 02 依頼した内容ができる 03 見守り程度であればできる 04 できない、やらない	
14.	希望する療養場所（利用者）	01 自宅 02 病院・診療所 03 介護施設 04 未定 05 不明 06 その他（　　　　）	
15.	希望する療養場所（家族）	01 自宅 02 病院・診療所 03 介護施設 04 未定 05 不明 06 その他（　　　　）	
16.	ターミナル期かどうか（医師が 6 か月以内と判断）	01 はい⇒SQ あり 02 いいえ	SQ あり 17・18 へ

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
17.	16.ターミナル期がどうかで 01 はいと回答した場合 希望する看取りの場所（利用者）	01 自宅 02 病院・診療所 03 介護施設 04 未定 05 不明 06 その他（　　　　　）	16.の SQ
18.	16.ターミナル期がどうかで 01 はいと回答した場合 希望する看取りの場所（家族）	01 自宅 02 病院・診療所 03 介護施設 04 未定 05 不明 06 その他（　　　　　）	16.の SQ
19.	加算算定状況 （10 月の状況） （複数回答）	01 緊急時訪問看護加算（介護） 02 特別管理加算 I （介護） 03 特別管理加算 II （介護） 04 ターミナルケア加算（介護） 05 24 時間対応体制加算（医療） 06 特別管理加算 5,000 円（医療） 07 特別管理加算 2,500 円（医療） 08 訪問看護ターミナル療養費（医療）	・11 月に利用したサービスについて、12 月に調査する

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
20.	別表 8（10 月の状況） （複数回答）	01 在宅悪性腫瘍患者指導管理を受けている状態 02 在宅気管切開患者指導管理を受けている状態 03 気管カニューレ使用している状態 04 留置カテーテル使用している状態⇒SQ あり 05 在宅自己腹膜灌流指導管理を受けている状態 06 在宅血液透析指導管理を受けている状態 07 在宅酸素療法指導管理を受けている状態 08 在宅中心静脈栄養法指導管理を受けている状態 09 在宅成分栄養経管栄養法指導管理を受けている状態 10 在宅自己導尿指導管理を受けている状態 11 在宅人工呼吸指導管理を受けている状態 12 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理を受けている状態 13 在宅自己疼痛管理指導管理を受けている状態 14 在宅肺高血圧症患者指導管理を受けている状態 15 人工肛門を設置している状態 16 人工膀胱を設置している状態 17 真皮を越える褥瘡の状態 18 点滴注射を週 3 回以上行う必要があると認められる状態、もしくは、在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している	SQ あり 21 へ
21.	20.別表 8 で 04 留置カテーテル使用を選択した場合 留置カテーテルの種類（複数回答）	01 胃チューブ留置（経鼻・胃ろう） 02 腹膜透析 03 膀胱留置カテーテル 04 PTCD など（種々ドレーンなどの留置） 05 輸液用ポート 06 数日間継続的に行っているサーフローによる点滴 07 その他（　　　　　　　　）	20.の SQ

＜利用開始・終了時の状況＞

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
22.	サービス利用開始年月日	西暦（　　　）年（　　　）月（　　　）日	
23.	利用前の状況	01 自宅 02 医療機関入院 03 介護老人福祉施設入所 04 介護老人保健施設入所 05 介護療養型医療施設入院 06 不明 07 その他（　　　　　）	
24.	依頼者	01 本人・家族 02 介護支援専門員 03 病院医師 04 診療所医師 05 医療機関看護師 06 医療機関 MSW 07 行政機関 08 地域包括支援センター 09 介護施設 10 その他（　　　　　）	
25.	サービス終了年月日	西暦（　　　）年（　　　）月（　　　）日	SQ あり 26 へ
26.	25. サービス終了年月日の回答がある場合 終了理由・入所（院）の状況	01 軽快・不変 02 医療機関入院 03 入所（介護施設） 04 死亡（自宅） 05 死亡（医療機関） 06 その他（　　　　　）	25.の SQ

＜要介護度や日常生活自立度、疾患等の状況＞

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
27.	要介護度	01 申請中 02 要支援 1 03 要支援 2 04 要介護 1 05 要介護 2 06 要介護 3 07 要介護 4 08 要介護 5 09 なし	
28.	障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）	01 生活自立（ランク J） 02 準寝たきり（ランク A） 03 寝たきり（ランク B） 04 寝たきり（ランク C）	
29.	認知症高齢者の日常生活自立度	01 なし 02 Ⅰ（日常生活ほぼ自立） 03 Ⅱ（注意していれば可能） 04 Ⅲ（困難さ多少あり、介護要す） 05 Ⅳ（困難さ頻繁、常に介護必要） 06 M（専門医療要す） 07 不明	
30.	認知症に伴う危険行動の可能性	01　高い　02　普通　03　低い	

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
31.	主疾患	01 悪性新生物 02 感染症 03 中毒・外傷など 04 脳血管疾患 05 循環器疾患 06 呼吸器疾患 07 消化器疾患 08 筋・骨格系疾患 09 内分泌疾患 10 泌尿器・腎疾患 11 皮膚疾患 12 神経難病 13 その他の難病 14 精神疾患（認知症除く） 15 認知症 16 心身障害 17 その他（　　　　　　　　）	
32.	副疾患 （複数回答）	01 悪性新生物 02 感染症 03 中毒・外傷など 04 脳血管疾患 05 循環器疾患 06 呼吸器疾患 07 消化器疾患 08 筋・骨格系疾患 09 内分泌疾患 10 泌尿器・腎疾患 11 皮膚疾患 12 神経難病 13 その他の難病 14 精神疾患（認知症除く） 15 認知症 16 心身障害 17 その他（　　　　　　　　）	

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
33.	別表７に該当する疾病・状態の有無 （複数回答）	01 末期の悪性腫瘍 02 多発性硬化症 03 重症筋無力症 04 スモン 05 筋委縮性側索硬化症 06 脊髄小脳変性症 07 ハンチントン病 08 進行性筋ジストロフィー症 09 パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底各変性症、パーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ３以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る。）） 10 多系統委縮症（線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳委縮症、シャイ・ドレーガー症候群） 11 プリオン病 12 亜急性硬化性全脳炎 13 ライソゾーム病 14 副腎白質ジストロフィー 15 脊髄性筋萎縮症 16 球脊髄性筋委縮症 17 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 18 後天性免疫不全症候群 19 頸髄損傷	
34.	医療機器等の使用有無	01 あり⇒SQ 02 なし	SQ あり 35 へ
35.	医療機器等の使用状況 （複数回答）	01 経管栄養（胃瘻を含む） 02 中心静脈栄養 03 自己注射 04 自己導尿 05 膀胱留置カテーテル 06 膀胱瘻・腎瘻 07 人工肛門・人口膀胱 08 透析 09 ドレナージチューブ 10 気管切開	34.の SQ

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
		11 吸引 12 吸入 13 人工呼吸器 NIPPV 14 人工呼吸器 TIPPV 15 酸素療法 16 その他（　　　　）	

＜他のサービス等の利用状況＞

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
36.	他の訪問看護事業所との併用 （当該ステーション除く）	01 あり 02 なし	・SQ あり
		⇒（01 ありを選択した場合） 事業所数　（　　　）か所 合計訪問件数（　　　）件	
37.	他に併用している介護保険サービス （10 月中の状況） （複数回答）	01 訪問介護　（　）回（　　）時間 02 訪問入浴 03 訪問看護 04 訪問リハビリ 05 夜間対応型訪問介護 06 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 07 通所介護 08 通所リハビリ 09 療養通所介護 10 認知症対応型通所介護 11 短期入所生活介護　（　）日 12 短期入所療養介護　（　）日 13 福祉用具貸与 14 特定福祉用具販売 15 居宅療養管理指導⇒SQ あり	・SQ あり ・11 月に利用したサービスについて、12 月に調査する
		⇒（15 居宅療養管理指導を選択した場合） 001 医師 002 歯科医師 003 薬剤師 004 管理栄養士 005 歯科衛生士	

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
38.	他に併用している医療保険サービス （10 月中の状況） （複数回答）	01 訪問診療 02 訪問看護 03 訪問歯科 04 通院 05 薬剤師の訪問 06 医療機関のリハビリ 07 訪問リハビリ 08 往診（　　）回 09 入院（　　）日 10 その他（　　　　　　　）	・11 月に利用したサービスについて、12 月に調査する
39.	特別訪問看護指示書が出されているか	01 はい 02 いいえ	
40.	他に併用している自立支援法によるサービス （10 月中の状況）	※自由記述	・自由記述 ・11 月に利用したサービスについて、12 月に調査する
41.	インフォーマルなサポート体制の有無	01 あり 02 なし	
42.	※該当者のみ 別表 7 の末期悪性腫瘍の方のケアプランが変更された回数 （10 月中の状況）	01 あり　（　　　）回 02 ケアプラン変更なし 03 介護保険の利用なし	11 月の状況について、12 月に調査する
		（補足） ・「ケアプラン変更回数」とは、訪問看護に関する変更だけでなく、あらゆるケアプランの変更回数。 ・ケアプランにおいて、目標、サービス種目、サービスにおける内容の変更等、ケアプランを少しでも変更したい場合は必ず、サービスを提供している担当者全員によるサービス担当者会議が必要となる。（※開催しない場合は、ケアマネジャーが減算となる） ・ただし、変更しようとする該当サービス担当者は必ず会議に出席する必要はあるものの、その他の担当者については、サービス担当者会議前にケアマネジャーが意見を聴取して記録しておくことで「欠席」も認められる。	
43.	※該当者のみ 退院直後の利用者 退院調整に係る回数・時間※1	（　　　）回　（　　　）時間	

（４）利用者のニーズ

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
1.	身体活動の推進	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
2.	IADL	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
3.	ADL	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
4.	住環境の改善	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
5.	施設入所のリスク	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
6.	身体抑制	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
7.	認知低下	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
8.	せん妄	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
9.	コミュニケーション	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
10.	気分	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
11.	行動	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
12.	虐待	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
13.	アクティビティ	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
14.	インフォーマルな支援	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
15.	社会関係	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
16.	転倒	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
17.	痛み	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
18.	褥瘡	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
19.	心肺機能	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
20.	低栄養	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
21.	脱水	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
22.	胃ろう	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
23.	検診・予防接種	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
24.	適切な薬剤使用	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他
25.	喫煙と飲酒	01 あり 02 なし	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05　希望に沿った看取り 06　その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
26.	尿失禁	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
27.	便通	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
28.	健康管理・セルフケア	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
29.	感染・発熱の徴候	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
30.	医療的処置や器材	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
31.	家族介護力・家族機能	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
32.	ターミナル期	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
33.	成長と発達	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
34.	睡眠	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
35.	清潔	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他

No	内容	確認事項	「01 あり」の場合、どのような視点で選んだか。（上位２つまで選択可）
36.	経済・制度利用の選択や変更・拡大	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他
37.	人間のセクシュアリティ	01 あり 02 なし	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他

（５）介入（訪問時）

No	大項目	小項目
1.	訪問者番号（職員番号）	【テキスト】
2.	内容	01 定期訪問（介護保険） 02 定期訪問（医療保険） 03 定期訪問（その他） 04 緊急訪問（介護保険） 05 緊急訪問（医療保険） 06 緊急訪問（その他） 07 その他の訪問
3.	訪問日時	（ ）月（ ）日 （ ）時（ ）分 ～ （ ）時（ ）分
4.	複数名訪問	01 あり　02 なし 01 看護師 02 保健師 03 助産師 04 准看護師 05 理学療法士 06 作業療法士 07 言語聴覚士 08 精神保健福祉士 09 看護助手
5.	病状の観察	
6.	清潔のケア・指導	
7.	衣生活のケア・指導	
8.	食事や栄養のケア・指導	
9.	排泄のケア・指導	
10.	睡眠のケア・指導	
11.	環境整備・調整	
12.	リハビリテーション ※実施者を選択（看護職員/リハビリ職員）	01 身体機能リハビリテーション 02 呼吸リハビリテーション 03 嚥下リハビリテーション 04 言語訓練 05 作業療法 06 リラクゼーション法 07 マッサージ（リンパマッサージ含む） 08 その他のリハビリテーション
13.	疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）	
14.	薬剤の管理・指導（介助含む）	

No	大項目	小項目
15.	医療処置の管理・実施・指導	01 カテーテルの管理 02 医療機器の管理 03 排泄処置 04 皮膚処置 05 褥瘡・創傷部の処置 06 吸引・吸入 07 注射・点滴・ＩＶＨ 08 麻薬等の管理 09 検査 10 その他の医療処置
16.	精神的援助	
17.	意思決定支援	
18.	ターミナルケア	
19.	介護相談	
20.	家族支援	
21.	その他（安否確認等）	自由記載
22.	グリーフケア	

（補足）

● 訪問中の主治医・他機関との連絡調整については「介入（訪問以外）」に記載する。

（6）介入（訪問以外）

＜訪問以外の介入内容＞

No	大項目	小項目	備考
1.	対応者番号（職員番号）	【テキスト】	
2.	内容	01 連絡対応（事務連絡除く） 02 当該利用者に関する会議等 03 サマリーの作成 04 その他	2.～7. 8.～10. 11.～12. 13.～14.
（01 連絡対応）			
4.	対応方法	01 電話 02 ファックス 03 メール 04 その他（　　　　）	
3.	日時	（ ）月（ ）日 （ ）時（ ）分 ～ （ ）時（ ）分	
5.	対象者	（対象者） 01 利用者 02 家族 03 主治医 04 主治医以外の医師 05 他の訪問看護事業所 06 医療機関（医師以外） 07 薬剤師 08 介護支援専門員 09 地域包括支援センターの職員 10 介護職員 11 その他	SQ あり 01・02 は 5 へ 01・02 以外は 6 へ
6.	4.対象者で「01 利用者」もしくは「02 家族」を選択した場合 連絡対応の内容（複数回答可）	01 身体症状関連 02 精神症状関連 03 医療処置関連 04 薬関連 05 介護関連 06 アクシデント 07 その他	

No	大項目	小項目	備考
6.	4.対象者で「01 利用者」「02 家族」以外を選択した場合 連絡対応の内容（複数回答可）	01 身体症状関連 02 精神症状関連 03 医療処置関連 04 薬関連 05 介護関連 06 アクシデント 07 訪問看護計画関連 08 その他	
7.	電話対応後の対応	01 電話応対のみ 02 関係機関に連絡・報告⇒SQ あり 03 介護者・家族等に連絡・報告 03 臨時で訪問看護を実施 04 救急搬送・受診を指導 （関係機関に連絡・報告選択の場合） 01 主治医 02 ケアマネジャー 03 介護事業所 04 その他	
（02 当該利用者に関する会議等）			
8.	内容	01 カンファレンス等（他機関多職種参加に限る） 02 サービス担当者会議 03 その他の会議	
	日時	（ ）月（ ）日 （ ）時（ ）分 〜 （ ）時（ ）分	
9.	ステーションからの出席者（複数回答可）	01 看護師 （ ）人 02 保健師 （ ）人 03 助産師 （ ）人 04 准看護師 （ ）人 05 理学療法士 （ ）人 06 作業療法士 （ ）人 07 言語聴覚士 （ ）人 08 精神保健福祉士 （ ）人 09 その他（ ）人	

No	大項目	小項目	備考
（03 サマリーの作成）			
	日時	（ ）月（ ）日 （ ）時（ ）分 〜 （ ）時（ ）分	
10.	サマリー作成の理由	01 入院 02 入所 03 短期入所 04 その他（ ）	
（04 その他）			
	日時	（ ）月（ ）日 （ ）時（ ）分 〜 （ ）時（ ）分	
11.	内容	自由記述	

（８）評価１（ニーズの解決）

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
1.	身体活動の推進	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
2.	IADL	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
3.	ADL	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
4.	住環境の改善	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思	01 はい 02 いいえ

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
		していない		決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	
5.	施設入所のリスク	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
6.	身体抑制	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
7.	認知低下	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
8.	せん妄	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
9.	コミュニケーション	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
10.	気分	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
11.	行動	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセル	01 はい 02 いいえ

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
				フケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	
12.	虐待	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
13.	アクティビティ	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
14.	インフォーマルな支援	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上（態度の向上） 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
15.	社会関係	01 介入により解決した（ニーズ	01 状態が改善 02 状態が維持	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪	01 はい 02 いいえ

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
		の終了） 02 介入したが解決していない	03 状態が悪化	化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	
16.	転倒	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
17.	痛み	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
18.	褥瘡	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上)	01 はい 02 いいえ

35

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
				05 希望に沿った看取り 06 その他	
19.	心肺機能	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
20.	低栄養	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
21.	脱水	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
22.	胃ろう	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思	01 はい 02 いいえ

36

No	内容 選択項目 のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
		していない		決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	
23.	検診・予防接種	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
24.	適切な薬剤使用	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
25.	喫煙と飲酒	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ

37

No	内容 選択項目 のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
26.	尿失禁	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
27.	便通	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
28.	健康管理・セルフケア	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
29.	感染・発熱の徴候	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセル	01 はい 02 いいえ

38

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
				フケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	
30.	医療的処置や器材	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
31.	家族介護力・家族機能	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
32.	ターミナル期	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
33.	成長と発達	01 介入により解決した（ニーズ	01 状態が改善 02 状態が維持	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪	01 はい 02 いいえ

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
		の終了） 02 介入したが解決していない	03 状態が悪化	化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	
34.	睡眠	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
35.	清潔	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05 希望に沿った看取り 06 その他	01 はい 02 いいえ
36.	経済・制度利用の選択や変更・拡大	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01 状態が改善 02 状態が維持 03 状態が悪化	01 QOL の向上・維持 02 合併症の予防・病状悪化の予防 03 利用者・家族の意思決定 04 利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上)	01 はい 02 いいえ

No	内容 選択項目のみ表示	ニーズの解決	（02 解決していない）を選択した場合	訪問看護の関わりにより考えられた効果 選択項目のみ表示	確認事項
				05　希望に沿った看取り 06　その他	
37.	人間のセクシュアリティ	01 介入により解決した（ニーズの終了） 02 介入したが解決していない	01　状態が改善 02　状態が維持 03　状態が悪化	01　QOL の向上・維持 02　合併症の予防・病状悪化の予防 03　利用者・家族の意思決定 04　利用者・家族のセルフケア能力の向上(態度の向上) 05　希望に沿った看取り 06　その他	01 はい 02 いいえ

＜利用者のＱＯＬについて（利用者への聞き取り）＞

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
	回答者	01 本人 02 本人以外⇒SQ あり （本人以外の場合） 01 配偶者 02 親 03 子 04 それ以外	
1.	移動の程度	01 歩き回るのに問題はない 02 歩き回るのに少し問題がある 03 歩き回るのに中程度の問題がある 04 歩き回るのにかなり問題がある 05 歩き回ることができない	11 月時点と 12 月時点で記入する
2.	身の回りの管理	01　自分で身体を洗ったり着替えをするのに問題はない 02　自分で身体を洗ったり着替えをするのに少し問題がある 03　自分で身体を洗ったり着替えをするのに中程度の問題がある 04　自分で身体を洗ったり着替えをするのにかなり問題がある 05　自分で身体を洗ったり着替えをすることができない	11 月時点と 12 月時点で記入する
3.	普段の活動(仕事、勉強、家族・余暇活動)	01 ふだんの活動を行うのに問題はない 02 ふだんの活動を行うのに少し問題がある 03　ふだんの活動を行うのに中程度の問題がある 04 ふだんの活動を行うのにかなり問題がある 05 ふだんの活動を行うことができない	11 月時点と 12 月時点で記入する
4.	痛み／不快感	01 痛みや不快感はない 02 少し痛みや不快感がある 03 中程度の痛みや不快感がある 04 かなりの痛みや不快感がある 05 極度の痛みや不快感がある	11 月時点と 12 月時点で記入する

No	内容	確認事項	備考 ※システムで要対応
5.	不安／ふさぎ込み	01 不安でもふさぎ込んでもいない 02 少し不安あるいはふさぎ込んでいる 03 中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる 04 かなり不安あるいはふさぎ込んでいる 05 極度に不安あるいはふさぎ込んでいる	11 月時点と 12 月時点で記入する
6.	訪問看護を利用する前に比べて、本人の身体の状態が安定したり、苦痛や症状が和らいだりした	01 とてもそう思う 02 まあそう思う 03 どちらともいえない 04 あまりそう思わない 05 全くそう思わない	11 月時点と 12 月時点で記入する
7.	訪問看護を利用する前に比べて、本人の不安や困ったことが軽減した	01 とてもそう思う 02 まあそう思う 03 どちらともいえない 04 あまりそう思わない 05 全くそう思わない	11 月時点と 12 月時点で記入する
8.	訪問看護を利用する前に比べて、本人が自宅での生活に自信をもつことができた	01 とてもそう思う 02 まあそう思う 03 どちらともいえない 04 あまりそう思わない 05 全くそう思わない	11 月時点と 12 月時点で記入する

平成 28 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業

調査実施要領

一般社団法人全国訪問看護事業協会

■　調査に関するお問合せ先　■

一般社団法人全国訪問看護事業協会
担当　倉地沙織、清崎由美子、吉原由美子

〒160-0022　東京都新宿区新宿 1-3-12　壱丁目参番館 401
電話：03-3351-5898　FAX：03-3351-5938
メール：kurachi@zenhokan.or.jp

◆◆ 目　次 ◆◆

１．同封物の確認

次の書類一式を同封しています。不足しているものがありましたら、本紙表紙のお問合せ先までご連絡ください。

①	調査実施要領（本紙）	１部
②	調査協力依頼・同意書（事業所分）	１部
③	利用者への説明書と同意書（利用者分）	１部（見本）
④	ＩＤと仮パスワード	１部
⑤	利用者に関する入力の事例	１部
⑥	訪問看護ステーションにおける事業所自己評価ガイドライン	１部
⑦	「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価」チェックシート	１部
⑧	謝礼請求書兼振込み依頼書	１部
⑨	返信用封筒（切手付き）	３部
⑩	CD-ROM	１部

2．事業の説明

（１）目的

利用者の特性に応じたサービス内容や提供量、コスト等の実態について明らかにし、利用者の特性に応じた訪問看護のあり方等について検討し、訪問看護サービスの標準モデルを提案する。

（２）対象

機能強化型訪問看護管理療養費１若しくは２を算定している訪問看護事業所 10 か所の利用者 500 名（１事業所につき 50 名）

（３）調査方法

各訪問看護事業所が Web 上で入力する。

（４）調査実施時期

平成 28 年 11 月 1 日（火）～最終締め切り：平成 28 年 12 月 11 日（日）

・基本的には、平成 28 年 11 月 1 日（火）～平成 28 年 11 月 30 日（水）までの状況を入力してください。
・ただし、利用者の QOL 調査は 11 月最初の訪問時と 12 月最初の訪問時に聞き取り調査を行ってください。
・入力の最終締め切りは平成 28 年 12 月 11 日（日）です。

3．同意書記入のお願い

本事業にご協力いただける旨、同意書に記入してください。

説明会の会場でご提出いただくか、同封の返信用封筒で、平成 28 年９月 28 日（水）までに返信してください。

4．調査の枠組みについて

	枠組み	内容	調査時期
ストラクチャー	(1) 事業所情報	事業所の基本的な情報について入力する	調査開始時
		利用者全体の状況について入力する	調査終了時
	(2) 職員情報	個々の職員の基本的な情報について入力する	調査開始時
	(3) 利用者の特性	以下の内容について入力する ・個々の利用者について、保険種別や家族介護力、加算算定等の基本的な情報 ・利用開始・終了に関する情報 ・介護度や日常生活自立度、疾患等に関する情報	調査開始時と調査終了後 また、変更があった都度修正する
		・利用している他のサービス等に関する情報	調査終了後
プロセス	(4) 利用者のニーズ・問題	立案した看護計画をもとに利用者のニーズ・問題について入力する	調査開始時点及び計画変更時
	(5) 介入（訪問時）	訪問時実施している行為等について入力する	訪問の都度
	(6) 介入（訪問以外）	電話等の連絡対応、サービス担当者会議、サマリーの作成等について入力する	対応の都度
アウトカム	(7) コスト	1 か月間その利用者にかかる訪問看護のコスト（費用）把握のため、10 月分の明細書（医療保険・介護保険）を PDF にし、取り込む	12 月 11 日まで
	(8) 評価１	「(4)利用者のニーズ・問題」について解決の状況を入力する	計画の修正時と調査終了時
	(9) 評価２	利用者の QOL を測る８項目について聞き取り調査を実施する。	11 月最初の訪問時と 12 月最初の訪問時
(10)	訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン		10 月 31 日まで

システムの入力については外部委託せずに、ステーションの職員のみでお願いいたします。

（１）事業所情報について

事業所情報では、訪問看護ステーションの概要について入力します。

入力は、管理者の方にお願いします。（管理者の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（２）職員情報について

職員情報では、個々の職員の概要について入力します。

入力は、管理者の方にお願いします。（管理者の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（３）利用者の特性について

個々の利用者について、保険種別や家族介護力、加算算定等の基本的な情報や、利用開始・終了に関する情報、介護度や日常生活自立度、疾患等に関する情報、利用している他のサービス等に関する情報について入力します。

調査開始時点に入力する内容と、調査終了後 11 月の状況を入力する内容があります。

また、調査開始時点に入力した項目についても変更のあった都度修正し、調査終了時点には内容の確認と修正部分のみの修正をお願いいたします。

入力は、担当の看護師の方にお願いします。（担当の看護師の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（４）利用者のニーズ・問題

利用者のニーズ・問題について入力します。立案した看護計画をもとに該当するニーズ・問題を入力してください。また、選択したニーズ・問題はどのような視点で選んだかについても入力してください。

入力は、担当の看護師の方にお願いします。（担当の看護師の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（５）介入（訪問時）

訪問時実施している行為について訪問の都度入力してください。

入力は、訪問した看護職員（PT、OT、ST 含む）の方にお願いします。（訪問した看護職員の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（６）介入（訪問以外）

電話等の連絡対応、サービス担当者会議、サマリーの作成等について介入の都度入力してください。

入力は、対応した看護職員（PT、OT、ST 含む）の方にお願いします。（対応した看護職員の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（７）コスト

11 月分の明細書（介護保険・医療保険）を PDF に取り込んでください。

（８）評価１

「（４）利用者のニーズ・問題」について解決の状況２つの選択肢から１つを選んで入力してください。また、「介入したが解決していない」場合、「状態が改善」「状態が維持」「状態が悪化」より１つ選択してください。訪問看護の関わりにより考えられた効果についても入力してください。

入力は、担当の看護師の方にお願いします。（担当の看護師の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

（９）評価２

利用者の QOL を測る８項目について、11 月最初の訪問時と 12 月最初の訪問時に聞き取り調査を行ってください。調査はサービス提供時間内には行わないようにしてください。

入力は、聞き取り調査を行った看護職員（PT、OT、ST 含む）の方にお願いします。（聞き取り調査を行った看護職員の記入内容をもとに事務職員等他のスタッフが入力しても構いません）

5．調査対象者について

（１）調査対象者の選定

対象者を選びます。対象者は、医療保険もしくは介護保険対象の在宅の利用者（施設入居者除く）で、11 月中の利用予定者のうち、以下の条件で抽出した合計 50 名の利用者です。

＜選定条件＞

以下の①～⑧の疾患・状態の利用者を**サービス開始が近い利用者**からそれぞれ**５名**程度目安に、50 名選んでください。

① がん末期の利用者
② がん以外の終末期の利用者
③ 神経難病
④ 脳血管疾患
⑤ 呼吸器疾患または循環器疾患
⑥ 小児
⑦ 精神疾患
⑧ 認知症

（２）対象者番号管理について

選んだ対象者には、事業所内で識別できるよう番号を付け、システム入力時に同じ番号を記入してください。後日、記入内容に関してお問い合わせする場合がありますので、番号は分かるようにステーションで管理してください。

当協会から利用者番号管理票の提出を依頼することはありません。利用者番号管理票は当該研究終了後（平成 29 年 3 月 31 日）速やかに破棄してください。

番号は、ステーション記号（A～J）と数字（１～５０）で管理してください。

（３）対象者への説明と同意について

対象者には、調査を実施する前に、**所定の用紙を用いて、事業について説明をしていただき、調査対象となることの同意を得てください。**同意書は各事業所で保管をお願いいたします。提出は不要です。

以下の状況により、**本人が同意の判断をできない場合**は、代諾者に同意を得てください。

①16 歳未満の未成年者の場合、親権者または未成年後見人の代諾
②成年であって、傷病等により同意の判断をできないと客観的に判断される者の場合、対象者の配偶者、父母、兄弟、子・孫、祖父母、同居の親族またはそれら近親者に準ずると考えられる者や代理権を付与された任意後見人の代諾

同意が得られない場合は、「（１）調査対象者の選定」で示した方法に基づき、別の調査対象者を選びなおしてください。

6．システムの入力方法について

（1）アクセス方法

下記のアドレスにアクセスしてください。

アドレス：http://zenhokan.jp/care/Login/Login.aspx

（2）ログインの方法

【ユーザＩＤ】と【仮パスワード】を入力後、【ログイン】ボタンをクリックしてください。

（3）パスワードの設定

パスワードは英数字を組み合わせて８文字以上で設定してください。
各項目を入力後、【更新】ボタンをクリックします。

（4）事業所情報の入力について

事業所情報では、訪問看護ステーションの概要についてお伺いします。
TOP 画面の【事業所情報登録・更新】ボタンをクリックしてください。

◆補足説明◆
①併設施設・事業所区分については複数ある場合、全てチェックしてください。
②加算届出状況については11月1日時点の状況を入力してください。
③利用者全体の状況については調査終了後、11月中の状況を入力してください。

（5）職員情報の入力について

職員情報では、個々の職員の概要について入力します。

職員の氏名は入力せずに、職員番号を入力します。職員番号は、ステーション記号（a～j）と数字（1～）で作成してください。この番号は「介入（訪問時）」「介入（訪問以外）の入力の際にも使います」ので、分かるようにステーションで管理してください。

当協会から職員番号管理票の提出を依頼することはありません。職員番号管理票は当該研究終了後（平成29年3月31日）速やかに破棄してください。

（職員番号管理票　例）

職員番号	職員氏名
a1	○○　○○○
a2	□□　□□
a3	△△△　△△
・ ・ ・	・ ・ ・

＊同封のCD-ROMに職員番号管理票ファイルがありますので、必要時ご使用ください。

TOP画面の【職員情報登録・更新】ボタンをクリックしてください。

新たに職員情報を登録する場合【新規登録】ボタンをクリックしてください。すでに登録している職員情報について修正する場合、職員番号で検索し、表中の該当職員番号をクリックします。

項目に沿って入力してください。

職員番号は一度登録すると修正ができません。登録の際は、職員番号管理票と番号が一致しているか確認してください。

◆補足説明◆

①職種区分については、職種によって入力項目が異なります。図表１を参考に選んでください。

（図表１）★１つ選択

看護職員等	看護師、准看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
事務職員等	事務、看護補助者、精神保健福祉士
その他	上記に含まれない職員

②勤務形態区分については、事業所単位の勤務実態で選んでください。

（６）利用者特性の入力について

個々の利用者について、保険種別や家族介護力、加算算定等の基本的な情報や、利用開始・終了に関する情報、介護度や日常生活自立度、疾患等に関する情報、利用している他のサービス等に関する情報について入力します。

利用者の氏名は入力せずに、利用者番号を入力します。利用者番号は、ステーション記号（Ａ～Ｊ）と数字（１～５０）で作成し、ステーションで管理してください。

当協会から利用者番号管理票の提出を依頼することはありません。利用者番号管理票は当該研究終了後（平成 29 年 3 月 31 日）速やかに破棄してください。

（利用者番号管理票　例）

利用者番号	利用者氏名
A１	●●　●●●
A２	■■　■■
A３	▲▲▲　▲▲
・ ・	・ ・

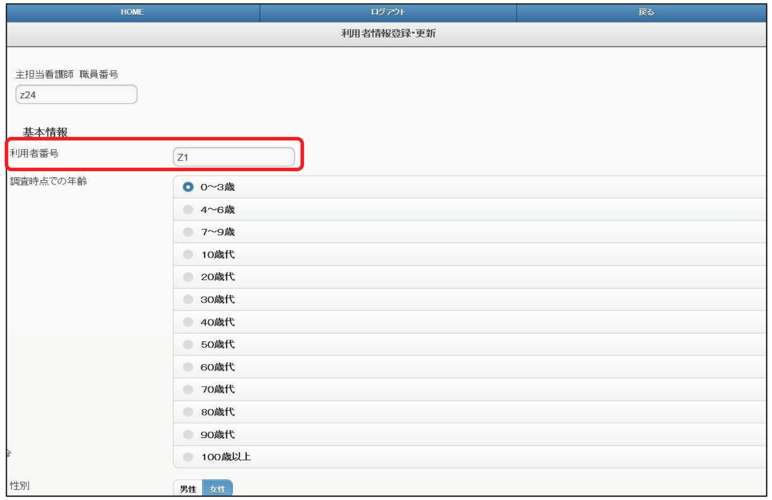
＊同封の CD-ROM に利用者番号管理票ファイルがありますので、必要時ご使用ください。

TOP 画面の【利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価】ボタンをクリックしてください。

新たに利用者情報を登録する場合【新規登録】ボタンをクリックしてください。すでに登録している利用者情報について修正する場合、利用者番号で検索し、表中の該当利用者番号をクリックします。

項目に沿って入力してください。

利用者番号は一度登録すると修正ができません。登録の際は、利用者番号管理票と番号が一致しているか確認してください。



◆補足説明◆

①家族構成については、図表２を参考に入力してください。

（図表２）★１つ選択

独居	同居者がなく、一人で自宅療養をしている場合
日中独居	同居者がいるが、日中一人で自宅療養をしている場合
高齢者世帯	６５歳以上の高齢者だけの世帯 または、これに１８歳未満(未婚の者)が加わった世帯
その他	上記に含まれない家族構成を全て含む

②要介護度については、図表３を参考に入力してください。

（図表３）★１つ選択

申請中 （仮記載の欄）	介護保険申請中の場合に記載 認定が出たら新規に計上した月の欄に入力し直し、この欄は空欄にする
要支援１，２	要支援１，２の認定者
要介護１～５	要介護１～５の認定者
なし	介護保険未申請者 医療保険対象者で**介護保険認定者の場合は上記介護度別に含める**

③主疾患と副疾患については、図表４を参考に入力してください。主疾患と副疾患は指示書をもとにチェックをつけてください。

（図表４）★主疾患は１つ選択、副疾患は複数選択可

悪性新生物	すべての悪性新生物と悪液質など悪性新生物に付随する状態 脳腫瘍、悪性リンパ腫、白血病、骨肉腫など
感染症	ノロウィルス感染症、インフルエンザ、結核、疥癬、帯状疱疹、ウィルス性肝炎、HIV などの感染症 **※人へ感染するものをさし、尿路感染症などは含まない**
中毒・外傷など	外傷性脳挫傷・神経損傷、血管損傷、熱傷、薬物やアルコールなどの中毒
脳血管疾患	脳梗塞、脳塞栓、脳出血、くも膜下出血など脳血管に起因する疾患 **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ記載**
循環器疾患	高血圧性疾患、心筋梗塞など虚血性心疾患、大動脈乖離、心筋症など脳血管障害以外の循環器疾患、閉塞性動脈硬化症など **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ記載**
呼吸器疾患	気胸、喘息、呼吸不全、閉塞性肺疾患、陳旧性肺結核など **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ記載**
消化器疾患	口腔内疾患から消化器の炎症や潰瘍、ヘルニア、結石、肝硬変など **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ記載**
筋・骨格系疾患	リウマチ・脊柱間狭窄・関節炎など関節や脊柱の疾患（二分脊椎を含む）、筋肉の炎症、骨折など **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ、難病はＬ，Ｍへ記載**
内分泌疾患	甲状腺疾患、糖尿病などの代謝障害や内分泌障害 **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ記載**
泌尿器・腎疾患	腎不全、水腎症、膀胱結石や前立腺肥大など **※悪性新生物はＡへ、感染症はＢへ記載**
皮膚疾患	褥瘡、類天疱瘡、皮膚炎、蜂窩織炎など **※悪性新生物はAへ、感染症はBへ記載**
神経難病	パーキンソン病、多発性硬化症、ALS など筋・神経系の難病 特定疾患（小児を含む）の指定でなくても「いわゆる難病」であれば適応
その他の難病	SLE,潰瘍性大腸炎など神経難病以外の難病 **※悪性新生物はＡへ記載**
精神疾患	統合失調症、うつ病、摂食障害、解離性障害などの精神疾患、心身症 **※発達障害・精神遅滞はＯへ、難病はＬ，Ｍへ記載**
認知症	認知症
心身障害	脳性麻痺、低酸素脳症、発達障害、行為障害、精神遅滞など

その他	脱水、熱中症、老衰、婦人科疾患、など上記の分類に入らない疾患

④医療機器等の使用状況については、図表５を参考に入力してください。

（図表５）★複数選択可

経管栄養	経鼻栄養・胃瘻・腸瘻
中心静脈栄養	中心静脈栄養
自己注射	インスリンやインターフェロン等の自己注射
自己導尿	自己導尿
膀胱留置カテーテル	膀胱留置カテーテル
膀胱瘻・腎瘻	膀胱瘻・腎瘻カテーテル
人工肛門・人工膀胱	人工肛門・人工膀胱
透　　析	腹膜還流、血液透析
ドレナージチューブ	胆道・胆管・肝内胆管等のドレナージチューブ
気管切開	気管カニューレ、永久気管孔、トラヘルパー
吸引器	吸引
吸入器	吸入、ネブライザー
人工呼吸器（NIPPV）	マスクによる人工呼吸
人工呼吸器（TIPPV）	気管切開チューブや気管内チューブ挿入による人工呼吸
酸素療法	在宅酸素療法
その他	上記以外の医療機器等

⑤他のサービス等の利用状況については、調査終了後、11 月中の状況を入力してください。対象者の保険種別に関わらず、可能な限り他のサービス利用状況の確認をお願いいたします。

⑥退院直後の利用者の「退院調整に係る回数・時間」とは、依頼がきてから訪問を開始するまでの退院前カンファレンスや電話、退院前訪問等を指します。11 月より前の「退院調整に係る回数・時間」についても入力してください。
退院直後とは、退院後１か月程度を指します。

（７）利用者ニーズ・問題の入力について

利用者のニーズ・問題について入力します。

利用者検索画面で該当する利用者を検索し、【ニーズ】ボタンを押してください。

立案した看護計画をもとに該当するニーズ・問題を入力してください。また、選択したニーズ・問題はどのような視点で選んだか上位２つまで入力してください。

看護計画は、看護師個人が立案した計画ではなく、事業所として立案した計画と判断いたします。必ず、管理者等がチェックをしてください。

調査期間中に看護計画の一部変更があった場合、変更箇所の「利用者のニーズ・問題」について評価をし、追加の「利用者のニーズ・問題」を選び直してください。

状態の急変等により、調査期間中に看護計画の大幅な変更があった場合、全ての「利用者のニーズ・問題」について評価をし、新たに「利用者のニーズ・問題」を選び直してください。

利用者ニーズ・問題は優先順位に関係なく、立案した看護計画をもとにチェックをつけてください。

◆補足説明◆
①利用者ニーズの項目については、図表６を参考に入力してください。
（図表６）

1	身体活動の推進	機能的には可能であるにもかかわらず、身体活動が少ないことに関するニーズ・問題
2	IADL	IADL をより自立して実施できる可能性があり、かつそのことへの関心をもつ利用者の IADL に関するニーズ・問題
3	ADL	ADL に障害のあるもしくは、機能低下の可能性がある利用者の ADL に関するニーズ・問題
4	住環境の改善	問題のある住環境での暮らしにおいて、身体や精神状態の問題と相まって危険な状況が予測される利用者の住環境に関するニーズ・問題
5	施設入所のリスク	今後数か月のうちに入所するリスクが高い利用者の入所に関するニーズ・問題
6	身体抑制	身体抑制をされている、もしくはそのリスクがある利用者の身体抑制に関するニーズ・問題
7	認知低下	ある程度認知機能を保持している利用者の認知低下に関するニーズ・問題
8	せん妄	せん妄の症状が活動的な利用者のせん妄に関するニーズ・問題
9	コミュニケーション	コミュニケーションの能力を改善するための取り組みをすべき利用者や避けられる低下を回避するべき利用者のコミュニケーションに関するニーズ・問題

10	気分	うつの診断又は注意を要する気分障害（うつ、悲哀、不安など）がある利用者の気分障害に関するニーズ・問題
11	行動	徘徊や暴言、暴行、社会的に不適切な迷惑な行動、公衆での不適切な性的行動や脱衣、ケアに対する抵抗がある利用者の行動に関するニーズ・問題
12	虐待	顕在的または潜在的な虐待やネグレクトの状況下に置かれている利用者の虐待に関するニーズ・問題
13	アクティビティ	認知機能が残されているが、活動をしなくなったり、人の輪に入ることが難しい利用者の活動に関するニーズ・問題
14	インフォーマルな支援	IADL に援助を必要とし、増大している利用者のニーズのすべてに家族が応じるのが困難な状況にある利用者・家族のインフォーマルな支援に関するニーズ・問題
15	社会関係	認知機能がある程度保たれており、多少なりとも他者を理解できる能力があるが社会関係が低下している利用者の社会関係に関するニーズ・問題
16	転倒	転倒の既往があるために、将来にわたる転倒の危険性が高い利用者の転倒に関するニーズ・問題
17	痛み	痛み（からだに生じた、あるいは生じた可能性のある損傷によって起きた感覚的・感情的な不快感）がある利用者の痛みに関するニーズ・問題
18	褥瘡	褥瘡があるもしくは、褥瘡発生のリスクがある利用者の褥瘡に関するニーズ・問題
19	心肺機能	心肺機能に問題がある、もしくは、そのリスクがある利用者の心肺機能に関するニーズ・問題
20	低栄養	すでに顕著に低体重で低栄養状態にある利用者やそのリスクがある利用者の栄養状態に関するニーズ・問題
21	脱水	脱水の状態にあるもしくは、脱水のリスクがある利用者の脱水に関するニーズ・問題
22	胃ろう	胃ろうがあるもしくは、胃ろうによるリスク発生の可能性がある利用者の胃ろうもしくは、嚥下障害に関するニーズ・問題
23	検診・予防接種	予防ニーズのある利用者の健診・予防接種に関するニーズ・問題
24	適切な薬剤使用	薬剤を使用している利用者の薬剤（効果、耐性、副作用、不適切な使用等）に関するニーズ・問題
25	喫煙と飲酒	喫煙や過剰飲酒がある利用者の喫煙と飲酒に関するニーズ・問題
26	尿失禁	尿失禁がある利用者の膀胱機能に関するニーズ・問題
27	便通	便通の問題（便秘・下痢・便失禁）のある利用者の便通に関するニーズ・問題
28	健康管理・セルフケア	健康管理・セルフケアに関するニーズ・問題
29	感染・発熱の徴候	感染・発熱の徴候がある、もしくは、そのリスクがある利用者の感染・発熱に関するニーズ・問題

30	**医療的処置や器材**	医療的処置や器材の使用がある利用者の医療的処置や器材に関するニーズ・問題
31	**家族介護力・家族機能**	家族介護力・家族機能に関するニーズ・問題
32	**ターミナル期**	ターミナル期にある利用者のニーズ・問題
33	**成長と発達**	成長と発達に関するニーズ・問題
34	**睡眠**	睡眠に問題のある利用者の睡眠に関するニーズ・問題
35	**清潔**	清潔に問題のある利用者の睡眠に関するニーズ・問題
36	**経済・制度利用の選択や変更・拡大**	経済・制度利用の選択や変更・拡大に関するニーズ・問題
37	**人間のセクシュアリティ**	人間のセクシュアリティに関するニーズ・問題

参考資料：インターライ方式　ケアアセスメント［居宅・施設・高齢者住宅］、医学書院

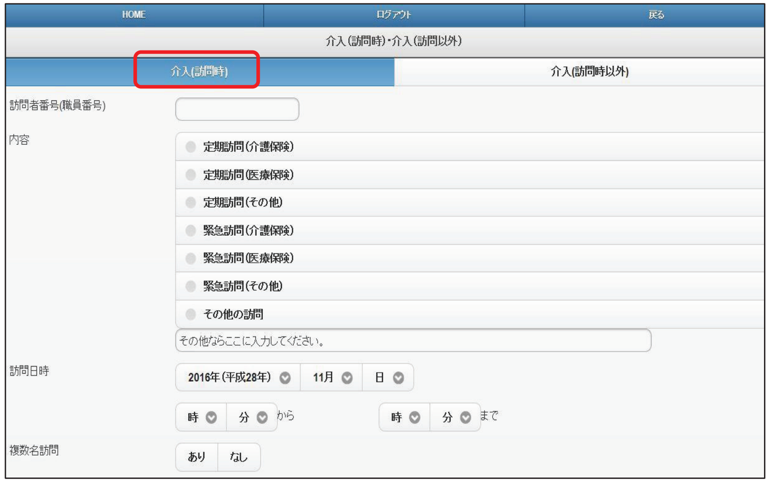
（８）介入（訪問時）の入力について

訪問時実施している行為について訪問の都度入力してください。

入力する利用者番号をクリックします。

新たに介入の内容を登録する場合【新規登録】ボタンを押してください。すでに登録している介入の内容について修正する場合、該当の日付をクリックします。

項目に沿って入力してください。



◆補足説明◆

①実施した行為については、図表７・図表８を参考に入力してください。「リハビリテーション」「医療措置の管理・実施・指導（実施含む）」を選んだ場合、具体的な項目を選択してください。

（図表７）★複数選択可

病状の観察	①バイタルサインの測定　②全体的印象の把握と観察 ③日常生活動作アセスメント　④認知機能のアセスメント ⑤水分出納のモニタリング　⑥栄養モニタリング ⑦循環機能のアセスメント　⑧呼吸機能のアセスメント
清潔のケア・指導	①入浴介助、シャワー浴介助、手浴、足浴、洗髪、洗面介助、全身清拭、陰部洗浄、新生児沐浴、目・鼻・耳・口腔・義歯・爪・足・臍部のケア ②スキンケア、③整容の援助
衣生活のケア・指導	①衣類の調整、②衣生活の支援、③シーツ交換等
食事や栄養のケア・指導	①摂食の準備、食事のセッテイング、食事・摂食介助、水分補給 ②食事指導、③食生活指導・相談
排泄のケア・指導	①排泄介助、排泄動作介助、腸管運動促進、便性調節、尿意誘発 ②腸ガス排気
睡眠のケア・指導	①就寝の準備、入眠を促す援助、睡眠パターンの調整 ②生活リズムを整える援助、気分転換、活動と休息のバランス管理

環境整備・調整	①ベッドメーキング、病床周囲の整備、居室環境の整備 ②環境整備指導・相談、③転倒・転落防止
リハビリテーション	①身体機能リハビリテーション（関節可動域の維持・拡大、筋力の維持・増強、姿勢の保持と移動動作の介助、運動指導・相談など） ②呼吸リハビリテーション ③嚥下リハビリテーション ④言語訓練 ⑤作業療法 ⑥リラクゼーション法 ⑦マッサージ（リンパマッサージ含む） ⑧その他のリハビリテーション
疾病や治療に関する説明・指導（実施含む）	①疾病の特徴や本人の病態の説明、②病態に応じた生活指導、③治療内容の説明や教育、④治療のセルフケア指導や実施　など
薬剤の管理・指導（介助含む）	①服薬管理、②服薬指導、③与薬、④疼痛コントロール指導
医療処置の管理・実施・指導	図表８「医療処置の実施・指導」の内訳の内容に対する実施・指導
精神的援助	①傾聴、②聞き沿う、③共にいる、④生きがい支援、⑤なじみの場つくり、⑥興奮・攻撃性への鎮静対応、⑦自傷・他害行為への介入
意思決定支援	治療方針、療養場所、生活の仕方、最期の迎え方等、あらゆる在宅生活に関する利用者や家族の意向を聞き取り、意思決定できるための具体的説明や情報提供
ターミナルケア	①死後の処置、②悲嘆ケア、③苦痛緩和のケア、④最期を看取る方法及びその場所に対する利用者又はその家族の意向の確認
介護相談	①介護指導・相談（用具関連含む）、②療養生活指導・相談
家族支援	①家族指導・相談、②家族教育、③母子相互作用の形成促進
グリーフケア	看取り後の家族の喪失感や悲嘆に対する確認、立ち直りへの支援（お悔やみの訪問、電話、声かけ、面接など）、必要時は適切な治療のための専門家受診への支援
その他	①応急処置、②心肺蘇生法、③安否確認

（図表８）

カテーテルの管理	硬膜外カテーテルの管理、気管カニューレ挿入中の管理、経管栄養の管理（経鼻・胃瘻）、腹膜灌流の管理、各種ドレナージチューブの管理
医療機器の管理	人工呼吸器の管理、酸素療法の機器管理、血液浄化法の管理
排泄処置	導尿、持続導尿（膀胱内留置カテーテル）、浣腸、摘便
皮膚処置	軟膏の塗布
褥瘡・創傷部の処置	褥瘡ケア、創傷ケア
吸引・吸入	経鼻・経口吸引、気管吸引

注射・点滴・IVH	筋肉内注射、皮下注射、静脈内注射、点滴静脈内注射、中心静脈輸液の管理
麻薬等の管理	麻薬、鎮痛補助薬などによるペインコントロールと薬剤の管理
検査	採尿、採便、採痰、口腔・鼻腔・咽頭粘膜採取、静脈血採血
その他の医療処置	診療・検査・処置の介助、冷罨法、温罨法

②訪問中の主治医・他機関との連絡調整については「介入（訪問以外）」に記載してください。

（９）介入（訪問以外）の入力について

電話等の連絡対応、サービス担当者会議、サマリーの作成等について介入の都度入力してください。

訪問日程の変更等の事務連絡や事業所内でのカンファレンスについては入力の必要はありません。

入力する利用者番号をクリックします。

新たに介入の内容を登録する場合【新規登録】ボタンを押してください。すでに登録している介入の内容について修正する場合、該当の日付をクリックします。

項目に沿って入力してください。

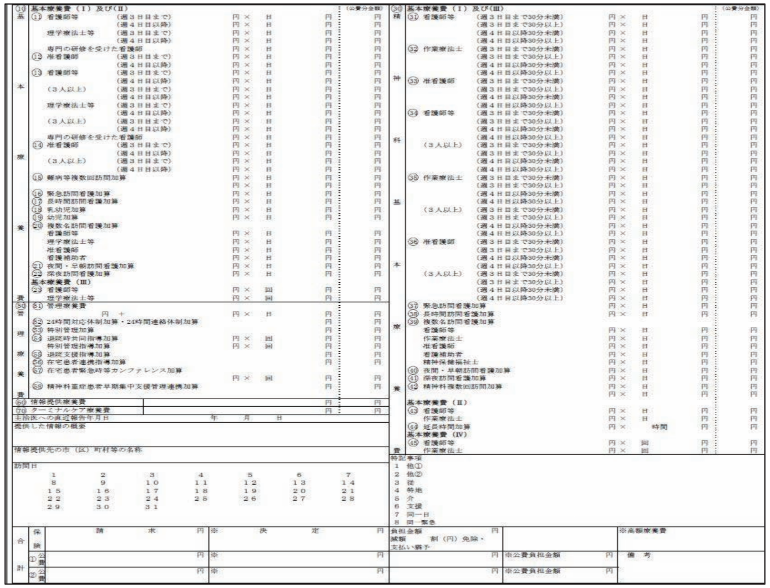
◆補足説明◆

①当該利用者に関する会議等のステーションからの出席者については職種別に出席者数（記入者含む）を入力してください。

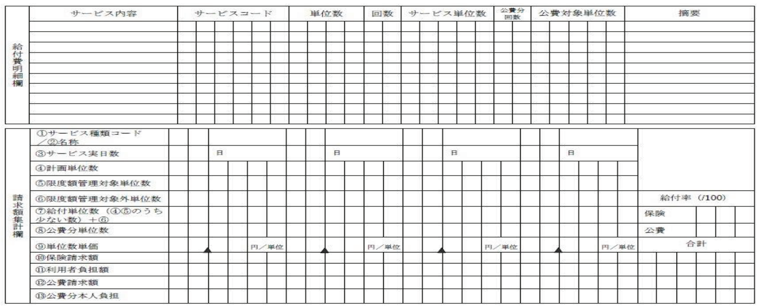
（10）訪問看護のコストについて

11 月分の明細書の以下の部分を PDF ファイルに変換し取り込んでください。その際、他のステーションなどの情報が含まれないように注意してください。特に、訪問看護療養費明細書の特記事項欄（右下）にステーション名や訪問介護事業所名が記載されていないか確認してください。

（訪問看護療養費明細書）



（居宅サービス介護給付費明細書）



TOP 画面の【利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価】ボタンをクリックします。

該当の利用者番号を検索し、【明細書の PDF 取り込み】ボタンを押して PDF を取り込んでください。

＊10 月 21 日頃表示予定です。

（11）評価１（利用者ニーズの解決状況）の入力について

「利用者のニーズ・問題」について解決の状況を入力してください。また、訪問看護の関わりにより考えられた効果についても入力してください。

調査期間中に看護計画の変更があった場合、その都度「利用者のニーズ・問題」について評価をし、再度「利用者のニーズ・問題」を選び直してください。

TOP 画面の【利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価】ボタンをクリックします。

該当の利用者番号を検索し、【評価】ボタンを押してください。

「（4）利用者のニーズ・問題」について解決の状況２つの選択肢から１つを選んで入力してください。また、「介入したが解決していない」場合、「状態が改善」「状態が維持」「状態が悪化」より１つ選択してください。

訪問看護の関わりにより考えられた効果についても入力してください。

（12）評価２（利用者 QOL 調査）の入力について

利用者の QOL を測る８項目について、11 月最初の訪問時と 12 月最初の訪問時に聞き取り調査を行ってください。

TOP 画面の【利用者情報登録・更新／利用者ニーズ・評価】ボタンをクリックします。

該当の利用者番号を検索し、【QOL】ボタンを押してください。

【11 月の回答】【12 月の回答】ボタンを選んでクリックしてください。

（13）パスワードを忘れたら

（ユーザ ID を忘れた場合）

ユーザ ID を忘れた場合は以下の問い合わせ先にご連絡ください。

◆全国訪問看護事業協会◆
電話番号：０３－３３５１－５８９８

（パスワードを忘れた場合）

パスワードを忘れた場合は、ログイン画面の【リセット】ボタンを押してください。

【ユーザ ID】と【メールアドレス】を入力して【リセット】ボタンを押します。パスワードはリセットされますので、【ユーザ ID】と【仮パスワード】でログインし、本パスワードを再設定してください。

7．事業所自己評価のガイドラインの回答について

「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン～看取りや医療ニーズの高い在宅療養者を支える標準的な指針（ガイドライン）～」に沿って、項目１～項目 39（p.12～p.55）の回答をチェックシートに記入してください。

過去に実施したことがあるステーションは記録を転記、またはコピーしてください。

チェックシートは 10 月 31 日(月)までに郵送か、メール(kurachi@zenhokan.or.jp）でご返信ください。

8．調査のスケジュールについて

９月 22 日（木）

調査の実施説明会を開催します。

会場で、調査資料一式をお渡しします。

同意書（事業所用）を同封の返信用封筒で、平成 28 年９月 28 日（水）までにご返信ください。尚、利用者の同意書はステーションで保管してください。提出は不要です。

10 月中旬～

ステーションスタッフへの説明や利用者の選定等調査の準備を進めていただきます。ログイン可能な状況になりましたらご連絡いたします。事業所情報や職員情報等の入力を開始してください。

調査の準備でお困りの点がないか、ご不明な点がないか、ご確認ください。ご不明な点がありましたら、本紙表紙のお問い合わせ先までご連絡ください。

「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価」のチェックシートは 10 月 31 日（月）までに郵送か、メール（kurachi@zenhokan.or.jp）でご返信ください。

11 月１日（火）～11 月 30 日（水）

調査を実施していただきます。

12 月上旬頃

利用者の特性のデータの見直し、不足箇所の入力を行ってください。

評価１（利用者ニーズの解決状況）を実施してください。

評価２（利用者 QOL 調査）を実施してください。

11 月の明細書の取り込みを行ってください。

12 月 11 日（日）：最終〆切日

9．ＣＤ－ＲＯＭの内容について

お配りした CD-ROM には以下のファイルが入っています。必要時ご活用ください。

①利用者への説明書と同意書（利用者分）
②同意撤回書（利用者分）
③介入（訪問時）記録用紙
④介入（訪問以外_連絡対応）記録用紙
⑤介入（訪問以外_会議等）記録用紙
⑥利用者 QOL 調査記録用紙
⑦「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価」のチェックシート
⑧職員番号管理票
⑨利用者番号管理票
⑩同意撤回書（事業所）

10．謝金のお支払について

調査のご協力の御礼としまして、25 万円／事業所をお支払いいたします。

謝礼請求書兼振込み依頼書にステーション名、振込み先等をご記入のうえ、同封の返信用封筒でご返送ください。なお、調査途中で辞退された場合、謝金はお支払できません。

平成 28 年 9 月 22 日

●●訪問看護ステーション
管理者　○○　様

一般社団法人全国訪問看護事業協会
事　務　局

平成28年度老人保健健康増進等事業「訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」
調査ご協力のお願い

この度は、平成 28 年度老人保健健康増進等事業業「訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」への協力をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

本調査は、訪問看護サービスの効果的かつ効率的な提供のため、利用者の特性に応じた訪問看護サービスの標準モデルを提案することを目的に、訪問看護サービスが必要な利用者像（状態・病名・介護力等）、サービス内容、提供量、コスト等について把握するもので、**機能強化型訪問看護管理療養費を算定している訪問看護ステーション**のみを対象とした **Web 上**での調査です。

つきましては、調査を下記の要領で実施致します。本事業の調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

記

1．調査実施時期：平成 28 年 10 月～11 月（1～2か月間）

2．対象者：介護保険医療保険問わず訪問看護利用者から条件に応じた 50 名を抽出（10 か所の訪問看護ステーションで合計 500 名）

3．調査内容：①訪問看護事業所の概要
②職員の概要
③利用者の状況
利用者の概要（状態・病名・介護力等）、利用者のニーズ、サービス内容、提供量、コスト、QOL　等

4．実施方法：事業所の概要や職員の概要、利用者の概要（一部除く）、利用者のニーズについては 10 月上旬にウェブ上で入力する。
サービス内容については、対象となる利用者への訪問（対応）の都度、調査内容についてウェブ上で入力する。

5．要件：機能強化型訪問看護管理療養費 1 若しくは 2 を算定している訪問看護ステーションであること

6．謝金：250,000 円

7．倫理的配慮：○利用者個人や訪問看護ステーションが特定されないよう、データの保存や分析においては ID 番号をつけて管理致します。結果はとりまとめの上、報告書、ホームページ、論文等で公表しますが、公表に際しても、個別のステーションが特定できないように配慮いたします。
○研究の参加は自由意思であり、参加しない場合でも貴事業所への不利益はありません。
○訪問看護ステーションは当協会で番号管理し、対応表は当該研究終了後（平成 29 年 3 月 31 日）速やかに破棄いたします。
○システムの構築は委託先（△△株式会社）が行いますが、集積したデータは全国訪問看護事業協会のサーバーで管理されますので、システム開発会社がデータをみることはできません。
○集積したデータの分析は委託先（◆◆株式会社）が行いますが、利用者個人や訪問看護ステーションが特定できないかたちでデータを渡します。

以上

一般社団法人全国訪問看護事業協会
平成 28 年度老人保健健康増進等事業
「訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」
委員長　日本赤十字看護大学　教授　福井　小紀子
事務局　全国訪問看護事業協会　倉地 沙織
〒160-0022　東京都新宿区新宿 1-3-12 壱丁目参番館 401
電話　03(3351)5898　FAX03(3351)5938

事業への参加・協力の同意書

私は、平成 28 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」について、事業実施者より説明を受け、事業の意義について理解しましたので、この事業に参加することに同意いたします。

＜同意者署名欄＞

同意日：平成_____年_____月_____日

所属機関名：____________________

法人の代表者
または、委任を
受けたもの：____________________

説　明　書

平成 28 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業
訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業
―調査のご協力のお願い―

このたび、一般社団法人全国訪問看護事業協会は、厚生労働省より補助を受け、「訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」を行わせていただくこととなりました。

この調査は、訪問看護サービスの利用者の方に対して、実際に、どのようなサービスが提供されているかを詳細に把握し、よりよいサービス提供の在り方を検討することなどを目的としています。

そこで、あなた様にご協力頂きたい内容は、以下の通りです。

- 平成 28 年 11 月 1 日～11 月 30 日までの 1 か月間に、訪問看護師があなた様のお宅で実施するサービスの内容について記録します。
- 同期間、あなた様のために訪問看護事業所内等で行われる業務について、記録します。
- あなた様の在宅での生活の質（QOL）について、訪問看護師がいくつか質問をし、記録いたします。
- あなた様の情報を転記させていただく場合がございます。
- 記録は全て匿名で行ない、収集しますので、記録の内容があなた様に関することであると特定されることはありません。
- 調査結果は統計的な処理をした後、報告書、ホームページ等で公表されますので、あなた様の個別の情報が表に出ることは一切ございません。

なお、この調査への参加・不参加によって、あなた様の治療や看護に影響が生じることは一切ありません。また、調査の参加にいったん同意なさった後でも、いつでも参加をとりやめたり、調査の一部を断ったりすることができます。研究者に直接お伝えいただくか、担当の訪問看護師にお話しください。

以上をご理解いただいた上で、調査への参加に同意なさる場合は、ご署名をお願いいたします。

同　意　書

私は、下記の調査名の調査の内容、方法等について説明を受け、研究に協力することに同意します。

同意日　：平成____年____月____日
本人氏名　：________________
代筆者　：__________（続柄：　　）
代諾者　：__________（続柄：　　）

説明日　：平成____年____月____日
説明者氏名　：________________

調査研究事業に関するお問い合わせについて

調査の途中または終了後でも疑問が生じた場合には、下記にお問い合わせ、お申し出いただく権利があります。調査研究事業に関して疑問が浮かんだ場合には、下記までご連絡ください。お問い合わせ、お申し出の内容に関する秘密は厳守いたします。

《ご連絡先》
一般社団法人全国訪問看護事業協会　倉地　沙織

〒160－0022　東京都新宿区新宿 1-3-12
壱丁目参番館 401
電話：03-3351-5898
FAX：03-3351-5938

平成28年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業
訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業
【報告書】

平成29（2017）年３月
一般社団法人　全国訪問看護事業協会
〒160-0022　東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館401
電話：03-3351-5898